

目 次

1. 設置の趣旨及び必要性	・・・p. 1
2. 学部・学科等の特色	・・・p. 5
3. 学部・学科等の名称及び学位の名称	・・・p. 6
4. 教育課程の編成の考え方及び特色	・・・p. 6
5. 教員組織の編成の考え方及び特色	・・・p. 14
6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件	・・・p. 18
7. 施設、設備等の整備計画	・・・p. 22
8. 入学者選抜の概要	・・・p. 25
9. 取得可能な資格	・・・p. 28
10. 実習の具体的計画	・・・p. 29
11. 企業実習（インターンシップを含む）や海外語学研修等の 学外実習を実施する場合の具体的計画	・・・p. 34
12. 管理運営	・・・p. 40
13. 自己点検・評価	・・・p. 41
14. 情報の公表	・・・p. 42
15. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等	・・・p. 44
16. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制	・・・p. 47

設置の趣旨等を記載した書類

1. 設置の趣旨及び必要性

(1) 駿河台大学の沿革と教育理念

駿河台大学は、設立母体の学校法人駿河台学園の教育理念でもある「愛情教育」を建学の精神として昭和 62 (1987) 年 4 月、埼玉県飯能市に法学部だけの単科大学として創設された。「愛情教育」とは、駿河台学園創立者、山崎寿春が提唱したものであり、「学生一人ひとりに対する愛情がなければ、真の教育はできない」という信念から生まれ、大正 7 (1918) 年の駿河台学園の前身である東京高等受験講習会の設立当初から現在に至るまで、学園グループ全ての教育の場で受け継がれている。

飯能市は元来、木材(西川材)の出荷地として栄えた土地であるが、ベッドタウン化による人口増大により地域の教育機関の充実が飯能市の課題となり、その要請に応える形で大学開設に至った。当初は単科大学としてスタートするが、将来的にはより大きな総合大学を視野に入れており、自然を残しつつ、拡張の余地がある広大な土地があることも誘因となった。

本学は、その建学の精神を具現化するため、本学の学則第 1 条で示すとおり「広い分野の知識と深い専門の学術を教授研究するとともに、徹底した人格教育を通して豊かな知的教養と国際的感覚を備えた有為の人材を育成し、学術、文化の向上・普及と併せて人類・社会の発展に寄与すること」を目的として掲げ、現在では、学部においては、法学部、経済経営学部、メディア情報学部、現代文化学部、心理学部の 5 学部を有し、大学院においては、総合政策研究科、心理学研究科の 2 研究科からなる文系総合大学である。

上記のような教育理念に基づき教育を展開してきたが、高等教育に対する社会的要請の多様化、学生の多様化、学生受入れ状況の変化、大学設置基準の大綱化、大学個性化の要求、キャリア教育の重視、教育の質的保証など、大学を取巻く状況は激変した。

このような時代の変化に対応しつつ、駿河台大学の愛情教育を実現するために「ひとりひとりの学生をありのままにみつめ、ひとりひとりの夢とその歩みを支援し自立を促す教育」を行い、グローバル化の著しい現代社会における地域社会の諸活動の中で中核的役割を担う幅広い人材を育成することを目指し、平成 24 (2012) 年度に駿河台大学憲章(表 1)を制定し、社会的に果たす役割を以下のとおり明らかにしている。

表 1 駿河台大学憲章

◇私たちのめざす教育

- ひとりひとりの多様な個性と夢を尊重し、真摯に向き合い、ともに学ぶ教育環境を創ります。
- 変化の著しい社会において、自立的かつ主体的に生きることのできるひとを育みます。
- 常にグローバルな視野に立って、地域社会の未来を担えるひとを送り出します。

◇私たちのめざす研究

- 学問の進歩に貢献する質の高い研究を行い、その成果を教育及び社会に積極的に還元します。
- 文系総合大学として学際的な研究を充実させ、人類の進歩と平和に貢献する研究を行います。
- 地域の課題解決に資する研究を通じて、地域社会の発展に寄与します。

◇私たちのめざす地域との協働

- 地域に根ざした大学として、豊かな自然・文化に育まれた「地域の教育力」を尊重します。
- 地域社会と協力しながら、まちづくり・ひとづくり・ものづくりに積極的に取り組み、地域社会の活性化に努めます。
- 地域の「知の核」として、社会人の再学習や生涯学習の機会を提供し、地域社会の発展に貢献します。

こうした本学の建学の精神による教育理念と、その実現に向けた改革のあり方は、平成 26 (2014) 年度に行われた大学基準協会による認証評価においても、適合との認定評価を受け、本学の教育理念と教育目的が社会的に認知されたものといえる。現在では全学共通の「地域科目」を設置し、学生たちの学ぶ場が地域にまで拡充するなど、年々多様な分野で地域社会との連携が増しており、地域の発展にかけがえのない大学として位置づいている。

平成 9 (1997) 年 4 月に、既設の現代文化学部は「国際化という時代の動向に配慮した教育」という目標を人文科学の領域において実現すべく、比較文化学科のみの単学科学部として開設された。その後幾度かの組織再編を経て、平成 21 (2009) 年には現代文化学部は、「現代の文化」を観光やスポーツを含めてより広く教育研究の対象とする「現代文化学科」として再編を行い、比較文化コース、観光ホスピタリティコース、スポーツ文化コース、スポーツキャリアコースの 4 コースを有する単学科に改編した。

平成 30 (2018) 年度において、現代文化学部では 1 年次生 192 人のうち 76.5% の 147 人が「スポーツ文化コース」か「スポーツキャリアコース」を志望する状況となり、スポーツに対するニーズは益々高まる状況にある。(資料 1 「既設の学部(現代文化学部)のコース志望状況」)

また近年、スポーツの分野においては、本学の学生及び卒業生が夏季オリンピック(カヌースラローム=北京大会 1 人、ロンドン大会 2 人、リオデジャネイロ大会 2 人)、冬季オリンピック(カーリング、平昌大会 1 人)及び冬季パラリンピック(アイススレッジホッケー=バンクーバー大会 1 人、スキーアルペン=バンクーバー大会 1 人、ソチ大会 1 人、平昌大会 1 人)に選手として出場し、冬季パラリンピックにおいては、金・銀・銅すべてのメダリストを輩出し、国際競技大会は元より国内競技大会に出場し、多数のアスリートが目覚ましい活躍をしている。このような中、本学は平成 26 (2014) 年 7 月に文部科学省よりスポーツ功労団体表彰を受けており、来たる東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、大会組織委員会と連携協定を締結し、平成 28 (2016) 年 11 月制定の本学の中期計画「駿河台大学グランドデザイン 2021」においてスポーツ教育の推進を謳うなど、今後も全学を挙げてスポーツ支援・振興に努めていく所存である。(資料 2 「駿河台大学グランドデザイン 2021」及び概要図)

(2) スポーツ科学部の設置の趣旨

①社会的背景

平成 23 (2011) 年 6 月に公布された「スポーツ基本法」の基本理念において、スポーツの価値と役割が「青少年のスポーツが国民の生涯にわたる健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎となるものであるとの認識の下に、学校、スポーツ団体、家庭及び地域における活動を相互に連携」「地域において、主体的に協働することによりスポーツを身近に親しむことができるようにするとともに、スポーツを通じて、地域の全ての世代の人々の交流を促進し、交流の基盤を形成」「スポーツを行う者の心身の健康の保持増進、安全の確保」と規定されている。さらに、平成 29 (2017) 年度から開始された第 2 期スポーツ基本計画では、基本計画のポイントとして「スポーツの価値を具現化し発信」「スポーツの枠を超えて異分野と積極的に連携・協働」が挙げられ、「社会」を変える！共生社会、健康長寿社会の実現、経済・地域の活性化に貢献できる」と謳われている。このように近年では、スポーツを通じた地域の活性化に注目が集まっており、スポーツの貢献が期待される領域は着実に増え続けている。したがって、スポーツに関わる多様な領域において、スポーツの意義や価値を理解した上で、スポーツの指導やスポーツを通じた社会貢献ができる人材が強く求められていると言えよう。

一方、我が国の少子高齢化は先進諸国の中でも深刻な状況にあり、すでに地方自治体の崩壊は現実の問題となっている。少子化は税収の減少を意味し、高齢化は医療費の増大を意味すると考えなければならない。このような状況において楽しみながら身体を動かし、心身の健康増進を図るスポーツにこれまで以上に大きな期待が寄せられている。高齢者の問題は国家課題となり、スポーツが単に健康

的な老後を支える身体の保証にとどまらず、健康で文化的な生きがいのある生活を送るためにスポーツが位置づくことが求められている。

また、青少年の体力状況は決して芳しいものではない。このような中、従来に増して学校教育における保健体育活動及びスポーツには重要な役割が期待されているといわねばならない。

国は、人口減少の状況の中地方の経済の破綻や過疎化といった課題を解決する方向として「まち・ひと・しごと創生総合戦略（2017改訂版）」（閣議決定）を示し、とりわけ「地域創生の深化に向けた施策の推進（政策パッケージ）」[1. 地域に仕事を作り、安心して働けるようにする（イ）観光業を強化する地域における連携体制の構築]、[4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する（ア）まちづくり・地域連携、（カ）健康寿命をのばし生涯現役で過ごせるまちづくりの推進]を重要施策の柱として示している。平成28（2016）年にスポーツ庁は、文化庁、観光庁と、スポーツ・文化・観光の3つを密接に融合させ発展させることにより、新たな地域ブランドや日本ブランドを創出し、観光振興、地域振興を推進しようとする包括連携協定を締結している。この協定により、スポーツ文化ツーリズムが提唱・推進され、「スポーツ文化ツーリズム百選」が選定されたことは注目すべきことである。

このように、スポーツ及びスポーツが関連する領域と連携しながら地域振興等を推進することが期待されており、社会からスポーツへの要請はますます高まりつつある。

②スポーツ科学部設置の必要性

前述したように、今日の社会において、生涯にわたる健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくみ、共生社会、健康長寿社会、経済・地域活性化を実現することが求められているといえよう。スポーツはその実現に大きく貢献することが求められ、期待されている。

このことは、スポーツが本来的に自律的・自発的な文化行為であるがゆえに、多くの人々が継続的に親しむことにより、社会課題の解決に結び付くものである。

総務省「国勢調査」及び「社会生活基本調査」によれば、総人口に占める高齢者の割合は27.3%（平成28（2016）年）であり、内閣府「生涯学習に関する世論調査」（平成30（2018）年）において「今後学習したい内容」のトップに健康・スポーツがあげられ、60～69歳で39.8%、70歳以上で28.9%となっている。また、文部科学省の「体力・スポーツに関する世論調査」（平成25（2013）年）においても週3日以上スポーツを実施する高齢者の割合は増加している傾向がうかがえる。このように、高齢者のスポーツニーズは高く、適切な指導ができるスポーツ指導者が求められている。また、今後我が国の高齢化は更に加速していくと推測されることから青少年期からの運動習慣の形成は重要といえ、生涯スポーツの視点を有した教師や青少年期を対象とする地域スポーツ指導者の育成は、高齢化時代においても同様に必要な人材として求められている。

また、地方自治体の人口減少による地域や産業の衰退が叫ばれる中、スポーツ庁と経済産業省は「スポーツ未来開拓会議」（平成28（2016）年）を設置し、スポーツへの国民の関心、企業等の投資意欲、スポーツを通じた地域・経済活性化への期待を高めることを目指している。さらに政府は「日本再興戦略2016」の施策としてスポーツの成長産業化を掲げ、日本の成長の柱としてスポーツを位置づけている。このような中、飯能市からの本学スポーツ科学部スポーツ科学科の設置についての嘆願書にあるように地方自治体においてスポーツは、地域振興や人口構成問題においても有用であり、喫緊の課題及び長期的な課題の解決のためにも、当該自治体の課題を選定し解決できる能力を有した人材を求めていることは明らかであり、大きな需要があるといえる。（資料3 駿河台大学スポーツ科学部スポーツ科学科の設置について（嘆願））

そのために、前述した社会課題を踏まえ、今日の社会においては、スポーツ実施者の年齢にかかわらず健康に寄与するスポーツを指導できる者、青少年の体力低下が指摘される中において、保健体育活動として生涯スポーツの視点からスポーツを指導できる教師や学校と地域との連携の中で運動部活

動等において外部指導者としてスポーツを指導できる者、地域の活性化にスポーツを結びつけることができる者等の養成や社会的環境の形成が求められている。このことにより、すべての国民が健康で文化的な生きがいのある生活を送ることのできる社会の実現が可能となる。

こうした社会の実現に貢献するために、本学にスポーツ科学の専門的知識と技能の形成を行うためのスポーツ科学部を設置する。

また、本学はこれまで地域に開かれた大学として、大学の資源を地域に開放するとともに、地域の中で学生を育ててきたという実績を有している。飯能市からは、スポーツ科学部の設置は国民の豊かで健康な生活を送ることに寄与し、生き生きとした活力ある社会の醸成を目指す時代の要請に合致するものであり、スポーツ分野における市民の要望が多様化する中で、幼少期からの身体運動の習慣化、中・高年期への健康づくりの推進など、スポーツ科学部の設置により、更に大学と市との連携協力を推進していくことに期待が寄せられている。とりわけ、飯能市は「誰もがスポーツ・レクリエーションに親しみ、主体的に健康づくりが進められるよう生涯スポーツの振興を図る」ことを施策として掲げていることから、スポーツ科学部の設置は地域の要請を強く受けたものであり、地域に開かれた大学としてさらなる責務を果たすことになる。

これまで本学では、スポーツ教育センターを中心に学生スポーツの振興、地域とのスポーツ・健康の連携事業を行ってきた。これらの実績を更に深化させるとともに、本学の教育・研究の発展及び地域への貢献を行うために、本学の教育・研究領域の主軸の一つとしてスポーツ科学を位置づけ、社会からの要請に応えるべく、駿河台大学憲章を実現するものとして新たにスポーツ科学部を設置する。

③スポーツ科学部の教育研究上の目的

スポーツ科学部においては、健康で文化的な生きがいのある生活を送ることができ、社会を構築するために、スポーツ科学の理論的な知識に基づき教育研究をすることにより、学校、地域及びスポーツが関連する領域において、今日のスポーツの意義や価値をふまえ、健康の維持増進、生涯スポーツ時代の青少年のスポーツ教育又は地域の活性化に貢献することを目的とする。また、このことは本学学則第3条第2項第5号に定めている。

④中心的な学問分野

スポーツ科学部では、教育研究上の目的を達成するために、スポーツ科学を自然科学、人文科学、社会科学からなる総合科学として位置づける。競技力を向上させるためのスポーツ医科学領域に特化した視点ではなく、広範な社会課題の解決にスポーツが貢献するための総合科学的な視点としてのスポーツ科学である。

スポーツ科学部ではスポーツ科学の基礎的な領域を運動生理学、スポーツ・バイオメカニクス、スポーツの測定評価（自然科学領域）、スポーツ哲学、スポーツ史、スポーツ教育学（人文科学領域）、スポーツ社会学、スポーツ・マネジメント（社会科学領域）とし、更に人材養成において必要な知識や技能を修得するために、スポーツ科学の学問的蓄積に応じた学問領域を応用して教育研究を行う。

⑤養成する人材像

スポーツ科学部では、健康で文化的な生きがいのある生活を送ることができ、社会を構築するために、スポーツ科学の理論的な知識に基づき、学校、地域及びスポーツが関連する領域において、今日のスポーツの意義や価値をふまえ、健康の維持増進、生涯スポーツ時代の青少年のスポーツ教育又は地域の活性化に貢献できる人材を養成する。

具体的には、スポーツ科学の知識と技能を有した中学校・高等学校における教科としての保健体育と運動部活動を担う教師及び外部指導者としてのスポーツ指導者、高齢化時代の成人を対象とする健

康の維持増進に貢献するスポーツ指導者、スポーツを地域振興に活用できる政策立案者等の養成を目指す。

そのため、本学部により養成された人材は、以下のディプロマポリシーで示す知識と技能を備えていることが求められる。

【ディプロマポリシー】

全学共通に定める「駿大社会人基礎力（①基礎的な力、②考える力、③行動に移す力、④協働する力、⑤総合的な力）」の修得に加えて、以下に示した学部教育を通じて培った知識と技能を身につけた者に学士（スポーツ科学）の学位を授与する。

- ①スポーツの意義や価値について理解している
- ②スポーツ科学の理論的な知識を理解している
- ③スポーツ科学の理論に基づいてスポーツを指導する能力を有している
- ④学校、地域等でスポーツを企画・指導する能力を有している
- ⑤生涯スポーツ時代に対応する青少年のスポーツ教育、高齢化時代に対応するスポーツによる健康の維持増進又は地域振興に活用する知識を有している
- ⑥修得した知識を組み合わせた総合的な視点からスポーツをとらえ、課題を発見し解決する能力を有している
- ⑦主体性、積極性、協調性、リーダーシップ等の他者と協働するために必要な適性を有している

想定される卒業後の進路先は、以下のとおりである。

公共スポーツ施設・民間スポーツクラブ・健康増進施設・スポーツ団体などの指導者、中学校・高等学校における指導者（保健体育教員）、スポーツ教育関連企業の社員、地域スポーツの指導者、健康スポーツの指導者、地域の政策立案者（公務員）、NPO等の職員、JA等の地域拠点企業の職員、スポーツツーリズム等の観光産業の従事者、スポーツ施設の運営・管理者等

2. 学部・学科等の特色

（1）本学の機能

本学はこれまで課外活動であるスポーツ活動に力を入れ、施設の充実はもちろんのこと、前述したようにこれまで多くのトップアスリートを輩出し、選手の育成を行ってきた。そのようなスポーツ実績を踏まえ、今後は、スポーツ科学の成果に立脚した健康の維持増進、生涯スポーツ時代の青少年のスポーツ教育又は地域の活性化に貢献できる人材の育成に努める。

また、従来からの大学の機能の一つである社会貢献は更に推進していくことになる。本学が位置する飯能市では、豊かな自然環境という地域の資源とスポーツとを結びつけることによって新たなスポーツ・観光資源を生み出し、地域振興に役立てるという取組が行われている。本学部で行う地域の活性化に関する教育・研究は、以上のような地域の取組に更に貢献するものである。

これらを踏まえ、本学部は中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」が示す「幅広い職業人養成」、「総合的教養教育」及び「社会貢献機能（地域貢献）」の機能を有し、特色の明確化を図ることとする。

(2) スポーツ科学部の特色

これまで本学は、法学部、経済経営学部、メディア情報学部、心理学部を有し、地域社会への貢献や社会における有用な人材の育成のために専門教育を施してきた。

スポーツ科学部は、スポーツ科学を専門的に教育・研究することにより、地域社会で中核的な役割を担う人材養成を行うものである。具体的には、スポーツ科学の理論的知識に基づき、学校、地域及びスポーツが関連する領域において、今日のスポーツの意義や価値を踏まえ、健康の維持増進、生涯スポーツ時代の青少年のスポーツ教育又は地域の活性化に貢献できる人材を養成する。したがって、中央教育審議会の答申「我が国の高等教育の将来像」の提言する「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」に即するならば、「特定の専門的分野（芸術、体育等）の教育・研究」の機能を有することになる。

3. 学部・学科等の名称及び学位の名称

(1) 学部・学科の名称

スポーツ系学部の名称が体育学部からスポーツ科学部へと変遷しており、スポーツを対象とする学問表記がスポーツ科学として用いられていることから、本学部の設置の趣旨・目的を端的に示す名称として、国際的な通用性に留意し、学部学科名称を「スポーツ科学部スポーツ科学科」とする。

学部の英訳名称は、「スポーツ科学部：Faculty of Sport Science」とし、学科英訳名称も「スポーツ科学科：Department of Sport Science」と同一表記とする。

(2) 学位の名称

スポーツ科学を学修していくことから、国際的な通用性に留意し、「学士（スポーツ科学）」とする。また、学位名称の英訳名称は「Bachelor of Sport Science」とする。

4. 教育課程の編成の考え方及び特色

(1) 教育課程の基本方針（資料4 スポーツ科学部カリキュラムツリー）

本学部の教育課程では、教育研究上の目的と養成する人材像に基づき、ディプロマポリシーにおいて求める知識と技能を身につけるための基本方針を定める。

そのため、この本学部の理念に即したカリキュラムポリシーを以下のとおり設定し、教育課程を編成する。

【カリキュラムポリシー】

1. 全学共通に定める「駿大社会人基礎力」を修得するための科目を「共通教養科目群」とし、スポーツ科学の理論的な知識や成果を学習する講義科目及びスポーツの実践力、指導力、企画力等を養う実習科目を「専攻科目群」とし、修得した知識を組み合わせた総合的な視点からスポーツをとらえ、課題を発見し解決する能力を養う科目を「演習科目群」として教育課程を編成する。

なお、履修方法としては、 Semester制を導入し、履修モデルを提供し、それに相応しい科目の履修を可能とする。

2. 教育課程を以下の科目に分類し、必要な科目を配置する。

<共通教養科目群>

- ①教養基礎・教養発展科目には基礎的な教養知識・技能を身につけるとともに、現代社会の様々な課題を考察するための科目、地域科目には地域社会を理解し実践的に学ぶための科目を配置
 - ②外国語科目には、外国語の運用能力と異文化理解を高めるための科目を配置
 - ③キャリア教育科目には、社会人としての就業意識や職業理解を高めるための科目を配置
- <専攻科目群>
- ④専攻導入科目には、専攻科目を学ぶ上での入門的な知識・技能を身につけるための科目を配置
 - ⑤専攻基幹科目には、講義科目としてスポーツ科学の基幹的な知識を身につけるための科目及び実技科目としてスポーツの技能を身につけるための科目を配置
 - ⑥専攻発展科目には、健康の維持増進に寄与するスポーツに関する知識を有するための科目、生涯スポーツ時代に対応する青少年のスポーツ教育に関する知識を有するための科目、スポーツを地域振興に活用する知識を有するための科目を配置
3. 少人数によるゼミ教育は、3年次の「ゼミナールⅠ・Ⅱ」、4年次の「ゼミナールⅢ・Ⅳ」を配置し、一貫性のある総合的な学習を保証する。
 4. スポーツ科学の理論的学習を基礎として、スポーツの実際を学校、地域等のスポーツ現場で体験するための科目として、3年次に「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」を配置する。
 5. 各科目における講義内容・到達目標・学位授与方針との関連・成績評価方法をシラバス等で明示したうえで、公正かつ厳正に評価を行う。

(2) 教育課程の特色

①教育課程の構造 (資料5 スポーツ科学部の卒業要件)

本学部の教育課程は、全学共通の「共通教養科目群」と学部独自の「専攻科目群」「演習科目群」とに大別する。専攻科目群は、「専攻導入科目」「専攻基幹科目」「専攻発展科目」から構成する。「専攻導入科目」には、専門教育への興味関心を喚起し専門教育課程への移行をスムーズにするための科目を、「専攻基幹科目」にはスポーツ科学の基礎となる講義と実技科目を、「専攻発展科目」には学生の将来の職域と関連して専門の学芸を教授する科目を配置し、選択する。「演習科目群」は修得した知識を組み合わせた総合的な視点からスポーツをとらえ、課題を発見し解決するための科目としてゼミナールを配置している。総じてスポーツ科学の基礎的な理論的知識を修得するために必要と考える主要な科目を必修科目とし、学生の将来の職域に関連する科目を選択必修科目として配置している。

②共通教養科目群

中央教育審議会答申(「新しい時代における教養教育の在り方について」(平成14年2月21日))でも示されたように、グローバル化が進む中で、他者や異文化、更にはその背景にある宗教を理解することの重要性が一層高まるなど、世界的広がりを持つ教養が求められている。そのためには、幾多の歳月をかけてはぐくまれてきた我が国の伝統や文化、歴史等に対する理解を深めるとともに、異なる国や地域の伝統や文化を理解し、互いに尊重し合うことのできる資質・態度を身につける必要がある。本学の共通教養教育は、4年間の学修の基礎となる知識や技能と、地域社会の中核を担う社会人としての基礎となる知識や技能を、バランス良く身につけることができる内容として「駿大社会人基礎力」を構成している。

本学の教養課程は、共通教養科目群を「教養基礎科目」「教養発展科目」「地域科目」「外国語科目」「キャリア教育科目」から構成し、社会で活躍するための5つの能力と16個の能力要素からなる「駿大社会人基礎力」を培うことをその狙いとし、大学教育の重要な柱としている。

中央教育審議会答申における教養教育の重要性に鑑み、その核とすべく「教養基礎科目」と「教養発展科目」を設けている。「教養基礎科目」は主に1年次で履修し、4年間の大学教育の土台を築くと

ともに、善良な社会人あるいは21世紀型市民に必要な知識の幅を広げ、柔軟な思考力を養うことを狙いとしている。また、「教養発展科目」は主に2・3年次で履修し、「教養基礎科目」で培った幅広い分野にわたる基礎的な知識を基に、現代社会の様々な課題に対する分析や考察を行うことを目指している。

併せて、地域社会に根ざした大学として特色ある教育を実践するため「地域科目」を設け、地域社会で活躍できる人材の育成を図っている。

加えてグローバル化の著しい現代社会に対応するための基礎的な能力として外国語能力を重視し、第一外国語として英語（留学生は日本語）を必修とし、更に第二外国語として、第一外国語及び母語を除く1言語をドイツ語・フランス語・中国語・韓国語の中から一つ選び、1年次の必修科目としている。2年次には、第一外国語又は第二外国語として選択したいずれかの言語を選択必修としている。また留学生のための「日本語ⅠA」、「日本語ⅠB」、「日本語ⅡA」、「日本語ⅡB」、「日本語ⅢA」、「日本語ⅢB」を配置し、留学生の日本語能力の向上及び日本理解について配慮している。

さらに、「キャリア教育科目」においては、大学卒業後の就職に偏ることなく、今後どう生きていくかをデザインできるよう、体系的で効果的なキャリア教育を実現すべく、アクティブ・ラーニング型の授業科目を配置している。

共通教養科目群の必修科目は、「教養基礎講座」、「プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、「コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ」、「キャリア基礎Ⅰ」「キャリア実践論Ⅰ」、外国語科目、「健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ」である。

教養基礎科目の「健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ」は、専門教育課程への動機づけとスポーツの楽しさを体験することを目的に、「プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」は大学での学修において必要な読む、書く、まとめる、発表する等の基礎的な能力を形成することを目的に必修科目として配置している。

キャリア教育科目では、ケースを用いた話し合い学習を展開し、2年次に向けて今後のキャリアを自ら省察することを目的に、1年次前期に必修科目として「キャリア基礎Ⅰ」を配置している。

③専攻科目群

専攻科目群は、スポーツ科学を学ぶ導入的な科目として「専攻導入科目」を、スポーツ科学の基幹的な知識を幅広く身につけるための講義科目及びスポーツ科学の理論に基づいて、スポーツの技能や指導法を習得するための実技科目を「専攻基幹科目」に配置している。さらに職域を踏まえ、その目的に応じて必要となる専門的知識の獲得をするための科目として「専攻発展科目」を配置している。専攻科目群はスポーツ科学の成果を幅広く身につけるための科目を配置するとともに、学生が将来の職域を踏まえ、目的や興味関心に応じて適切な学習を行うことができるように科目を配置している。

また、スポーツ科学の主要科目である実技科目では、修得した技能を指導者としての指導理論とするための講義科目を配置して、技能と理論の連結を求めている。（次頁の図1 スポーツ科学部の学びの概念図参照）

ア 必修科目

(ア) 専攻導入科目 (全 7 科目 13 単位必修)

本学部の全学生が身につけるべきスポーツを専門に学ぶための導入科目として、1年次前期に「スポーツ科学入門 A」、「スポーツ科学入門 B」を配置している。この科目は、スポーツを自然・人文・社会科学の視点からとらえ、スポーツ科学の広がりを理解し、2年次から自身の職域選択によって科目の履修が大きく変わること認識するための科目としている。

「スポーツ科学入門 A・B」でのスポーツ科学の広がり学びを踏まえ、専攻基幹科目につなげるための専攻導入科目として、スポーツの意義や価値をスポーツの自然科学的視点から理解するために1年次後期に「トレーニングサイエンス」、健康の視点から理解する科目として「ヘルスサイエンス」、そして人文・社会科学的視点からスポーツの文化的意義や価値について理解するための科目として「スポーツ文化論」を配置している。

また、専攻基幹科目としての専門実技の学習が1年次（専門実技における専攻導入科目として、スポーツの基本的な運動を「専門実技（ジョギング・ウォーキング）」「専門実技（体づくり運動）」として位置づけ配置する）から始まる事を踏まえ、スポーツ実技における安全の重要性及び傷害発生時における対処ができるように、1年次に「救急処置法」を配置している。

スポーツが協働的活動を多く伴いコミュニケーション能力が求められることや、大学での学びにおいて協働性やコミュニケーション能力が基礎的な能力として重要なことから、チームワークや集団的行動の実際を体験的に学ぶ科目として「チームビルディング」を1年次前期に配置している。

(イ) 専攻基幹科目 (講義科目 全 8 科目 16 単位必修、実技科目 5 科目 5 単位選択必修)

スポーツ科学の理論的な知識を理解するために、スポーツ科学の広がり日本体育学会の専門分科会の領域等を踏まえ、8領域を必修科目として設定し、また職域との関連から9領域を「専攻発展科目」として選択必修科目として配置することにより、スポーツ科学の基本となる理論的な知識の獲得を保証している。

2年次にスポーツ科学の基幹的な知識を身につけるための科目として、専攻基幹科目（講義科目）を置く。スポーツを自然科学的視点から理解する科目として、運動の生理学的な機能を明らかにする「運動生理学」、スポーツを力学的な機能から解明する「スポーツ・バイオメカニクス」、身体の生理的機序や力学的な現象を数量的把握する「スポーツの測定評価」、またスポーツを人文科学的視点から理解するための科目として、スポーツの成り立ちを歴史的に解明する「スポーツ史」、スポーツの教育的価値や課題について考える「スポーツ教育学」、スポーツの価値や意味づけを問う「スポーツ哲学」、更にスポーツを社会科学的視点から理解するための科目として、スポーツの社会的機能や役割をひも解く「スポーツ社会学」、スポーツの組織構造や制度を理解する「スポーツ・マネジメント」を必修科目として配置している。

スポーツ科学の理論に基づいて、スポーツを実際に行いスポーツの技能や指導法を習得するための科目として、専攻基幹科目（実技科目）を置く。そのうち基本的な身体活動である走ること、歩くことやからだの動きや使い方に関わる「専門実技（ジョギング・ウォーキング）」「専門実技（体づくり運動）」を専門実技の導入科目として1年次に位置づけている。専門実技科目は、今日広く一般的に実施されて、地域の特性において必要と考えるスポーツ種目を、個人を単位とするスポーツ種目群（「専門実技（陸上競技）」「専門実技（器械運動）」「専門実技（水泳）」「専門実技（体力トレーニング）」

「専門実技（柔道）」「専門実技（ダンス）」「専門実技（フィットネス A）」「専門実技（フィットネス B）」、集団を単位とするスポーツ種目群（「専門実技（サッカー）」「専門実技（バレーボール）」「専門実技（バスケットボール）」「専門実技（テニス）」「専門実技（ホッケー）」「専門実技（ラグビー）」、自然の中で活動するスポーツ種目群「専門実技（自然活動 A）」「専門実技（自然活動 B）」「専門実技（自然活動 C）」「専門実技（プロジェクト・アドベンチャー）」「専門実技（アクア・マリンスポーツ）」

ツ)」「専門実技 (パドルスポーツ)」「専門実技 (スキー・スノーボード)」として2・3年次に配置し、各群からの選択必修にすることにより、広くスポーツの技能及び指導する方法を修得できるようにしている。なお、本学の立地する埼玉県西部の自然豊かな地域性や飯能市のスポーツ実施状況に鑑み、「自然活動」「プロジェクト・アドベンチャー」「パドルスポーツ」「ホッケー」等、特徴的な実技科目を配置している。

(ウ) 専攻発展科目 (5科目 10単位選択必修)

また、スポーツ科学の理論的知識を形成する「専攻基幹科目」の学修を踏まえ、学生のキャリア形成との関連から、学校、地域及びスポーツが関連する領域において、健康の維持増進、生涯学習時代の青少年のスポーツ教育又は地域の活性化に求められるスポーツ科学の理論を修得するための選択必修科目を「専攻発展科目」に配置している。スポーツの意義と健康に及ぼす効能について理解し、青少年を含む幅広い年齢層の人々に対して、その目的に応じて適切かつ効果的な実践方法を指導することができるように、生涯スポーツ時代に対応する健康増進の意味を健康の側面から考察する科目として「健康と文化」(2・3年次前期)を、また実際の心身の状況を理解するために「健康とスポーツの医学A」(2年次後期)、「スポーツ生理学」(2・3年次前期)、「スポーツ心理学」(2年次後期)を、身体の状況を把握する方法を修得する科目として「スポーツ測定法」(2年次後期)を配置している。また、運動の様式や構造を理解するために「運動学」(2年次後期)、生涯学習時代のスポーツのあり方を理解するために、生涯スポーツの意義や価値を考える「生涯スポーツ論」(2・3年次後期)、政策や制度の視点からスポーツを理解する「スポーツ政策論」(2・3年次前期)、近代スポーツから地域に根付くマージナルスポーツの価値を理解する「スポーツ人類学」(2・3年次後期)を配置し、スポーツ科学の理論的な修得を目指す。

イ 選択科目(職域と関連する主な科目を中心に記載)

選択科目は、ディプロマポリシーを達成するために設定されたカリキュラムポリシーより編成され、学生のキャリア形成において必要な科目を「専攻発展科目」として配置している。履修指導の際には、目指す職域においてどのような学習を求めるかについて履修モデルを提示し、学習計画をフォローする。

専攻発展科目の選択必修科目である「スポーツ生理学」「健康とスポーツの医学A」「健康と文化」の学びを踏まえ、健康の維持増進の理論と技能の修得を目的として、スポーツを栄養学の視点から栄養摂取と運動の関係を理解する科目「スポーツ栄養学」(3年次前期)、身体の構造と機能から理解する「解剖生理学」(3年次前期)、スポーツを医学的側面から理解する「健康とスポーツの医学B」(3年次前期)、身体の状況からスポーツの運動処方を考える「運動処方論」(3年次前期)、加齢に伴う身体の状況と適切な運動・スポーツの考え方を理解する「加齢とスポーツ」(3・4年次後期)を配置している。また、スポーツと身体の関係及び身体の状況を把握することを目的に、スポーツ生理学、スポーツ・バイオメカニクス及びスポーツ心理学的な側面から身体を計測する「スポーツ測定法実習」(3年次前期)、「スポーツ心理学実習」(3・4年次前期)を配置している。これらの学修は、身体の状況を把握し運動をデザインする「コンディショニング論」(3・4年次後期)「健康運動プログラムの作成」(3・4年次後期)、健康・体力作りのための指導方法を修得する「健康・体力づくり指導法」(3・4年次後期)とつながり、実際の指導内容の理論及び能力の形成科目として位置づいている。また、指導者としての理論及び技能の修得を図るために、専門実技科目での技能の修得を指導の理論化とするための科目として性格づける「スポーツコーチング論」(3・4年次後期)「スポーツ指導者論」(3・4年次後期)「アスレティックトレーナー論」(3・4年次前期)を配置することにより、スポーツ科学での学びを職域の能力として形成することを意図している。

専攻発展科目の選択必修科目である「生涯スポーツ論」「運動学」の学修を踏まえ、生涯学習時代の青少年のスポーツ教育を担う保健体育教師、地域や運動部活動（派遣スポーツ指導者）のスポーツ指導者に求める理論の修得を図るために、青年期の子どもの子の身体の発育状況と運動発達との関係を考える「発育・発達とスポーツ」（3・4年次後期）、生涯学習時代の社会状況とスポーツの価値を考える「生涯学習論」（3年次前期）、教育の役割と教育が文化（スポーツを含む）をとらえる視点について理解する「教育と文化」（3年次前期）、身体の文化性を理解するための「身体文化論」（3・4年次前期）を配置し、保健体育教師や青少年の地域スポーツ指導者において求める幅広い知識の修得を目指す。

また、保健体育教師において必要な学校における衛生及び学校保健の知識を修得するために、「衛生学・公衆衛生学」（3年次前期）、「学校保健」（3・4年次後期）を科目として配置している。さらに、教師という職業において求める法令を守ることの意味や重要性について理解する「教育と法」（3・4年次後期）、健常者のみならず障がい者が共に生きるスポーツ社会を理解するための科目として「アダプテッドスポーツ論」（3・4年次前期）を配置している。

保健体育教師を目指す場合は、これら本学部が求めるスポーツ科学の視点からの学修に加え、国が定める教職科目の修得が必要となる。

専攻発展科目の選択必修科目である「スポーツ政策論」「スポーツ人類学」の学修を踏まえ、少子高齢化時代の地方コミュニティにおいて、スポーツを活用した地域振興にスポーツの多様な楽しさや有用性を伝え、政策立案できる人材を目指して、スポーツの文化としての多様な価値と機能を資源としてとらえる「文化資源とスポーツ」（3・4年次前期）、スポーツを余暇の活動として理解する「レクリエーション論」（3・4年次前期）、自然環境を資源としたアウトドア活動を含む観光の在り方を理解する「エコツーリズム論」（3・4年次後期）の学修から、観光領域におけるスポーツの可能性を考え、スポーツが観光資源として成立し、地域振興の手段として位置づくことを理解する科目として「スポーツ・ツーリズム論」（3・4年次後期）を配置している。

また、スポーツを文化的側面から紐解き、地方に多くの外国人が訪問、定住する実態を踏まえ、地域振興におけるスポーツの意味を文化の視点から考える「異文化とスポーツ」（3・4年次前期）、国際交流の意味をスポーツの視点から考える「国際交流とスポーツ」（3・4年次後期）を配置している。

ウ 実践教育

これまでのスポーツ科学の理論的学修を基礎として、スポーツの実際を現場で体験することを意図し、実践教育科目として3年次後期に選択必修科目として配置している。

これらの実習は、学校、地域及びスポーツが関連する領域において、健康の維持増進、生涯スポーツ時代の青少年のスポーツ教育又は地域の活性化に貢献できる人材を養成することを目的に、学外での実践教育として、その人材養成の目的に応じて「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」を配置している。

養成する3つの人材像に対応するために、これらの実習で身につける能力は、次のとおりである。

「スポーツ健康実習」…「健康の維持増進に貢献できる人材」の養成に対応するため、幅広い人々に対して健康に寄与するスポーツの場における課題を克服する方策を考察し、企画・指導する能力

「スポーツ教育実習」…「生涯スポーツ時代の青少年のスポーツ教育に貢献できる人材」の養成に対応するため、教育現場や青少年の生涯スポーツの場における課題を克服する方策を考察し、企画・指導する能力

「地域スポーツ実習」…「地域の活性化に貢献できる人材」の養成に対応するため、地域における多様なスポーツの場で生じる課題を克服する方策を考察し、企画・指導する能力

そこで、上記実習において効果的に能力を身につけるために、実習前（3年次前期）までに履修すべき専門科目に関する履修条件を設定している。

- ①専攻導入科目のすべて（7科目 13単位）を履修していること
- ②専攻基幹科目（講義科目）のすべて（8科目 16単位）を履修していること
- ③専攻基幹科目（実技科目）のうち「ジョギング・ウォーキング」又は「体づくり運動」のいずれか1科目を含む3科目 3単位以上を履修していること
- ④養成する3つの人材像に基づく進路に対応する以下の科目を履修していること
「スポーツ健康実習」…専攻発展科目の選択必修科目「スポーツ生理学」「スポーツ測定法」「健康とスポーツの医学A」「健康と文化」のうちいずれか2科目 4単位以上を履修していること
「スポーツ教育実習」…専攻発展科目の選択必修科目「健康と文化」「生涯スポーツ論」「運動学」のうちいずれか2科目 4単位以上を履修していること
「地域スポーツ実習」…専攻発展科目の選択必修科目「運動学」「スポーツ人類学」「スポーツ政策論」のうちいずれか2科目 4単位以上を履修していること

④演習科目群

演習科目については10名を標準としてクラス編成を行い、学生が主体的に授業に参加できるようにしている。

専門的ゼミ活動である3年次の「ゼミナールⅠ・Ⅱ」、4年次の「ゼミナールⅢ・Ⅳ」は、修得した知識を組み合わせた総合的な視点からスポーツをとらえ、課題を発見し解決する能力の獲得をめざす。3年次・4年次のゼミは同一の教員の下で学習することにより、一貫性のある総合的な学習を担保し、4年次では学習の成果として卒業研究に取り組む。さらに、10名を標準とするクラス編成にすることにより、丁寧できめ細やかな演習指導を保証する。

⑤取得可能な資格

すべての学生が、履修する単位により以下の資格を取得することを可能としている。

中学校・高等学校教諭一種免許状（保健体育）

健康運動実践指導者（公益財団法人健康・体力づくり事業財団）

スポーツリーダー（公益財団法人日本スポーツ協会）

トレーニング指導者（特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会）

グループエクササイズフィットネスインストラクター（公益社団法人日本フィットネス協会）

第一種衛生管理者（厚生労働省）

5. 教員組織の編成の考え方及び特色

(1) 教員組織編成の基本方針

本大学では、大学の理念・目的・駿河台大学憲章を理解し、並びに本学部の教育目標、学位授与の方針（ディプロマポリシー）に賛同し、これらの実現に向けて高い教育意欲と情熱を持って教育・指導に当たることのできる社会常識、専門的学問能力と確かな研究能力、高潔な倫理観及び豊かな人間性を備えた人材を以て教員組織を編成することを方針とする。

本学部では、1年次演習（統一シラバス、統一教材）、2年次演習（各教員の専門領域を教材とする教養的ゼミナール）、並びに3年次及び4年次生を対象とする演習を全て必修とし、専任教員が担当する。そのため、専任教員には専門領域に関する知識と研究能力ばかりではなく、広範な教養及び社会人としての常識を兼ね備えるとともに、多様な学生の幅広い興味や関心あるいは社会や時代のニーズにも対応した教育と指導ができることが求められている。また、専任教員は、大学・学部運営にも積極的に関わる方針となっており、組織的に業務が推進されている。

このような事を踏まえ、本学部の教員組織は、教育研究上の目的を達成し、養成する人材像を踏まえてスポーツ科学を自然科学、人文科学、社会科学からなる総合科学として位置づけて中核的な研究分野としていることから、設置の趣旨、スポーツ科学部の特色、教育課程に従って、以下の考えに基づいて教員組織の編成を行った。

- ①教員の年齢が偏ることなく、30代から60代にわたり、なるべく偏りなく配置する。
- ②スポーツ科学に関する教育・研究を行うために、スポーツ科学の自然科学・人文科学・社会科学の各領域を専門分野とする教員を配置する。
- ③健康の維持増進に関する研究を行い、スポーツ科学の理論に基づいた健康増進の知識・技能を教授できる教員を配置する。
- ④生涯スポーツ時代の青少年のスポーツ教育に関する研究を行い、スポーツ科学の理論に基づいた青少年のスポーツ教育の知識と技能を教授できる教員を配置する。
- ⑤地域と地域が抱える課題に関する研究を行い、スポーツを地域振興に活用する知識と技能を教授できる教員を配置する。
- ⑥スポーツが関連する社会の諸領域に関する研究を行い、現代社会の問題を多角的な視点から分析する知識と技能を教授できる教員を配置する。
- ⑦社会の諸領域に関する研究を行い、駿大社会人基礎力で求める広範な教養教育を教授できる教員を配置する。

なお、完成年度までに定年（65歳）を迎える者については、「学校法人駿河台大学教育職員定年退職者の再雇用に関する規程」に基づき、満70歳に達する日の属する年度末まで再雇用され、70歳を超えて雇用する教員については、同規程の附則に基づき、理事会決議により特に必要と認める再雇用教員として再雇用する。また、本学部の設置に当たっては、スポーツ科学の専門的知見を教授するために、他大学等での教育研究実績が豊富な者を雇用する必要があることから、定年年齢を超えた者2人を雇用する。定年年齢を超えて新任採用となる教員については、「駿河台大学教員任用規程」「駿河台大学有期雇用教職員就業規則（無期労働契約転換後の規定を含む）」に基づき、理事会決議により雇用する。なお、再雇用及び当該新任教員については、入試業務（出題・採点・監督等）及び委員会業務については免除する規定・契約となっている。（資料6「学校法人駿河台大学定年規程」「学校法人駿河台大学教育職員定年退職者の再雇用に関する規程」「駿河台大学教員任用規程」「駿河台大学有期雇用教職員就業規則（無期労働契約転換後の規定を含む）」）

(2) 教員組織の構成

①専任教員の年齢・領域の構成

本学部の完成年度における専任教員数は24人（教授11人、准教授9人、講師4人）であり、大学設置基準に定める必要専任教員数15人（うち教授8人）を上回っている。完成年度におけるその年齢構成は30～75歳の範囲でほぼ適正に分布しており、教授は51～74歳、准教授は41～64歳、講師は32～44歳と経験豊富な教員から若手教員までバランスのよい年齢構成により、教育・研究水準の維持・向上・活性化において支障のない年齢構成になっている。完成年度までに66歳を超える教員（定年を超える者）が4人いるが、いずれも本学規定に基づき理事会承認により、2人が再雇用の専任教員として、2人が定年年齢を超えての新任専任教員として配置することから、完成年度までの教員組織の維持に問題はない。これらの教員の後任については、授業の運営・引継が支障なくスムーズに行えるよう、専門領域等を勘案しながら、学部内の年齢層に偏りがないよう経験豊富な教員と若い教員をバランスよく採用補充していく予定であり、専任教員組織の継続性に問題はないと考える。

また、女性教員の割合は、24人中6人（教授2人、准教授3人、講師1人）構成比で25%となっている。女性教員の比率は若干少ない傾向にあるため、今後の人事において配慮すべき事項であると考えている。

専任教員24人の研究分野については、体育・スポーツ領域を専門とする教員が17人、スポーツに関連する領域を専門とする教員が5人となる。その他に全学共通系の教養科目を担当する教員が2人となる。

体育・スポーツ領域を専門とする教員17人の主な研究領域は、表2「専任教員24人の領域及び研究内容」に示すとおり、スポーツの自然科学系8人（教授4人、准教授4人）、スポーツの社会科学系5人（教授2人、准教授1人、講師2人）、スポーツの人文科学系4人（教授1人、准教授2人、講師1人）となっており、自然科学系にやや重点を置きつつも領域のバランスに配慮しており、各領域に教授及び准教授を配置している。スポーツの自然科学系を領域とする8人の主な研究内容は、「スポーツ科学」「スポーツ生理学」「スポーツ測定評価」「スポーツ医学」「アスレティックトレーニング」「スポーツ・バイオメカニクス」「健康科学」「労働衛生」「高齢者保健」「応用健康科学」であり、スポーツの社会科学系を領域とする5人の主な研究内容は、「スポーツ科学」「スポーツ政策」「体育科教育学」「スポーツ社会学」「スポーツ方法学」であり、スポーツの人文科学系を領域とする4人の主な研究内容は、「スポーツ科学」「スポーツ哲学」「身体教育学」「スポーツ教育学」「文化人類学」「スポーツ史」「スポーツ心理学」となっており、スポーツにおける広範な領域をカバーしている。

現代社会の問題を多角的な視点から分析するために必要なスポーツが関連する社会の諸領域を専門とする教員5人（教授3人、准教授2人）の主な研究領域・内容は、「教育学」「教育行政学」「教育法学」「教育政策」「教育制度」、更に「観光学」「地理学」「人文地理学」「比較文化学」「比較文学」となっており、いずれも専攻発展科目における科目担当者である。これらの領域は、スポーツの広がりの中で、関連する領域としての研究が必要であるからに他ならない。

全学での共通教養科目を主担当とする一般教養系を担当する教員2人（教授1人・講師1人）の主な研究領域・内容は、「倫理学」「日本倫理思想史」「地域研究」「社会学」「コミュニケーション学」である。

表2 専任教員24人の領域及び研究内容（構成比が高い領域分野順）

※年齢は就任時、ゴシック体は主要科目

領域	主な研究内容	氏名 (◎博士学位保有者)	職位	年齢	主な担当科目
スポーツ (自然科学系)	スポーツ科学 スポーツ生理学 スポーツ測定評価	吉野 貴順◎ 学部長	教授		スポーツの測定評価 スポーツ測定法
スポーツ (自然科学系)	スポーツ科学 スポーツ医学	坂本 静男◎	教授		スポーツと健康の医学A
スポーツ (自然科学系)	スポーツ科学 スポーツ医学 アスレティックトレーニング	鹿倉 二郎	教授		救急処置法 アスレティックトレーナー論
スポーツ (自然科学系)	スポーツ科学 スポーツ生理学	大森 一伸◎	教授		トレーニングサイエンス 専門実技 (サッカー) スポーツ生理学
スポーツ (自然科学系)	スポーツ科学 スポーツ・バイオメカニクス	久我 晃広	准教授		スポーツ・バイオメカニクス 専門実技 (ホッケー)
スポーツ (自然科学系)	健康科学 労働衛生 高齢者保健	信太 直己◎	准教授		ヘルスサイエンス 衛生学・公衆衛生学
スポーツ (自然科学系)	スポーツ科学 応用健康科学	丸藤 祐子◎	准教授		運動生理学 運動処方論
スポーツ (自然科学系)	スポーツ科学 身体教育学	飯田 悠佳子◎	准教授		救急処置法 学校保健 発育・発達とスポーツ
スポーツ (社会科学系)	スポーツ科学 政治学 スポーツ政策	時本 識資◎	教授		スポーツ・マネジメント 専門実技 (自然活動A) スポーツ政策論 チームビルディング
スポーツ (社会科学系)	スポーツ科学 体育科教育学	狐塚 賢一郎	教授		専門実技 (ラグビー) チームビルディング 生涯学習論
スポーツ (社会科学系)	スポーツ科学 スポーツ社会学 社会学	小丸 超◎	准教授		スポーツ社会学
スポーツ (社会科学系)	スポーツ科学 スポーツ方法学 (陸上競技)	邑木 隆二	講師		専門実技 (ジョギング・ウォーキング) 専門実技 (陸上競技)
スポーツ (社会科学系)	スポーツ科学 体育科教育学	鈴木 慶子	講師		専門実技 (体づくり運動)
スポーツ (人文科学系)	スポーツ科学 スポーツ哲学 身体教育学	大貫 秀明	教授		スポーツ哲学 専門実技 (ダンス) 身体文化論
スポーツ (人文科学系)	スポーツ科学 スポーツ教育学 体育科教育学	平野 和弘	准教授		スポーツ教育学
スポーツ (人文科学系)	スポーツ科学 文化人類学 スポーツ史	朴 周鳳◎	准教授		スポーツ文化論 スポーツ史 スポーツ人類学
スポーツ (人文科学系)	スポーツ科学 スポーツ心理学 心理学	田中 輝海◎	講師		スポーツ心理学 スポーツ心理学実習
スポーツ関連領域 (教育行政学)	教育学 教育行政学 教育法学	秋池 宏美	教授		教育と法
スポーツ関連領域 (教育学)	教育学 教育政策 教育制度	鶴海 未祐子◎	准教授		教育と文化
スポーツ関連領域 (観光学)	観光学 地理学	平井 純子	教授		レクリエーション論 エコツーリズム論
スポーツ関連領域 (人文地理学)	人文地理学 地理学	天野 宏司	教授		文化資源とスポーツ スポーツ・ツーリズム論
スポーツ関連領域 (比較文化学)	観光学 比較文学	小林 将輝	准教授		異文化とスポーツ
一般教養 (倫理学)	倫理学 日本倫理思想史	藤村 (岡田) 安芸子◎	教授		倫理学Ⅱ 日本の文化と倫理
一般教養 (地域研究)	地域研究 社会学 コミュニケーション学	MATTHEWS JOEL DAVID	講師		国際社会と日本 英語ⅡA・ⅡB

②専任教員の研究体制

研究活動を促進させるために、教育に関する研究に取り組むことを目的とした「教育研究センター」、地域の自治体、企業、学校、団体等との連携・協力を進めながら、地域活性化に向けて地域の強み、潜在力を引き出すための研究に取り組むことを目的とした「地域創生研究センター」を設置している。各研究センターが指定するテーマに関する指定型研究プロジェクト及び教員が自ら申請する公募型研究プロジェクトを運用することで、教育及び地域貢献の観点での研究活動への支援を行う。

また、幅広い視野から本学の研究力を高める特定の研究に対しては、特別研究助成費制度が設けられており、申請内容を審査の上、助成費を支給している。その他、出版に対する助成や国際会議参加費用補助も行っている。さらに、より高度な研究成果を得るために、3ヶ月～1年の期間、国内・国外にて、教員が研究に専念することを可能にする国内研究・在外研究制度も設けている。

教員への研究支援である研究費については、各学部・センターの特性を加味した上で過去3年間の研究実績に基づいた傾斜配分が実施されている。さらに、科学研究費助成事業等の外部資金申請者については、採択結果に応じて増額される。

③主要な科目への教員配置

さらに、スポーツ科学の基幹的な知識を身につける専攻基幹科目の講義科目（自然科学・人文科学・社会科学の全8科目「運動生理学」「スポーツ・バイオメカニクス」「スポーツの測定評価」「スポーツ哲学」「スポーツ教育学」「スポーツ史」「スポーツ社会学」「スポーツ・マネジメント」）は、主要な必修科目であり、スポーツ科学の理論的な知識を教授するため、全ての科目に専任教員（教授・准教授）を配置している。

また、専攻科目を学ぶ上でのスポーツ科学の入門的な知識・技能を身につけるための専攻導入科目6科目（「スポーツ科学入門A」「スポーツ科学入門B」「救急処置法」「トレーニングサイエンス」「ヘルスサイエンス」「スポーツ文化論」）についても、専任教員の教授及び准教授（「救急処置法」担当者3名のうち1名は兼任講師）が担当し、「チームビルディング」は専任教員の教授2名が担当する。

なお、専攻発展科目のうち、自身のキャリア形成において必要となるスポーツ科学の理論的な知識を教授する選択必修科目の「スポーツ生理学」「スポーツ測定法」「スポーツ心理学」「健康とスポーツの医学A」「生涯スポーツ論」「スポーツ人類学」「スポーツ政策論」についても、専任教員（教授5人、准教授2人、講師1人）が担当し、スポーツ科学の専門的知識を教授する上で必要な教員を適切に配置し、十分な教育成果を保証している。

前項目に記載した本学部の教員組織の編成方針に基づく教育・研究体制は、スポーツ科学を中心として「③健康の維持増進に関する研究を行い、スポーツ科学の理論に基づいた健康増進の知識・技能を教授できる教員を配置する。」9人（教授4人、准教授3人、講師2人）、「④生涯スポーツ時代の青少年のスポーツ教育に関する研究を行い、スポーツ科学の理論に基づいた青少年のスポーツ教育の知識と技能を教授できる教員を配置する。」4人（教授1人、准教授2人、講師1人）、「⑤地域と地域が抱える課題に関する研究を行い、スポーツを地域振興に活用する知識と技能を教授できる教員を配置する。」4人（教授2人、准教授2人）、「⑥スポーツが関連する社会の諸領域に関する研究を行い、現代社会の問題を多角的な視点から分析する知識と技能を教授できる教員を配置する。」5人（教授3人、准教授2人）、他に「⑦社会の諸領域に関する研究を行い、駿大社会人基礎力で求める広範な教養教育を教授できる教員を配置する。」（一般教養系の共通教養科目の担当教員）2人（教授1人、講師1人）である。

④専任教員の学位の保有状況

学位保有状況の内訳は、博士号取得者 12 人（教授 5 人、准教授 6 人、講師 1 人）、修士号取得者 11 人（教授 6 人、准教授 2 人、講師 3 人）及び学士 1 人（准教授）となっている。体育・スポーツを研究分野としている教員 17 人の学位については、スポーツ健康科学、スポーツ科学、人間科学、体育科学の他に、医学、教育学、政治学、社会学、心理学の学位の保有者である。スポーツを主とする研究領域においてスポーツ科学以外の学位を保有する理由は、総合科学としてのスポーツ科学がスポーツ科学という学問領域に位置づくとともに、他方で各分野における学問の系譜を持つことに他ならないからである。また、スポーツ科学領域の博士課程が設置された時代的背景もあり、年齢が高い教員においてはスポーツ科学以外の学位保有者がいる。

学士である 1 人の教員は、高等学校において保健体育科教員としての実務経験を有する教員である。

⑤専任教員の担当コマ数

本学では、専任教員の大学等の職務に従事する週当たりの平均日数は特任教員を除き 4 日/週以上と定められている。その上で、半期 1 科目担当で 1 コマと換算した場合、通年 12～14 コマの授業を担当することが標準（ノルマ）となっている。本学部の専任教員は、表 3「専任教員一人当たりのスポーツ科学部の授業担当コマ数分布」に示すとおり、他学部の兼担科目を併せて通年で 12～14 コマ程度の担当という条件が、ほぼ満たされ得るものと思われる。専任教員の完成年度における担当コマ数は概ね適正なものといえる。

表 3 専任教員一人当たりのスポーツ科学部の授業担当コマ数分布（オムニバスの場合は、比例配分）

コマ数 X	X<9	9≤X<10	10≤X<11	11≤X<12	12≤X<13	13≤X<14	14≤X<15	15≤X<16	16≤X<17	17≤X<18	計
教員数	1	2	1	0	3	4 (平均値)	3	6	3	1	24

6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

(1) 教育方法

①全般的特徴

スポーツ科学部スポーツ科学科では、趣旨及び特色を踏まえ、スポーツに関連する諸領域について、共通教養科目群、専攻科目群、演習科目群を体系的に配置している。具体的には、講義科目に加えて、4 年間を通しての少人数ゼミナール（演習科目）、実践科目（実習科目）及び実技科目などをバランス良く配置し、専門的教育を行う。

②授業を行う学生数について

本学の建学の精神は「愛情教育」であり、丁寧な教育をもって実践すべく、少人数教育が全学的に徹底されている。スポーツ科学部においても、これらのことは踏襲する。

4 年間必修で設置する「各年次ゼミナール」は、1 クラス当たり 10～15 名規模で編成され、「外国語」及び「コンピュータ・リテラシー」並びに専攻科目における各種の「研修」、「演習」及び「実習」科目については、1 クラス当たりの人数を 25 名程度にすべくクラスを設置する。また、「専門実技」等の実技科目については、1 クラス当たりの人数を 40 名程度となるようにクラス数を設定している。また、専攻基幹科目及び専攻発展科目の講義科目についても、受講者が 100 名以下となるようにクラス設定を行っている。

一方、大幅に上限を超えるような場合は、クラス増で対応するほか、SA (Student Assistant) 制度を設けていることから、担当教員の申請により SA を採用することができる。さらに、実習・実技系の科目については、学生数が 10 名を超えた場合は 1 名、20 名を超えた場合は 2 名の外部指導者を、担当教員の申し出により付けることが認められている。

③教養教育と専門教育の科目配置

教養教育は、4 年間の学修の基礎となる知識や技能と、地域社会の中核を担う社会人としての基礎となる知識や技能をバランス良く身につけることができる内容としている。大学での教育にスムーズに移行するための充実した導入教育（初年次教育）を通じて学びの基本とスキルを獲得した上で、社会全般及び地域社会を理解するための基本的視点・考え方を修得させること及び自己のキャリアについて明確に並びにグローバル化社会において必要な語学や海外の文化を修得することを目的として、体系的で効果的な全学共通の共通教養教育を行う。幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い豊かな人間性の涵養を目的とすることから、「教養基礎科目」は主に 1 年次、「地域科目」は主に 1・2 年次、「教養発展科目」は主に 2・3 年次、「外国語科目」「キャリア教育科目」は主に 1~3 年次で履修することとしている。

専門教育については、1 年次にはスポーツ科学の概要を理解するための専攻導入科目（「スポーツ科学入門 A・B」「トレーニングサイエンス」「ヘルスサイエンス」「スポーツ文化論」）を設け、本学部での教育の全体像を提示しつつ、学生がキャリアプランを踏まえた 2 年次以降の科目履修を考えるように工夫している。また、専攻導入科目には、体験型科目として「チームビルディング」を必修科目として配置し、仲間との協調・協働・連携の重要性について体験的に学び、人間的な成長を促すことを目的としている。

専門教育を「専攻基幹科目」と「専攻発展科目」とし、スポーツ科学の基礎的な科目を「専攻基幹科目」として主に 2・3 年次で履修し、その後設定する職域との関係が必要となる「専攻発展科目」は 2・3・4 年次で履修することとしている。

また、スポーツ科学領域の学習を深めるために、専攻科目内から「自由選択単位」として履修できるようにしている。

(2) 履修指導方法

①履修指導

本学部は、大学設置基準を上回る専任教員を確保することで、個々の学生へ十分に目が届くよう履修指導を行い、学生が本学の教育理念及び教育課程を理解し、積極的に学習に取り組むことができる環境を整えている。

ア 初年次

初年次における履修登録のつまずきが、その後の大学生活に大きな影響を及ぼすことから、特に 1 年次生に対しては入学当初に 90 分×2 回の全体ガイダンスを実施する。ガイダンスでは、履修ガイド、履修の手引き（時間割表）、履修モデル及びシラバスなどを利用して実施する。これにより大学における科目履修の全体像を把握した上で、更にクラス別履修ガイダンスの時間を設け、自己の履修科目及び時間割が確定するまで、個別に履修指導を行う。加えて、学生が作成した履修登録案を FA（ファカルティ・アドバイザー）がチェックし、Web 上で科目の履修登録をする。また、Web 登録については、別途コンピュータ教室を用いた Web 登録の方法についてのガイダンス（約 90 分）を行なった上で、実際に履修登録を行う。各 1 年次ゼミには、担当教員（FA）の他に職員を CA（クラス・アドバイザー）として配置し、2 名体制で相談や履修をフォローする体制を整えている。

イ 2年次

本学部の教育課程の特徴として、2年次後期から専門科目の履修方法が始まることから、2年次当初のガイダンスは、キャリア形式を踏まえた内容となる。2年次開始当初のガイダンスにおいては、1年次の「キャリア基礎Ⅰ」の学修を踏まえ、更にスポーツの学びが生き方や職業と関わることを理解するとともに、履修ガイドや履修の手引き（時間割表）、履修モデル及び学部教務委員会によって作成された2年次用の履修マニュアルを用いた2年次生が全員出席するガイダンスを行い、2年次の履修登録の全体像を説明し、必修科目及びクラス編成、資格取得のための授業科目の履修など、職域をイメージさせることに留意し指導する。

3年次のゼミナール（演習科目）の選択は、2年次の10月より全体の登録説明会、ゼミナール担当教員の個別ガイダンスを行う。さらに、ゼミナールの見学期間を設け、十分な検討期間を確保した上で、これまでの学びと本人の希望に基づいてゼミナール志望票を提出し、10名を標準として履修するゼミナールを決定する。ゼミナール選択の希望者が多いなどの場合は、ゼミ担当教員による面談、教務委員会での調整により、履修するゼミナールを決定する。

ウ 3年次以降

3年次よりゼミナール（演習科目）に所属することから、履修指導、就職相談等は、ゼミナール担当教員を中心に行われるが、教務課、学生支援課、キャリアセンター等において、学部担当職員を配置し、サポートする体制を整えている。

エ 学外実習

学外実習（「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」）は、これまでの学修を実際の職域に応じた実践の場で体験することにより、これまでの学修の理解と今後必要となる学習内容を明確にすることを目標にしている。学生は将来の職域を踏まえ、自己の目的や興味関心を絶えず考慮しながら受講科目を選択していくことが求められることから、科目履修を柔軟にしたことによる弊害を少なくするよう、綿密な履修指導が肝要である。履修指導においては、体系的な履修が担保される仕組みとして、資料4「カリキュラムツリー」において上記の3つの学外実習に至る体系的性、科目区分と配当年次による体系的なカリキュラム構成、3つの履修モデルプラン、「スポーツ科学部の学びの概念図」（9ページの図1参照）等に基づき、1年次からの履修ガイダンスで学習内容及び履修条件等について指導する。

2年次初めの履修ガイダンスにおいても、学外実習の目的、履修条件、実習先等について説明を行う。

3年次初めのガイダンスにおいては、3年次後期から始まる学外実習の説明会を担当者及び教務委員会が中心となり実施するが、その際には、当該実習に関連した専攻発展科目の授業科目についても触れて履修指導を行う。

②履修モデル（資料7 スポーツ科学部3つの履修モデルプラン）

将来の目標とする職域を考慮し、資格取得も視野に入れて、3つの履修モデル（地域スポーツ及び健康スポーツの指導者を目指す履修モデルプラン、中学校・高等学校における指導者（保健体育教員）を目指す履修モデルプラン、地域の政策立案者（公務員）を目指す履修モデルプラン）を提示し、履修指導を行う。

（3）卒業要件

①卒業認定及び学位授与方針

スポーツ科学部では、すべての人が生涯にわたって、健康で文化的な生きがいのある生活を送ることができる社会を構築するために、スポーツ科学の理論的知識に基づき、学校、地域及びスポーツが

関連する領域において、今日のスポーツの意義や価値を踏まえ、健康の維持増進、生涯スポーツ時代の青少年のスポーツ教育又は地域の活性化に貢献できる人材を養成する。

本学部ではこのような人材養成を理念としており、以下の知識及び能力を修得した者に学位を与える。

【ディプロマポリシー】

全学共通に定める「駿大社会人基礎力（①基礎的な力、②考える力、③行動に移す力、④協働する力、⑤総合的な力）」の修得に加えて、以下に示した学部教育を通じて培った知識と技能を身につけた者に学士（スポーツ科学）の学位を授与する。

- ①スポーツの意義や価値について理解している
- ②スポーツ科学の理論的な知識を理解している
- ③スポーツ科学の理論に基づいてスポーツを指導する能力を有している
- ④学校、地域等でスポーツを企画・指導する能力を有している
- ⑤生涯スポーツ時代に対応する青少年のスポーツ教育、高齢化時代に対応するスポーツによる健康の維持増進又は地域振興に活用する知識を有している
- ⑥修得した知識を組み合わせた総合的な視点からスポーツをとらえ、課題を発見し解決する能力を有している
- ⑦主体性、積極性、協調性、リーダーシップ等の他者と協働するために必要な適性を有している

②卒業要件（資料5 スポーツ科学部の卒業要件）

卒業要件は、4年以上在籍し、履修科目について所定の単位124単位以上を修得することとしている。（大学設置基準第32条、本学学則第32条）

共通教養科目群については、教養基礎科目から必修7科目10単位を含む18単位以上を修得、教養発展科目から必修2科目4単位を含む10単位以上を修得、地域科目から4単位以上を修得、キャリア教育科目から必修2科目4単位を含む6単位以上を修得、並びに外国語科目については必修外国語科目より第一外国語として「英語ⅠA」「英語ⅠB」「英語ⅡA」「英語ⅡB」の4単位を必修及び選択必修外国語科目から自己の第一外国語又は第二外国語のいずれか1言語2単位を選択必修としている。なお、母語が日本語以外の学生は英語に替えて「日本語ⅠA」「日本語ⅠB」「日本語ⅡA」「日本語ⅡB」の4単位を必修、及び第二外国語として母語及び第一外国語以外の1言語4単位を必修としている。

さらに、専攻科目群については、それぞれ専攻導入科目から必修7科目13単位、専攻基幹科目のうち講義科目から必修8科目16単位、実技科目から選択必修5単位を含む21単位以上を修得する。また、専攻発展科目として、選択必修13単位を含む30単位以上を修得する。さらに、演習科目群については、「ゼミナールⅠ～Ⅳ」8単位を必修としている。加えて、専攻科目群には自由選択単位が4単位あり、専攻基幹科目（実技科目）及び専攻発展科目の卒業要件単位を超えて修得した単位数を算入する。

よって、人材養成目的及び課程の目的に照らして必要な学修量を確保している。

（4）履修科目の年間登録上限

本学では、十分な学修時間の確保と学修内容の質の維持を図るため、全学統一で履修科目の年間登録上限（CAP制）を設けている。1年間で履修登録できる単位数の上限は、1年次44単位、2年次以降46単位と定めている。また、各科目のシラバスには「授業外の学習における学習方法とそれに必要とされる時間数」について明記し、授業においてもその指導に努めている。

ただし、「教育の基礎的理解に関する科目等」の全て及び「大学が独自に設定する科目」については、学部カリキュラムには含まれない。そのため、中学校教諭一種免許状（保健体育）及び高等学校教諭一

種免許状（保健体育）を取得しようとする学生は、これらの科目の単位を学部の卒業要件とは別に、履修上限単位数の枠外で履修し、免許・資格取得に支障が生じないよう配慮する。

（５）研究倫理審査体制

本学部では、卒業研究（「ゼミナールⅢ・Ⅳ」に含む）を適正に実施するために、「駿河台大学研究倫理規程」に基づき、「駿河台大学スポーツ科学部卒業研究における「人を対象とする研究」倫理基準」を制定し、人を対象とした卒業研究が適正に実施されるように教育・指導に努める。（資料８ 「駿河台大学スポーツ科学部卒業研究における「人を対象とする研究」倫理基準」）

7. 施設、設備等の整備計画

（１）校地、運動場の整備計画

本学は、建学の精神である「愛情教育」の理念に基づき、学生の視点を尊重した施設・設備の整備を旨としている。スポーツ科学部を設置する飯能キャンパスは、埼玉県飯能市阿須に所在し、現在の校地面積は27万7,450.59㎡であり、本学の学部・大学院の収容定員総数3,842人を基準として大学設置基準第37条に定める校地の面積基準の7倍以上を有している。特に運動施設を含め全ての校舎施設・設備がほぼ同一敷地内に収められており、学部4年間を通じて全学年が同一のキャンパスで過ごせることにより教育研究や学生交流の環境としても大きな利点を有している。

運動場用敷地は、84,928.00㎡あり、体育館は、6,986㎡である。体育館内は1階にAV設備を完備した120人教室、更衣室・シャワールームのほか、体操、卓球、柔道、ダンス等の多目的に使用できる小体育室及びトレーニングセンターがある。トレーニングセンターは、筋力アップや食事のアドバイスができるトレーニングドクターシステムを採用し、本学部設置に伴うトレーニングマシンの新規整備により心肺持久力系26台、筋力トレーニング系47台のマシンが設置されており、中2階には1周約60mのトラックを設けている。2階は各種インドアスポーツに使用できる多目的構造のアリーナがあり、ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、フロアボール等に使用している。本学部の設置に伴い、大型液晶モニターや間仕切りスクリーンの設置をはじめ、授業で必要な用具及び器機を計画的に新たに購入しており、今後もより良い授業環境となるよう継続的に整備していく。3階は668席の常設観覧席を有しており、観覧席外周はランニングコースとしても使用することができる。

体育館以外のスポーツ施設として、全天候型8レーンの400mトラックと全面人工芝のフィールドに加えアウトフィールドには走路を備えた陸上競技場1面がある。本学では、創立30周年記念事業として平成28（2016）年に各スポーツ施設の改修を行い、人工芝化及び夜間練習用LED照明設備の増設等の大規模改修を行った野球場1面、サッカー・ラグビー等のサブコートとしても使用可能に改修した全面人工芝及び夜間練習用LED照明設備付きの多目的グラウンド1面、コートの人工芝貼替改修整備を完了したテニスコート9面、同じく同年移築改修をした夜間練習用LED照明設備付き弓道場を整備した。その他の施設として、グラウンドホッケー場1面、ゴルフ練習場12打席、武道場を有しており、これらの施設は、学部生の体育実技の授業科目や学生の課外活動に大いに利用されており、スポーツ振興を柱とした運用方針を継続している。

平成31（2019）年度の時間割における体育館内施設（アリーナ・小体育室）の稼働率（使用見込）は44.4%であり、新学部の授業を加えた平成35（2023）年度の時間割においても、稼働率は51.1%の見込みである。また、屋外競技施設（陸上競技場・多目的グラウンド）においても稼働率（使用見込）は32.0%であり、その他トレーニングセンター、武道場、野球場、テニスコート、グラウンドホッケー場などを授業で利用することも考慮すれば、現状の施設で十分対応可能である。（資料9 体育館・屋外競技施設利用状況見込）

なお、水泳の実技授業に使用するプールについては、平成 21 (2009) 年度より本学キャンパスから 2km に立地している埼玉県飯能市の民間スイミングスクール (アレックス飯能スイミングスクール) と「施設貸出契約」を締結して、教場として借用している。同施設へは、授業時間に合わせ専用マイクロバスで学生を無料で送迎しており、教育上支障がない体制を整えている。

また、校地内には、学生寮が 3 棟あり、男女別で各 10 階建てツインタワーの「フロンティアタワーズ (個室 322 室及び 24 人が宿泊出来る合宿室)」のほか、スポーツ学生専用寮で 2 階建ての「山崎春之記念スポーツ館 (60 室収容 120 人)」及び 3 階建ての「フロンティア S (29 室収容 56 人)」も整備されている。その他にも、校地外 (飯能市内) にある各運動部専用寮とともに、学生が勉学やスポーツに専念できる環境が整備されている。**(資料 10 駿河台大学スポーツ関連施設)**

校舎、運動場用敷地を除いた敷地は 10 万 9418.37 m²ある。本学は自然豊かな森林文化都市である飯能の郊外、飯能市内を一望できる加治丘陵上に位置しており、キャンパスの南半分は自然林として保全しているなど、極めて恵まれた自然環境下にある。そのロケーションを生かして、キャンパス中央には広大な天然芝の中庭が配されており、四季折々の景観が広がる中、芝生や適度に配されたベンチ等で学生たちは休息や交流に活用している。学生が食事をとるための食堂棟 (大学会館) は、1 階から 4 階までが食堂フロアで、全 1,483 席を有している。また、キャンパス適所には、第二講義棟 15 階にスカイラウンジ、メディアセンター 5 階にビューラウンジ等の自由に利用できる学生ラウンジを複数設置しており、学生が休息その他に利用するのに十分な空間を確保している。

(2) 校舎等施設の整備計画

現在、スポーツ科学部で使用が可能な教室は、全学共通 (全学部、全研究科共有) で講義室 47 室、演習室 35 室、実験・実習室 15 室、情報処理学習施設 5 室である。本学部の開設と同時に既存の現代文化学部を募集停止し、学年進行とともに授業数が減少することから、本学部開設に伴う年次ごとの授業増加数と相殺する計画である。現時点で各教室の稼働率は講義室 49.2%、演習室 29.5%、実験・実習室 15.1%、情報処理施設 58.8%であり、授業の実施には余裕があり、教育研究上及び時間割で示した授業を行う上で十分な環境が確保できている。**(資料 11 スポーツ科学部授業時間割)**

特に、スポーツ科学部で使用する実験・実習室は、従来のスポーツ科学実習室 2 部屋 (各 113.0 m²) を改修し、新たに 2 部屋 (学部専用各 1 室 168.0 m²) の実験・実習室を新設し、合計 4 部屋 (計 562.0 m²) からなる「スポーツサイエンス lab.」を整備している。今回改修した実習室のうち 1 室 (スポーツサイエンス lab.3 (低酸素トレーニング lab.) 7003 教室) は、恒温恒湿かつ常圧低酸素の環境設備を有する床埋込みタイプの大型トレッドミルを設置したものであり、スポーツ測定法や運動生理学系の授業のほか、更に長距離陸上競技選手の測定・研究・トレーニング等に利用する。

また、新設の実習室のうち 1 室 (スポーツサイエンス lab.2 7002 教室) は、既設のスポーツ科学実習室を移設し、スポーツバイオメカニクス系の実習室として、各種スポーツモーション分析器機をはじめフォースプレートを設置している。新設の実習室のもう一方 (スポーツサイエンス lab.1 7001 教室) については、スポーツ心理学系実験をはじめ、各種測定器機等をそろえ、本学内で共用できる実習室となる。従来からスポーツ生理学系の測定器機等を設置している 1 室 (スポーツサイエンス lab.4 7004 教室) を加え、これら 4 部屋には、それぞれ新規に実験実習器機や什器等を購入し、スポーツ科学部の教育研究の実施上、必要かつ十分な整備を行っている。さらに、実習授業や教育研究のため、陸上競技場、体育館及び小体育館等で使用する設備器機も含めて本学部の設置に向けて、設置前々年度からの 3 年間で総額約 3 億 8 千万円に及ぶ整備を行う。**(資料 12 スポーツ科学部新規購入設備器機一覧 (スポーツサイエンス lab.関連より抜粋))**

教員の個人研究室は、スポーツ科学部専任教員数 24 人分を確保し、1 室当たりの面積は約 30 m²である。什器等の備品の整備補充を行い、教育研究活動や学生指導の実施環境に支障がないよう配慮している。

なお、設備購入費では、2・3・4年次と経費を計上していないが、既に整備していることに加え、開設前々年度から3年間にわたり本学部用に整備してきていることから問題は生じない。

(3) 図書等の資料及び図書館の整備計画

本学の図書館は、開学以来、各学部の専門領域及び周辺領域に係る図書並びに学術雑誌の収集を継続的に行っている。図書館の面積は10,459㎡あり、閲覧座席数582席、収納冊数55万9,750冊である。図書は34万8,720冊を所蔵し、うち86,760冊は外国書である。学術雑誌は3,838種であり、うち1,350種は外国雑誌である。電子ジャーナルは73タイトルが閲覧でき、うち65タイトルは外国雑誌である。視聴覚資料は14,608点を有している。また、インターネットで利用できるデジタルデータベースを20種以上提供している。

図書館ではスポーツ科学部の基礎となる現

代文化学部現代文化学科設置以来、本学部の領域及び隣接関連分野の図書、雑誌等の資料を継続的に購入してきた。この方針に変更はなく、年次計画に基づき更なる充実を図る予定である。

スポーツ科学部関連図書として43,211冊を所蔵しており、うち11,298冊は外国書である。学術雑誌は118種を所蔵し、うち31種が外国雑誌である。**(資料13 メディアセンター所蔵雑誌リスト(スポーツ科学部関連))**

また、同学部関連図書として、開設前年度に300万3千円1,065冊を整備し、以降、完成年度までの4年間、毎年100万円333冊分の予算を確保し、合計約2,400冊の関連図書を整備する予定である。**(資料14 スポーツ科学部新規購入図書一覧(平成30(2018)年度購入分))**

図書館には、閲覧個室に加えて、グループ学習室が2室あり、学生のアクティブ・ラーニングを支援するディスカッションゾーン、プレゼンテーションゾーン及びラーニング・コモンズを整備し、学生が休息できるラウンジも備えている。蔵書検索、外部データベースに接続できる検索用PCも十分に確保しているが、図書館内に学生が自由に利用できるPCを143台設置している。また、図書館及び学内で無線Wi-Fiの利用が可能な環境を整備しており、今後も研究・学習支援機能の充実を図る方針に変更はない。

他大学・類縁機関との連携については、本学は国立情報学研究所(NII)の目録所在情報サービス(NACSIS-CAT/ILL)に参加しており、この共同目録に本学の所蔵情報を公開するとともに、同研究所の図書館間の相互貸借・文献複写サービスを活用することにより、海外を含め、学修研究に必要な資料を入手、提供できる環境を整えている。

また、本学独自の機関リポジトリ「駿河台大学学術情報リポジトリ」を開設しており、本学の研究成果をインターネット上に公開している。本学の機関リポジトリは、国立情報学研究所のプラットフォームJAIRO Cloudに準拠しており、同システム、同研究所が提供するNII学術情報ナビゲータCiNii、国立国会図書館のシステムにより検索することができ、ほぼ全ての論文について無料かつ全文閲覧、ダウンロードが可能な環境を整えている。

さらに、地域連携の一環として、地元飯能市と包括協定を結んでおり、飯能市立図書館と連携した事業を推進している。相互に相手館のコーナーを開設、施設見学研修、飯能市立図書館における本学収蔵貴重書の展示、市民向けのタブレット講習会などを行っている。本学図書館は一般市民にも開放しており、資料の閲覧及びレファレンス・サービスの利用が可能である。

8. 入学者選抜の概要

(1) 入学者受入れ方針と大学の理念・目的・教育目標

本学の教育目的は、「徹底した人格教育を通して豊かな知的教養と国際的感覚を備えた有為の人材を養成」(学則)することにある。このような人材育成を可能とするのが、本学の建学の精神である「愛情教育」である。この基本理念の下に、学生「ひとりひとり」の個性・資質を尊重し、その能力を最大限に伸ばしていく教育を行ってきた。

徹底した「愛情教育」を実施するには、人間の思考様式・発想法、更には価値観の多様さを共感的に理解できる「場」を形成することが要請される。自己と異なる「他」を理解するには、多様な「他」が教育の場にいることが望ましい。能力・資質を多面的に評価する機会を入学志願者に与え、入学後に大きく成長する可能性を秘めた入学希望者に自ら変革する機会を与えることを目指してきた。

スポーツ科学部においても、本学の教育目的を踏まえ、すべての人が生涯にわたって、健康で文化的な生きがいのある生活を送ることができる社会を構築するために、地域社会で中核的な役割を担うことのできる人材の養成を目指す。具体的には、スポーツを自然・人文・社会科学等の視点から多角的に理解し、学校、地域及びその他のスポーツが関連する領域において、指導力、企画運営力、問題発見・解決能力等を発揮できる人材を養成するために、特定の専門的分野の教育・研究を目指すこととしており、その目標達成に適切な素養を持つ人材を受け入れることを基本方針とし、アドミッションポリシーを以下のように定め、入学者の選抜を行う。

【アドミッションポリシー】

養成する人材像や教育課程をふまえ、以下の方針により多様な入試方式で入学者を選抜する。

- ① 高等学校までの基礎的な知識や技能を身につけている。
- ② 論理的思考力を持ち、自分の考えをわかりやすく表現することができる。
- ③ スポーツ(課外活動等)に興味を持ち、諸活動を通じて、自ら学び試行し行動することができる。

本学部では基本的に外国人留学生は入学対象者として想定していないことから、外国人留学生対象の特別な入試は実施しない。よって、外国人学生が本学部に入学者の場合には、日本人学生と同様の出願資格、方法で受験をすることとなる。

なお、入学後に学修支援が必要となる場合には、外国人学生の場合は全学の学修支援制度により、日本語の専任教授が所属し、オフィスアワーで個別に対応しているほか、グローバル教育センター事務部の専属スタッフにより、勉学面だけではなく、生活面、在籍管理も含めた支援体制を整えている。

(2) 入学者受入れ方針と多様な入学者選抜方法

スポーツ科学部は、これまで説明してきた養成する人材像や教育課程との関連性を踏まえ、アドミッションポリシーに従って、多様な方式により入学者選抜を実施する。本学部は、上記のアドミッションポリシーを『大学案内』、『入学試験案内』等に、入試選抜方法を『入学試験案内』『入試ガイド』等の印刷物に明示するとともに、大学のホームページで公表し、公平性を期している。入試選抜方法については、以下のとおり、「①推薦入試」、「②AO入試」及び「③一般入試」に大別される。ポリシーと選抜方法の関連については、推薦入試、AO入試ではスポーツ全般への興味・関心を重視し、一般入試では基礎的知識と基礎的学力を重視する。

なお、平成33(2021)年度入学試験以降の入学者選抜方法については、見直しが予告されている「大学入学者選抜実施要項」に則り、「大学入学共通テスト」の利用をはじめ、「学力の3要素」を多角的・総合的に評価するなど、適切に対応する予定である。

①推薦入試

ア 指定校制推薦入試：募集人員 50 人

志願者が高等学校までの基礎的な知識を身につけ、本学部で学ぶに足る十分な基礎学力を有し、勉強態度も良好であるとする高校側の判断を尊重する入試方式である。本学部への入学意欲が高く、本学の教育理念・目的に適合していると高校側が判断した生徒を対象として、面接で評価し、可否を決定する。この選抜方法が目指すのは、本学部入学を第一志望とする入学者の獲得であり、これにより本学の建学の精神に基づき設定した本学部の教育に適合的な層の確保が可能となる。

指定校の選定は、本学部入試委員会の審議を経て、教授会で決定する。指定校は、本学部の理念・目的等に理解を有する高校を対象とするため、過去に受験の実績がある高校が中心となっている。

イ 公募制推薦入試：募集人員 5 人

公募制推薦入試では、指定校以外の高次の生徒で、本学への入学意欲の高い者の獲得を主眼とする。また、高校内選抜で指定校制推薦入試を得られなかった指定校生徒も受入れている。

指定校制推薦入試と同様、高等学校までの基礎的な知識を身につけ、本学部で学ぶに足る十分な基礎学力があり、本学部への強い入学意欲を持つ志願者を選抜することを目的とする。入学意欲と入学理由の評定を中心に、丁寧な面接を行うようにする。

ウ スポーツ推薦入試：募集人員 45 人

スポーツに秀でた人材は、厳しい練習に耐え抜く自己規律、競技目標を達成しようとする強い意志、団体競技であればリーダーとフォロワーとの適切な関係性の構築力を持ち、また競技成績を根拠とする自己有能感を抱いている。

また、競技での高い成果の獲得は、本人のみならず、本学部学生全体に本学部及び本学への誇り・帰属感をもたらすことが期待される。

②AO入試：募集人員 50 人（AO入試<1 期 2 期 3 期 4 期>を含む総数）

ア スクール型

本学に対する入学意欲の高い受験生を見出そうとする入試である。受験生は入試当日に行う講義（スクール）を受けた後に、講義内容に関する課題を記述式で解答する。課題の解答によって、講義の理解力、表現力等の基礎学力を評定し、面接によって本学部への入学意欲と教育目的への共感度を評定する。評価は面接と課題解答により総合的に評価する。

イ スポーツプレゼン型

スポーツを「行う」・「支える」・「観る」・「伝える」ことに関する情熱（Passion）を、自らの経験や考えに基づき表現する本学部独自の入試である。受験生はスポーツに関連した自分自身の経験や情熱を、事前に準備したスライドやポスターなどを使用して、6分～10分でプレゼンテーションを行った後に、試験当日に出題されたスポーツに関連した課題に、小論文形式で答える。評価はプレゼンテーション、課題作成（小論文）、面接、書類審査（調査書・志願理由書）により総合的に評価する。

ウ 自己PR型

高校生が所持している資格や高校生活の実績を基に、自分自身の学ぶ意欲と能力とを示す入試である。受験生の表現力・説得力に焦点を当て、他の方式の選抜では測定しがたい能力を見出そうとする入試である。受験生は、自己PR資料（自己PR書の内容を補足するものや、本人が自己の勉強意欲や入学意欲、学力などを示すためのものである。）を根拠にして、面接と自己PR書とで、入学意欲・能力を表現する。選抜は、その内容・力量の評定に基づいて行う。自己の力量・資質についての受験生の主体的判断を尊重するため、高校の推薦書は必要としない。また、評定平均

値の条件もない。自己 PR 資料は、資格、スポーツ系の成績、生徒会長などの経験、ボランティア体験、留学体験、調査レポートなど、多様である。

③一般入試（S・A・B・C方式、センター方式Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期）：募集人員 50 人

本学の一般入試は、個々の受験生の学力の特性を評価する選抜を行うため、それぞれの方式で異なった科目を受験科目として指定している。これにより、多様な能力・個性を持つ学生を確保することが可能となると考えている。

大学入試センター試験を利用する入試を、本学では「センター方式」と称する。センター方式Ⅰ期では、対象科目の幅を本学独自入試よりも大きく広げた選抜方法であり、多様な能力・資質を持つ学生を確保することを目指している。センター方式Ⅱ・Ⅲ期では、外国語と国語と選択教科の3科目のうち、ベスト2科目の総合得点で判定を行うようにし、多様な得意分野を持つ入学者の確保を目指している。

(3) 入試実施体制

入学者選抜を円滑かつ公正に行うため、以下の委員会を設置し、入試制度委員会の下、全学及び各学部入試委員会が有機的に機能するように組織化されている。

①入試制度委員会

本学の入学試験の基本方針並びに入学試験日程の立案及び調整に関する事項、その他入学試験制度改善に関する事項を審議・決定する。学長を委員長として、理事長、副学長、学部長、学長補佐、各学部入試委員長、法人局長、事務局長及び入試広報部長により構成する。

当該年度の入試の選抜方法や大幅な変更については、入試制度委員会で予め協議され、法人側の意向と教学側の方針を調整している。

②入試実施委員会

ア. 試験問題の作成及び管理、イ. 試験の実施及び採点、ウ. 出願書類の事前審査、エ. 学生募集の諸施策の計画実施、オ. その他入学試験の実施及び学生募集に関する事項を審議する。学長より指名された副学長が入試実施委員長となり、学長補佐の中から学長が指名した者、各学部長、センター長等の中から学長が指名した者、各学部入試委員長、事務局長及び入試広報部長から構成する。

③入試問題作問小委員会

入試実施委員会の下に置かれ、入試問題の作成に関する業務を行う。入試実施委員長となる副学長が入試問題作問小委員長となり、各学部入試委員長、出題科目ごとの作問グループの主査及び副査で構成する。各科目の作問グループは多数の出題委員からなるが、原則として、本学専任の全教員（特定の役職者と特任教授を除く。）はいずれかの科目の出題委員となる。正式に学長から委嘱した外部出題委員も含む。

④スポーツ科学部入試委員会

ア. 学部の入学試験の基本方針、イ. 入学試験要項案、ウ. 入学許可者選考基準案、エ. 合否判定案（入学許可予定者名簿案）、オ. その他入学者の選考に必要な事項、に関する事項を審議する。入試委員長、学部長、教授会から選出された専任教員及び入試広報部担当者から構成する。

(4) 科目等履修生

本学部は、生涯学習の時代にあつて、学び直しや豊かな教養と新しい知識を身に付けたいという近隣地域の社会人等の期待に応え、科目等履修生として大学の講義を受講することを積極的に受入れ、広く学習機会を提供する方針をとっている。

受入人数は、授業運営上支障がない限り受入れる方針の下、正規履修者数を考慮して決定し、平成30(2018)年度は全学で32人であった。出願資格に、年齢制限や学習歴などを求めない。

受講できる科目は、原則として外国語、実習、演習などの人数制限を行っている科目(外国語と体育実技の一部の科目は選択対象)を除き、履修を可能としている。原則として、単位の修得を目指すことを前提としており、学部生と同様に試験を受け、合格することを求める。

また、近隣地域への貢献を目的として、東京都内と埼玉県内に在勤の者及び東京都民・埼玉県民には登録料と科目等履修料を半額にする。

科目等履修生には、科目等履修生証を交付し、学部生と同様の条件で、メディアセンターの図書の出し、AVソフトの閲覧、PC及び電子メール等の利用の便宜も受けられる。

科目等履修生は3月及び9月に申込期間を設け、教授会の議を経て学長が受け入れを許可する。

9. 取得可能な資格

本学部では、学部カリキュラム内の科目を履修し、所定の単位を修得することによって、資格を取得あるいは資格取得のための受験資格を得ることができる。これらの資格は、何れも本学部の教育目的に関連し、卒業後の進路希望と深く関わる可能性の高い資格であり、資格取得を奨励する。

表4 取得可能な資格一覧

【教員免許状】

免許状の種類	資格取得・ 受験資格の別	卒業要件 との関わり	追加科目 履修の必要性
中学校教諭一種免許状(保健体育)	資格取得	なし	あり
高等学校教諭一種免許状(保健体育)			

【国家資格】

名称	認定団体	資格取得・ 受験資格の別	卒業要件 との関わり	追加科目 履修の必要性
第一種衛生管理者	厚生労働省	資格取得	なし	なし

【民間資格】

名称	認定団体	資格取得・ 受験資格の別	卒業要件 との関わり	追加科目 履修の必要性
共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	公益財団法人日本スポーツ協会	資格取得	なし	なし
スポーツリーダー				
健康運動実践指導者	公益財団法人健康・体力づくり事業財団	受験資格	なし	なし
トレーニング指導者	特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会	受験資格	なし	なし
G F I	エアロビックダンス	資格取得	なし	なし
	レジスタンス			
	ストレッチング			

* 表中のGFIは、グループエクササイズフィットネスインストラクター: Group Exercise Fitness Instructorを表す。

10. 実習の具体的計画

本学部では中学校教諭一種免許状（保健体育）課程、高等学校教諭一種免許状（保健体育）課程を設置する。中学校においては、3年次5月から11月の学校体験活動2週間以上（80時間以上）、4年次5月から11月の「教育実習」3週間以上（120時間以上）を、高等学校においては、4年次5月から11月の「教育実習」2週間以上（80時間以上）を行う。

（1）実習先の確保の状況

教職課程委員会が指定する学校の中から、教育実習生が希望する実習校を選び内諾を得る。（資料15 教育実習施設一覧、教育実習受入承諾書）。

（2）実習先との契約内容

実習依頼段階においては、教育実習受入依頼書を実習先に提出し、それに基づく受入承諾書をかかわす。

（3）実習水準の確保の方策

以下のとおり教職課程履修者の教育実習及び学校体験活動の受講資格及び派遣要件を設け、これらを満たした教職課程履修者について、教職課程委員会にて協議し、派遣の可否を判断する。

〈教育実習〉

①以下に掲げる科目を履修済であること

[中学校・高等学校共通]

取得を希望する免許状の必修科目である「教科の指導法」（8単位）及び「教育の方法と技術」（2単位）

[中学校の場合]

教科及び教科の指導法に関する科目 28単位以上、教育の基礎的理解に関する科目 6単位以上、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 8単位以上

[高等学校の場合]

教科及び教科の指導法に関する科目 26単位以上、教育の基礎的理解に関する科目 6単位以上、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 6単位以上

②以下の要件を満たすこと

- ア 教職につく強い熱意がある者
- イ 中学校での教育実習については、介護等体験終了又は終了見込みの者
- ウ 各年次の教職課程ガイダンスを受講し、教職課程履修費を納入している者（所定の期間中に所定の教育実習手続を行った者）
- エ 教育実習事前指導に全て出席した者
- オ 心身ともに健康で、教員としての適格性（人格・学力とも）を有する者
- カ 教育実習校の正常な教育活動を妨げる恐れのない者
- キ 教育実習校の教育方針に従い、その指導監督の下で誠実かつ意欲的に教育実習を行うことができる者

〈学校体験活動〉

①以下の履修要件を満たしていること。

- ア 中学校教員免許状の所得を希望する者
- イ 1年次・2年次配当の教職科目を全て履修済みであるか、3年次の春学期中に履修済みとすることができる者
- ウ 2年次に教育学演習Ⅰ（秋学期）、3年次に教育学演習Ⅱ（春学期）を履修できる者
- エ 当該年度、学校体験活動事前・事後指導を担当する教員が担当する教育実習Ⅰ（3年次秋学期）を履修できる者

②以下の要件を満たすこと

- ア 教職につく強い熱意がある者
- イ 各年次の教職課程ガイダンスを受講し、教職課程履修費を納入している者（所定の期間中に所定の学校体験活動手続を行った者）
- ウ 教育学演習Ⅰ・Ⅱに全て出席した者
- エ 心身ともに健康で、教員としての適格性（人格・学力とも）を有する者
- オ 学校体験活動協力校の正常な教育活動を妨げる恐れのない者
- カ 学校体験活動協力校の教育方針に従い、その指導監督の下で誠実かつ意欲的に実習を行うことができる者

（4）実習先との連携体制

学校体験活動時及び教育実習時においては、各実習生の訪問指導担当教員（基本的に演習担当教員）が実習先との連絡窓口になる。その上で、当該学年の事前・事後指導を行う「教育実習Ⅰ」担当教員が、全体の取りまとめ・把握を行い、実習上の問題がある場合には実習校、実習生、訪問担当教員からの連絡を受け当該担当教員が中心になり、教職課程委員会において協議し、対応を行う。

実習協力校との連携体制の一つとして、飯能市教育委員会、教育実習協力校とは毎年3月上旬に協力校情報交換会を行い、当該年度の振り返りと次年度への課題の抽出を含め連絡・意見交換の場をもっている。

（5）実習前の準備状況（感染予防対策・保険等の加入状況）

実習時の事故や災害については、入学時に全学生が加入する「学生教育研究災害傷害保険」「学研災付帯賠償責任保険」によって対応する。「学生教育研究災害傷害保険」については、実習生本人が実習中の事故により被る身体的傷害に対して補償を行う。「学研災付帯賠償責任保険」については、実習中の関係他者（実習先、人物、財物等）に対する損害、損傷等による法律上の損害賠償を補償する。

感染予防対策として教育実習の前年度に実習生に麻疹・風疹の抗体検査を受けさせ、抗体がない場合はワクチン接種を施し、感染予防に必要な免疫を獲得している状態であることを確認した上で実習への派遣を行う。

また、中学校での教育実習の場合、実習前年度には特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間、合計7日間の介護等体験を行わなければならない。

(6) 事前・事後における指導計画

学校体験活動及び教育実習の事前・事後指導として、以下のような計画・内容で事前・事後の指導を行う。

①時期及び時間数

〈学校体験活動〉

- | | | |
|-------|-------|---|
| [2年次] | 4月 | ○学校体験活動ガイダンス(1時間) |
| | 5月 | ○学生が「学校体験活動内諾依頼書発行申込書」を提出(登録)
○学校体験活動希望学生の個別面談(担当教員)
○担当教員が教育委員会・協力校と調整(実習形態等の確認) |
| | 10～1月 | ○学校体験活動事前指導(8回。16時間) |
| | 2月 | ○学校体験活動計画書の提出 |
| | 3月 | ○学校体験活動計画書に基づく個別指導
○学校体験活動校訪問・面接 |
| [3年次] | 4月 | ○学校体験活動直前指導(1時間)
○学校体験活動実習生の教育実習校訪問(実習校の直前指導) |
| | 5～11月 | ○学校体験活動2週間以上(80時間以上)
○教職課程委員会との連携の下、教職課程設置学部の教員による教育実習校訪問指導 |
| | 12月 | ○学校体験活動報告書の提出(実習終了後2週間以内に提出)
○学校体験活動事後指導(学校体験活動報告会)(2時間) |

〈教育実習〉

- | | | |
|-------|-------------|--|
| [3年次] | 4月 | ○教育実習予定者ガイダンス(1時間)
○教育実習の登録 |
| | 5～9月 | ○指定実習受け入れ学校及び学生希望実習校に依頼(内諾を得る)
○「教育実習内諾依頼書発行申込書」を学生に提出させる |
| | 7月 | ○教育実習報告会(2時間。実習終了者による報告とアドバイス) |
| | 9～3月 | ○教育実習事前指導(15回。22.5時間) |
| | 3月 | ○教育実習計画書の提出
○実習生の教育実習校への訪問(実習期間の確認等の連絡) |
| [4年次] | 4月 | ○教育実習ガイダンス(1時間) |
| | 5月 | ○教育実習直前指導(1時間) |
| | Aグループ 5～6月 | ○教育実習(3週間以上(120時間以上)若しくは2週間以上(80時間以上))
○教職課程委員会との連携の下、教職課程設置学部の教員による教育実習校訪問指導 |
| | 7月 | ○教育実習事後指導(2時間) |
| | 7月 | ○教育実習報告書の提出 |
| | Bグループ 9～10月 | ○教育実習(3週間以上(120時間以上)若しくは2週間以上(80時間以上))
○教職課程委員会との連携の下、教職課程設置学部の教員による教育実習校訪問指導 |
| | 12月 | ○教育実習事後指導(2時間) |
| 12月 | ○教育実習報告書の提出 | |

②内容（具体的な指導項目）

〈学校体験活動〉

ア 学校体験活動事前指導

[2年次秋学期]

- (ア) 授業案内：学校体験活動の意義と心得
 - 学校体験活動の意義と目的の理解
 - 本学教職課程における学校体験活動の位置づけの理解
- (イ) 学校体験活動を考える：学校ボランティアの体験事例及びビデオを見て討論
 - 学校体験活動の実際
 - 学校体験活動における留意点
- (ウ) 生徒指導・教育相談：事例を基に討論（既得知識の確認）
 - 生徒指導・教育相談の考え方
 - 事例を基に生徒指導の方法の検討
 - 生徒から学ぶ力の重要性
- (エ) 学校の組織と校務分掌（既得知識の確認）
 - 学校組織・学校経営方針
 - 校務分掌
 - 職務上の責任と遵守すべき義務
- (オ) 教育課程（既得知識の確認と実習校の「年間指導計画」等の学習）
 - 教育課程とは
 - 教育課程の編成
- (カ) 学校安全（既得知識の確認と具体的な指導場面の事例検討）
- (キ) 学校体験活動を受け入れる実習校の立場から（講演）
- (ク) 学校体験活動計画書の作成と個別指導
 - 学校体験活動計画書の構成要件（実習場面を想定した各自の課題を明確にすること）
 - 学校体験活動計画書を基にした個別指導
- (ケ) 学校体験活動直前指導
 - 学校体験活動での注意事項
 - 学校体験活動での持参品の配布

イ 学校体験活動事後指導

[3年次秋学期]

- (ア) 次のような内容について「学校体験活動報告書」を作成し、提出する。（この報告書は、デジタル製本し、以後の実習生の参考とする。）
 - 学校体験活動の概要
 - 考察課題
 - 今後の課題
 - 自己評価
- (イ) 「学校体験活動報告会」を開催し、学校体験活動を総括するとともに、次年度の教育実習をより豊かなものとするため、課題を整理し共有する。

〈教育実習〉

ア 教育実習事前指導

[3年次]

- (ア) 授業案内：教育実習の意義と心得
 - 教育実習の意義と目的の理解
 - 本学教職課程における教育実習の位置づけの理解
- (イ) 教案の作成方法
 - 学習指導案作成上の留意点
- (ウ) 教材の作成と授業のポイント
 - 授業実践のスキル…授業目標、教材研究、話し方、発問、板書、教材作成、教科書利用
- (エ) 教育実習を考える：ビデオを見て討論
 - ビデオによる教育実習の実際
 - 教育実習における留意点
- (オ) 生徒指導・教育相談：事例を基に討論
 - 生徒指導・教育相談の考え方
 - 事例を基に生徒指導の方法の検討
- (カ) 学校の組織と校務分掌
 - 学校組織・学校経営方針
 - 校務分掌
 - 職務上の責任と遵守すべき義務
- (キ) 教育課程
 - 教育課程とは
 - 教育課程の編成
- (ク) 教師の授業を受ける（学校参加体験）
 - 教師の仕事
 - 教育実習生に望むこと
- (ケ) 学校参加体験から教育実習を考える（討論）
- (コ) 模擬授業の実施と討論（1）：教材の工夫
- (サ) 模擬授業の実施と討論（2）：板書の仕方
- (シ) 模擬授業の実施と討論（3）：プリントの作成法
- (ス) 模擬授業の実施と討論（4）：視聴覚機材の利用
- (セ) 実習を受け入れる実習校の立場から：教育実習の意義と実習生の立場を改めて確認する
- (ソ) 中間まとめと課題の確認
 - 教育実習計画書の作成

[4年次]

- (ア) 教育実習ガイダンス
 - 教育実習の準備
 - 課題等の実施状況の点検と指導
- (イ) 教育実習直前指導
 - 教育実習での注意事項
 - 教育実習での持参品の配布

イ 教育実習事後指導

教育実習の体験とその反省に基づいて、教育を総合的に把握する視点を得るために以下のような事後指導を行う。

- (ア) 次のような内容について「教育実習報告書」を作成し、提出する（この報告書は、デジタル製本し、以後の実習者の参考とする。）。

- 教育実習の概要
- 考察課題
- 今後の課題
- 自己評価
- 資料

(イ)「教育実習報告会」を開催し、教育実習を総括するとともに、次年度の教育実習予定者へのアドバイスを兼ねた実習報告を発表する。

(7) 教員及び助手の配置並びに巡回指導計画、実習施設における指導者の配置計画

実習先には本学の専任教員は配置せず、各実習先担当者と密接に連絡をとって実習の運営並びに実習生の指導に当たる。

実習生に対しては、訪問指導担当教員を配置して、実習前の面談、実習中の実習校訪問指導を行う。実習校訪問に当たっては実習生の研究授業等、担当授業を参観した上で、実習生への指導を行うとともに、実習先担当者とも適宜意見を交換し、適切な実習の運営に努め、実習訪問終了後には「実習校訪問報告書」を提出する。また、実習中の欠席・事故等の対応については実習校、実習生、訪問担当教員からの連絡を受け、「学校体験活動」「教育実習Ⅰ」担当教員が中心となり教職課程委員会において協議しながら対応する。

(8) 成績評価体制及び単位認定方法

「学校体験活動」「教育実習」ともに、実習先の指導者が作成した「実習成績報告書」（これは「観察」3項目、「学習指導」3項目、「学校・学級の経営」4項目、「総合評価」などから構成され、出勤状況も記される）を基に、科目担当教員が実習校訪問担当教員の意見や学内で行う教育実習報告会における発表、事前指導、事後指導での取り組み等を参考にしながら、単位認定を行う。

1.1. 企業実習（インターンシップを含む）や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の具体的計画

(1) チームビルディング

①実習先の確保の状況

専攻導入科目の必修科目である「チームビルディング」は、学外で行われる「プロジェクト・アドベンチャー」と学内で行われる「集団行動」から構成される。「チームビルディング（プロジェクト・アドベンチャーのみ）」の実施に当たり、実習施設である「高尾の森わくわくビレッジ」での宿泊及びプロジェクト・アドベンチャー（以下PA）施設利用予約を株式会社プロジェクトアドベンチャージャパン（以下PAJ）との間で済ませている。**（資料16 「チームビルディング」実習受入承諾書）**

なお、同施設とは単年度ごとの契約となるが、継続的に同施設を実習先に行っている。

表5 チームビルディング（プロジェクト・アドベンチャーのみ）受入施設

施設名	所在地	受入可能人数	受入期間
高尾の森わくわくビレッジ	東京都八王子市川町 55	115 人	平成 32(2020)年 4月 5日 9:00~6日 12:00
〃	〃	115 人	平成 32(2020)年 4月 6日 14:00~7日 17:00

②実習先との連携体制

授業担当教員が、実習目的、実習方法、到達目標、評価方法などを検討・立案した上で、具体的な実施計画案を策定している。また、事前に現地に赴き、実習場所、実習内容等について検討し、PAJとの間で現地の実習・宿泊先を確認する。それにより学生が安全かつ効果的な実習を行えるように準備する。

③成績評価体制及び単位認定方法

実習の成績評価と単位認定方法については、学外で行われるプロジェクト・アドベンチャーと学内で行われる集団行動を対象として、本学シラバスに記載された評価方法により、授業担当教員が補助的にプログラムを支える専任教員の参加記録及び評価を参考にして評価を行う。そのために、PA担当責任者及び各クラス担当教員からの評価書（出欠及び参加の状況、取組への態度、目標の達成度）の提出を求める。学生には、レポート、自己評価等の報告書の提出を求める。実習目標の達成度を把握した上で、総合的に評価し単位の認定を行う。

④その他特記事項

不測の事態に備え、保険等に参加する。その上で同実習には学部長以下、授業担当教員、各クラス担当教員が帯同するとともに、クラス担当教員は授業担当者の補助者となり授業の運営に参画し指導に当たる。病気やその他の緊急の事態が発生した場合などは、学部長以下、担当の専任教員及び引率の各クラス担当教員が対応方法等を検討し、対応する。その際に受入れ施設「高尾の森わくわくビレッジ」とも連携をとり、初期対応や事後の迅速な対応に当たる。

(2) 学外実習（スポーツ健康実習、スポーツ教育実習、地域スポーツ実習）

①実習先の確保の状況（資料 17 学外実習（スポーツ健康実習、スポーツ教育実習、地域スポーツ実習）受入先リスト）

学内の学修を実際の職域に応じた実践の場で体験することにより、これまでの学修の理解と今後必要となる学修内容を明確にすることを目標に実践体験を行う。養成する人材像に対応した「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」を選択必修科目として配置している。学外の実習時間は20時間（3日～4日）を標準とし、加えて学内での学習（事前説明、目標の設定、事後の報告・発表等）を含む。実習時期は土日を中心とし、同時期に1実習地に学生が集中しないように調整を行う。なお、学生は実習地の選定に当たって、当該実習地で修得すべき課題、目標を記載した「実習希望調書」を提出し、一実習地に学生の希望が集中した場合には、その調書内容を踏まえて担当教員において人数調整を行う。

ア スポーツ健康実習における主な実習先

- ・飯能市内の社会福祉施設（飯能市社会福祉協議会と調整）
- ・飯能市が主催するスポーツ教室・イベント（飯能市と調整）
- ・たんぼぼ田園倶楽部（社会福祉施設）等

イ スポーツ教育実習の主な実習先

- ・飯能市内の中学校の運動部活動（飯能市教育委員会と調整）
- ・飯能市内の総合型スポーツクラブ等

ウ 地域スポーツ実習の主な実習先

- ・一般社団法人奥むさし飯能観光協会加盟企業
- ・飯能市エコツーリズム推進協議会
- ・一般社団法人里山こらぼ等

②実習先との連携体制

前年度末に、学部教務委員会（学部長名による依頼文）より各実習施設及び統括団体に対して受入依頼を行い、受入可否・受入人数・実習内容等について協議、確認を行う。日常的な実習担当教員と受入実習施設及び統括団体との打合せ等とは別に、実習における教育目標の理解を得るとともに、実習内容の充実を図るために、年2回の「駿河台大学スポーツ科学部学外実習協議会」を開催し、充実した実習が実施できるようにする。

③成績評価体制及び単位認定方法

実習の成績評価と単位認定方法については、本学のシラバスに記載された評価方法により授業担当教員が評価を行う。そのために、学生からの実習報告書（実習日誌に添付する書式）、実習先からの報告書及び実習巡回担当教員からの報告書をもって、授業担当教員の合議により、総合的に評価し単位の認定を行う。

④その他特記事項

学生は「学生教育研究災害傷害保険」「賠償責任保険」に加入しており、実習中のリスク軽減を図っている。学生が実習している期間には必ず教員が実習先に出向き、実習内容の確認を行うとともに、受入先との意思疎通を十分に図ることとしている。

(3) 海外スポーツ文化研修

「海外スポーツ文化研修」は、海外地域でのスポーツを地域振興に活用する知識を修得するための科目であり、本学におけるグローバルな視野に立てる人材育成の一環としても位置づく。コミュニティー・スポーツの先進国であるニュージーランドを実習地とし、一般家庭にホームステイをしながらニュージーランド人の生活感覚を理解し、スポーツの学習（教育機関での理論、マージナルスポーツの体験実技、コミュニティー・スポーツの運営方法の理解、コミュニティー・スポーツへの参加等）を行う（実施時期：2月中旬より2週間）。

ニュージーランドにおけるスポーツ実践の生活化の実際を体験し、ニュージーランド人のスポーツに対する考え方、生き方の理解を通して我が国のスポーツの現状を考える手がかりとする。

本学の学生は、既存の現地学生向けのプログラムに短期間（特別）参加する形式で実施する。

①実習先の確保の状況

研修先の選定は、科目担当教員が実地調査を兼ね訪問し、関係者間による文書交信等による諸確認業務を重ね、最終的に双方の機関責任者（本学学長、Director of New Zealand Institute of Sport）による協定書を締結している。

締結後は、連絡調整を継続的に実施し、次期の学生送り込みに関して齟齬をきたすことのないように努めている。

表6 海外スポーツ文化研修受入施設

施設名	所在地	受入可能人数	受入期間
New Zealand Institute of Sport	Wellington, New Zealand	10人 (駿河台大学学生 受入れ可能枠)	2週間

②実習先との連携体制

次年度計画等は、毎年相互で前回実施の反省を踏まえ、次期実施に係る希望等を開陳し合い、積極的に意見交換をしながら研修の質の向上に努める。

③成績評価体制及び単位認定方法

事前学習では、語学学習、異文化理解、コミュニティー・スポーツの在り方等について理解し、現地での実習が効果的に展開できるよう工夫をする。事前学習の講義内容は以下のとおりである。

- ア ニュージーランドとはどんな国
- イ ニュージーランドのスポーツの現状
- ウ 日本の総合型地域スポーツクラブの現状を知る（「文部科学白書」等を活用）
- エ 日本のスポーツ振興施策とその展開状況
- オ 高齢者、障がい者のスポーツ –その実際に関する両国間比較–

研修先では、修了証書が授与され、研修最終日には現地教員から研修報告がなされる。事後学習では、その後の授業に関連付けるためにも報告会及び報告書の作成を通して学習内容の定着を図るよう工夫する。そのコメントなども参考に、現地教員の研修報告、英文・日本語併記の研修日誌（記録）等を総合的に評価する。

④その他特記事項

安全対策としては、大学指定の海外旅行保険に加入することを参加学生に義務付け、大学としてもJCSOS（海外留学生安全対策協議会）に加入、緊急事態発生時には学生、大学ともにサポートを受ける体制が整えられている。

その他、事前指導の一環として、海外での危機管理についての説明会を実施し、学生自身でもトラブルに備えるようにしている。ニュージーランドの教育機関からも関連の内容でのマニュアルを事前に参加学生に配布する。

大学としての緊急時対応については、引率の担当教員が緊急連絡網に基づき、学部長、事務局へ連絡を取ることとなっている。

(4) インターンシップ I

「インターンシップ I」は、学生が「社会の一員」として実際の職場で働くという体験により、現実に根ざした職業観を身につけることを目的として平成 17（2005）年に開設されており、全学部 2 年次以上で選択科目として実施している。

これは、大学近隣地域の企業・団体の協力の下、「地域の教育力」を活かして行う「地域インターンシップ」であり、学生が「働くこと」「社会人となること」を実地に学び、現実に即した職業観や職業選択の目を養う「教育としてのインターンシップ」である。

この科目は事前研修（4 月～7 月）、インターンシップ実習（8 月～9 月）、事後研修（9 月～10 月）の 3 部から構成している。

春学期に実施する事前研修（準備の講義）では、実際に社会で活躍している民間企業・自治体から、働くことの意味、職業倫理、民間企業・自治体の仕事の実際などを直接聞くことを通じて、働く上で知っておかなければならない事柄やビジネスマナーを学び、実習に向けて心の準備を行う。

インターンシップ実習は、夏期休暇中に実施し、2 週間程度、企業・団体の一員となって実際に働くことを体験する。実習中は、毎日実習日誌を書き、インターンシップ先の担当者から指導・コメントをもらう。この実習日誌は秋学期に提出する。また、本学教員が実習先を訪問し実習状況の確認を行う。

秋学期初めには、事後研修として、担当教員の添削を受けた上で実習報告書を提出し、公開の報告会において自らの就業体験を発表する。これにより、実習体験を「自分の言葉」でとらえ直し、実習での学びをより確かなものとする。

さらに、この科目では、ポートフォリオ SCIP（Sundai Community Internship Portfolio）を作成し、事前研修や実習を振り返ることにより、「成長の歩み」を確認できるようにしている。

①実習先の確保の状況

受入先は、地方公共団体、製造業、建設不動産、通信・放送、旅行業、病院、スポーツ施設、介護施設などで、地域的にも、飯能市、入間市を中心に、川越市、所沢市、狭山市、さいたま市、富士見市、坂戸市、越生町、東京都、栃木県と広範にわたっている。学生には、どんな業種でインターンシップ実習を行いたいのか、事前に希望業種のアンケートを取り、調整して実習先を決定している。(資料 18 平成 30 (2018) 年度インターンシップ I 実習受入企業・団体リスト)

受入先には、本学と産学連携協定を締結している飯能信用金庫から紹介を受けた企業、本学と連携協定を締結している団体、本学教職員が受入承諾を得た企業、本学卒業生が勤務する企業で実習受入を要望する企業等がある。平成 30 (2018) 年度は 117 企業・団体から受入承諾を得た。インターンシップ参加者は、平成 28 (2016) 年度に 99 人、平成 29 (2017) 年度に 78 人、平成 30 (2018) 年度に 85 人と推移している。

②実習先との連携体制

毎年、企業・団体にインターンシップ実習の受入依頼を行い、受入可否・受入人数・受入可能な学年・実習内容等について確認している。受入企業・団体とは、担当教員と地域連携課とが密接に連携し、打合せ会等の開催を通して、教育目標の理解を得るとともに、個別に覚書を交わしている。先述のとおり、本学学生は全員が「学生教育研究災害傷害保険」「賠償責任保険」に加入しており、実習中のリスク軽減を図っている。学生が実習している期間には必ず教員が実習先に出向き、実習内容の確認を行うとともに、受入先企業等との意思疎通を十分に図っている。

③成績評価体制及び単位認定方法

インターンシップ I の授業は、各学部からの教員 6 人で担当している。成績は、事前研修（受講態度・各回コメントペーパーに見る積極性・理解度）40%、実習（出席・実習姿勢・日誌・レポート）50%、報告会 10%で評価する。単位修得の条件として、事前研修への 7 割以上の出席、実習参加、報告書の提出、報告会参加を求めている。また、事前研修の欠席が多い学生は、実習参加が許可されない場合があり、その場合は F 評価（不合格）となる。

(5) 海外語学演習

本学のグローバルな視野に立てる人材育成を目的とすることから、大学全体の統一カリキュラムとして実施されている。これは、夏又は春の長期休暇中、海外の優れた教育機関が提供する 2～4 週間の語学プログラムに学生が参加し、語学を学ぶとともに異文化を体験するものである。

①実習先の確保の状況

研修先の選定は、語学学習と並んで文化学習を視野に入れており、平成 11 (1999) 年度から各言語の語学教員が必ず現地視察を行い、慎重かつ綿密な提携交渉を重ねて行われてきた。その結果、段階的に研修先を加え、平成 30 (2018) 年度現在は、本学において開設されている英語・独語・仏語・中国語・西語・韓国語の全外国語科目において研修先が設けられている。特に英語圏においては研修先や期間に多様性を持たせるため、複数の地域の教育機関と提携している。現在、表 7 の 12 大学と提携を結び、年度ごとに研修先との打ち合わせや報告を重ねて、次年度に引継いでいる。(資料 19 1 か月以上の海外語学演習提携校 (モナシュ大学、ソルボンヌ大学、フィリピン中央大学) との協定書)

②実習先との連携体制

学生の帰国後、担当教員は参加学生から研修の報告を聞き、当該研修を管轄するグローバル教育センターは参加学生のアンケートとともに、研修内容の確認を行う。グローバル教育センターは、学生の学習成果とともに改善に向けた要望を伝える等により、研修先との連携体制を継続して行う。

③成績評価体制及び単位認定方法

参加者は、4月に他の科目と同様に履修登録を行い、研修をより効果的なものとするために、グローバル教育センター所属の担当教員から15回にわたる「事前授業」を受ける。その後、海外機関での研修を経て、成績・出席証明書や帰国後の面接、レポート提出等により、「海外語学演習」4単位を認定する。

④その他特記事項

安全対策としては、大学指定の海外旅行保険に加入することを参加学生には義務付け、大学としてもJCSOSに加入、緊急事態発生時には学生、大学ともにサポートが受けられる体制を整えている。

その他、事前指導の一環として、海外での危機管理についての説明会を実施し、学生自身でもトラブルに備えるようにしている。

大学としての緊急時対応については、緊急連絡網に基づいて、研修先と大学（グローバル教育課）との連携が速やかに取れるようにしている。

表7 海外語学演習提携校一覧

開始年度	研修先・コース名/所在地	言語	研修期間
平成11 (1999)年度	ウィーン大学「国際ドイツ語コース」/オーストリア共和国、ウィーン	ドイツ語	3週間
平成12 (2000)年度	モナシュ大学「短期英語研修」/オーストラリア連邦、ヴィクトリア州	英語	5週間
平成13 (2001)年度	北京師範大学「短期語学研修」/中華人民共和国、北京	中国語	3週間
平成14 (2002)年度	パリ第四大学ソルボンヌ「フランス語・フランス文明講座」/フランス共和国、パリ	フランス語	4週間
平成15 (2003)年度	サラマンカ大学「スペイン語・文化研修コース」/スペイン王国、サラマンカ	スペイン語	3週間
	延世大学「3週間短期課程」/大韓民国、ソウル	韓国語	3週間
平成21 (2009)年度	アンジェ・カトリック大学「実用フランス語講座」/フランス共和国、アンジェ	フランス語	3週間
平成26 (2014)年度	国立台湾師範大学/台湾、台北市	中国語	3週間
平成28 (2016)年度	カンタベリー・クライスト・チャーチ大学/英国、ケント州カンタベリー	英語	2週間
平成29 (2017)年度	カリフォルニア大学サンディエゴ校/アメリカ合衆国、カリフォルニア州ラ・ホヤ	英語	3週間
平成30 (2018)年度	フィリピン中央大学/フィリピン共和国、イロイロ市	英語	4週間
平成31 (2019)年度	聊城大学/中華人民共和国、聊城	中国語	3週間

12. 管理運営

(1) 全学的な管理運営

教学面での管理体制については、学長による全学的なガバナンスの下、円滑に本学の運営上重要な事項等を協議するため、学長・副学長会議が設置され、学長、副学長、法人局長、事務局長、その他学長が指名した者が構成員となり、全学的な執行体制を敷いている。

さらに、学部長を含めた管理運営組織として、学長、副学長、学部長、研究科長及び副研究科長、法人局長、事務局長、各センター長、その他学長が指名した者を構成員とした部局長会議を設置し、全学的な教学事項や、学部間との連絡調整を行うことが必要な事項等について協議している。これらの協議を経た案件について、大学の教育・研究上において適正な運営となるように重要事項を審議することを目的として、全学の議決機関として大学評議会があり、これらは全て学則及び各会議規程により制度化され、適切に運用されている。

(2) 学部の管理運営

学部での管理体制については、学長による全学的なガバナンスの下、審議事項をつかさどる議決機関として教授会を置き、学部長を中心に執行部を構成する管理運営体制を敷いている。運営の中心を担うのは、学部長、教務委員長、同副委員長、入試委員長、キャリアセンター委員等で構成する学部運営会議である。学部運営会議は、原則として毎週1回水曜日に開催され、教授会決定事項の執行を中心として、広く学部運営に当たる。

(3) 教授会

教授会については、「駿河台大学学則」第8条第1項で「本学の各学部に、教授会を置く。」ことを規定し、同第3項で「教授会は、(その学部に属する)教授、准教授及び講師をもって構成する。」としている。同第4項では「教授会は、次に掲げる事項について審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。」として、次の事項が審議対象となっている。

①学生の入学及び卒業

②学位の授与

③前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

さらに、同第5項に「教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長等がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べるができる。」としている。

また、教授会の審議事項については、「駿河台大学教授会規程」第4条に定められているとおり、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとして、次の事項が対象となっている。

①学生の入学及び卒業に関すること。

②学位の授与に関すること。

③学生の賞罰に関すること。

④学生の試験に関すること。

⑤単位の認定及び学業評価に関すること。

⑥教育課程及び授業に関すること。

⑦学生の指導に関すること。

⑧教員の人事に関すること。

教授会は、学部長の招集により8月を除き毎月、定例で開催する。また、学部長が必要があると認める場合には、臨時に招集することができる。本学部の教学に関わる事項、学生に関わる事項、教育研究

に関する事項や直面する諸々の課題などについて審議を行い、そこで承認・決定された本学部の課題に関しては、学部長を中心に学部執行部が責任を持って執行する。議事は、学部長を議長として、出席者の過半数の賛成をもって決し、可否同数の時は議長が決する。重要事項の審議については、出席者の3分の2以上の賛成が必要である。

なお、教授会構成員が、全学又は学部内の各委員会の委員となり、学部の教学と運営を主体的に担う。

学部の委員会として、教務委員会、入試委員会等がある。また、全学委員会は、全学教務委員会・FD委員会、入学試験実施委員会、学生委員会、健康相談室委員会、障害のある学生等への支援委員会、メディアセンター委員会、キャリアセンター委員会、グローバル教育センター委員会、地域連携センター運営会議、教職課程委員会、資格課程委員会、情報処理教育センター運営会議、スポーツ教育センター運営会議、ハラスメント防止対策委員会、施設・財務委員会、特別研究審査委員会等が設置され、各学部から概ね1・2人程度の委員を選出し、全学的な意思の形成が図られている。

また、学部の月例会議として、学部FD・SD会議が定例化されており、教育内容・教育方法に関する協議・討論を行うとともに、教授会での議論を深化し補完させる場として位置づけている。

1.3. 自己点検・評価

(1) 大学及び全学統一による学部としての対応

本学では、昭和62(1987)年の開学以来、本格的な自己点検・評価作業を計8回行ってきた。第1回目の自己点検・評価は、大学による自己点検・評価を努力規定とした大学設置基準の改正に伴い、平成7(1995)年度より作業が開始され、平成9(1997)年度に報告書が取り纏められた。その後、概ね一定のサイクルで同評価作業を実施し、平成12(2000)年度に第2回自己点検・評価報告書、平成14(2002)年度に第3回自己点検・評価報告書を各々作成するに至った。

平成14(2002)年における学校教育法の改正に伴い、平成16(2004)年度以降、大学は文部科学大臣から認証を受けた評価機関による認証評価を受けることが義務付けられた。

この新たな制度的枠組みの下で、平成16(2004)年度以降、より組織的な全学的体制に基づいた自己点検・評価作業に取り組み、平成18(2006)年度に第4回自己点検・評価報告書を取り纏め、翌年度、公益財団法人大学基準協会の認証評価を受審した結果、大学基準に適合しているものと認定された。

その後、平成21(2009)年度及び平成23(2011)年度にそれぞれ第5回及び第6回の自己点検・評価作業を実施し、平成25(2013)年度に作成した第7回自己点検・評価報告書に基づき、平成26(2014)年度に公益財団法人大学基準協会による第2回目の認証評価を受審した結果、再び、大学基準に適合しているものと認定されるに至った。

平成27(2015)年度に第8回自己点検・評価報告書、平成29(2017)年度に第9回自己点検・評価報告書を取り纏めるなど、全学的・体系的に自己点検・評価のサイクルを確立し、継続的な大学改革に取り組みつつ、平成33(2021)年度に受審予定である第3回目の認証評価に備えている。

こうした自己点検の一環として、本学では、毎年、在学生による「授業アンケート」及び「学生生活基本調査」を実施することに加え、卒業式当日には、卒業生による「ふりかえりアンケート」を実施するなど、学生による意見を大学改革に反映させる仕組みも整備している。また、平成29(2017)年度以降は、卒業後3年が経過した既卒生対象の「既卒者アンケート」も継続的に実施している。

さらには、従来、組織的に実施されてきた年間約10回開催の全学FD、原則月1回開催の学部FD、及び学部アクションプランの策定・評価等に加えて、「研究業績に基づく研究費傾斜配分システム」を導入している。また、処遇への反映も念頭に置いた「教育・学内運営・地域貢献等の分野を評価する教員

業績評価システム」の試験的導入も実施しており、本格的運用に向け、プロジェクトチームによる検討を重ねるなど、大学改革に対する不断の努力を行っている。

(2) 実施方法・実施体制

自己点検・評価は、「駿河台大学大学評価委員会規程」第3条に基づき、学長を委員長とし、副学長、学長補佐、学部長、研究科長・副研究科長、メディアセンター長・キャリアセンター長・グローバル教育センター長・地域連携センター長、法人局長・事務局長により構成される駿河台大学大学評価委員会が所管し、各学部において自己点検・評価作業が行われている。学部レベルにおいて実施された自己点検・評価を基に、既述の大学評価委員会において問題点及び対策等を検討するなど、全学レベルの自己点検・評価に連係させる体制となっている。

(3) 評価項目

自己点検・評価の項目は、従来より「駿河台大学大学評価委員会規程」及び公益財団法人大学基準協会によって規定された評価項目に基づき実施してきたが、平成29(2017)年度実施の第9回自己点検・評価報告書より、以下の第3クール認証評価に対応した10項目に基づき、自己点検・評価を実施している。

①理念・目的、②内部質保証、③教育研究組織、④教育課程・学修成果、⑤学生の受け入れ、⑥教員・教員組織、⑦学生支援、⑧教育研究等環境、⑨社会連携・社会貢献、⑩大学運営・財務（【大学運営】、【財務】）

(4) 結果の活用・公表

本学におけるこうした自己点検・評価作業は、あらゆる側面における検討課題の整理及び改革の方向性の精査を行い、創造的発展に繋げる契機として位置づけている。したがって、上記(3)に列挙したとおり、評価項目は教育・研究をはじめ、組織・運営、施設・設備、学生支援及び財務状況等、非常に広範囲に及んでおり、中期計画である「駿河台大学グランドデザイン2021」と連動させることにより、教職員の改善・改革の指針として活用している。

自己点検・評価を取り纏めた自己点検・評価報告書は、ポータルサイト等を通じて教職員に周知するとともに、同報告書の内容に関しては、速やかに教育運営に反映させ、社会的要請及び学生ニーズに積極的に応えるよう取り組んでいる。

第1回から第9回までの同報告書の全文及び認証評価の結果については、学内に対してのみならず、本学における研究・教育等の質に対する信頼向上と同時に、社会的説明責任を果たすことを主たる目的として、大学ホームページを通じて、対外的にも広く公表し、本学の社会的説明責任を果たしている。

1.4. 情報の公表

(1) 公表内容と実施方法

情報の公表については、平成23(2011)年4月1日施行の学校教育法施行規則の一部改正に対応して、学校教育法施行規則等の一部を改正する省令(平成22(2010)年文部科学省令第15号)及び「学校法人駿河台大学情報公開規程」に基づき、本学の教育研究活動等に関わる情報を公表している。情報公開が求められている教育情報等を見やすいように項目別にして「情報の公開」として本学ホームページに開設し、広く社会に公表することにより公的な教育機関として社会に対する説明責任を果たしている。

また、本学のホームページには、現在、全科目のシラバスが公開されているほか、教員のプロフィールなど多くの情報が掲載されている。本学の財務情報の公開については、より透明性を高めるため、本学広報紙「駿河台大学 NEWS」7月号に毎年解説とともに、本学ホームページでの掲載により、学生・保護者をはじめ、広く社会に向けて公表している。加えて、本学では、紙媒体を用いた情報提供も積極的に行っており、主要な刊行物については、デジタルブックとしてインターネット上で公表している。

- ①大学広報誌「駿河台大学 NEWS」(年8回発行：各回約4,200部発行)
- ②駿河台大学案内、入試ガイド、オープンキャンパスリーフレット及び募集要項
- ③留学制度紹介リーフレット「New Adventures」(年2回発行：各回約1,500部発行)
- ④「地域インターンシップ報告書」
- ⑤スポーツクラブガイド(スポーツ公認団体のクラブ紹介と年度の戦績)

本学部についても、既設の学部と同様に本学のホームページにスポーツ科学部のページを設け、インターネットで広く社会に向けて公表し、積極的に情報提供していく予定である。

教員の研究成果については、駿河台大学紀要『駿河台大学論叢』及び『駿河台大学教職論集』に掲載して公表されている。さらに、教員個人の教育・研究等の活動を基にした教員評価制度による「教員評価報告書」も過去3年間分を本学ホームページ上で公表している。

(2) 情報公表項目等

本学の教育理念と教育方針、組織、役職者、専任教員、カリキュラム、授業の内容(シラバス)、施設、入学者選抜の概要などの以下の基本情報のほか、必要に応じて行事や出来事等についての情報も提供している。

- ①大学の教育研究上の目的に関すること

https://www.surugadai.ac.jp/about/gaiyo/gakubu_policy.html

トップ>駿河台大学について>情報の公開(大学の教育研究上の目的)>駿大教育の指針(学部)

https://www.surugadai.ac.jp/about/gaiyo/in_policy.html

トップ>駿河台大学について>情報の公開(大学の教育研究上の目的)>駿大教育の指針(大学院)

- ②教育研究上の基本組織に関すること

<https://www.surugadai.ac.jp/about/gaiyo/soshiki.html>

トップ>駿河台大学について>情報の公開(教育研究上の基本組織)>組織図

- ③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

<https://www.surugadai.ac.jp/about/gaiyo/gakuseisu.html#kyoin>

トップ>駿河台大学について>情報の公開(専任教員数)>専任教員数、職階別教員数、教員一人当たり学生数、専任教員と非常勤教員の比率、年齢別教員数

<https://faculty.surugadai.ac.jp/sudhp/KgApp>

各教員が有する学位及び業績に関する情報

- ④入学者に関する受入れ方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

<https://www.surugadai.ac.jp/about/johokoukai/>

トップ>駿河台大学について>情報の公開(入学者に関する受入れ方針、入学者数、収容定員、在学者数、卒業(修了)者数、就職者数)>駿大教育の指針(学部)、駿大教育の指針(大学院)、入学者数・入学者数の推移、在学者数・収容定員充足率、卒業(修了)者数・学位授与数、就職者数等、就職先の情報、留学生数

- ⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<https://www.surugadai.ac.jp/about/johokoukai/>

トップ>駿河台大学について>情報の公開（授業に関する情報（授業科目、授業内容、授業計画等、履修モデル、主要科目の特徴等）、教職に関する情報）>授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画（シラバス、年間授業計画の概要）、教職課程等

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<https://www.surugadai.ac.jp/about/johokoukai/kijun.html>

トップ>駿河台大学について>情報の公開（学習の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準）>成績評価、卒業要件、修了要件、取得可能な学位

⑦校地・校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<https://www.surugadai.ac.jp/about/johokoukai/>

トップ>駿河台大学について>情報の公開（学生の教育研究環境に関する情報）>キャンパス紹介、課外活動、大学会館、メディアセンター、交通アクセス

⑧授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

<https://www.surugadai.ac.jp/about/johokoukai/>

トップ>駿河台大学について>情報の公開（授業料、入学料その他の大学等が徴収する費用）>学費、学生寮の寮費・食費

⑨大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<https://www.surugadai.ac.jp/about/johokoukai/>

トップ>駿河台大学について>情報の公開（学生支援に関する情報）>健康相談室、学習相談室、社会貢献活動、キャリア・就職支援、奨学金・貸費金制度、公務員講座、留学・国際交流、大学間連携、産官学連携、障害支援相談

⑩その他（教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報、学則等各種規程、設置認可申請書、設置届出書、設置計画履行状況等報告書、自己点検・評価報告書、認証評価の結果、事業計画、事業報告書・決算資料 等）

https://www.surugadai.ac.jp/about/gaiyo/gakubu_policy.html

トップ>駿河台大学について>情報の公開（教育研究上の基礎的な情報）>駿大教育の指針（学部）>教育目的・目標（どのような人材を育てるか）

<https://www.surugadai.ac.jp/about/gaiyo/gakusoku.html>

トップ>駿河台大学について>大学の概要>学則・規程

<https://www.surugadai.ac.jp/about/johokoukai/shinri.html>

トップ>駿河台大学について>情報の公開（設置認可申請書等の公開）>設置認可申請書等の公開
<https://www.surugadai.ac.jp/about/johokoukai/hyoka.html>

トップ>駿河台大学について>情報の公開（認証評価）>自己点検・評価報告書

<https://www.surugadai.ac.jp/about/johokoukai/>

トップ>駿河台大学について>情報の公開（財務状況）>事業計画、事業報告書・決算資料

15. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

本学では、平成28（2016）年に、開学35周年（2021年）に向けて実現すべき目標と計画を示した「駿河台大学グランドデザイン」を策定し、毎年、達成度の検証と評価を行うこととしているが、同グランドデザインにおいて最重要視している事項が「教育の質の向上」であり、教育内容等の改善を図るための組織的な研修等の取組が数多くなされている。

(1) ファカルティ・ディベロップメント(FD)

教員相互による教育資質の維持向上を主たる目的として、各学部においては、原則月1回の割合で、定期的に教育内容・教育方法に関する協議・討論を行っており、毎回、実施報告書を事務部門に提出することを義務付けている。

また、学部のFDとは別に、大学全体のFDとして、「教育力」に関する全学的なFDを春学期・秋学期に各1回開催しており、教員の参加率は平均で96%を超えるなど、教育能力の向上に努めている。

①学部の取組

各学部における定例会議として、学部FD・SD会議を置き、原則月1回の割合で、定期的に教育内容・教育方法に関する協議・討論を行っており、毎回、実施報告書を事務部門に提出することを義務付けている。

各学部では、卒業研究アンケート分析報告、学部授業公開、卒業研究に関する倫理審査方法、新任教員研修セミナー報告等についての協議・討論を行っている。

②大学全体の取組

全学委員会として、各学部・センターから選出された教員及び学務部長を構成員とするFD委員会を設置し、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を図っている。

ア 全学研修会

大学全体のFDとして、「教育力」に関する全学的なFDを春学期・秋学期に各1回開催しており、教員の参加率は平均で96%を超えるなど、教育能力の向上に努めている。

イ 授業公開・見学

春学期・秋学期に専任教員が担当する授業公開の期間を設け、専任教員による授業見学を行っている。公開に際しては、特色のある授業を例示した上で、周知を行い、見学後は見学報告書をFD委員会に提出している。

ウ 授業アンケート

教育内容及び教育方法に対する学生の評価や授業に対する学生のニーズ等を把握するため、学生による授業評価を行っており、アンケート結果は学内ポータルサイト及び印刷物の配架により、全学的に公表されている。

また、学長ガバナンスに基づき、こうした授業アンケートによるスコアが、ある一定水準を下回っている場合には、FD委員会を経て、全学部長・研究科長・センター長を構成員とする部局長会議において、学部長等による面談実施依頼を行っており、面談実施後は、速やかに事務部門に対して、面談内容・対応策等に関する報告書を提出することとなっている。

報告内容が取り纏められた後は、上記部局長会議にて面談結果報告を行ない、対応を議論するなど、教育の質を常に重視した取り組みを行っている。

エ 授業改善計画書

授業アンケートの結果を受けて、年度末に授業改善計画書の作成を義務付けている。授業アンケート対象科目から講義・演習・実習各1科目を任意に選択し、授業アンケートの結果を受けた事項、授業改善手法に関する事項等に回答する形式としている。平成30(2018)年度においては、対象者における全体提出率74.0%であり、専任教員は108人全員が提出している。

オ 新任教員研修

若手教員、とりわけ新任教員に対しては、積極的に外部研修の受講を薦めており、本年度本学に着任した新任教員8人中3人が「新任教員研修セミナー」(大学セミナーハウス主催)を受講している。

同研修では、「アクティブ・ラーニングに向けた関係性作り」や「アクティブ・ラーニング講座」など講義のほか、「ティーチング・ポートフォリオチャート作成」、「コミュニケーション・ワーク」、「合

理的配慮」に関するワークショップなどを中心に行っており、授業内容の検討や授業運営上の工夫に活用できるよう、本学の次世代を担う教員の教育能力向上に対しても大学を挙げて支援体制を整備している。

(2) スタッフ・ディベロップメント(SD)

①学部の取組

各学部における定例会議である学部 FD・SD 会議の中で、教職員に必要な知識及び技能を習得させ、能力及び資質を向上させるための取組を行っている。

各学部では、気になる学生の情報交換、就職意識調査方法、就職意識調査結果報告等についての協議・討論を行っている。

②大学全体の取組

大学全体の SD として、全教職員を対象として「入試」「学生支援」「ハラスメント防止」「学生相談」「財務」「研究」「情報セキュリティ」「防災」「地域連携」の各研修会を実施している。

③職員研修

大学職員に必要な知識・技能を習得させるとともに、必要な能力及び資質を向上させるため、年度ごとに総務課にて全体計画を立案し、以下のような研修等の取組を行っている。

ア SD Step Up 研修会

全専任事務職員を対象に、本学の中期計画を達成するために実行主体である事務組織の組織力、実行力を向上させることを目的に、夏期休業期間中に SD Step Up 研修会を行っている。平成 30

(2018) 年度は建学の理念、大学憲章に基づく目指す大学像及び駿大ブランド「5つの力」のうち、「学生支援力の駿大」に焦点を絞って通常業務を 2 日間休止し研修を行った(参加率 95.2%)。「学生支援力(退学者の減少)」をテーマに研修を行うことにより、テーマの重要性を再度認識させ組織の一体感を強め、職員が主体的に取り組むことができるようにリマインドを行った。また、部署を横断した少人数のグループで協働してワークを行うことで職員間の関係性を深め、組織力を向上させた。

イ Quon Academy

「課題設定型の大学職員」に求める技能と知識を学び実践につなげることを目的とした前 SD セミナー「Quon Academy」(早稲田大学アカデミックソリューション主催)に今年度法人登録し、年間 16 種のセミナーにのべ 29 人が参加した。

ウ 階層別研修

入職や昇進などの節目に対象者に合わせた階層別研修(平成 30(2018)年度入職 3 人、若手職員 4 人、副課長候補 3 人、課長昇進 1 人)を行っている。

エ 資格取得奨励金制度

自己啓発を促すため資格取得奨励金制度(平成 30(2018)年度申請 2 件)を設けている。

その他、各部署の業務に即した専門知識、スキルを修得するために必要な研修については、各部署で年度ごとに計画を立案している。

(3) IR 実施委員会

平成 28(2016)年より、学長・副学長会議の下に、IR 実施委員会を設置し、教育力に関する分析に取り組んでいる。これまでに、G-TELP スコアを用いた英語教育力・教育成果に関する分析、入試方式別 1 年次学業成績分布に関する追跡調査などを実施し、教育改善の一助としてきた。

ほかにも、出席率、単位修得数、卒業率との関係性に関する分析から、1 年次の春学期における学生支援の重要性が明らかになっており、同分析結果については、「早期退学の減少に向けた中退防止マニュアル」作成に結実させるなど、一定の成果が上がっている。

なお、このような IR 実施委員会による分析は、学長・副学長会議における報告はもちろんのこと、対内的には全学 FD 報告及びポータルサイト掲出、対外的にはホームページ掲出により、学内外に広く公表されている。

また、これまでは在籍生を対象とした分析を中心としてきたが、平成 29 (2017) 年度以降は、本学における教育の成果、社会人基礎力の検証を目的の 1 つとした既卒者アンケート調査も継続的に実施するなど、教育内容等の改善に対して、不断の努力を行っている。

(4) 駿河台大学教育研究センター

本学は、平成 28 (2016) 年、大学全体の組織的な教育改善を進める体制を構築することを目的として、規程の整備を行い、「アクティブ・ラーニングなどの先端的教育方法の開発・改善」「先端的教育方法の普及・定着」及び「学習成果の測定と評価に関する研究や調査」などを主たる役割とした「駿河台大学教育研究センター」を開設した。

「授業評価アンケートからみた駿大社会人基礎力の傾向～教授・学習の向上と学修成果の可視化へ向けて～」 「現代文化学部低学年次生のための効果的キャリア教育プログラムの定着と標準化Ⅳ」及び「学生一人ひとりの興味や関心を、社会に生きる力へとつなげるシティズンシップ教育」、平成 30 (2018) 年度は、「英語力向上のための教科書作成を目的に、学生の英語力を分析し、課題を明らかにする」及び「学習支援システム Moodle の学内利用促進の試みとその効果検証～講義科目を主な対象とした利用率の向上を目指して～」のプロジェクトを実施するなど、学部横断的なテーマに関して、教育改善を行うべく組織的対応を行っている。

また、こうした教育研究センターの役割の 1 つである先端的教育方法の普及に関しては、e-ラーニング等の ICT 技術を活用した教育実践の学内普及促進を目的として、Moodle ワークショップなども開催している。このワークショップでは、コンピュータ教室を使用し、コース(科目)の作成、コース参加者の管理、講義資料の掲示、小テスト(宿題)の問題作成・実施・採点、課題の指定と提出といった作業を実体験することにより、授業手法の改善発展に繋げている。

1.6. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

(1) 教育課程内の取組について(資料 20 駿大の総合キャリア支援システム DSC)

教育課程内での取組は、「全体としてのキャリア支援」と「中核としてのキャリア支援」という 2 つの視点から実施されている。

まず、「全体としてのキャリア支援」については、全ての科目がキャリア支援との認識の下、社会的・職業的自立の形成促進に向けて「社会で生き抜く力の涵養」に取り組んでいる。具体的には、いかなる職業に就こうとも必要となる汎用的能力(ジェネリックスキル)を、本学独自の 5 つの能力(16 の能力要素)としてまとめ、これを「駿大社会人基礎力」として示している。この「駿大社会人基礎力」を大学教育の中で意識的・体系的に育成していくために、全ての科目において、知識の獲得に加えて、「駿大社会人基礎力」の育成を授業の到達目標として明示し、授業アンケートでその成果を検証する。

次に「中核としてのキャリア支援」については、「キャリア教育科目」(必修 4 単位を含む 6 単位以上)を設け、1 年次より段階的・体系的なキャリア教育を実施し、3・4 年次における就職支援体制への有機的な接続を行うことで、社会的・職業的自立の形成及び社会への円滑な移行を促進している。1 年次では、人間関係形成に対する動機づけと対人的能力の向上を通じて、大学生活に馴染み、肯定的な展望を持つことを目的として「キャリア基礎Ⅰ・Ⅱ」を設置している。2 年次では、学生がそれぞれの「専門的な学びの入り口」に立つ時期であることから、大学で学んでいる学問(専門分野)が、社会で実際にどのように役に立っているのか、更には、これを手掛かりに社会における多様な役割とこれらに対応する職業が広く存在することを学ぶことを目的として「キャリア発展」を設置している。また、2

年次では「ライフキャリア」という視点からみた「自己の理解」を促進し、今後の人生設計に欠かせない「時間的な展望」をもつことを目的として「ライフプランニング」を設置している。さらに、これらを受けて3年次には、進路・職業選択に対する動機づけと、進路・職業選択に対する肯定的な展望、更には自律的なキャリア形成行動をとるよう支援することを目的とした「キャリア実践論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を設置している。

これらの取組を総合的に行い、教育課程外の取組とも有機的に連携することによって、学生の社会的・職業的自立の形成を促進させ、社会への円滑な移行が図ることができるよう適切に指導を行うものである。

(2) 教育課程外の取組について

公務員や資格試験の合格を目指す学生のために、「公務員・資格試験学習室」を設置している。「公務員・資格試験学習室」は全学部・全学年を対象として、税理士、公認会計士、司法書士、行政書士、宅地建物取引士、簿記等の資格取得を希望する学生、法科大学院への進学を希望する学生、警察官、消防官や市役所などの公務員を志望する学生のために、主に専任教員が、試験対策の演習や模擬面接を実施し、学生のサポートを行っている。

また、資格取得・公務員合格を目指し、更なる指導を希望する学生のために、全学生を対象に外部講師による資格取得のための「キャリアカレッジ」(保育士合格講座、宅建士合格講座、リテールマーケティング検定2級合格講座、簿記検定3級合格講座、ITパスポート試験合格講座、秘書検定2級合格講座、介護職員初任者研修合格講座、医療事務合格講座、経営学検定初級合格講座)、公務員合格を目指すための「公務員講座」(公務員受験スタートコース、数的処理コース、夏期集中コース、受験対策強化コース、直前特訓コース、直前特訓上級コース)を開設している。

3年次からは、キャリアセンターが、毎週、就職支援行事(自己分析セミナー、インターシップガイダンス、卒業生との交流会、業界研究セミナー、地方就職ガイダンス、留学生向けセミナー等)を開催し、就職活動に対する理解を深めさせている。また、11月以降は、就職支援行事と並行して、就職活動力の向上を目指す様々な実践講座(筆記試験対策、履歴書・ES作成、グループディスカッション・面接対策等)を毎週開催し、2月には、総仕上げとして、模擬就職活動体験を始めとする各種実践講座を集中的に実施している。

3年次の3月以降は、学内で企業と出会う機会を持つことができるよう本学学生の採用を希望する企業を招き、学内合同企業説明会を月に2回程度のペースで実施、4年次の6月以降は、同様に説明・選考会を実施している。また、埼玉県西部地域の6大学の協力(西部地域雇用促進協議会)による合同説明会を年に2回、埼玉県内17大学の協力(埼玉県就職問題協議会)による合同説明会も年に1回実施している。4年次以降は、合同説明会や選考会と並行して、就職活動対策セミナー、個別相談会等を月2回程度実施しているほか、年々増加しているアスリートを対象とした就職相談会、メディア系学生を対象とした説明会、地域限定の説明会等、ターゲットとなる学生を限定した就職行事も実施している。

また、教員のFAによる支援とは別に、3年次の秋学期より、専任職員が分担、担当となり、全学生と個々に、1時間かけて行うインテーク面談を皮切りに、学生と二人三脚で就職活動を進める個別支援体制を整えている。

なお、ハローワークやLO活プロジェクトによる相談窓口をそれぞれ週に1回キャリアセンター内に開設し、地域・地方への就職希望者の要望にも応えている。

(3) 適切な体制の整備について

キャリア教育と就職支援を一元的な組織の下で効果的に実施し、学生の就業力を向上させ、就業率の向上を図るために「キャリアセンター」を設置している。キャリアセンターには、専任職員11人、専任

教員2人、パート職員2人を配置し、そのうちの2人の職員、2人の教員は、厚生労働省認定のキャリアコンサルタント資格を有する等、学生の指導・支援を効率的かつ有効に実施している。

キャリアセンターの運営については、学部教員とキャリアセンターが連携して学生の指導・支援を行うため、キャリアセンター所属教職員以外にも各学部よりキャリアセンター委員を選出し、担当の副学長（キャリアセンター長）を委員長とするキャリアセンター委員会を設置し、必要な事項について審議している。（資料21 「駿河台大学キャリアセンター規程」「駿河台大学キャリアセンター委員会規程」）

キャリアセンター内には、就職関係書籍・雑誌、新聞、求人票、企業案内等を備え、求人情報検索用PCを配置し、個別相談コーナーを設け、学生の就職活動を支援する環境を整えている。

インターンシップについては、自由応募によるものは、キャリアセンターで情報を提供しているが、単位認定の対象となる授業科目「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」及び「まちづくり実践」については、地域連携課が担当し、学生の指導と地域企業との協力体制を整えている。

法科大学院、国家・地方公務員を志望する学生、税理士、公認会計士、司法書士、行政書士若しくは宅地建物取引士等の資格取得を希望する学生を支援するためには、公務員試験又は資格試験に精通した本学専任教員及び学外の有識者を構成員とする「公務員・資格試験学習室」を設置している。（資料22 「駿河台大学公務員・資格試験学習室規程」）

資料目次

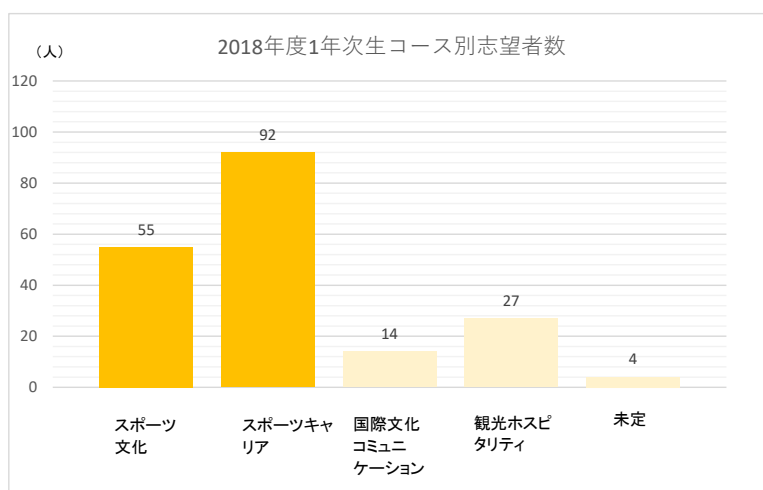
- 資料 1 既設の学部（現代文化学部）のコース志望状況
- 資料 2 「駿河台大学グランドデザイン 2021」及び概要図
- 資料 3 駿河台大学スポーツ科学部スポーツ科学科の設置について（嘆願）
- 資料 4 スポーツ科学部カリキュラムツリー
- 資料 5 スポーツ科学部の卒業要件
- 資料 6 「学校法人駿河台大学定年規程」
「学校法人駿河台大学教育職員定年退職者の再雇用に関する規程」
「駿河台大学教員任用規程」
「駿河台大学有期雇用教職員就業規則（無期労働契約転換後の規定を含む）」
- 資料 7 スポーツ科学部 3 つの履修モデルプラン
- 資料 8 「駿河台大学スポーツ科学部卒業研究における「人を対象とする研究」倫理基準」
- 資料 9 体育館・屋外競技施設利用状況見込
- 資料 10 駿河台大学スポーツ関連施設
- 資料 11 スポーツ科学部授業時間割
- 資料 12 スポーツ科学部新規購入設備器機一覧（スポーツサイエンス lab. 関連より抜粋）
- 資料 13 メディアセンター所蔵雑誌リスト（スポーツ科学部関連）
- 資料 14 スポーツ科学部新規購入図書一覧（平成 30（2018）年度購入分）
- 資料 15 教育実習施設一覧、教育実習受入承諾書
- 資料 16 「チームビルディング」実習受入承諾書
- 資料 17 学外実習（スポーツ健康実習、スポーツ教育実習、地域スポーツ実習）受入先リスト
- 資料 18 平成 30（2018）年度インターンシップ I 実習受入企業・団体リスト
- 資料 19 1 か月以上の海外語学演習提携校（モナシュ大学、ソルボンヌ大学、フィリピン中央大学）との協定書
- 資料 20 駿大の総合キャリア支援システム DSC
- 資料 21 「駿河台大学キャリアセンター規程」「駿河台大学キャリアセンター委員会規程」
- 資料 22 「駿河台大学公務員・資格試験学習室規程」

既設の学部（現代文化学部）のコース志望状況

2018年度1年次生の志望状況（2019/2/9現在）

選択コース	男性	女性	総計	
	人数	人数	人数	割合
スポーツ文化コース	37	18	55	28.6%
スポーツキャリアコース	86	6	92	47.9%
国際文化コミュニケーションコース	10	4	14	7.3%
観光ホスピタリティコース	13	14	27	14.1%
未定	4	0	4	2.1%
総計	150	42	192	100.0%

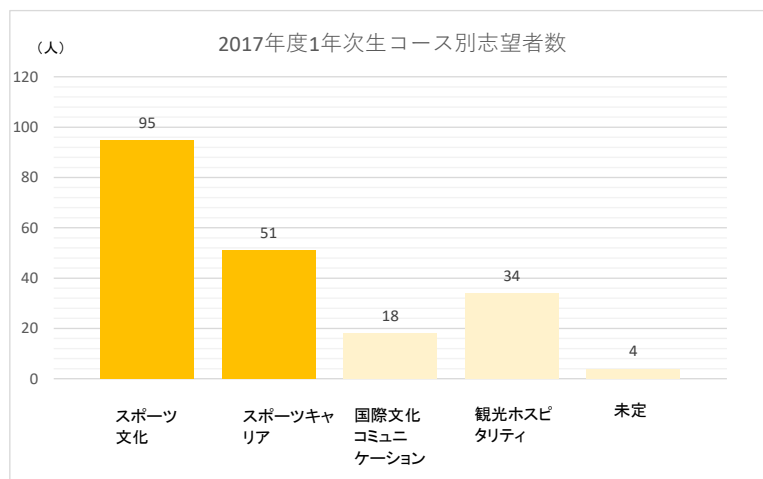
スポーツ系志望者76.5%



2017年度1年次生の志望状況（2018/3/7現在）

選択コース	男性	女性	総計	
	人数	人数	人数	割合
スポーツ文化コース	83	12	95	47.0%
スポーツキャリアコース	38	13	51	25.3%
国際文化コミュニケーションコース	12	6	18	8.9%
観光ホスピタリティコース	24	10	34	16.8%
未定	4	0	4	2.0%
総計	161	41	202	100.0%

スポーツ系志望者72.3%



駿河台大学 グランドデザイン 2021

—駿大ブランドの構築・強化に向けて—

2016年11月26日

学長 吉田恒雄

1. はじめに

(1) 「駿河台大学グランドデザイン 2021」策定の趣旨

現在、わが国の大学は、2018年問題に象徴されるような今後の18歳人口の急激な減少、2020年度からの導入が予定されている新方式入試への対応、高大接続改革等における大学教育の質的転換の要請に加えて、生産年齢人口減少への対応としてのグローバル人材や高度の実践力を備えた人材の育成も産業界から強く求められています。さらに、地方創生施策の推進において、大学が果たす役割への期待も大きくなっています。

こうした状況を受けて、2012年に策定した「駿河台大学グランドデザイン」の完成年度を迎えた現在、高等教育をめぐる社会状況の変化に対応するとともに、グランドデザインの検証から明らかになった諸課題を点検し、本学の「教育の質の向上」に向けて新たな目標と計画を示し、「駿河台大学グランドデザイン 2021」（以下、グランドデザイン 2021と表記します。）として、2017年度以降の5年間に達成すべきこととしました。折しも今年2016年は本学の建学から30周年に当たります。このグランドデザイン 2021を基点に、これまでの30年間に培ってきた本学の実績をさらに伸展し、本学のミッションを果たします。

(2) グランドデザイン 2021の目標：駿大ブランドの構築・強化

駿河台大学の「教育の質の向上」を実現するには、教育内容、教育方法、教育組織、教育環境の維持発展のための基盤の充実が不可欠です。そのためには毎年度の入学定員の確保、収容定員の充足、中途退学者の減少、高い就職率の維持といった課題を克服しなければなりません。この目標に向けて、本学の教学全般にわたる改革・改善を計画的に行い、駿大ブランドを構築することが必要になります。

これらの取組みにより、本学の教育に対する高校生、教育関係者、地域社会の信頼を高め、これをもって志願者増に繋げ、大学運営基盤の安定を図ることをグランドデザイン 2021の目標とします。

2. 駿河台大学のミッション

本学は、建学の理念である「愛情教育」に基づき、埼玉県西部の地域社会に根ざした大学として、以下のミッションを果たします。

① 地域の中核的人材の育成

本学は、グローバル化の著しい現代社会における地域社会の諸活動の中で中核的

役割を担う人材を育成することによって、高等教育機関としての責務を果たします。

② 地域の発展への貢献

本学は、地域社会の諸課題を調査研究し、その成果を還元することにより、地域社会の発展に貢献します。

③ 地域の活性化への貢献

本学は、「地域の知」の核として、地域に学びの機会を提供することにより、地域社会の活性化に貢献します。

3. 駿河台大学が目指す大学像：「駿大ブランド 5つの力」

本学は、上記のミッションを果たすために、本学が培ってきた「強み」を活かし、現在の教育活動、研究活動、地域貢献活動をさらに発展させ、駿大ブランドを構築・強化します。

(1) 「教育力」の駿河台大学：きめ細かい教育

駿台予備学校を始めとする学校法人駿河台学園が永年にわたり形成してきた教育理念、教育情報、教育方法等を活用し、駿河台学園との緊密な連携のもとに、「きめ細かい」教育を行います。

(2) 「就業力」の駿河台大学：目配りの行き届いた就職支援

教職員が一体となった、目配りの行き届いた就職活動支援により、学生ひとりひとりの個性と意向にあった就職を実現します。

(3) 「学生支援力」の駿河台大学：高い学生満足度

明るく美しいキャンパスで、学生が自己肯定感をもって学習し、学生生活に打ち込めるよう、学生の主体的な活動を支援し、学生の居場所を充実し、経済的支援を行います。

(4) 「地域力」の駿河台大学：地域との協働

「地域を学ぶ」、「地域で学ぶ」、「地域から学ぶ」、をテーマに、自治体や企業、団体、市民の協力を得て実践的な教育を行い、「駿河台大学社会人基礎力」を身に付けます。あわせて、生涯教育の機会提供により地域貢献に努めます。

(5) 「研究力」の駿河台大学：研究成果の地域還元

教員のもつ高度の専門性を活かし、優れた研究成果を地域社会に還元します。

4. 駿大ブランド構築・強化のための具体的取組み

(1) 駿大ブランドとしての「愛情教育」

本学は、「愛情教育」の理念に基づき、「ひとりひとりの学生をありのままにみつめ、ひとりひとりの夢とその歩みを支援し、自立へと促す教育」を実践します（「駿河台大学憲章」より）。

(2) 「教育力」の駿河台大学：きめ細かい教育

本学の教育は、上記のミッション「地域の中核的人材の育成」に向けて、「社会人基礎

力」(注)及び専門的知識・技能の活用力を身につけること目標に、以下の取組みを行います。

① 新カリキュラムに基づく教育の実施

教育目標の実現に向けて、2017年度施行の新カリキュラムに基づく教育を確実に実施します。

② 3ポリシーに基づく教育の実践

学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)、学生受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)に基づく教育を実践します。

③ 教育成果の把握、分析に基づく教育改善

個々の授業の教育成果を図る指標や方法を開発・普及し、各授業が目標に沿った成果を達成しているかどうかを検証します。さらに、PDCAサイクルにより、カリキュラムの適切性を点検評価し、教育改善を図ります。

④ 主体的学びの推進

学生が主体的に学び、幅広い教養、社会人基礎力及び専門基礎学力を習得するのに適した授業方法(アクティブ・ラーニング)を全教員が共有し、「教育力」を向上させます。あわせて、学習時間確保の方策を検討します。

⑤ 学習支援の強化

学習相談等を通じて学生の学習を組織的に支援します。

⑥ 初年次教育の充実

入学準備セミナーの全学部実施、導入教育の充実、補習授業、学習支援の実施等により、1年次生への教育をさらに積極的に行います。

⑦ グローバル教育の推進

アクティブ・ラーニングや補習授業を含めた授業等により、外国語能力の向上を図ります。駿台甲府高等学校、駿台グループ専門学校、優良日本語学校との連携により外国人留学生の入学を促進するとともに、外国人留学生への生活支援の充実、留学生と日本人学生の交流を図ります。また、外国大学への留学を促進するため、留学情報の提供、外国語能力の向上、外国語検定試験受験指導等の支援を強化します。

⑧ スポーツ教育の推進

強化すべきクラブを重点化して支援します。2020年東京オリンピック・パラリンピックに対して、大学として、地域と連携して積極的に関与します。さらに、2020年以降のスポーツ振興のあり方を検討します。

⑨ 大学院研究科組織の点検

大学院における人材育成の社会的要請に対応して、科目編成、授業内容、授業方法のみならず、大学院組織のあり方の検討を開始します。

⑩ 教育環境の整備

学生の主体的学びを支援するため、授業とメディアセンターとの連携を強化すると

ともに、「ラーニング・コモンズ」の整備・活用、3404教室の有効利用を図ります。さらに、アクティブ・ラーニングを幅広く行うことができるよう教室を改修します。

(3) 「就業力」の駿河台大学：目配りの行き届いた就職支援

① キャリア教育の充実

学生が自らの将来像を自覚的に捉えキャリア形成できるよう、1年次から体系的かつ多様なキャリア教育を推進します。

② 就職活動支援の強化

学生の希望や将来のキャリア形成の意向を十分に把握し、個々の学生に適した就職を教職員の協働により支援します。

③ 資格試験、公務員試験受験指導の推進

学生の就職に資する資格試験受験や公務員志望の学生に対する指導を積極的かつ組織的に進めます。

④ 留学生の就職支援の強化

キャリアセンターとグローバル教育センター及び学生支援課との連携を密にし、留学生の就職活動をきめ細かく支援します。

⑤ 国際インターンシップの推進

東南アジアを中心に、国際インターンシップの実施に向け、体制を整備します。

(4) 「学生支援力」の駿河台大学：高い学生満足度

① 学生の主体的活動の支援

学生が主体的に大学生活を過ごすことができるよう、クラブ活動、ボランティア活動や学生の自主的活動の企画・実施を積極的に支援します。

② 学生の居場所の改善・充実

学生が大学生活を通じて自己肯定感を育み、自己実現を図れる場所、仲間と楽しく充実した時間を過ごすことのできるスペース等、アメニティの整備・改善をさらに進めます。

③ 中途退学者の減少

i) 経済的支援の充実

給付型奨学金制度を充実し、経済的理由による中途退学の防止に向けた経済的支援を充実します。

ii) 健康上のサポートを必要とする学生に対する支援

健康相談室におけるカウンセリングや保健指導等を強化し、健康上のサポートを必要とする学生が学業に専念できるよう支援します。

iii) 中途退学者等のデータの分析

中途退学者、休学学生、長期欠席学生等のデータを収集・分析し、その成果を活用して中途退学を防止します。

iv) 1・2年次生に対する支援

1年次生について、クラス担当教員（FA）と職員（CA）が協働して、学生支援課

と連携した支援をさらに充実します。2年次生に対するCAの活用については、中途退学の原因分析等を勘案して支援のあり方を検討します。

④ 障がいをもつ学生への支援の充実

発達障がいを含め、障がいをもつ学生に対する支援を適切かつ組織的に行います。

(5) 「地域力」の駿河台大学：地域との協働

① 「地域科目群」の活用

2017年度施行のカリキュラムにおける「地域科目群」を活用した教育を行います。

② 自治体・企業等と連携した教育の多面的展開

自治体、企業等と締結した協定に基づいて開講している寄付講座をさらに発展させ、地域科目の充実及び各学部の専門分野における実践的な教育プログラムの導入を図ります。

③ 生涯教育の充実

現在の「喜樂学」をはじめ、多様な公開講座を開設し、地域における生涯教育を充実します。

④ 地域に関する研究の推進

「知の拠点」として、地域が抱える課題の解決に向けて、地域と共同して調査研究を行います。

⑤ 高大連携授業の充実

連携先高校の意向を踏まえ、高校生がさまざまな学びを経験することができるよう、高大連携授業を見直します。

(6) 「研究力」の駿河台大学：研究成果の地域還元

① 研究環境の改善

教員の研究活動を活性化するため、委員会業務等の学内業務を見直し、研究時間を確保できる環境を整備します。

② 研究費制度の活用

個人研究費制度を見直し、研究費を適切に配分することにより、研究活動に積極的に取り組む教員が十分に研究できるようにします。あわせて、特別研究費、教育研究助成費、出版助成費についても、研究活動の活性化に繋がるよう見直します。

③ 教員の国際交流の推進

海外の大学との教員の人事交流に関する協定の締結に向けて、準備を進めます。

④ 研究成果の地域還元

本学教員による研究成果を、シンポジウムや公開講座等を通じて地域に提供し、地域の活性化に貢献します。

⑤ 外部資金獲得への支援

文部科学省科学研究費補助等の外部資金の獲得を奨励し、申請に関する情報の提供、申請手続きの支援を充実します。

5. 学生募集力の強化

(1) 駿大ブランドの充実と活用

3で述べた駿大ブランドをもって「教育の質の向上」を図り、高校生、教育関係者、地域社会の信頼を獲得することにより、駿河台大学での学びを希望する志願者を増やし、入学定員及び収容定員の確保に繋がります。

(2) 入試データの分析と活用

志願者動向をはじめとする入試データを、IR 実施委員会及び入試広報部を通じて分析し、志願者確保の資料として活用します。

(3) 効果的な入試広報活動の展開

これまでの広報手段をさらに検証し、各種媒体の特性を見極め、時宜を得た広報活動を展開します。

(4) 秋学期入学制度の創設

2017年度のカリキュラム施行にあわせて、主に外国人留学生を対象に秋学期入学を可能とするよう入試制度を一部見直します。

(5) 新方式入試への対応

高大接続改革における入試制度の改革に対応するため、学力の3要素を的確に判定できる制度を導入し、受験生が自己の能力を適切にアピールできるようにする機会を与える等、同改革の趣旨及び本学のアドミッション・ポリシーに合致するよう入試方法を見直し、新方式入試を実施します。

6. 学部・学科の再編

社会の動向、全国及び本学の受験生の志願状況等について、IR 実施委員会および入試広報課の分析に基づき、コース制の再編を行うとともに、新たに設置すべき学部・学科の検討を行い、可能な限り早期に新学部・学科を創設します。

7. 教学ガバナンスの推進

本学のミッションを果たし、駿大ブランドを構築・強化するため、以下の取組みを行い、教学ガバナンスを推進します。

(1) 自己点検評価の実施及び外部評価の受審

本学が高等教育機関としての責務を果たし、「大学の内部質保証」を確実なものとするため、改革の方向性、内容、方法、成果等を、外部関係者の協力を得ながら点検します。また、定期的に外部機関による評価を受審します。これらの点検作業をもとに、教学全般にわたりPDCAサイクルによる改善を継続します。

(2) 適切な情報公開

本学の教学に関する取組み状況を、大学ホームページや「大学ポートレート」を通じ

て公開し、社会に適切に説明する等、本学の情報公開を促進します。あわせて公表内容を定期的に点検します。これにより、学生、父母、志願者、高等学校関係者、企業、団体、地域社会に対して本学の取組みに関し、十分な理解と協力を得ます。

(3) 「教職協働」の推進

本学が取り組むべきプロジェクトについて、その内容に応じて、教員、職員それぞれが「委員」として参画し、協働してプロジェクトを企画・実施します。

(4) 効率的な教学運営体制の確立

①委員会組織の見直し

教職員が教育・研究・学生支援等の業務を十分に遂行するとともに、学内業務を効率化するために、委員会の組織・内容・所管事項の見直しや委員会の整理統合を継続して行います。

②教育力の組織的向上に向けたFD・SDの推進

全学及び学部・センターの研修（FD・SD）を組織的・計画的に運営し、全教職員がこれに出席し、教学改革の意義、内容、方向性、成果等を共有し、改善に取り組む意識、知識及びスキルを高めます。

(5) 教員評価制度の整備

教育、研究、管理運営、社会貢献を積極的に行っている教員の実績を評価し、本学の改善を促進するために、教員評価制度を整備・実施します。

(6) グランドデザイン 2021 による改革の実施

① 学部、大学院研究科及び共通教育センター等並びに事務部門のアクションプランを通じて、グランドデザイン 2021 に掲げられた改善項目をP D C Aサイクルにより確実に実現します。

② グランドデザイン 2021 の開始後 3 年までの成果をもとに、その改善状況を点検し、必要に応じて修正を加えます。

8. おわりに

本学が高等教育機関としての役割を的確に果たすためには、地域社会の支援を得ながら、教職員一体となって「教育の質の向上」に取り組んでいくことが求められます。教職員が本学の課題に対する認識を共有し、それぞれの責務を自覚して着実に業務を遂行することが駿大ブランドの構築・強化につながり、本学のミッションが実現されると確信し、グランドデザイン 2021 の達成に向けて取り組みます。

注) 駿河台大学社会人基礎力は、以下の5つの力から構成されています。

(1)基礎的な力

文章を適切に読み解くと同時に、論理的で、かつわかりやすい文章を書くことができます。さらに、目的に向けて情報源と情報収集方法を適切に選択し、必要な情報を集めることができます。

(2)考える力

さまざまな角度から物事をみつめ、広い視野から筋道を立てて考えることができます。また、相手の話す内容、あるいは自分や相手の置かれている状況を適切に理解しながら、既存の枠組みを超えた新たなアイデアを生み出すことができます。

(3)行動に移す力

目標に向かって行動を起こすことの価値を理解した上で、自ら行動を起こし、必要に応じて課題に柔軟に対応しながら、やりきることができます。

(4)協働する力

自分が相手に伝えたい内容をわかりやすく表現し、伝えるとともに、相手の要求を適切に理解して、それに応じたり、自分の意見を適切に主張したりすることによって、良好な人間関係を構築することができます。さらに、集団の中で自分や周囲の役割を適切に理解し、互いに連携・協力して物事を行うことができます。

(5)総合的な力

自分や自分の身のまわり、あるいは社会のあるべき姿と現状を適切に認識し、問題意識を持つことができます。加えて、実現可能な目標を設定し、そこに至る方策を立てるなど問題解決に向けての努力を続けることができます。

グランドデザイン
2012～2016年度

↓

グランドデザイン2021
2017～2021年度
の新たな目標と計画

建学の理念
「愛情教育」

「愛情教育」に基づき、埼玉県西部の地域社会に根ざした大学として「ひとりひとりの学生をありのままにみつめ、ひとりひとりの夢とその歩みを支援し、自立へと促す教育」を実践します。

本学のミッション

①**地域の中核的人材の育成**
グローバル化の著しい現代社会における地域社会の諸活動の中で中核的役割を担う人材を育成します。

②**地域の発展への貢献**
地域社会の諸課題を調査研究し、その成果を還元します。

③**地域の活性化への貢献**
「地域の知」の核として、地域に学びの機会を提供します。

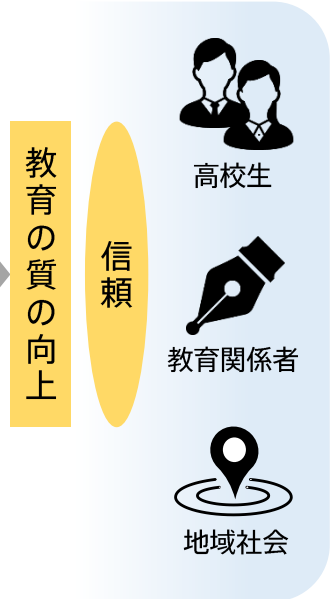
大学を取り巻く
環境・諸課題

- ▶18歳人口の急減
- ▶2020年新方式入試
- ▶大学教育の質的転換
- ▶グローバル人材・高度の実践力を備えた人材育成
- ▶地方創生施策の推進等

【目指す大学像】 個性と夢を尊重し、ともに歩む大学

駿大ブランド 5つの力	1.教育力の駿大 きめ細かい教育	①新カリキュラムに基づく教育の実施 ③教育成果の把握、分析に基づく教育改善 ⑤学習支援の強化 ⑧スポーツ教育の推進	②3ポリシーに基づく教育の実践 ④主体的学びの推進 ⑦グローバル教育の推進 ⑩教育環境の整備
	2.就業力の駿大 目配りの行き届いた就職支援	①キャリア教育の充実 ③資格試験、公務員試験受験指導の推進 ⑤国際インターンシップの推進	②就職活動支援の強化 ④留学生の就職支援の強化
	3.学生支援力の駿大 高い学生満足度	①学生の主体的活動の支援 ③中途退学者の減少* <small>*経済的支援の充実、健康上のサポートを必要とする学生に対する支援、中途退学者等のデータの分析、1・2年次生に対する支援</small>	②学生の居場所の改善・充実 ④障がいをもつ学生への支援の充実
	4.地域力の駿大 地域との協働	①「地域科目群」の活用 ③生涯教育の充実	②自治体・企業等と連携した教育の多面的展開 ④地域に関する研究の推進 ⑤高大連携授業の充実
	5.研究力の駿大 研究成果の地域還元	①研究環境の改善 ④研究成果の地域還元	②研究費制度の活用 ③教員の国際交流の推進 ⑤外部資金獲得への支援

- 「教育の質の向上」実現のための基盤充実**
- ①入学定員の確保・収容定員の充足 ②中途退学者の減少 ③高い就職率の維持
- 学生募集力の強化**
- ①駿大ブランドの充実と活用 ②入試データの分析と活用 ③効果的な入試広報活動の展開 ④秋学期入学制度の創設 ⑤新方式入試への対応きめ細かい教育
- 学部・学科の再編**
- ①社会・受験生動向の分析 ②コース制再編・新規学部・学科の検討・創設
- 教学ガバナンスの推進**
- ①自己点検評価の実施及び外部評価の受審 ②適切な情報公開 ③「教職協働」の推進 ④効率的な教学運営体制の確立 ⑤教員評価制度の整備 ⑥グランドデザイン2021による改革の実施

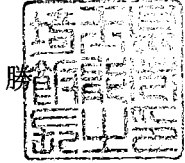


グランドデザイン2021
開始後3年までの成果を
もとに、その改善状況
を点検し、必要に応じて修正

対応

文部科学大臣 殿

飯能市長 大久保



駿河台大学スポーツ科学部スポーツ科学科の設置について（嘆願）

初春の候、貴職におかれましては、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より、本市教育文化行政につきましては格別の御指導を賜り厚く御礼申し上げます。

貴職の御高配によりまして、昭和62年4月、駿河台大学法学部が創設され、その後、経済経営学部、メディア情報学部、現代文化学部、心理学部の各学部と、さらに大学院の総合政策研究科、心理学研究科の各研究科の認可をいただきました。その結果、本市の将来都市像である、緑と清流を基調とした教育環境に恵まれた文教住宅都市として進展してまいることができました。

さてこの度、駿河台大学では、現代文化学部現代文化学科を改組し、新たに「スポーツ科学部スポーツ科学科」の設置を計画しております。

同学部の設置目的である、スポーツ科学の理論的な知識に基づいた健康の維持増進や、スポーツ教育の実践並びにスポーツによる地域の活性化に貢献できる人材の育成は、本市へも好影響をもたらすものと期待しております。これは、国民がスポーツの力によって豊かで健康的な生活を送ることに寄与するものであるとともに、生き生きとした活力ある社会の醸成を目指す時代の要請にも合致しております。

また、幼少期からの身体運動の習慣化や、中・高年期の健康づくりの推進など、スポーツ分野における市民の要請が多様化している中で、同学部の設置によって、「駿河台大学と飯能市との連携に関する基本協定（平成23年11月11日締結）」に定める「地域文化・教育・スポーツ活動の発展と振興」事項において更なる連携が期待できるとともに、本市が目指す「誰もがスポーツ・レクリエーションに親しみ、主体的に健康づくりが進められるよう生涯スポーツの振興を図る」取組にも大きな効果をもたらすものと確信しております。

駿河台大学が本市及び近隣市町村の総合的学術教育、研究の中心的存在としてさらに発展するため、スポーツ科学部スポーツ科学科の設置につきまして、格別の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

スポーツ科学部カリキュラムツリー

アドミッションポリシー

- ① 高等学校までの基礎的な知識や技能を身につけている。
- ② 論理的思考力を持ち、自分の考えをわかりやすく表現することができる。
- ③ スポーツ(課外活動等)に興味を持ち、諸活動を通じて、自ら学び試行し行動することができる。

カリキュラムポリシー

1. 全学共通に定める「駿大社会人基礎力」を修得するための科目を「共通教養科目群」とし、スポーツ科学の理論的な知識や成果を学習する講義科目及びスポーツの実践力、指導力、企画力等を養う演習・実習科目を「専攻科目群」とし、修得した知識を組み合わせ合わせた総合的な視点からスポーツをとらえ、課題を発見し解決する能力を養う科目を「演習科目群」として教育課程を編成する。
なお、履修方法としては、 Semester制を導入し、学習モデルを提供し、それに相応しい科目の履修を可能とする。
2. 教育課程を以下の科目に分類し、必要な科目を配置する。

<共通教養科目群>

- ① 教養基礎・教養発展科目には基礎的な教養知識・技能を身につけるとともに、現代社会の様々な課題を考察するための科目、地域科目には地域社会を理解し実践的に学ぶための科目を配置
- ② 外国語科目には、外国語の運用能力と異文化理解を高めるための科目を配置
- ③ キャリア教育科目には、社会人としての就業意識や職業理解を高めるための科目を配置

<専攻導入科目>

- ④ 専攻導入科目には、専攻科目を学ぶ上での入門的な知識・技能を身につけるための科目を配置

<専攻基幹科目>

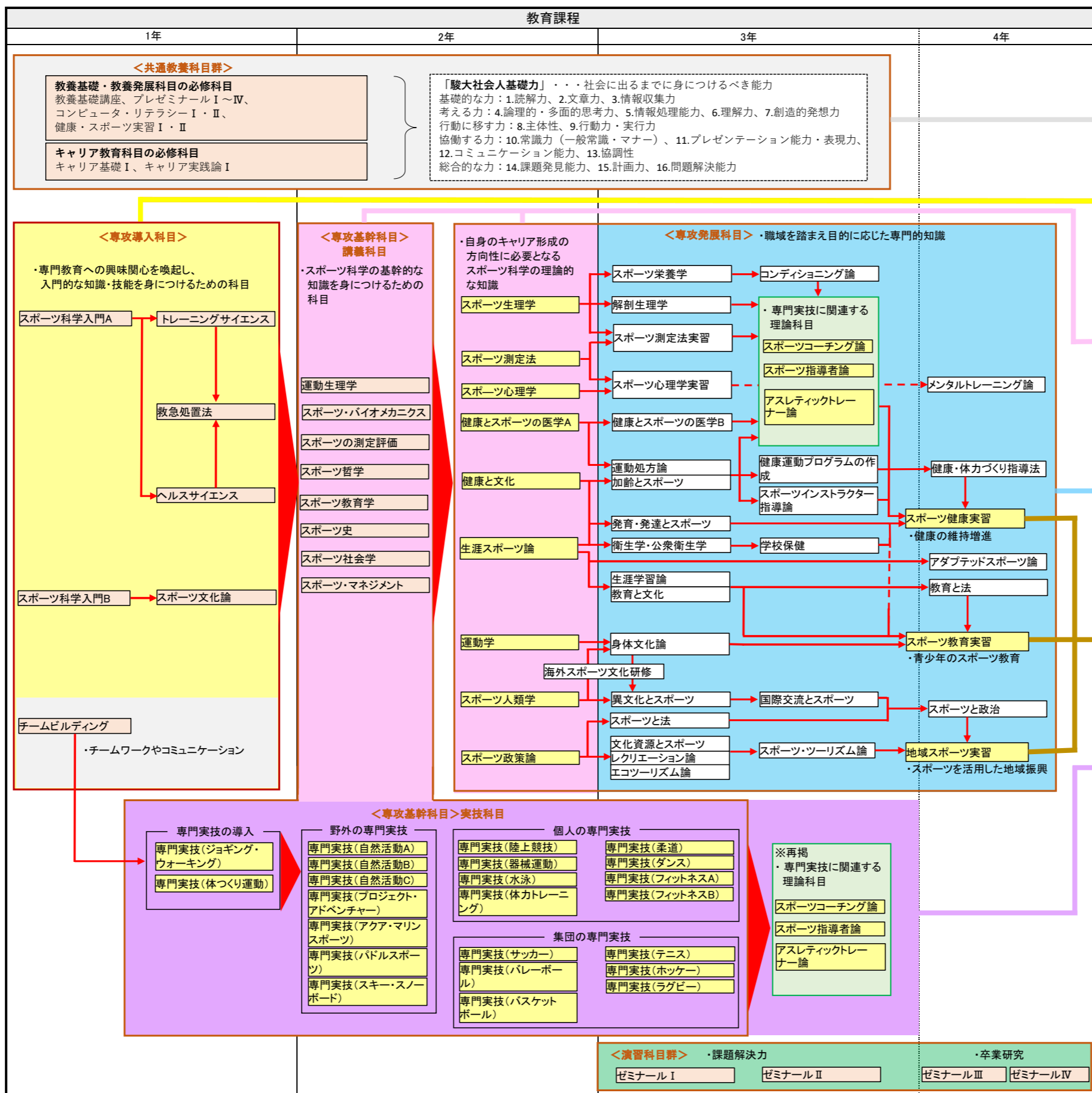
- ⑤ 専攻基幹科目には、講義科目としてスポーツ科学の基幹的な知識を身につけるための科目及び実技科目としてスポーツの技能を身につけるための科目を配置

<専攻発展科目>

- ⑥ 専攻発展科目には、健康の維持増進に寄与するスポーツに関する知識を有するための科目、生涯スポーツ時代に対応する青少年のスポーツ教育に関する知識を有するための科目、スポーツを地域振興に活用する知識を有するための科目を配置

<演習科目群>

3. 少人数によるゼミ教育は、3年次の「ゼミナールⅠ・Ⅱ」、4年次の「ゼミナールⅢ・Ⅳ」を配置し、一貫性のある総合的な学習を保証する。
4. スポーツ科学の理論的学習を基礎として、スポーツの実際を学校、地域等のスポーツ現場で体験するための科目として、3年次に「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」を配置する。
5. 各科目における講義内容・到達目標・学位授与方針との関連・成績評価方法をシラバス等で明示したうえで、公正かつ厳正に評価を行う。



ディプロマポリシー

主体性、積極性、協調性、リーダーシップ等の他者と協働するために必要な適性を有している

スポーツの意義や価値について理解している

スポーツ科学の理論的な知識を理解している

生涯スポーツ時代に対応する青少年のスポーツ教育、高齢化時代に対応するスポーツによる健康の維持増進又は地域振興に活用する知識を有している

学校、地域等でスポーツを企画・指導する能力を有している

スポーツ科学の理論に基づいてスポーツを指導する能力を有している

修得した知識を組み合わせ合わせた総合的な視点からスポーツをとらえ、課題を発見し解決する能力を有している

養成する人材像

スポーツ科学部では、健康で文化的な生きがいのある生活を送ることができる社会を構築するために、スポーツ科学の理論的な知識に基づき、学校、地域及びスポーツが関連する領域において、今日のスポーツの意義や価値をふまえ、健康の維持増進、生涯スポーツ時代の青少年のスポーツ教育又は地域の活性化に貢献できる人材を養成する。

想定される進路・就職先

スポーツ科学部の特徴を生かした卒業後の進路先として次のものが挙げられる。

公共スポーツ施設・民間スポーツクラブ・健康増進施設・スポーツ団体などの指導者、中学校・高等学校における指導者(保健体育教員)、スポーツ教育関連企業の社員、地域スポーツ及び健康スポーツの指導者、地域の政策立案者(公務員)、NPO等の職員、JA等の地域拠点企業の職員、スポーツツーリズム等の観光産業の従事者、スポーツ施設の運営・管理者等

茶枠は科目区分

必修科目

選択必修科目

スポーツ科学部の卒業要件

科目群		要件単位	条件内容	条件科目	
共通教養科目群	教養基礎科目	18	7科目10単位必修	教養基礎講座 プレゼминаールⅠ プレゼминаールⅡ コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ	
	教養発展科目	10	2科目4単位必修	プレゼминаールⅢ プレゼминаールⅣ	
	地域科目	4	—	—	
	外国語科目	必修外国語	8	第1外国語：英語または日本語（留学生のみ）必修 第2外国語：母語及び第1外国語以外の1言語4単位必修	英語 日本語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語
		選択必修外国語	2	第1外国語または第2外国語として選択したいいずれか1言語2単位選択必修	—
		自由選択外国語	—	—	—
キャリア教育科目	6	2科目4単位必修	キャリア基礎Ⅰ キャリア実践論Ⅰ		
専攻科目群	専攻導入科目	13	7科目13単位必修	スポーツ科学入門A スポーツ科学入門B 救急処置法 トレーニングサイエンス ヘルスサイエンス スポーツ文化論 チームビルディング	
	専攻基幹科目	講義科目	8科目16単位必修	運動生理学 スポーツの測定評価 スポーツ哲学 スポーツ社会学 スポーツ・バイオメカニクス スポーツ教育学 スポーツ史 スポーツ・マネジメント	
			1科目1単位選択必修	専門実技（ジョギング・ウォーキング） 専門実技（体づくり運動）	
		実技科目	1科目1単位選択必修	専門実技（水泳） 専門実技（体カトレーニング） 専門実技（陸上競技） 専門実技（器械運動） 専門実技（フィットネスA） 専門実技（フィットネスB） 専門実技（柔道） 専門実技（ダンス）	
			2科目2単位選択必修	専門実技（サッカー） 専門実技（バレーボール） 専門実技（バスケットボール） 専門実技（テニス） 専門実技（ホッケー） 専門実技（ラグビー）	
			1科目1単位選択必修	専門実技（自然活動A） 専門実技（自然活動B） 専門実技（プロジェクト・アドベンチャー） 専門実技（アクア・マリンスポーツ） 専門実技（パドルスポーツ） 専門実技（自然活動C） 専門実技（スキー・スノーボード）	
	専攻発展科目	30	5科目10単位選択必修	スポーツ測定法 スポーツ心理学 健康とスポーツの医学A 運動学 スポーツ生理学 健康と文化 スポーツ政策論 生涯スポーツ論 スポーツ人類学	
	自由選択単位	1科目2単位選択必修	スポーツコーチング論 スポーツ指導者論 アスレティックトレーナー論		
1科目1単位選択必修		スポーツ健康実習 スポーツ教育実習 地域スポーツ実習			
演習科目群	8	4科目8単位必修	ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ		
合計		124			

「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」の履修条件…専攻導入科目のすべて（7科目13単位）を履修し、専攻基幹科目（講義科目）のすべて（8科目16単位）を履修し、専攻基幹科目（実技科目）のうち「ジョギング・ウォーキング」又は「体づくり運動」のいずれか1科目1単位を含む3科目3単位以上を履修した上で、進路に応じた科目として「スポーツ健康実習」は「スポーツ生理学」「スポーツ測定法」「健康とスポーツの医学A」「健康と文化」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。
「スポーツ教育実習」は「健康と文化」「生涯スポーツ論」「運動学」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。
「地域スポーツ実習」は「運動学」「スポーツ人類学」「スポーツ政策論」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。

学校法人駿河台大学定年規程

(目的)

第1条 この規程は、学校法人駿河台大学の教職員の定年に関する事項を定めることを目的とする。

(定年年齢)

第2条 教職員の定年年齢は、別に定めのあるもののほか、次のとおりとする。

(1) 教育職員

ア 大学 満65歳

イ 幼稚園 満60歳

(2) 事務職員及びその他の職員 満60歳

(定年退職の日)

第3条 教職員の定年退職の日は、定年に達した日の属する年度末日とする。

(定年の延長)

第4条 理事長において特に必要と認められた者については、理事会の承認を得て、定年を延長することができる。

(定年退職者の再雇用)

第5条 定年に達した駿河台大学の教育職員の再雇用については、別に定める「教育職員定年退職者の再雇用に関する規程」による。

2 定年に達した駿河台大学第一幼稚園の教育職員の再雇用については、別に定める「定年退職者の再雇用に関する規程」による。

3 定年に達した事務職員及びその他の職員の再雇用については、別に定める「定年退職者の再雇用に関する規程」による。

(退職慰労金)

第6条 削除

(適用除外)

第7条 この規程は、非常勤職員及び雇用期間の定めのある者には適用しない。

附 則

この規程は、平成2年9月1日から実施する。

平成4年4月1日一部改正。

平成12年10月12日一部改正。

平成16年4月1日一部改正。

平成19年4月1日一部改正。

平成20年1月1日一部改正。

平成25年4月1日一部改正。

平成27年4月1日一部改正。

2 第2条の規定にかかわらず、平成27年3月31日現在に在職する駿河台大学の教育職員については、定年年齢変更の移行措置として、平成27年度の定年年齢を満70歳（平成28年3月31日までに満70歳に到達した者）、平成28年度の定年年齢を満69歳（平成29年3月31日までに満69歳に到達した者）、平成29年度の定年年齢を満68歳（平成30年3月31日までに満68歳に到達した者）、平成30年度の定年年齢を満67歳（平成31年3月31日までに満67歳に到達した者）及び平成31年度の定年年齢を満66歳（平成32年3月31日までに満66歳に到達した者）とする。

平成30年4月12日一部改正。ただし、改正後の第6条の規定は、平成30年4月1日から適用する。

学校法人駿河台大学教育職員定年退職者の再雇用に関する規程

(目的)

第1条 本規程は、学校法人駿河台大学定年規程第2条第1号アの規定により退職する教育職員を、再雇用して引き続き勤務させる場合は、この規程による。

(定義)

第2条 この規程において「再雇用」とは、本法人を65歳に達した日の属する年度末をもって定年退職した教育職員を、その退職翌日の4月1日から改めて新規に任用することをいう。

2 第1項の規定にかかわらず、平成27年3月31日現在に在職し、平成28年度から平成32年度末で定年になる教育職員の再雇用にあつては、その退職翌日の4月1日から改めて新規に任用するものとする。

(再雇用の期間)

第3条 再雇用の期間は4月1日から翌年3月31日までの1年間とし、更新することができるものとする。ただし、70歳に達する日の属する年度末を超えて更新することはできない。

(再雇用の条件)

第4条 再雇用の対象者は、次の各号に定める要件をすべて満たすものとする。

- (1) 定年退職後引き続き本法人で専任教育職員として勤務することを希望する満70歳以下の者とする。
- (2) 前項にかかわらず、本学教育職員として、適性を著しく欠くと判断した以下の場合、雇用を継続しない。

ア 本学の名誉を傷つける、反社会的行為があつたと法人が判断した場合

イ 医師の判断に基づき、健康障害のため教育職員として業務の遂行が困難であると法人が判断した場合

ウ 休講の頻度が高いなど、教育職員としての責務を著しく怠っていると法人が判断した場合

エ 教育方法、研究業績など大学教員としての資質に問題があると法人が判断した場合

(再雇用の手続き)

第5条 定年退職後再雇用を希望する者は、原則として定年退職年度の前年度末日までに学長に申し出、本人の意思及び健康状態を具体的に記載した「再雇用希望願書」を総務課に提出するものとする。

2 再雇用教育職員は当該学部長の意見を考慮し、学長が推薦する。理事長は理事会の議を経て任命する。

3 理事長は、再雇用教育職員の任用を決定した場合は、速やかに本人に通知をする。

4 再雇用教育職員として任用を決定した者に対して、再雇用後の職務の内容等について指示する。

5 再雇用教育職員として任用する職名は駿河台大学任期付教員の任期等に関する規程の第2条第1号及び第2号を準用する。

(再雇用後の身分)

第6条 再雇用された再雇用教育職員の身分は、「契約教育職員」とする。

(給与)

第7条 再雇用教育職員に対する給与は、本法人が命じる職務内容等により決定する年俸とし、この年俸の12分の1を月額給与として毎月支給する。ただし、通勤手当については、本法人の通勤手当支給規程に基づき、別途支給する。

2 再雇用期間については、昇給は原則として行わない。ただし、物価事情等に著しい変動がある場合は、この限りではない。

3 期末手当は支給しない。

4 年俸基準については、別に定める。

(勤務)

第8条 再雇用教育職員の勤務については、雇用契約に定めるものの他、原則として学内諸規程の関連条文を準用する。ただし、入試業務（出題・採点・監督等）及び委員会業務については免除する。

(退職慰労金)

第9条 再雇用教育職員の雇用期間に対しての退職慰労金については、支給しない。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は理事会の議を経て行う。

附則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

平成28年4月1日一部改正。

平成30年1月11日一部改正。

2 スポーツ文化学部設置認可申請に当たり、第3条の規定については、理事会が特に必要と認めた場合には70歳を超えて更新することができる。

平成30年4月1日一部改正。

平成31年1月10日一部改正。

2 スポーツ科学部設置認可申請に当たり、第3条の規定については、理事会が特に必要と認めた場合には70歳を超えて更新することができる。

駿河台大学教員任用規程

(総則)

第1条 本学の教員の選考については、大学設置基準、大学院設置基準に定めるところに従い、この規程によるものとする。

(教授の資格)

第2条 教授となることができる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、大学における教育を担当するに相応しい教育研究上の能力を有すると認められる者とする。

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有し、研究上の業績を有する者
 - (2) 研究上の業績が前号の者に準ずると認められる者
 - (3) 学位規則（昭和28年文部省第9号）第5条の2に規定する専門職学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有し、当該専門職学位の専攻分野に関する実務上の業績を有する者
 - (4) 大学において教授、准教授又は専任の講師の経歴（外国におけるこれらに相当する教員としての経歴を含む。）のある者
 - (5) 芸術、体育等については、特殊の技能に秀で教育の経歴のある者
 - (6) 専攻分野について、特に優れた知識及び経験を有する者
- 2 特任教授の資格は、前項各号を準用する。
- 3 第1項第6号に該当する特任教授を特任教授(実務家)と規定し、資格については別に定める。

(准教授の資格)

第3条 准教授となることができる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、大学における教育を担当するに相応しい教育研究上の能力を有すると認められる者とする。

- (1) 前条各号のいずれかに該当する者
 - (2) 大学において助教又はこれに準ずる職員としての経歴（外国におけるこれらに相当する教員としての経歴を含む。）のある者
 - (3) 修士の学位又は学位規則第5条の2に規定する専門職学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有する者
 - (4) 修士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有する者。
 - (5) 研究所、試験所、調査所等に5年以上在職し、研究上の業績を有する者
 - (6) 専門分野について、優れた知識及び経験を有すると認められる者
- 2 特任准教授の資格は、前項各号を準用する。
- 3 第1項第6号に該当する特任准教授を特任准教授(実務家)と規定し、資格については別に定める。

(講師の資格)

第4条 講師となることができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 前条各号のいずれかに該当する者
- (2) その他特殊な専攻分野について大学における教育を担当するに相応しい教育上の能力を有すると認められる者

(助教の資格)

第5条 助教となることができる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、大学における教育を担当するにふさわしい教育研究上の能力を有すると認められる者とする。

- (1) 前条各号のいずれかに該当する者
- (2) 修士の学位（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を修了した者については、学士の学位）又は学位規則第5条の2に規定する専門職学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有する者
- (3) 専攻分野について、優れた知識及び経験を有すると認められる者

(助手の資格)

第6条 助手となることができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 学士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有する者
- (2) 前号の者に準ずる能力があると認められる者

(任用)

第7条 教授、准教授、講師、助教及び助手の任用に当たっては、教授会（その他の教育研究組織にあつては当該組織に規定された委員会等）の議に基づき学長が候補者を理事長に推薦し、理事会の議を経て、理事長がこれを任命する。

- 2 特任教授及び特任准教授の任用に当たっては、前項を準用する。但し、特任教授(実務家)及び特任准教授(実務家)の任用については、別に定める。
- 3 非常勤教員の採用については、前項に準ずる。

(昇任)

第8条 准教授を教授に、講師を准教授に、助教を講師に、助手を助教に昇任させる場合は、前条に準ずる。

附則

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

平成2年4月1日一部改正。

この改正規程は、平成2年12月20日から施行し、平成2年9月1日から適用する。

平成7年4月1日一部改正。

平成16年4月1日一部改正。

平成19年4月1日一部改正。

平成21年4月1日一部改正。

平成25年4月1日一部改正。

平成28年7月7日一部改正。

平成29年1月12日一部改正。

駿河台大学有期雇用教職員就業規則（無期労働契約転換後の規定を含む）

第1章 総則

（総則）

第1条 この規則は、駿河台大学（以下「本学」という。）が1年を超える期間を定めて雇用する教職員（以下「有期雇用教職員」という。）に適用する。

2 この規則において有期雇用教職員とは、本学に勤務する教育職員、事務職員及びその他の職員をいう。

3 この規則並びにこの規則に基づいて定める諸規程のほかは、労働基準法その他の法令の定めるところによる。

第2章 人事

（人事の決定）

第2条 有期雇用教職員の採用、異動、休職、復職、解雇、懲戒等の人事については、この規則の定めるところにより理事長がこれを行う。

（採用）

第3条 新たに有期雇用教職員を採用するときは、所定の手続きにより選考し、採用を決定する。

2 新たに採用する有期雇用教職員については、3か月間の試用期間を設ける。ただし、特にこの必要がないと認められた者は、この限りでない。

3 試用期間を経過して適格と認められたときは本採用とする。

（提出書類）

第4条 有期雇用教職員として採用される者は、次の書類を提出しなければならない。ただし、その必要を認めない場合は、その一部を省略することがある。

- (1) 履歴書（職務経歴書）
- (2) 業績一覧
- (3) 健康診断書
- (4) 卒業証明書
- (5) 成績証明書
- (6) 免許状（写）又は資格証明書
- (7) 誓約書
- (8) 扶養家族に関する事項
- (9) その他必要とする書類

2 学歴又は職務上の重要な経歴を偽って採用された者は、その事実が判明したとき、直ちに採用を取消す。

（身上の届出）

第5条 有期雇用教職員は、次に掲げる事項について異動のある場合は、遅滞なく届出なければならない。

- (1) 現住所
- (2) 氏名
- (3) 扶養家族に関する事項
- (4) 通勤方法、通勤経路及び通勤に要する費用
- (5) その他特に指定する事項

（有期雇用教職員の個人情報）

第6条 本学は、有期雇用教職員の採用時及び雇用期間中に、次の利用目的に必要な個人情報を取得し、利用目的の範囲内で利用する。

- (1) 採用の判断
- (2) 人事異動
- (3) 賃金、旅費等の決定及び支給
- (4) 福利厚生
- (5) 研修
- (6) 安全衛生
- (7) 賞罰
- (8) 教職員名簿作成
- (9) その他有期雇用教職員に関わる人事業務の遂行に必要な事項

（労働条件の明示）

第7条 本学は、労働契約の締結に際し、書面の交付により、契約の期間、賃金に関する事項、就業の場所及び従事すべき業務、始業及び終業時刻、休憩時間、休日、休暇、退職（解雇の事由を含む。）に関する事項等、勤務に関わる諸労働条件を明示する。

2 本学は、労働契約の内容を変更する場合には、対象となる有期雇用教職員に変更後の労働条件を提示して、当該有期雇用教職員がその理解を深めるように努めるものとする。

（契約期間）

第8条 契約の期間は、5年以内とし、各人ごとに雇用契約書にて定める。

(契約更新)

第9条 契約期間が1年を超えて3年以内の場合は、通算して5年まで契約更新を行うことがある。

2 契約期間が3年を超えて5年以内の場合は、原則として契約更新を行わない。

3 特任教員(本学再雇用者を除く)は、第1項の規定にかかわらず1回に限り契約更新を行うことがある。

(更新上限)

第9条の2 有期雇用教職員の更新上限は、教育職員にあっては満70歳の誕生日以降、最初に訪れる雇用契約期間満了の日とする。事務職員及びその他の教職員にあっては満65歳の誕生日以降、最初に訪れる雇用契約期間満了の日とする。

2 更新上限に達した有期雇用教職員については、本学が必要と認めた場合には再雇用することがある。

(試用期間中の解雇)

第10条 次の各号の一に該当する場合は解雇とする。ただし、採用後14日以内の者は第19条の解雇の規定による予告手当を支給せず即時解雇する。採用後14日を超えた者については同条規定の手続きに従う。

(1) 必要な職務を習得する能力がなく、本採用とするに不相当と認められるとき。

(2) 職務怠慢、意欲不十分等、有期雇用教職員として職務を遂行することができないと認められるとき。

(3) 遅刻、早退、欠勤が多く、正当な理由なく無断欠勤したとき。

(4) 採用時の提出書類を期日までに提出せず、又は第4条に定める書類に虚偽の記載があつて、当該虚偽の内容が職務遂行上の能力・資格及び人事労務管理に著しく影響するとき。

(5) 第19条に規定する事由に該当するとき。

(6) その他前各号に準ずるやむを得ない事由が生じたとき。

(異動)

第11条 業務上必要があるときは、異動を行うことがある。

(休職)

第12条 有期雇用教職員が次の各号の一に該当したときは休職とする。ただし、特別の事情があると理事長が認めたときはこれを考慮し休職としないことができる。

(1) 業務外の傷病(私傷病)により欠勤し、連続欠勤の日数が1か月(暦月による。以下同じ。)を経過しても医師の診断により引き続き治療の必要があると認められたとき。

(2) 精神又は身体上の疾患により、十分な労務提供ができないと本学が認めたとき。

(3) 当該有期雇用教職員の都合により、1か月を超え就業できないとき。

(4) 法令により、逮捕、拘留又は起訴され、本学の業務に支障をきたし、相当の期間就業できず、休職が相当と本学が判断したとき。

(5) その他前各号のほか特別の事情があつて、理事長が休職することを必要と認めたとき。

2 傷病休職中の者は、本学の求めに応じて、自己の病状等について、合理的に必要とされる限度で報告しなければならない。なお、この報告の方法については、本学の指定による。

(休職期間)

第13条 休職の期間は、3か月以内とし、理事長がこれを決定する。ただし、理事長が特別の事情があると判断したときは、休職期間を変更することができる。

(休職者の所属)

第14条 休職を命ぜられた有期雇用教職員の休職期間中の所属は、休職前の所属とする。

(休職の起算日)

第15条 休職の起算日は、理事長が休職を命じた日からとする。

(復職)

第16条 休職後の復職については、次の手続きにより行う。

(1) 傷病休職者が復職する場合は、休職の理由となった疾病等が通常の業務を遂行することに堪え得る段階まで治癒したことを証するため、医師の診断書等の客観的な資料を添えて本学に提出し、本学にその承認を求めなければならない。また、本学が、診断書を作成した医師に対する面談による事情聴取を求めた場合には、当該有期雇用教職員はこれに応じるよう努めるものとする。

(2) 本学は傷病休職者の復職に当たっては、当該有期雇用教職員が従前の業務に就くことが可能であることを前提として、当該有期雇用教職員の職場復帰の時期を決定する。また、本学がその理由に客観的合理性があると判断したときには当該有期雇用教職員に本学指定の医師の受診を命ずることがあり、有期雇用教職員はこれに応じなければならない。

(3) その他の事由による休職者が復職するときも、所定の手続きにより復職の承認を本学に求めるものとする。

2 傷病休職にあった者が、復職後に出勤してもその日数が1か月以内にとどまり、同一又は類似の疾病により、新たに休職に入る場合は、同一の休職事由があつたものとして取り扱い、休職期間は通算するものとする。また、休職は1年間に2回までとする。ただし、本学がやむを得ざる事由があると認めた場合にはこの限りではない。

3 復職後の勤務内容、勤務条件等については、従前の基準とする。ただし、従前の勤務に復職させることが困難又は適当でないと本学が判断した場合には異なる職務に配置することがある。

4 休職期間満了の翌日までに復職しないときは、期間満了をもって自動退職したものとする。

(退職)

第17条 有期雇用教職員が次の各号の一に該当するに至ったときは、その日を自動退職の日とし、有期雇用教職員としての身分を失う。

- (1) 雇用契約期間が満了したとき。
- (2) 本人が自己の都合により文書をもって願い出た退職希望日に達したとき。
- (3) 死亡したとき。
- (4) 休職期間中に休職事由が消滅せず、期間満了の日でも復職できないとき。
- (5) 本学に連絡がなく、50日を経過し本学が所在を知らないとき。
- (6) その他前各号に準ずる事由が生じたとき。

(退職手続)

第18条 有期雇用教職員は、自己の都合により退職しようとするときは、原則として30日以上前に退職願を提出しなければならない。ただし、この場合当該有期雇用教職員は信義誠実の原則を遵守し、担当業務に支障を与えない相当な期間以前に申し出を行うように努めるものとする。

2 前項の30日以上前に退職願を提出した者は、届出後14日間については従前の業務に服さなければならない。ただし、やむを得ない事情があり、理事長の承認を得た者についてはこの限りではない。

3 退職する者は、退職日までの間に業務の引継ぎを完了しなければならない。

(解雇)

第19条 有期雇用教職員が次の各号に該当する場合は、少なくとも30日前に予告するか又は労働基準法に規定する平均賃金の30日分の予告手当を支給して解雇する。ただし、試用期間中の者で採用後14日以内の者は予告手当を支給せず即時解雇する。

- (1) 本学維持のための事業縮小等により余剰人員を生じ、他に適切な配置場所がないとき。
- (2) 精神又は身体の障害により業務に耐えられないと認められたとき。
- (3) 勤務成績又は能率が他に比較して著しく不良で、再三の指導、教育によっても標準的な職務遂行が困難なとき。
- (4) 有期雇用教職員としての自覚に欠け、本学関係者、関係団体等への対応が著しく不適當で、有期雇用教職員としての雇用の継続が困難なとき。
- (5) 天災事変その他やむを得ない事由により、事業の休止又は縮小のやむなきに至ったとき。
- (6) その他前各号に準ずるやむを得ない事由が生じたとき。

2 前項第5号の場合で、所轄労働基準監督署の認定を受けたときは、予告しないで解雇することがある。

3 解雇予告が30日を割った場合の解雇予告手当の支払いについては、予告日数の30日分から解雇日までに支払った日数分を控除して行う。

4 本学は、解雇に当たっては、客観的合理性と社会通念上の相当性の有無を考慮して行うものとする。

(退職・解雇時の業務引継ぎ)

第20条 有期雇用教職員が退職又は解雇されたときは、本学が指定する日までに、本学が指定した者に完全に業務の引継ぎをしなければならない。

(退職の証明、解雇理由の開示)

第21条 有期雇用教職員が退職する場合又は解雇された場合において、使用期間、業務の種類、本学における地位、賃金又は退職の事由(解雇の場合にあってはその理由。)について証明書を請求した場合には、本学はこれを遅滞なく交付するものとする。

2 解雇予告がなされ、有期雇用教職員が、解雇の予告がされた日から退職の日までの間において、当該解雇の理由を記載した文書の交付を請求した場合は、前項の証明書の記載事項のうち、解雇理由については、別に定める解雇通知理由書をもって、本学はこれを遅滞なく開示し、同通知書を交付するものとする。ただし、30日分の予告手当を支払って即時解雇する場合は、この限りではない。

(精算)

第22条 有期雇用教職員が退職しようとするとき(懲戒解雇又は解雇されたときを含む。)は、請求を受けた後速やかに本学の貸与物品、その他本学に対する債務を返還しなければならない。

2 本学は有期雇用教職員が退職したときは、権利者の請求があつてから7日以内にその者の権利に属する金品等を返還する。

第3章 服務規律

(遵守事項及び心得)

第23条 有期雇用教職員は次の事項を遵守し、職務に精励しなければならない。

- (1) 本学の掲げる理念の実践に努めること。
- (2) 職務の遂行に当たっては、本学が決定した方針を尊重し、職務上の指示、命令に従うこと。
- (3) 勤務中に布教活動、物品販売等の営業活動を行わないこと。
- (4) 職務上の進捗状況については的確に所属長に報告すること。

- (5) 職員記章を必要に応じて着用すること。
- (6) 職場の整理整頓を心掛けるとともに、火災及び盗難の防止に努めること。
- (7) 本学の設備、機械、車両、器具等は大切に取り扱い、物品、消耗品は節約に努め、書類は丁寧に取り扱い、その保管を厳にすること。
- (8) 職務に関し、又は職務上の地位を利用して第三者と金品その他利益の授受をしないこと。
- (9) 本学の名誉を損ない、又は利益を害さないこと。
- (10) 在職中のみならず退職後といえども、職務上知り得た秘密を他に漏らさないこと。
- (11) 許可なく他の職務を兼ね又は他に雇い入れられないこと。
- (12) 許可なく職務以外の目的で、本学の施設、設備、器械、器具、車両、その他の物品を使用しないこと。
- (13) 秘密保持に関して誓約書の提出を求められたときは、その提出に応じること。
- (14) 勤務中は、定められた職務に専念すること。また、許可なくみだりに職場を離れ、又は職務に関係のない集会を開催、参加し、その他職場の風紀秩序を乱してはならないこと。
- (15) 許可なく施設構内に職務に関係のない懸垂幕、旗、張り紙等の掲示をし、又は印刷物等を配布してはならないこと。
- (16) 酒気を帯びて勤務してはならないこと。
- (17) 傷病休職中は治療に専念するため、許可なく施設構内に立ち入ってはならないこと。
- (18) 施設構内において賭博行為、けんか口論、脅迫のような言動をとってはならないこと。
- (19) 正当な理由がある場合を除き、担当職務の変更又は他の部署への応援、転属の命令に従うこと。
- (20) その他本学が定める規則、規程、通達、通知事項、誓約書等を遵守しなければならないこと。

2 前項の他、有期雇用教職員は次の心得をもって、職務を遂行するものとする。

- (1) 有期雇用教職員相互に人格を尊重し、秩序と品位の保持に努め、相互に協力して職務の遂行を図ること。
- (2) 所属長を尊重し、職務上の有益な意見を積極的に所属長に述べ、所属長はこれを十分取り入れて相互協力の下、効率化を図ること。
- (3) 所属長は、常にその所属有期雇用教職員の人格を重んじるとともに、明確な指導管理をし、職務能力の増進に努めること。
- (4) 絶えず研究と創意工夫により職務の改善と向上を図ること。
- (5) 常に健康に留意し、職務に当たること。
- (6) 公私の別なく常に交通事故の防止と交通ルールを厳守すること。

(セクシュアル・ハラスメントの禁止)

第24条 有期雇用教職員は職務に関し、又は職場において、次に掲げる性的言動等を行ってはならない。

- (1) 性的言動（性的冗談、意図的な性的噂の流布、食事等の執拗な誘い等）。
- (2) 性的なものを視覚に訴えること。
- (3) 性的な行動（身体への不必要な接触等）。
- (4) 男女の性を理由とする差別。
- (5) その他前各号に準ずる行為。

2 前項の規定の他、セクシュアル・ハラスメントの防止等に関する事項については、別に定める。

(妊娠・出産、育児・介護に関するハラスメントの禁止)

第24条の2 有期雇用教職員は他の有期雇用教職員を業務遂行上の対等なパートナーとして認め、職場における健全な秩序ならびに協力関係を保持する義務を負うとともに、職場内において次の各号に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 部下の妊娠・出産、育児・介護に関する制度や措置の利用等に関し、解雇その他不利益な取扱いを示唆する言動
- (2) 部下又は同僚の妊娠・出産、育児・介護に関する制度や措置の利用を阻害する言動
- (3) 部下又は同僚が妊娠・出産、育児・介護に関する制度や措置を利用したことによる嫌がらせ等
- (4) 部下である従業員が(1)～(3)の行為を受けている事実を認めながら、これを黙認する上司の行為

2 前項の行為を行ったと認められる有期雇用教職員に対しては、第52条～第62条に基づき、厳正に対処する。

(所持品の検査)

第25条 本学は、個人情報漏洩防止、機密保持及び安全確保を図るため、有期雇用教職員が業務に必要な物品（日常携行品を除く。）を本学に持ち込むおそれがある場合又は業務に必要な本学の物品を持ち出すおそれがある場合、有期雇用教職員の所持品を点検することがある。有期雇用教職員は正当な理由なくこれを拒んではならない。

(職場立入禁止)

第26条 次の各号に該当する有期雇用教職員は、本学内への立ち入りを禁止し、又は退去を命じることがある。

- (1) この規則及び法令によって出勤を停止された者。
- (2) 職場の風紀秩序を乱し、又は衛生上有害と認められる者。

- (3) 火気、凶器その他の危険物又は業務に必要な物品（日常携行品を除く。）を携帯する者。
- (4) 酒気を帯び、又は酒類を携帯する者。
- (5) 前各号の外、業務を妨害し又は他に迷惑を及ぼすおそれのある者。

第4章 勤務

（労働時間等）

第27条 労働時間は、1日について7時間40分とする。

2 1週間の労働時間の取り扱いについては、1か月を平均して1週40時間を超えない範囲で、特定の週において40時間を超える1か月単位の変形労働時間制とする。

3 始業から終業までの時刻は、原則として、9時から17時30分までとする。ただし、教育職員の始業・終業時刻、又は職務の性質上これにより難い部署においては、別に定める。

4 前項の規定に関らず、業務上必要がある場合は、所定労働時間の範囲内で、始業・終業時刻を変更した勤務（以下「シフト勤務」という。）を行うことがある。

5 シフト勤務の始業から終業までの時刻は、次のとおりとする。

- (1) Aシフト：10時30分から19時まで
- (2) Bシフト：11時から19時30分まで
- (3) Cシフト：11時30分から20時まで
- (4) Dシフト：11時45分から20時15分まで
- (5) Eシフト：12時30分から21時まで

6 シフト勤務を行う場合は、あらかじめ勤務計画表を作成し、関係者に周知するものとする。

（専門業務型裁量労働制）

第27条の2 前条の規定に関わらず、教授研究の業務（主として研究に従事する者）に従事する教育職員については、労使協定の定めるところにより、裁量労働に関するみなし労働時間制を適用するものとする。

2 前項の業務に従事する者の所定労働日の労働時間の算定については、労使協定で定めた時間労働したものとみなす。

（始業・終業時刻の変更）

第28条 業務上必要がある場合は、有期雇用教職員の全部又は一部について、始業・終業時刻を変更することがある。

（休憩時間）

第29条 休憩時間は、始業・終業時刻内の50分間とする。

2 休憩時間に対する給与は支払わない。

（育児時間）

第30条 生後満1年に達しない生児を育てる女性有期雇用教職員からあらかじめ申し出があったときは、1日2回各30分の育児時間を与える。

（時間外又は休日労働）

第31条 業務上必要と認めるときは、所定時間外の勤務又は休日に出勤を命ずることがある。ただし、満18歳未満の者についてはこの限りではない。

（事業場外勤務及び出張者等の労働時間）

第32条 本学は、業務上の必要があるときは、事業場外労働又は出張勤務を命ずることがある。

2 有期雇用教職員が本学の用務により、労働時間の全部又は一部につき、事業場外又は出張で勤務する場合は、あらかじめ別段の指示をしない限り、所定労働時間労働したものとみなす。

（監視又は断続的労働に服する者の労働時間等）

第33条 監視又は断続的労働に服する者（守衛、警備員、運転手等）で行政官庁の許可を受けた者の労働時間等は、第27条の規定にかかわらず、別に定める。

（非常災害時の労働）

第34条 災害その他避けることのできない理由によって、臨時に必要な時は、第31条の規定にかかわらず、その必要の限度において、有期雇用教職員の労働時間を延長することがある。

（時間外労働の休憩）

第35条 所定労働時間を超えて有期雇用教職員を勤務させるときは、所定の休憩時間を与える。

2 前項の休憩時間に対する給与は支給しない。

（日直及び宿直勤務）

第36条 有期雇用教職員には、日直勤務及び宿直勤務を命ずることがある。

（出勤及び退勤）

第37条 出勤及び退勤の際は、各自の出退勤管理表に記録又は出勤簿に捺印しなければならない。

2 前項の記録又は捺印は、他人に依頼し、あるいはこれに応じてはならない。

（欠勤、遅刻及び早退）

第38条 負傷、疾病、その他の事由により、欠勤又は遅刻、早退するときは届出なければならない。また、負傷、疾病による欠勤が5日以上に及ぶ場合、あるいは欠勤開始の日から1か月間において通算して10日を超えるときは、医師の診断書を添えなければならない。

第5章 休日及び休暇

(休日)

第39条 休日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に定める休日
- (3) 国民の祝・休日を含まない週で、日曜日を除く平日のうち、本学が別に指定する1日
- (4) その他本学が指定する日

2 前項第1号については、これを法定休日とする。

(休日の振替)

第40条 業務の都合その他必要があるときは、前条の休日を他の日に振替えることがある。ただし、振替休日が与えられないときは、代休又は休日勤務手当を与える。

(年次休暇)

第41条 有期雇用教職員が業務に支障のない時期にあらかじめ申出たときは、年次休暇を与える。

2 年次休暇は、1休暇年度（4月1日～3月31日）における全労働日の8割以上出勤した有期雇用教職員に対し、翌年度において継続又は分割して次の区分により与える。

勤続年数	休暇日数
1年	15日
2年以上	勤続年数1年を増すごとに1日を加え、加算の最高を11日とする。

3 労働基準法に定める日数以上の年次休暇については、申出により半日休暇を与えることができる。

4 1休暇年度の年次休暇に残日数があるときは、翌年度に限り繰り越して請求することができる。

5 有期雇用教職員は、大学に申出て、欠勤又は療養欠勤を残余の年次休暇の日数の範囲で振替えることができる。

(新規採用者又は復職者の年次休暇)

第42条 有期雇用教職員が休暇年度の初め、又は途中で採用され、若しくは復職を命ぜられたときは、前条第2項の規定にかかわらず、次の区分により年次休暇を与える。

採用・復職月	日数	採用・復職月	日数	採用・復職月	日数	採用・復職月	日数
4月	14日	7月	11日	10月	7日	1月	2日
5月	13日	8月	10日	11月	5日	2月	1日
6月	12日	9月	10日	12月	3日	3月	0日

(時間単位の年次有給休暇)

第42条の2 労使協定に基づき、第41条の年次有給休暇の日数のうち、1年について5日の範囲内で、次により時間単位の年次有給休暇（以下「時間単位年休」という。）を付与する。

(1) 時間単位年休付与の対象者は、本学に勤務する事務職員とし、教育職員とその他職員は対象外とする。

(2) 時間単位年休を取得する場合の、1日の年次有給休暇に相当する時間数は、以下のとおりとする。

- ① 所定労働時間が5時間を超え6時間以下の者・・・6時間
- ② 所定労働時間が6時間を超え7時間以下の者・・・7時間
- ③ 所定労働時間が7時間を超え8時間以下の者・・・8時間

(3) 時間単位年休は1時間単位で付与する。

(4) 本条の時間単位年休に支払われる賃金額は、所定労働時間労働した場合に支払われる通常の賃金の1時間当たりの額に、取得した時間単位年休の時間数を乗じた額とする。

(5) 上記以外の事項については、前条の年次有給休暇と同様とする。

(特別休暇)

第43条 有期雇用教職員が、次のいずれかに該当するときは、本人の申出により、特別休暇を与える。

- (1) 結婚休暇 5日
- (2) 削除
- (3) 服喪休暇

職員との関係	日数		職員との関係	日数	
	喪主	非喪主		喪主	非喪主
配偶者	11日	11日	兄弟姉妹	7日	5日
父母	7日	7日	祖父母	7日	5日
子	7日	7日	配偶者の兄弟姉妹	5日	3日

子の配偶者	7日	3日	配偶者の父母	7日	5日
子の配偶者の父母	4日	4日	配偶者の祖父母	7日	3日
兄弟姉妹の配偶者	5日	2日	甥姪	5日	1日
伯叔父母	5日	2日	配偶者の伯叔父母	5日	2日
孫	7日	5日	配偶者の甥姪	5日	1日
従兄弟姉妹	5日	1日	配偶者の従兄弟姉妹	5日	1日

(4) 生理休暇 著しく就業が困難な日数。

(5) 災害休暇 天災その他の災害を被ったとき7日以内。ただし、被害の程度により、日数を延長することがある。

(6) 交通遮断休暇 交通遮断、天災地変、悪疫流行その他の災害のため出勤することができない場合、必要な時間又は日数。

(7) 公務休暇 労働時間中に選挙権その他公民としての権利を行使し、又は公の職務を執行する場合、必要な時間又は日数。

(8) 公傷休暇 業務上負傷し、又は疾病にかかり休業療養を要する場合、必要な日数。

(9) 褒賞休暇 褒賞として認められた日数。

2 前項の特別休暇期間中に、休日が含まれるときは、第1号及び第3号についてはこれを休暇日数に算入せず、第2号及び第5号以下についてはこれを休暇日数に通算する。

3 第1項第3号の服喪休暇は、死亡当日から起算して連続するものとする。

4 第1項第2号の出産休暇及び同項第8号の公傷休暇の申出については、医師の診断書又は助産師の証明書を添付しなければならない。

(夏期休暇)

第44条 毎年8月から9月の間において、5日の夏期休暇を与える。

(年末年始休暇)

第45条 一休暇年度において12月31日、1月2日、1月3日の年末年始休暇を与える。

(休暇に対する給与相当額の補償)

第46条 有期雇用教職員に第41条ないし前条の規定により休暇を与えたときは、当日又はその期間は出勤とみなし、給与相当額を補償する。

(産前産後休暇)

第46条の2 6週間以内(多胎妊娠の場合は14週間以内。以下本項において同じ。)に出産予定の女性有期雇用教職員が請求した場合には、産前6週間以内の休暇を与えるものとする。

2 産後は、本人の請求の有無にかかわらず、出産日から8週間の休暇を与えるものとする。ただし、産後6週間を経過し、本人から請求があった場合には、医師により支障がないと認められた業務に就かせることができる。

3 産前産後の休暇の期間は無給とする。

(育児休業、介護休業等)

第47条 有期雇用教職員の育児休業、介護休業等に関し必要な事項については、別に定める「学校法人駿河台大学育児・介護休業及び短時間勤務等に関する規程」による。

第6章 給与

(給与)

第48条 給与(休職・休暇・欠勤時の給与を含む。)については、別に定める「駿河台大学有期雇用教職員給与規程」による。

第7章 賞与及び退職慰労金

(賞与)

第49条 賞与については、これを支給しない。

(退職慰労金)

第50条 退職慰労金については、これを支給しない。

第8章 表彰及び懲戒

(表彰)

第51条 有期雇用教職員が、次の各号のいずれかに該当するときは、所定の手続を経て表彰する。

- (1) 職務に精励し、功労のあったとき。
- (2) 本学の発展に多大な貢献をしたとき。
- (3) 学術研究又は業務上功績顕著なとき。
- (4) 災害の防除等に功績があったとき。

2 表彰は、次の各号に掲げるものの一又は二以上併せて行う。

- (1) 表彰状授与

- (2) 賞品又は賞金の授与
- (3) その他適当と認める措置

(懲戒区分)

第 52 条 懲戒は、次の各号に掲げる区分による。

- (1) 譴責は、始末書を取り、将来を戒める。
- (2) 減給は、始末書を取り、減給させる。ただし、1 回の額が平均賃金の 1 日の半額、また、2 回以上に亘る場合においてもその総額が 1 賃金支払期における賃金の総額の 10 分の 1 の範囲内で行う。
- (3) 出勤停止は、始末書を取り、10 日以内の出勤停止を命じ賃金を支給しない。
- (4) 昇給停止は、始末書を取り、次期の昇給を停止する。
- (5) 諭旨解雇は、始末書を取り、退職を勧告して解雇する。
- (6) 懲戒解雇は、予告期間を設けることなく即時に解雇する。

(譴責)

第 53 条 有期雇用教職員が次の各号の一に該当するときは、始末書を取り、譴責処分とする。ただし、諸般の事情から情状酌量の余地があるか、当該有期雇用教職員に著しく改悛の情が認められ将来に亘り再発の可能性が認められないときは、懲戒を免除することがある。

- (1) 職務に関する手続き、届出を偽り、又は怠ったとき。
- (2) 職務に熱心でなく、職務遂行に支障があったとき。
- (3) 本学の秩序を乱す行為があったとき（セクシュアル・ハラスメントのケースも含む。）。
- (4) 就業時間中に許可なく私用を行ったとき。
- (5) 所属長の職務上の指揮命令に従わないとき（ただし、その程度が軽い場合。）。
- (6) 職務外において、許可なく本学の文書、帳簿、その他の書類を部外者に閲覧させ、又はこれに類する行為があったとき。
- (7) その他、本学の規則、服務規律、通達、通知等に違反し、前各号に準ずる程度の悪質又は不適切な行為があったとき。

(減給、出勤停止)

第 54 条 有期雇用教職員が次の各号の一に該当するときは、始末書を取り、減給又は出勤停止処分とする。ただし、諸般の事情から情状酌量の余地があるか、当該有期雇用教職員に著しく改悛の情が認められ将来に亘り再発の可能性が認められないときは、より軽い懲戒処分へと軽減し、又は懲戒を免除することがある。

- (1) 前条の違反が再度に及ぶとき、又は情状重大と認められたとき。
- (2) 正当な理由なくして、遅刻、早退、私用外出をなし、若しくは無断欠勤したとき又はしばしば職場を離脱して職務に支障をきたしたとき。
- (3) 職務上の怠慢又は監督不行き届きによって災害事故を引き起こし、本学の設備機器を破壊したとき。
- (4) 許可なく本学の物品を持ち出し又は持ち出そうとしたとき。
- (5) 許可なく本学内若しくは付属の施設内で集会し、又は文書、図画等を配布貼付、掲示、販売し、その他これに類する行為をしたとき。
- (6) 本学の掲示を故意に破損若しくは改変し、又は破損しようとしたとき。
- (7) 他の職員に対して不当に退職を強要したとき（セクシュアル・ハラスメントのケースを含む。）。
- (8) 相手の意に反することを認識の上で、猥褻な言辞等の性的な言動を行ったとき。
- (9) その他、本学の規則、服務規律、通達、通知等に違反し、前各号に準ずる程度の悪質又は不適切な行為のあったとき。

(昇給停止)

第 55 条 有期雇用教職員が次の各号の一に該当するときは、始末書を取り、昇給停止処分とする。ただし、諸般の事情から情状酌量の余地があるか、当該有期雇用教職員に著しく改悛の情が認められ将来に亘り再発の可能性が認められないときは、より軽い懲戒処分へと軽減し、又は懲戒を免除することがある。

- (1) 前条の違反が再度に及ぶとき、又は情状重大と認められるとき。
- (2) 職務等に関して虚偽の報告をしたとき。
- (3) 火気その他危険、有害物の取扱いを粗略にし又は所定の場所以外で火気を用いたとき。
- (4) 本学の信用を傷つけ又は本学の体面を汚したとき（セクシュアル・ハラスメントのケースも含む。）。
- (5) この規則又は所属長の指揮命令に違反し、又は従わないとき。
- (6) その他、本学の規則、服務規律、通達、通知等に違反し、前各号に準ずる程度の悪質又は不適切な行為のあったとき。

(諭旨解雇)

第 56 条 有期雇用教職員が次の各号の一に該当するときは、始末書を取り、諭旨解雇処分とする。ただし、諸般の事情から情状酌量の余地があるか、当該有期雇用教職員に著しく改悛の情が認められ将来に亘り再発の可能性が認められないときは、より軽い懲戒処分へと軽減し、又は懲戒を免除することがある。

- (1) 前条の違反が再度に及ぶとき、又は情状重大と認められるとき。
- (2) 職務又は職位を利用して本学の資産、その他これに類するものを使用し、自己の利益を図ったとき。
- (3) 本学の許可を受けずに他に雇い入れられたとき。

- (4) 故意に職務能率を低下させ、又は業務の妨害を図ったとき。
- (5) 正当な理由なく、無断欠勤が引き続き5日以上に及んだとき。
- (6) 職場において職責などの地位を利用して性的な強要を行ったとき。
- (7) 職場において他の職員の職務に支障を与えるような性的言動等によって本学の秩序又は風紀を乱したとき。
- (8) 相手の意に反することを認識の上で、猥褻な言辞、性的な内容の手紙、電子メールの送付、身体的接触、つきまとい等の性的な言動を行ったとき。
- (9) その他、本学規則、服務規律、通達、通知等に違反し、前各号に準ずる程度の悪質又は不適切な行為のあったとき。

(懲戒解雇)

第57条 有期雇用教職員が次の各号の一に該当するときは、懲戒解雇処分とする。ただし、諸般の事情から情状酌量の余地があるか、当該有期雇用教職員に著しく改悛の情が認められ将来に亘り再発の可能性が認められないときは、より軽い懲戒処分へと軽減し、又は懲戒を免除することがある。

- (1) 前条の違反が再度に及ぶとき、又は情状重大と認められるとき。
- (2) 第52条第5号の退職の勧告に従わないとき。
- (3) 懲戒処分後も懲戒処分に該当する行為を繰り返したとき。
- (4) この規則又は職務上の重要な指示、命令に不当に反し、職場の秩序を著しく乱したとき。
- (5) 重要な経歴を偽って採用されたとき。
- (6) 正当な理由なく、無断欠勤及び私事欠勤（事故欠勤）が引き続き14日以上に及んだとき。この場合の無断欠勤とは欠勤願いによらず欠勤した場合と欠勤の願い出に対して許可を与えられていないにもかかわらず欠勤した場合をいう。
- (7) 職務上外を問わず酒気帯運転を行い検挙され、又は事故を起こしたとき。
- (8) 本学の発行した証明書及び証明書類等を改変し、又は他人に貸与し、又は流用したとき。
- (9) 職務上の書類、伝票等を改変し、又は虚偽の申告、届出をしたとき。
- (10) 本学の経営上、職務上の重大な機密、学生及びその家族の機密を外部に漏らし、若しくは漏らそうとしたとき。
- (11) 本学が別に定める誓約書等に違反したとき。
- (12) 本学の金品を詐取流用し、又は虚偽の伝票、書類を作成し、発行して自己の利益を図り、本学に損害を与えたとき。
- (13) 故意又は重大なる過失によって本学の設備、器物その他の財産を破損、又は紛失し、本学に甚大な損害を与えたとき。
- (14) 学生及びその家族に対して重大な不法行為を加えたとき。
- (15) 所属長の指揮命令を侮蔑してこれに反対し、職場の秩序を乱し、職務を妨害したとき。
- (16) 正当な理由なく、職場配置、休職、復職、配置転換、出張、転勤、出向等の人事命令を拒否したとき（他の職員に命令拒否を強要した場合も含む。）。
- (17) 職務又は職位を利用して部外者から不当な金品、饗応を受け、又は要求、約束し、自己又は他人の利益を図ったとき。
- (18) 所属長に暴行脅迫を加え、又は有期雇用教職員として著しく常軌を逸する粗暴な行為のあったとき。
- (19) 職場において暴行、脅迫、監禁その他本学の秩序を乱す行為を行ったとき（セクシュアル・ハラスメントを含む。）。
- (20) 相手方の意に反することを認識の上で、猥褻な言辞、性的な内容の電話、性的な内容の手紙・電子メールの送付、身体的接触、つきまとい等の性的な言動を執拗に繰り返したことにより相手が強度の心的ストレスの重責による精神疾患に罹患したとき。
- (21) 暴行若しくは脅迫を用いて猥褻な行為をし、又は職場における上司・部下等の関係に基づく影響力を用いることにより強いて性的関係を結び若しくは猥褻な行為をしたとき。
- (22) 破廉恥、背信的な不正不義の行為をなし、有期雇用教職員としての体面を汚し、本学の名誉及び信用を傷つけたとき。
- (23) 殺人、傷害、暴行、脅迫、強盗、窃盗、横領その他の刑事事件を犯し、犯罪事実が明白なとき。
- (24) 法令に違反し、その程度が重大なとき。
- (25) 本学の経営権を犯し、若しくは経営基盤を脅かす行動、画策をなし、又は経営方針に反する行動画策により正常な運営を阻害し、若しくは阻害させようとしたとき。
- (26) 本学の経営に関して故意に真相を歪め、又は事実を捏造して宣伝流布する等の行為により、本学の名誉及び信用を傷つけたとき。
- (27) その他、本学の規則、服務規律、通達、通知等に違反し、前各号に準ずる程度の悪質又は不適切な行為のあったとき。

(職務外の行為)

第58条 有期雇用教職員はその行為が懲戒に該当する場合は、当該行為が勤務時間外、本学内・学外であっても、その責任を免れないことがある。

(損害の責任)

第 59 条 有期雇用教職員が故意又は重大な過失により本学に損害を及ぼした場合は、懲戒処分に処するほか本学はその受けた損害について賠償責任を追求することがある。

(監督者の監督責任)

第 60 条 職務に関する指導及び管理監督不行届きにより、有期雇用教職員が懲戒処分を受けたときは、その監督の任にある者を懲戒することがある。

(教唆、扇動、幫助等)

第 61 条 他人を教唆、扇動して懲戒該当行為をさせたり、他人の懲戒該当行為を助けたり隠蔽したときは、懲戒該当行為に準じて懲戒条項を適用する。

(懲戒決定までの就業禁止)

第 62 条 本学は有期雇用教職員に懲戒に該当する行為があった場合、事実調査及び職場秩序の維持のために、処分が決定するまで、就業を禁止することがある。

2 前項の期間中は欠勤扱いとし、謹慎 1 日につき平均賃金の 6 割に相当する金額を支給する。

(弁明の機会及び調査委員会の設置)

第 62 条の 2 本学は、懲戒に該当する行為をした有期雇用教職員から弁明の申し出があった場合、処分決定の前に弁明の機会を与える。

2 本学は、懲戒のうち諭旨解雇又は懲戒解雇に該当する行為をした有期雇用教職員に関して、処分決定の前に事実調査をするための委員会を設置する。ただし、当該懲戒処分に該当する事実が明白な場合には、この限りではない。

第 9 章 安全及び衛生

(安全及び衛生の確保)

第 63 条 有期雇用教職員は、災害の防止、健康の保持増進及び衛生の確保につとめなければならない。

(安全管理者及び衛生管理者)

第 64 条 法令の定めるところにより、安全管理者及び衛生管理者を置く。

(管理者等の指示の遵守)

第 65 条 有期雇用教職員は、安全及び衛生に関して、安全管理者、衛生管理者の指示に従わなければならない。

(災害防止)

第 66 条 有期雇用教職員が、火災その他の災害の発生を発見し、又は発生する危険があると知ったときは、臨機の措置をとるとともに、直ちに関係者に報告しなければならない。

2 災害が発生したときは、有期雇用教職員は協力して、その災害を最小限度に止めるように努めなければならない。

(健康診断)

第 67 条 有期雇用教職員は、本学の行う年 1 回の定期健康診断及び臨時に行う健康診断を受けなければならない。

(健康要保護者の取扱)

第 68 条 健康診断の結果、治療を要すると判断された者に対しては、休業、就業制限その他健康保持に必要な措置をとることがある。

(特定疾病の就業禁止)

第 69 条 有期雇用教職員が次に掲げる疾病に罹っているときは就業させない。

- (1) 病毒伝ばのおそれのある伝染性の疾病。
- (2) 就業することによって病勢が増悪する疾病。
- (3) 前各号に準ずる疾病で厚生労働大臣が定める疾病。
- (4) 前各号の他、感染症法等の法令に定める疾病。

(同居家族等の伝染性疾病)

第 70 条 有期雇用教職員は、その同居の家族若しくは同居人が病毒伝ばのおそれのある伝染性の疾病にかかり、又はその疑いがあるときは直ちにその旨を届出で指示に従わなければならない。

(産前産後)

第 71 条 6 週間（多胎妊娠の場合にあつては 1 4 週間）以内に出産する予定の女性有期雇用教職員から休業の申出があったときは、就業させない。

2 産後 8 週間を経過しない女性有期雇用教職員は就業させない。ただし、産後 6 週間を経過した女性有期雇用教職員が請求したときは、その者について医師が支障がないと認めた業務に就かせることがある。

3 妊産婦である女性有期雇用教職員が請求した場合においては、深夜業をさせない。

(母性健康管理)

第 72 条 本学は、妊産婦である女性有期雇用教職員に母子保健法に規定する保健指導・健康診査に関する措置を講ずる。

(健康管理上の個人情報)

第73条 有期雇用教職員の健康診断、精密検診結果、疾病にかかる医師の診断書、医師からの意見書、本学の就業規則、規程等に基づき、本学が業務上取得した有期雇用教職員の健康管理に関する必要な情報については、労働安全衛生関連法令等に基づく有期雇用教職員の健康管理及び労務管理の目的のために利用し、又は有期雇用教職員の健康管理に必要な場合には産業医その他の医師等に診断、意見を求めるために提供することがある。ただし、有期雇用教職員がこれについて異議を述べた場合には、この限りではない。

2 有期雇用教職員が前項以外の健康診断、自己の疾病その他の健康情報について情報を提出せず、又は受診、提供を拒否若しくは不同意のときは、本学は当該有期雇用教職員に対して当該不提出、拒否等に基づく健康管理措置を免れるものとする。

(受診指示等)

第74条 有期雇用教職員は、本学より健康管理及び雇用管理上の必要から医師等の診断の受診を指示されたときは、これに従わなければならない。ただし、有期雇用教職員が本学の説明にもかかわらず、これを拒否したときは、本学は当該有期雇用教職員に対する当該拒否に関する安全配慮義務を免れるものとする。

2 本学は、有期雇用教職員に就業上の健康管理、風紀維持、秩序維持、労務管理の必要若しくは他の職員の就労に当該有期雇用教職員の健康状況等が影響すると認められるときは、当該有期雇用教職員に医師の受診を命令することができる。この場合、本学の説明にもかかわらず有期雇用教職員がこれを拒否し受診しないときは期間を定めた休業、業務停止その他必要な措置を命じることができる。また、これにより当該有期雇用教職員が懲戒処分を受けることがある。

第10章 災害補償

(業務上災害補償)

第75条 有期雇用教職員が業務上負傷し、又は疾病に罹った場合、障害が存する場合又は死亡した場合は、労働者災害補償保険法（以下「労災法」という。）の定めるところにより補償を受けることができる。

2 休業補償については、労災法上の休業補償を含め100%補償する。

3 第1項の補償が行われる場合は、本学は労働基準法上の補償の義務を免れる。

(通勤災害)

第76条 有期雇用教職員が通勤途上において負傷し、又は疾病に罹った場合、障害が存する場合又は死亡した場合は、労災法の定めるところにより給付を受けることができる。

2 前項の通勤途上であるか否かの判定は、所轄労働基準監督署長の認定による。

第11章 福利及び厚生

(福利及び厚生)

第77条 有期雇用教職員は、福利及び厚生に関し、学校法人駿河台学園が設置する施設及び機関を利用することができる。

第12章 慶弔見舞金

(慶弔見舞金)

第78条 慶弔見舞金については、別に定める「駿河台大学慶弔見舞金規程」による。

第13章 出張旅費

(出張旅費)

第79条 出張旅費については、別に定める「駿河台大学旅費規程」による。

第14章 教育研修

(学内研修)

第80条 本学が必要と認めるときは、有期雇用教職員に対して業務その他に関し、一定期間研修を行うことがある。

(学外研修)

第81条 業務上の必要により、有期雇用教職員に国若しくは地方公共団体又はその他の団体が行う各種の研修会に参加させ、又は各種の資格取得試験を受けさせることがある。

第15章 無期労働契約への転換

(無期労働契約転換の申込等)

第82条 有期雇用教職員のうち、通算契約期間が5年を超える者は、所定の様式で申込むことにより、現在の有期労働契約満了日の翌日から、期間の定めのない労働契約（以下「無期労働契約」と表記）への転換を申し込むことができる。

2 前項の通算契約期間は、平成25年4月1日以降に開始する有期労働契約の契約期間を通算するものとし、現在の有期労働契約については、その末日までの期間とする。ただし、労働契約が締結されていない期間が連続して6カ月以上ある有期雇用教職員については、それ以前の契約期間は通算契約期間に含めない。

3 無期労働契約転換の申込みをしようとする有期雇用教職員は、原則として現在の有期労働契約期間満了日の30日前までに、無期労働契約転換申込書を理事長へ提出しなければならない。

4 所定の要件を備えた前項の申し込みがあった場合、理事長は、無期労働契約転換申込受理通知書を申込者に交付する。

(労働契約法の特例)

第 83 条 「大学の教員等の任期に関する法律」（平成 9 年法律第 8 2 号。）に基づき、任期付教員の任期等に関する規程により本学における任期を定めて雇用する教員（以下「任期付教員」という。）については、「研究開発システムの改革の推進等による研究開発能力の強化及び研究開発等の効率的推進等に関する法律及び大学の教員等の任期に関する法律の一部を改正する法律」（平成 2 5 年法律第 9 9 号）により前条中「5 年」とあるのは「1 0 年」とする。

（無期労働契約転換後の規定の適用）

第 84 条 第 82 条の手続きに基づき無期労働契約へ転換した有期雇用教職員（以下「無期雇用教職員」という。）については、この規則を適用する。

2 前項の場合において、この規則中「有期雇用教職員」は、「無期雇用教職員」と読み替え、有期労働契約を前提とする第 8 条（契約期間）、第 9 条（契約更新）及び第 1 7 条（退職）第 1 号の規定は適用しない。

（無期雇用教職員の労働条件）

第 85 条 無期雇用教職員については、昇給しない。

（無期雇用教職員の定年）

第 86 条 無期雇用教職員の定年は、教育職員にあっては満 6 5 歳に到達する月の属する年度末とし、事務職員及びその他の教職員にあっては満 6 0 歳に到達する日の属する年度末日とする。

2 無期労働契約へ転換した時の年齢が、前項に規定する定年年齢を超えていた場合は、当該無期雇用教職員に係る定年は、教育職員にあっては満 7 5 歳に到達する日の属する年度末日とし、事務職員及びその他の教職員にあっては満 6 5 歳に到達する日の属する年度末日とする。

3 定年と定年退職者の再雇用に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成 2 1 年 1 月 1 5 日から施行する。

平成 2 2 年 4 月 1 日一部改正。

平成 2 3 年 4 月 1 日一部改正。

平成 2 4 年 4 月 1 日一部改正。

平成 2 9 年 4 月 1 日一部改正。

（経過措置）

産前産後休暇の経過措置として、平成 3 0 年 3 月 3 1 日までに産前産後休暇を付与された有期雇用教職員については、当該休暇中は出勤とみなし、給与相当額を補償する。

平成 3 0 年 4 月 1 日一部改正。

平成 3 0 年 7 月 2 6 日一部改正。

ア. 地域スポーツ及び健康スポーツの指導者をめざす履修モデルプラン

科目群	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
教養基礎科目 (18単位)	◎教養基礎講座 ◎プレゼミナールⅠ・Ⅱ ◎コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ ◎健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ 倫理学Ⅰ・Ⅱ 計14単位	こころの科学Ⅰ・Ⅱ 計4単位		
教養発展科目 (10単位)		◎プレゼミナールⅢ・Ⅳ 日本の暮らしと文化 欧米の暮らしと文化 コミュニケーション論 計10単位		
地域科目 (4単位)	歴史探訪 地域環境論 計4単位			
外国語科目 (10単位)	英語ⅠA・ⅠB 英語ⅡA・ⅡB 選択必修外国語ⅠA・ⅠB 選択必修外国語ⅡA・ⅡB 計8単位	選択必修外国語ⅢA・ⅢB 計2単位		
キャリア教育 科目(6単位)	◎キャリア基礎Ⅰ 計2単位	キャリア発展 計2単位	◎キャリア実践論Ⅰ 計2単位	
専攻導入科目 (13単位)	◎スポーツ科学入門A・B ◎救急処置法 ◎トレーニングサイエンス ◎ヘルスサイエンス ◎スポーツ文化論 ◎チームビルディング 計13単位			
専攻基幹科目 (21単位) 講義科目		◎運動生理学 ◎スポーツの測定評価 ◎スポーツ哲学 ◎スポーツ社会学 ◎スポーツ・バイオメカニクス ◎スポーツ教育学 ◎スポーツ史 ◎スポーツ・マネジメント 計16単位		
実技科目	専門実技(ジョギング・ウォーキング) 計1単位	専門実技(体カトレーニング) 専門実技(テニス) 計2単位	専門実技(ラグビー) 専門実技(プロジェクト・アドベンチャー) 専門実技(スキー・スノーボード) 計3単位	
専攻発展科目 (30単位)		スポーツ測定法 スポーツ心理学 健康とスポーツの医学A 計6単位	スポーツ生理学 健康と文化 スポーツ栄養学 解剖生理学 スポーツ測定法実習 健康とスポーツの医学B 運動処方論 加齢とスポーツ スポーツコーチング論 スポーツ健康実習 計18単位	健康運動プログラムの作成 スポーツ心理学実習 スポーツインストラクター指導論 コンディショニング論 健康・体力づくり指導法 計9単位
演習科目 (8単位)			◎ゼミナールⅠ・Ⅱ 計4単位	◎ゼミナールⅢ・Ⅳ 計4単位
年間合計単位数 (単位)	42	42	27	13

◎印は学部カリキュラム必修科目

イ. 中学校・高等学校における指導者（保健体育教員）を目指す履修モデルプラン

科目群	1年次	2年次	3年次	4年次
教養基礎科目 (18単位)	◎教養基礎講座 ◎プレゼミナルⅠ・Ⅱ ◎コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ ◎健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ 憲法概論 生命の科学Ⅰ・Ⅱ 計16単位	国際社会と日本 計2単位		
教養発展科目 (10単位)		◎プレゼミナルⅢ・Ⅳ 計4単位	異文化と文学 子ども文化論 ジェンダー論 計6単位	
地域科目 (4単位)	フィールドトリップ 森林文化Ⅰ 計4単位			
外国語科目 (10単位)	英語ⅠA・ⅠB 英語ⅡA・ⅡB 選択必修外国語ⅠA・ⅠB 選択必修外国語ⅡA・ⅡB 計8単位	選択必修外国語ⅢA・ⅢB 計2単位		
キャリア教育 科目(6単位)	◎キャリア基礎Ⅰ 計2単位	ライフプランニング 計2単位	◎キャリア実践論Ⅰ 計2単位	
専攻導入科目 (13単位)	◎スポーツ科学入門A・B ◎救急処置法 ◎トレーニングサイエンス ◎ヘルスサイエンス ◎スポーツ文化論 ◎チームビルディング 計13単位			
専攻基幹科目 (21単位) 講義科目		◎運動生理学 ◎スポーツの測定評価 ◎スポーツ哲学 ◎スポーツ社会学 ◎スポーツ・バイオメカニクス ◎スポーツ教育学 ◎スポーツ史 ◎スポーツ・マネジメント 計16単位		
実技科目	専門実技(体づくり運動) 計1単位	専門実技(水泳) 専門実技(陸上競技) 専門実技(器械運動) 計3単位	専門実技(柔道) 専門実技(ダンス) 専門実技(サッカー) 専門実技(バレーボール) 専門実技(アクア・マリンス ポーツ) 計5単位	
専攻発展科目 (30単位)		スポーツ心理学 運動学 健康と文化 生涯スポーツ論 計8単位	スポーツ生理学 スポーツ栄養学 衛生学・公衆衛生学 生涯学習論 教育と文化 学校保健 スポーツ教育実習 計13単位	スポーツ心理学実習 身体文化論 スポーツ指導者論 発育・発達とスポーツ 教育と法 計9単位
演習科目 (8単位)			◎ゼミナルⅠ・Ⅱ 計4単位	◎ゼミナルⅢ・Ⅳ 計4単位
教職課程科目	教育学概論 教職論 教育制度論 教育心理学	特別支援教育Ⅰ・Ⅱ 道徳教育の理論と方法 総合的な学習の時間の指導 特別活動の指導 生徒指導 教育相談 進路指導 保健体育科教育法Ⅰ	教育の方法と技術 保健体育科教育法Ⅱ 保健体育科教育法Ⅲ 保健体育科教育法Ⅳ	教育実習Ⅰ・Ⅱ(※事前 事後の指導を含み、単位 は4年次に算入) 教職実践演習
年間合計単位数 (単位)	44+(教職8)	37+(教職16)	30+(教職8)	13+(教職7)

◎印は学部カリキュラム必修科目

ウ. 地域の政策立案者（公務員）を目指す履修モデルプラン

科目群	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
教養基礎科目 (18単位)	◎教養基礎講座 ◎プレゼミナルⅠ・Ⅱ ◎コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ ◎健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ 北欧文化論 観光学 計14単位	からだの科学Ⅰ・Ⅱ 計4単位		
教養発展科目 (10単位)		◎プレゼミナルⅢ・Ⅳ 日本伝統文化論 計6単位	ライフサイクルと社会保 障 現代社会とメディア 計4単位	
地域科目 (4単位)	飯能学 計2単位	まちづくり実践 計2単位		
外国語科目 (10単位)	英語ⅠA・ⅠB 英語ⅡA・ⅡB 選択必修外国語ⅠA・ⅠB 選択必修外国語ⅡA・ⅡB 計8単位	選択必修外国語ⅢA・ⅢB 計2単位		
キャリア教育 科目(6単位)	◎キャリア基礎Ⅰ 計2単位	ライフプランニング 計2単位	◎キャリア実践論Ⅰ 計2単位	
専攻導入科目 (13単位)	◎スポーツ科学入門A・B ◎救急処置法 ◎トレーニングサイエンス ◎ヘルスサイエンス ◎スポーツ文化論 ◎チームビルディング 計13単位			
専攻基幹科目 (21単位) 講義科目		◎運動生理学 ◎スポーツの測定評価 ◎スポーツ哲学 ◎スポーツ社会学 ◎スポーツ・バイオメカニクス ◎スポーツ教育学 ◎スポーツ史 ◎スポーツ・マネジメント 計16単位		
実技科目	専門実技(ジョギング・ウォ ーキング) 計1単位	専門実技(バスケットボール) 計1単位	専門実技(フィットネスA) 専門実技(ホッケー) 専門実技(自然活動A) 計3単位	
専攻発展科目 (30単位)		スポーツ心理学 運動学 スポーツ政策論 スポーツ人類学 計8単位	健康と文化 生涯スポーツ論 スポーツ心理学実習 身体文化論 文化資源とスポーツ エコツーリズム論 海外スポーツ文化研修 地域スポーツ実習 計14単位	アスレティックトレーナ ー論 異文化とスポーツ レクリエーション論 スポーツ・ツーリズム論 スポーツと政治 国際交流とスポーツ 計12単位
演習科目 (8単位)			◎ゼミナルⅠ・Ⅱ 計4単位	◎ゼミナルⅢ・Ⅳ 計4単位
年間合計単位数 (単位)	40	41	27	16

◎印は学部カリキュラム必修科目

駿河台大学スポーツ科学部卒業研究における 「人を対象とする研究」倫理基準

2018年9月18日制定

2019年3月6日改定

第1 本基準の策定の趣旨

駿河台大学では、学術研究が法令に適合し、また、社会通念上適切な方法及び内容で行われるようにするため、研究者に求められる倫理に関する事項を駿河台大学研究倫理規程に定めている。研究者とは本学で研究活動に従事する教員をいうが、大学院学生、学部学生、研究生であっても研究に関わる場合は、研究者に準ずるものとし、駿河台大学研究倫理規程の対象となる。

駿河台大学スポーツ科学部ではゼミナールⅣでの卒業研究の提出を必須と定めている。スポーツ科学部の卒業研究が人を対象に実施されるさいには、学生および指導教員は研究過程において駿河台大学研究倫理規程を遵守しなければならない。

本基準は、スポーツ科学部の学生が、人間の尊厳と人権を尊重し、学術研究の発展のため、良心と信念に従い誠実な行動をし、円滑に卒業研究を遂行するために必要な研究倫理のあり方や研究過程において遵守すべき事項を示すものである。

第2 卒業研究における人を対象とした研究の倫理に関する基本的考え方

人を対象とした研究とは、人を直接の対象とし、個人からその人の行動、環境、心身等に関する情報・データを収集・採取して行われる研究のことをいう。この中には、直接人の体に接触しないインタビューやアンケートなどから得られたデータも含まれる。スポーツ科学部では、人を対象とした卒業研究が適正に実施されるよう、スポーツ科学部における倫理審査の適用範囲を以下のとおり定める。

スポーツ科学部卒業研究における倫理審査の適用範囲

- スポーツ科学部の卒業研究で人を対象とした研究の例
 1. 運動負荷テストや体力テストを実施してデータを得る。
 2. スポーツ競技中の心拍数、筋電図などのデータを得る。
 3. 栄養物を摂取させてその効果を評価する。
 4. 競技記録を計測する。あるいはすでにある以前の記録を利用する。
 5. 心理テスト、アンケート調査、インタビューを実施して対象者の情報を得る。
 6. 対象者の映像を解析してデータを得る。

- スポーツ科学部で倫理審査を受けることができるもの（およその基準）
 1. スポーツ科学部学生の卒業研究である。
 2. 研究方法が安全である。
（例）表面筋電図や映像撮影のような侵襲性のない測定方法を用いている。
 3. 簡易式血糖値・血中乳酸濃度の測定のように軽微な侵襲で安全性が確保できる測定方法を用いている。
 4. 身体負担度の高い測定であっても、心身ともに鍛錬された健康な若者が対象者となっている。
 5. 小規模な研究である。
 6. 情報が漏洩したとしても被害がほとんどないと思われる。
（例）無記名アンケートであり、個人情報を含んでいない。

- 人を対象とする研究であっても、別紙に定める要件を満たしており、倫理審査を要しないと各FAが判断した場合には、倫理審査を行うことなく卒業研究を実施することができる。

- 卒業研究であっても駿河台大学研究倫理審査委員会の倫理審査が望ましいもの（およその基準）
 1. 研究方法が完全に安全であるとは言いがたい場合
（例）高齢者が転倒により怪我をする可能性が考えられる場合
 2. 小学生・中学生・高校生に不慣れな身体運動や身体負担度の高い運動を負荷する場合
 3. 小学生・中学生・高校生にアンケートを調査する場合
 4. 患者や障害のある人を対象としている場合
 5. 心理的負担度が高い場合
 6. 大規模な研究である場合
 7. 情報が漏洩した場合、かなりの被害が発生することが予想される場合
（例）プライベートな内容を含んだ記名式アンケートの場合、回収作業中あるいは保管中に紛失すると参加者のプライバシーが侵害される恐れがある。
 8. 学会等での発表や、論文投稿するなど研究成果を学外で公表する予定がある研究
 9. 研究に際して、対象者や関係機関との間で金銭の授受が行われる研究

上記1から9に該当する場合であっても、指導教員が駿河台大学研究倫理審査委員会より実施許可を得た研究の一部を担う研究では、倫理審査の必要はない。ただし、指導教員は、当

該学生を研究協力者とする変更手続きを行い、駿河台大学研究倫理審査委員会の承認を得なければならない。

第3 卒業研究に取り組む研究者の責務

- (1) 研究活動を行う学生及び担当教員（以下、研究者等）は、各種法令を遵守するとともに、本学の諸規定に従い、対象者が属する集団の規範や習慣・文化、価値観を尊重しなければならない。
- (2) 研究実施に際しては、対象者の人権を最大限に尊重し、研究活動に関係する他者の権利や利益を侵害しないように配慮しなければならない。
- (3) 卒業研究の実施に先立ち、研究の目的・方法、対象者への倫理的配慮等について記載した研究計画書を作成しなければならない。
- (4) 研究計画は、対象者の自律性（自由意思による参加・協力・拒否等）を保障しなければならない。また、研究者の立場を利用した強制的なものであってはならない。
- (5) 研究者等は、対象者の正しい理解に基づく協力が得られるよう、また、研究協力に対する緊張・不安等を解消するような配慮をしなければならない。
- (6) 研究者等は、対象者の個人情報に厳重に扱い、適切な管理のもとでデータを扱わなければならない。個人情報保護に関する責務等は、大学・学部の諸規定を遵守することに加え、以下の点に留意する必要がある。
 1. 個人を特定できる情報（氏名、住所、電話番号、メールアドレスなど）は、記号化して入力する。
 2. データの保存は、機密性・完全性・可用性に配慮して扱い、ネットワークと接続しないパソコンを用いる。
 3. 研究施設外にデータを持ち出す場合は、定められたルールを守り、セキュリティを保障する。
 4. 研究終了後はデータを適切に破棄する。
 5. ビデオテープ等の磁気媒体に記録されたデータは、関係者以外の利用を禁止する。データを公表する際には、個人情報に加えて組織情報の保護に努める。撮影された対象者の肖像権には十分に配慮する。

第4 スポーツ科学部卒業研究倫理審査委員会の審査を受けるための準備

- (1) 倫理審査委員会の審査を受けるためには、「スポーツ科学部卒業研究倫理審査申請書（研究計画書・協力者への説明書を兼ねる）」、「研究参加・協力への同意書」、「同意撤回書」の3つの書類を準備しなければならない。上記3つの書類はポタロウに掲載されているもの（マイクロソフトワードファイル）を使用すること。

(2) (1)の書類を作成するにあたっては、必ず指導教員の指導を受けながら作成しなければならない。

(3) (1)の書類を作成するにあたっては、すでに設定されている様式に従って記入し、新たに様式を作成してはならない。設定されている様式には以下の項目が記載されている。

1. 研究課題名
2. 研究の意義と目的
3. 研究の方法及び期間
4. 対象者の選定方針
5. 対象者に対する説明の内容、同意の確認方法
6. 研究に参加することにより起こりうる危険や心身に対する不快な状態、それらに対する対応策
7. 当該研究に関わる個人情報、研究データの保護の方法
8. 研究結果の公表の方法
9. 研究者等の氏名、所属、連絡先
10. 研究の問い合わせ、苦情等の連絡先
11. 駿河台大学卒業研究倫理審査の結果

(4) スポーツ科学部卒業研究倫理審査委員会の審査は、原則として、毎年4月から11月の間に月に1回の頻度で開催される（ただし8月は開催しない）。開催の予定を考慮して速やかに準備をすること。

(5) スポーツ科学部卒業研究倫理審査委員会において申請が承認された場合は、すみやかに卒業研究をはじめなければならない。

附 則

この規程は、2020年4月1日から施行する。

体育館・屋外競技施設利用状況見込

平成35(2023)年度(完成年度)見込
 ※網掛け欄は平成32(2019)年度(開設前年度)の空き時間
 前期・後期使用の場合は「/」で表記

月	体育館アリーナ	小体育館	武道場	トレーニングセンター
1時限	専門実技(バレーボール)/ 専門実技(バスケットボール)			
2時限	専門実技(バレーボール)/ 専門実技(バスケットボール)	健康・スポーツ実習Ⅰ(ヨガ・ストレッチ)/ 健康・スポーツ実習Ⅱ(ヨガ・ストレッチ)		健康・スポーツ実習Ⅰ(フィットネス)/ 健康・スポーツ実習Ⅱ(フィットネス)
昼				
3時限	健康・スポーツ実習Ⅰ(屋内レク)/ 健康・スポーツ実習Ⅱ(屋内レク)	健康・スポーツ実習Ⅰ(卓球)/ 健康・スポーツ実習Ⅱ(卓球)	健康・スポーツ実習Ⅰ(ヨガ)/ 健康・スポーツ実習Ⅱ(ヨガ)	
4時限	専門実技(バレーボール)/ 専門実技(バスケットボール)	専門実技(ダンス)/専門実技(ダンス)		
5時限	課外活動	課外活動	課外活動	
18:10~21:00				
火	体育館アリーナ	小体育館	武道場	トレーニングセンター
1時限		専門実技(器械運動)/ 専門実技(体づくり運動)		
2時限	健康スポーツ実習Ⅰ(ニュースポーツ)/ 健康スポーツ実習Ⅱ(ニュースポーツ)	専門実技(器械運動)/ 専門実技(体づくり運動)		
昼				
3時限	他学部実技科目(屋内球技)	専門実技(器械運動)/ 専門実技(体づくり運動)		専門実技(体カトレーニング)/ 専門実技(体カトレーニング)
4時限	他学部実技科目(バドミントン・卓球)			専門実技(体カトレーニング)/ 専門実技(体カトレーニング)
5時限	課外活動	課外活動	課外活動	
18:10~21:00				
水	体育館アリーナ	小体育館	武道場	トレーニングセンター
1時限	健康・スポーツ実習Ⅰ(屋内レク)/ 健康・スポーツ実習Ⅱ(屋内レク)	健康・スポーツ実習Ⅰ(フィットネス)/ 健康・スポーツ実習Ⅱ(フィットネス)		
2時限	健康・スポーツ実習Ⅰ(屋内球技)/ 健康・スポーツ実習Ⅱ(バスケットボール)			
昼				
3時限				
4時限		専門実技(フィットネスA)/ 専門実技(フィットネスB)		
5時限	課外活動	課外活動	課外活動	
18:10~21:00				
木	体育館アリーナ	小体育館	武道場	トレーニングセンター
1時限				
2時限		他学部実技科目(ニュースポーツ)		
昼				
3時限				
4時限				
5時限	課外活動	課外活動	課外活動	
18:10~21:00				
金	体育館アリーナ	小体育館	武道場	トレーニングセンター
1時限	チームビルディング			
2時限	チームビルディング			
昼				
3時限		専門実技(柔道)/専門実技(柔道)		
4時限	チームビルディング			
5時限	課外活動	課外活動	課外活動	
18:10~21:00				

体育館・屋外競技施設利用状況見込

平成35(2023)年度(完成年度)見込
 ※網掛け欄は平成32(2019)年度(開設前年度)の空き時間
 前期・後期使用の場合は「/」で表記

月	陸上競技場	多目的グラウンド	野球場	テニスコート	ホッケー場
1時限	専門実技(ジョギング・ウォーキング)				
2時限	専門実技(ジョギング・ウォーキング)			健康・スポーツ実習Ⅰ(テニス)/ 健康・スポーツ実習Ⅱ(テニス)	
昼					
3時限	専門実技(ジョギング・ウォーキング)/ 専門実技(サッカー)				
4時限	専門実技(サッカー)	他学部実技科目(アウトドア)			
5時限					
18:10~21:00	課外活動	課外活動	課外活動	課外活動	課外活動
火	陸上競技場	多目的グラウンド	野球場	テニスコート	ホッケー場
1時限	専門実技(陸上競技)			他学部実技科目(テニス)	
2時限	専門実技(陸上競技)	健康・スポーツ実習Ⅰ(ゴルフ)/ 健康・スポーツ実習Ⅱ(ゴルフ)			健康・スポーツ実習Ⅰ(ホッケー)/ 健康・スポーツ実習Ⅱ(ホッケー)
昼					
3時限	専門実技(陸上競技)				
4時限					
5時限					
18:10~21:00	課外活動	課外活動	課外活動	課外活動	課外活動
水	陸上競技場	多目的グラウンド	野球場	テニスコート	ホッケー場
1時限				健康・スポーツ実習Ⅰ(テニス)/ 健康・スポーツ実習Ⅱ(テニス)	
2時限	健康・スポーツ実習Ⅰ(アウトドア)/ 健康・スポーツ実習Ⅱ(アウトドア)	専門実技(ラグビー)	健康・スポーツ実習Ⅰ(屋外球技)/ 健康・スポーツ実習Ⅱ(屋外球技)		
昼					
3時限	他学部実技科目(サッカー)				
4時限					
5時限					
18:10~21:00	課外活動	課外活動	課外活動	課外活動	課外活動
木	陸上競技場	多目的グラウンド	野球場	テニスコート	ホッケー場
1時限				専門実技(テニス)/ 専門実技(テニス)	
2時限				他学部実技科目(テニス)	
昼					
3時限				専門実技(テニス)	
4時限					
5時限					
18:10~21:00	課外活動	課外活動	課外活動	課外活動	課外活動
金	陸上競技場	多目的グラウンド	野球場	テニスコート	ホッケー場
1時限					
2時限	専門実技(ラグビー)	他学部実技科目(サッカー)			専門実技(ホッケー)
昼					
3時限	専門実技(サッカー)/ 専門実技(サッカー)				
4時限	専門実技(サッカー)				
5時限					
18:10~21:00	課外活動	課外活動	課外活動	課外活動	課外活動

駿河台大学スポーツ関連施設



駿河台大学では、体力増進のためのトレーニングセンターをはじめ、学生の憩いの場であるクラブハウス、強化指定クラブ部員用の学生寮など、キャンパスライフをサポートするさまざまな施設を備えています。

01 BASEBALL GROUND 野球場



【仕様】
 ライト100m・センター122m・
 レフト98m
 ダッグアウト側には
 屋根付きのブルベンを併設。
 (1塁側に3つ・3塁側に2つ設置)

02 ATHLETICS STADIUM 陸上競技場

トラックは跳躍用ピット2面を備えた全天候型400mトラック、フィールドはロングパイル人工芝にゴムチップを充填した最新式人工芝です。補助走路が新たに加わり、より総合的な練習ができるようになりました。



03 UNIVERSAL GROUND 多目的グラウンド

全面人工芝の多目的グラウンドは、サッカー・ラグビーのハーフコートその他、ハンドボールコート2面分、フットサルコート2面分の広さがあります。公式戦前のアップや通常練習でも利用されております。



04 GYMNASIUM
体育館

1Fにトレーニングセンター、小体育室、2Fにアリーナがあり多目的構造となっています。更衣室・シャワールームもあり3Fは668席の観客席となっています。関東学生ハンドボール連盟のリーグ戦会場としても使用されています。



05 CLUB HOUSE
クラブハウス

団体に所属する学生のための部室やシャワールーム・洗濯機・用具室などが完備されています。少人数のミーティングルームもあるため、学生は気軽集まることができます。



06 TENNIS COURT
テニスコート

ナイター設備を完備した全天候型のテニスコートが9面あります。



07 CANOE POND
カヌー池

カヌーの基本的な技術を学ぶことができます。ナイター設備も完備され、夜間練習も可能。



08 HOCKEY FIELD
ホッケー場

日本ホッケー協会公認の人工芝を使用し、通常の競技スペースの1/4となる練習グラウンドが付設されています。夜間照明や人工芝散水装置、約400席の簡易観覧席も備えた専用施設で、同協会の公認施設です。



09 MARTIAL ARTS PLACE
武道場

山崎春之記念スポーツ館1階に設備されています。更衣室・シャワー室も完備されています。



10 JAPANESE ARCHERY PLACE
弓道場

射場は近的場で6人立です。照明もついているので夕方からの練習も安全にできます。



11 TRAINING CENTER トレーニングセンター

筋力アップや食事のアドバイスができるトレーニングドクターシステムを採用しており、専門のトレーナーの指導を受けることもできます。センター内は心肺持久力・エアロビクス・筋力トレーニング及び体力測定用の各機材で構成されており、2階には1周約80mの走路2レーンを設けています。
また、授業期間中（週1回）は、フィジカルコンディショニングアドバイザーが怪我の応急処置や慢性的になったスポーツ障害に対するリハビリテーションの相談に応じています。



低酸素室

2018年に新設された低酸素室は、常圧型低酸素システムにより高地環境を再現することのできる、最新のスポーツ研究のための施設となっています。



12 YAMAZAKI HARUYUKI COMMEMORATION SPORTS HOUSE 山崎春之記念スポーツ館 (120名収容)

学業とスポーツを両立するための良好な環境を提供し、学生生活の充実を図ることを目的として、強化指定クラブ部員対象の学生寮（2人1部屋）を設置しています。
*対象クラブ/剣道部、ラグビー部、サッカー部、男子ホッケー部、硬式野球部、カヌー部（スラローム）、ハンドボール部（男子）



（寮室）
主な設備仕様（全室完備）
○Wi-Fi利用可能（無料）
○机、椅子、冷蔵庫、多目的収納キャビネット、ベッド、エアコン、クローゼット、内線電話、洗面台

（シャワー室/ランドリー室）
主な設備仕様
○シャワー、洗濯機、乾燥機
24時間利用可能（無料）

HANNO STUDENT HEIGHTS 飯能学生ハイツ

陸上競技部（男子）部員対象の学生寮（2人1部屋）です。
飯能駅より徒歩約8分



主な設備仕様
○Wi-Fi利用可能（無料）
○1階共用部分にランドリー室（洗濯機、乾燥機）を設備（有料）
○2段ベッド、冷蔵庫、エアコン、キッチン（電子調理器）、ユニットバス、シューズボックス



FRONTIER S 10 フロントアス

駅伝部部員対象の学生寮（2人1部屋）です。



主な設備仕様
○Wi-Fi利用可能（無料）
○1階に大浴場を完備
○ランドリー室（洗濯機、乾燥機）（利用無料）
○机、椅子、2段ベッド、冷蔵庫、エアコン、ユニットバス（1階は狭く）



スポーツ科学部授業時間割

※完成年度(令和5(2023)年度)の時間割を想定

科目群	科目	担当者	配当年次	曜時	教室	
共通教育科目群	教養基礎科目	教養基礎講座	小林将輝 他	1前	木曜1限	3306
		教養基礎講座	長尾建 他	1前	木曜1限	3307
		プレゼミナール I	大森一伸	1前	木曜2限	2210
		プレゼミナール I	天野宏司	1前	木曜2限	7207
		プレゼミナール I	岡田安芸子	1前	木曜2限	2206
		プレゼミナール I	佐竹由帆	1後	木曜2限	2304
		プレゼミナール I	小林奈穂美	1前	木曜2限	7206
		プレゼミナール I	長尾建	1前	木曜2限	2309
		プレゼミナール I	小林将輝	1前	木曜2限	2305
		プレゼミナール I	飯田悠佳子	1前	木曜2限	7209
		プレゼミナール I	小丸超	1前	木曜2限	2102
		プレゼミナール I	信太直己	1前	木曜2限	2215
		プレゼミナール I	邑木隆二	1前	木曜2限	2308
		プレゼミナール I	鵜海未祐子	1前	木曜2限	2214
		プレゼミナール I	田中輝海	1前	木曜2限	2104
		プレゼミナール I	鈴木慶子	1前	木曜2限	3305
		プレゼミナール I	油井恵	1前	木曜2限	7208
		プレゼミナール I	丸藤祐子	1前	木曜2限	7210
		プレゼミナール II	大森一伸	1後	木曜2限	2210
		プレゼミナール II	天野宏司	1後	木曜2限	7207
		プレゼミナール II	岡田安芸子	1後	木曜2限	2206
		プレゼミナール II	佐竹由帆	1後	木曜2限	2304
		プレゼミナール II	小林奈穂美	1後	木曜2限	7206
		プレゼミナール II	長尾建	1後	木曜2限	2309
		プレゼミナール II	小林将輝	1後	木曜2限	2305
		プレゼミナール II	飯田悠佳子	1後	木曜2限	7209
		プレゼミナール II	小丸超	1後	木曜2限	2102
		プレゼミナール II	信太直己	1後	木曜2限	2215
		プレゼミナール II	邑木隆二	1後	木曜2限	2308
		プレゼミナール II	鵜海未祐子	1後	木曜2限	2214
		プレゼミナール II	田中輝海	1後	木曜2限	2104
		プレゼミナール II	鈴木慶子	1後	木曜2限	3305
		プレゼミナール II	油井恵	1後	木曜2限	7208
		プレゼミナール II	丸藤祐子	1後	木曜2限	7210
		コンピュータ・リテラシー I	太田康友	1前	火曜2限	3505
コンピュータ・リテラシー I	太田康友	1前	火曜4限	3505		
コンピュータ・リテラシー I	太田康友	1前	金曜4限	3505		
コンピュータ・リテラシー I	太田康友	1前	金曜2限	3505		
コンピュータ・リテラシー I	太田康友	1前	火曜3限	3504		
コンピュータ・リテラシー I	太田康友	1前	水曜4限	3504		
コンピュータ・リテラシー I	太田康友	1前	金曜3限	3504		

科目群	科目	担当者	配当年次	曜時	教室	
共通教育科目群	教養基礎科目	コンピュータ・リテラシーⅠ	太田康友	1前	金曜1限	3504
		コンピュータ・リテラシーⅡ	太田康友	1後	火曜2限	3505
		コンピュータ・リテラシーⅡ	太田康友	1後	火曜4限	3505
		コンピュータ・リテラシーⅡ	太田康友	1後	金曜4限	3505
		コンピュータ・リテラシーⅡ	太田康友	1後	金曜2限	3505
		コンピュータ・リテラシーⅡ	太田康友	1後	火曜3限	3504
		コンピュータ・リテラシーⅡ	太田康友	1後	水曜4限	3504
		コンピュータ・リテラシーⅡ	太田康友	1後	金曜3限	3504
		コンピュータ・リテラシーⅡ	太田康友	1後	金曜1限	3504
		倫理学Ⅰ	高井寛	1・2前	金曜3限	7401
		倫理学Ⅱ	岡田安芸子	1・2後	金曜3限	7401
		文学Ⅰ	長尾建	1・2前	金曜4限	3102
		文学Ⅰ	増田珠子	1・2前	月曜3限	7401
		文学Ⅱ	長尾建	1・2後	金曜4限	3102
		文学Ⅱ	海老澤豊	1・2後	月曜3限	7401
		こころの科学Ⅰ	持田隆平	1・2前	月曜4限	3405
		こころの科学Ⅰ	馬場存	1・2前	月曜2限	7201
		こころの科学Ⅱ	持田隆平	1・2後	月曜4限	3405
		日本の文化と倫理	岡田安芸子	1・2前	月曜4限	3103
		国際社会と日本	マシューズ	1・2後	月曜4限	7203
		北欧文化論	千葉庄寿	1・2後	火曜1限	7203
		健康・スポーツ実習Ⅰ	吉野貴順	1前	水曜1限	体育館アリーナ
		健康・スポーツ実習Ⅰ	小池太	1前	水曜2限	陸上競技場
		健康・スポーツ実習Ⅰ	大貫秀明	1前	月曜2限	テニスコート
		健康・スポーツ実習Ⅰ	宍戸渉	1前	火曜2限	ホッケー場
		健康・スポーツ実習Ⅰ	小丸超	1前	月曜3限	小体育館
		健康・スポーツ実習Ⅰ	飯田悠佳子	1前	月曜2限	トレーニングセンター
		健康・スポーツ実習Ⅰ	邑木隆二	1前	水曜1限	テニスコート
		健康・スポーツ実習Ⅰ	松林幸一郎	1前	火曜2限	多目的グラウンド
		健康・スポーツ実習Ⅰ	朴周鳳	1前	火曜2限	体育館アリーナ
		健康・スポーツ実習Ⅰ	蛭間純子	1前	月曜3限	武道場
		健康・スポーツ実習Ⅰ	石山育朗	1前	月曜3限	体育館アリーナ
		健康・スポーツ実習Ⅰ	蛭間栄介	1前	水曜1限	小体育館
		健康・スポーツ実習Ⅰ	笛木寛	1前	水曜2限	野球場
		健康・スポーツ実習Ⅰ	米澤麻佑子	1前	月曜2限	小体育館
		健康・スポーツ実習Ⅰ	丸藤祐子	1前	水曜2限	体育館アリーナ
		健康・スポーツ実習Ⅱ	吉野貴順	1後	水曜1限	体育館アリーナ
		健康・スポーツ実習Ⅱ	小池太	1後	水曜2限	陸上競技場
		健康・スポーツ実習Ⅱ	大貫秀明	1後	月曜2限	テニスコート
		健康・スポーツ実習Ⅱ	宍戸渉	1後	火曜2限	ホッケー場
		健康・スポーツ実習Ⅱ	小丸超	1後	月曜3限	小体育館
		健康・スポーツ実習Ⅱ	飯田悠佳子	1後	月曜2限	トレーニングセンター
		健康・スポーツ実習Ⅱ	邑木隆二	1後	水曜1限	テニスコート

科目群	科目	担当者	配当年次	曜時	教室	
共通教育科目群	教養基礎科目	健康・スポーツ実習Ⅱ	松林幸一郎	1後	火曜2限	多目的グラウンド
		健康・スポーツ実習Ⅱ	朴周鳳	1後	火曜2限	体育館アリーナ
		健康・スポーツ実習Ⅱ	蛭間純子	1後	月曜3限	武道場
		健康・スポーツ実習Ⅱ	石山育朗	1後	月曜3限	体育館アリーナ
		健康・スポーツ実習Ⅱ	蛭間栄介	1後	水曜1限	小体育館
		健康・スポーツ実習Ⅱ	笛木寛	1後	水曜2限	野球場
		健康・スポーツ実習Ⅱ	米澤麻佑子	1後	月曜2限	小体育館
		健康・スポーツ実習Ⅱ	丸藤祐子	1後	水曜2限	体育館アリーナ
		憲法概論	石田若菜	1・2後	金曜2限	7401
		経済学Ⅰ	佐川和彦	1・2前	木曜2限	7204
		経済学Ⅱ	佐川和彦	1・2後	木曜2限	7203
		歴史学Ⅰ	黒田基樹	1・2前	火曜3限	3307
		歴史学Ⅰ	増田珠子	1・2前	月曜4限	7401
		歴史学Ⅱ	海老澤豊	1・2後	火曜3限	3307
		歴史学Ⅱ	海老澤豊	1・2後	月曜4限	7401
		観光学	天野宏司	1・2後	水曜2限	3307
		現代自然科学Ⅰ	本池巧	1・2前	水曜5限	3404
		現代自然科学Ⅱ	本池巧	1・2後	水曜5限	3404
	環境生物学Ⅰ	伊藤雅道	1・2前	月曜1限	3306	
	環境生物学Ⅰ	伊藤雅道	1・2前	金曜1限	3103	
	環境生物学Ⅱ	伊藤雅道	1・2後	月曜1限	3306	
	環境生物学Ⅱ	伊藤雅道	1・2後	金曜1限	3103	
	生命の科学Ⅰ	伊藤雅道	1・2前	月曜2限	3306	
	生命の科学Ⅰ	伊藤雅道	1・2前	水曜1限	3307	
	生命の科学Ⅱ	伊藤雅道	1・2後	月曜2限	3306	
	生命の科学Ⅱ	伊藤雅道	1・2後	水曜1限	3307	
	からだの科学Ⅰ	中川直樹	1・2前	木曜2限	7401	
	からだの科学Ⅱ	中川直樹	1・2後	木曜2限	7401	
	教養発展科目	プレゼミナールⅢ	田中輝海	2前	月曜3限	3302
		プレゼミナールⅢ	丸藤祐子	2前	火曜3限	2102
		プレゼミナールⅢ	時本識資	2前	月曜3限	2204
		プレゼミナールⅢ	狐塚賢一郎	2前	月曜3限	2203
		プレゼミナールⅢ	平井純子	2前	月曜3限	2303
		プレゼミナールⅢ	岡田安芸子	2前	水曜4限	2304
プレゼミナールⅢ		小林奈穂美	2前	水曜3限	2102	
プレゼミナールⅢ		長尾建	2前	火曜3限	2208	
プレゼミナールⅢ		小林将輝	2前	水曜3限	2204	
プレゼミナールⅢ		朴周鳳	2前	月曜3限	2309	
プレゼミナールⅢ		信太直己	2前	水曜1限	2303	
プレゼミナールⅢ		マシューズ	2前	火曜3限	2304	
プレゼミナールⅢ		小丸超	2前	火曜3限	2303	
プレゼミナールⅢ		油井恵	2前	水曜3限	2104	
プレゼミナールⅢ		佐竹由帆	2前	月曜4限	2109	

科目群	科目	担当者	配当年次	曜時	教室	
共通教育科目群	教養発展科目	プレゼミナールⅣ	田中輝海	2後	月曜3限	3302
		プレゼミナールⅣ	丸藤祐子	2後	火曜3限	2102
		プレゼミナールⅣ	時本識資	2後	月曜3限	2204
		プレゼミナールⅣ	狐塚賢一郎	2後	月曜3限	2203
		プレゼミナールⅣ	平井純子	2後	月曜3限	2303
		プレゼミナールⅣ	岡田安芸子	2後	水曜4限	2304
		プレゼミナールⅣ	小林奈穂美	2後	水曜3限	2102
		プレゼミナールⅣ	長尾建	2後	火曜3限	2208
		プレゼミナールⅣ	小林将輝	2後	水曜3限	2204
		プレゼミナールⅣ	朴周鳳	2後	月曜3限	2309
		プレゼミナールⅣ	信太直己	2後	水曜1限	2303
		プレゼミナールⅣ	マシューズ	2後	火曜3限	2304
		プレゼミナールⅣ	小丸超	2後	火曜3限	2303
		プレゼミナールⅣ	油井恵	2後	水曜3限	2104
		プレゼミナールⅣ	佐竹由帆	2後	月曜4限	2109
		日本の暮らしと文化	岡田安芸子	2・3前	水曜2限	3306
		欧米の暮らしと文化	マシューズ	2・3後	水曜2限	7203
		異文化と文学	長尾建	2・3前	金曜3限	3306
		日本伝統文化論	岡田安芸子	2・3後	月曜4限	3103
		コミュニケーション論	岩熊史朗	2・3後	火曜4限	7204
		インターネット文化論	八田真行	2・3前	火曜4限	3405
		子ども文化論	増田珠子	2・3前	木曜2限	3103
		子ども文化論	増田珠子	2・3後	月曜4限	7204
		現代人と心理Ⅰ	馬場存	2・3前	水曜1限	3405
		現代人と心理Ⅱ	長沼佐代子	2・3後	木曜1限	7204
		現代社会と法	林田光弘	2・3前	火曜1限	3102
		ライフサイクルと社会保障	前田悦子	2・3後	金曜1限	3401
		労働と社会	朴昌明	2・3後	水曜4限	3306
		ジェンダー論	秋池宏美	2・3後	木曜2限	3101
		ジェンダー論	山口真里	2・3後	水曜2限	3405
		ホスピタリティ論	洪明真	2・3後	木曜3限	7203
		現代社会とメディア	大久保博樹	2・3後	火曜2限	3405
		労働衛生Ⅰ	信太直己	2前	火曜4限	7201
	労働衛生Ⅱ	信太直己	2・3後	火曜4限	7201	
	労働基準法	浅野公貴	2・3前	水曜3限	7001	
	労働安全衛生法Ⅰ	浅野公貴	2・3前	水曜1限	7001	
	労働安全衛生法Ⅱ	浅野公貴	2・3後	水曜1限	7001	
	地域	歴史探訪	岡田、長尾	1・2後	土曜1限	7208
		フィールドトリップ	天野宏司 他	1・2後	土曜1限	2105
		フィールドトリップ	天野宏司 他	1・2後	火曜5限	2105
		地域と文学	長尾建	1・2後	金曜2限	7204
		飯能学	平井純子	1・2後	月曜2限	3101
地域社会と観光		天野宏司	1・2前	水曜2限	7204	

科目群		科目	担当者	配当年次	曜時	教室	
共通教育科目群	域科目	地域環境論	伊藤雅道	1・2前	木曜2限	3102	
		森林文化Ⅰ	平井純子 他	1・2前	土曜3限	3103	
		森林文化Ⅱ	平井純子 他	1・2後	土曜3限	3103	
		地域と歴史	黒田基樹	1・2後	月曜3限	3306	
		インターンシップⅠ	小林奈穂美 他	2・3通	土曜2限	7204	
		インターンシップⅡ	前田悦子 他	1・2・3前・後	水曜5限	7201	
		まちづくり実践	狐塚賢一郎 他	1・2・3前・後	水曜5限	7202	
	外国語科目	必修外国語	英語ⅠA	海老澤豊	1前	水曜2限	3301
			英語ⅠA	福田二郎	1前	月曜2限	3304
			英語ⅠA	油井恵	1前	水曜1限	3305
			英語ⅠA	中川洋子	1前	火曜2限	3309
			英語ⅠA	石川真知子	1前	火曜3限	7308
			英語ⅠA	佐竹由帆	1前	火曜3限	7311
			英語ⅠA	安井健一郎	1前	火曜3限	3501
			英語ⅠB	海老澤豊	1後	水曜2限	3301
			英語ⅠB	福田二郎	1後	月曜2限	3304
			英語ⅠB	油井恵	1後	水曜1限	3305
			英語ⅠB	中川洋子	1後	火曜2限	3309
			英語ⅠB	石川真知子	1後	火曜3限	7308
			英語ⅠB	佐竹由帆	1後	火曜3限	7311
			英語ⅠB	安井健一郎	1後	火曜3限	3501
			英語ⅡA	マシューズ	1前	水曜1限	7309
			英語ⅡA	マシューズ	1前	火曜2限	7310
			英語ⅡA	マシューズ	1前	水曜3限	7311
			英語ⅡA	ネヴィン朋子	1前	火曜3限	3406
			英語ⅡA	トッドルシンスキ	1前	水曜1限	3406
			英語ⅡA	トッドルシンスキ	1前	水曜2限	3406
			英語ⅡA	石川真知子	1前	金曜3限	7403
			英語ⅡB	マシューズ	1後	水曜1限	7309
			英語ⅡB	マシューズ	1後	火曜2限	7310
			英語ⅡB	マシューズ	1後	水曜3限	7311
			英語ⅡB	ネヴィン朋子	1後	火曜3限	3406
			英語ⅡB	トッドルシンスキ	1後	水曜1限	3406
英語ⅡB			トッドルシンスキ	1後	水曜2限	3406	
英語ⅡB			石川真知子	1後	金曜3限	7403	
日本語ⅠA			八木真奈美	1前	月曜2限	7207	
日本語ⅠA			八木真奈美	1前	月曜3限	7207	
日本語ⅠA			八木真奈美	1前	月曜4限	7207	
日本語ⅠB			八木真奈美	1後	月曜2限	7207	
日本語ⅠB			八木真奈美	1後	月曜3限	7207	
日本語ⅠB			八木真奈美	1後	月曜4限	7207	
日本語ⅡA			笹寿美子	1前	火曜2限	7309	
日本語ⅡA			笹寿美子	1前	火曜4限	7309	

科目群		科目	担当者	配当年次	曜時	教室			
共通教育科目群	外国語科目	必修外国語	日本語ⅡB	笹寿美子	1後	火曜2限	7309		
			日本語ⅡB	笹寿美子	1後	火曜4限	7309		
			ドイツ語ⅠA	小林将輝	1前	水曜2限	7307		
			ドイツ語ⅠA	櫻井千絵	1前	水曜2限	7402		
			ドイツ語ⅠB	小林将輝	1後	水曜2限	7307		
			ドイツ語ⅠB	櫻井千絵	1後	水曜2限	7402		
			ドイツ語ⅡA	岡田啓美	1前	木曜4限	7308		
			ドイツ語ⅡA	津崎正行	1前	月曜3限	3310		
			ドイツ語ⅡB	岡田啓美	1後	木曜4限	7308		
			ドイツ語ⅡB	津崎正行	1後	月曜3限	3310		
			フランス語ⅠA	山下尚一	1前	水曜4限	3309		
			フランス語ⅠB	山下尚一	1後	水曜4限	3309		
			フランス語ⅡA	山下尚一	1前	水曜2限	3309		
			フランス語ⅡB	山下尚一	1後	水曜2限	3309		
			中国語ⅠA	孫国震	1前	火曜1限	7309		
			中国語ⅠB	孫国震	1後	火曜1限	7309		
			中国語ⅡA	蒋彧婷	1前	金曜1限	7311		
			中国語ⅡB	蒋彧婷	1後	金曜1限	7311		
			韓国語ⅠA	李善姫	1前	水曜2限	3308		
			韓国語ⅠA	趙珠恩	1前	月曜2限	3309		
			韓国語ⅠB	李善姫	1後	水曜2限	3308		
			韓国語ⅠB	趙珠恩	1後	月曜2限	3309		
			韓国語ⅡA	申奎燮	1前	水曜1限	3503		
			韓国語ⅡA	趙珠恩	1前	火曜1限	3503		
			韓国語ⅡB	申奎燮	1後	水曜1限	3503		
			韓国語ⅡB	趙珠恩	1後	火曜1限	3503		
			選択必修外国語	選択必修外国語	英語ⅢA	増田珠子	2前	金曜2限	7307
					英語ⅢA	中川洋子	2前	火曜4限	3309
		英語ⅢA			石川真知子	2前	火曜4限	7311	
		英語ⅢA			安井健一郎	2前	火曜4限	3501	
		英語ⅢB			増田珠子	2後	金曜2限	7307	
		英語ⅢB			中川洋子	2後	火曜4限	3309	
		英語ⅢB			石川真知子	2後	火曜4限	7311	
	英語ⅢB	安井健一郎			2後	火曜4限	3501		
	日本語ⅢA	八木真奈美			2前	水曜2限	7311		
	日本語ⅢB	八木真奈美			2後	水曜2限	7311		
	ドイツ語ⅢA	津崎正行	2前	月曜2限	3310				
	ドイツ語ⅢB	津崎正行	2後	月曜2限	3310				
	フランス語ⅢA	山下尚一	2前	水曜3限	3309				
	フランス語ⅢB	山下尚一	2後	水曜3限	3309				
	中国語ⅢA	葉紅	2前	金曜1限	7309				
	中国語ⅢB	葉紅	2後	金曜1限	7309				
	韓国語ⅢA	申奎燮	2前	金曜1限	3310				

科目群		科目	担当者	配当年次	曜時	教室	
共通教育科目群	外国語科目	韓国語ⅢB	申奎燮	2後	金曜1限	3310	
		英語演習Ⅰ	マシューズ	1・2・3前	火曜4限	7310	
		英語演習Ⅰ	石川真知子	1・2・3前	水曜4限	7308	
		英語演習Ⅱ	トッドルシンスキ	1・2・3後	火曜2限	3407	
		英語演習Ⅱ	石川真知子	1・2・3後	水曜4限	7308	
		ドイツ語演習Ⅰ	小林将輝	2・3前	火曜3限	2205	
		ドイツ語演習Ⅰ	明石真和	2・3前	月曜3限	2104	
		ドイツ語演習Ⅱ	小林将輝	2・3後	火曜3限	2205	
		ドイツ語演習Ⅱ	明石真和	2・3後	月曜3限	2104	
		フランス語演習Ⅰ	山下尚一	2・3前	木曜2限	3303	
		フランス語演習Ⅱ	山下尚一	2・3後	木曜2限	3303	
		中国語演習Ⅰ	葉紅	2・3前	木曜3限	7307	
		中国語演習Ⅱ	葉紅	2・3後	木曜2限	7307	
		中国語演習Ⅱ	蔣彧婷	2・3後	金曜2限	7311	
		韓国語演習Ⅰ	朴昌明	2・3前	火曜3限	3407	
		韓国語演習Ⅱ	朴昌明	2・3後	木曜2限	3403	
		日本語演習Ⅰ	杉本美穂	2・3前	水曜4限	7207	
		日本語演習Ⅱ	杉本美穂	2・3後	水曜4限	7207	
	海外語学演習	小林将輝 他	2・3通	水曜5限	7307		
	共通教育科目群	キャリア教育科目	キャリア基礎Ⅰ	梅村慶嗣	1前	木曜3限	3102
			キャリア基礎Ⅰ	梅村慶嗣	1前	木曜3限	3103
			キャリア基礎Ⅰ	梅村慶嗣	1前	木曜3限	3306
			キャリア基礎Ⅰ	梅村慶嗣	1前	木曜3限	3307
			キャリア基礎Ⅰ	梅村慶嗣	1前	木曜4限	3102
			キャリア基礎Ⅰ	梅村慶嗣	1前	木曜4限	3103
			キャリア基礎Ⅰ	小山知子	1前	木曜4限	3306
			キャリア基礎Ⅰ	小山知子	1前	木曜4限	3307
キャリア基礎Ⅱ			梅村慶嗣	1後	火曜4限	3405	
キャリア基礎Ⅱ			小山知子	1後	火曜3限	3405	
キャリア教育科目		キャリア発展	梅村慶嗣	2前	月曜1限	7201	
		キャリア発展	小山知子	2前	水曜2限	3102	
		キャリア発展	梅村慶嗣	2後	月曜1限	7202	
		ライフプランニング	小山知子	2前	火曜2限	7201	
		ライフプランニング	小山知子	2後	水曜3限	7201	
		キャリア実践論Ⅰ	梅村慶嗣	3前	木曜2限	7201	
		キャリア実践論Ⅰ	小山知子	3前	木曜2限	3307	
		キャリア実践論Ⅱ	梅村慶嗣	3後	木曜2限	7202	
		キャリア実践論Ⅲ	梅村慶嗣	3後	木曜1限	7203	
			スポーツ科学入門A	大森一伸 他	1前	水曜1限	7201
スポーツ科学入門A	大森一伸 他		1前	水曜2限	7201		
スポーツ科学入門B	大貫秀明 他		1前	水曜1限	7202		
スポーツ科学入門B	大貫秀明 他		1前	水曜2限	7202		
救急処置法	飯田・飯塚・鹿倉		1後	金曜1限	7201		

科目群		科目	担当者	配当年次	曜時	教室	
専攻科目群	専攻導入科目	救急処置法	飯田・飯塚・鹿倉	1後	金曜2限	7001	
		救急処置法	飯田・飯塚・鹿倉	1後	金曜4限	7202	
		トレーニングサイエンス	大森一伸	1後	月曜1限	3102	
		トレーニングサイエンス	大森一伸	1後	月曜2限	3102	
		ヘルスサイエンス	信太直己	1後	水曜3限	7204	
		ヘルスサイエンス	信太直己	1後	水曜4限	7204	
		スポーツ文化論	朴周鳳	1後	水曜3限	5101	
		スポーツ文化論	朴周鳳	1後	水曜4限	5101	
		チームビルディング	時本、小柳	1後	金曜1限	体育館アリーナ	
		チームビルディング	時本、小柳	1後	金曜2限	体育館アリーナ	
		チームビルディング	時本、小柳	1後	金曜4限	体育館アリーナ	
	専攻基幹科目	講義科目	運動生理学	丸藤祐子	2前	月曜1限	7204
			運動生理学	丸藤祐子	2前	月曜2限	7203
			スポーツの測定評価	吉野、久我	2前	火曜1限	7002・7004
			スポーツの測定評価	吉野、久我	2前	火曜2限	7002・7004
			スポーツの測定評価	吉野、久我	2前	火曜3限	7002・7004
			スポーツ哲学	大貫秀明	2前	月曜1限	3103
			スポーツ哲学	大貫秀明	2前	月曜2限	3102
			スポーツ社会学	小丸超	2前	月曜1限	7314
			スポーツ社会学	小丸超	2前	水曜1限	7314
			スポーツ・バイオメカニクス	久我晃広	2前	金曜3限	7002
			スポーツ・バイオメカニクス	久我晃広	2前	木曜2限	7002
			スポーツ教育学	平野和弘	2後	木曜2限	5101
			スポーツ教育学	平野和弘	2後	金曜3限	5101
			スポーツ史	朴周鳳	2前	火曜4限	7203
			スポーツ史	朴周鳳	2前	水曜4限	7201
			スポーツ・マネジメント	時本識資	2前	金曜4限	7314
			スポーツ・マネジメント	時本識資	2前	水曜4限	7314
			専門実技(ジョギング・ウォーキング)	邑木隆二	1前	火曜1限	陸上競技場
		専門実技(ジョギング・ウォーキング)	邑木隆二	1前	火曜2限	陸上競技場	
		専門実技(ジョギング・ウォーキング)	邑木隆二	1前	火曜3限	陸上競技場	
		専門実技(体づくり運動)	鈴木慶子	1後	火曜1限	小体育館	
専門実技(体づくり運動)		鈴木慶子	1後	火曜2限	小体育館		
専門実技(体づくり運動)		鈴木慶子	1後	火曜3限	小体育館		
専門実技(水泳)		蛭間、飯塚	2前	金曜1限	屋内プール(委託施設)		
専門実技(水泳)		蛭間、飯塚	2後	金曜1限	屋内プール(委託施設)		
専門実技(体力トレーニング)		長畑芳仁	2前	火曜3限	トレーニングセンター		
専門実技(体力トレーニング)		長畑芳仁	2後	火曜3限	トレーニングセンター		
専門実技(体力トレーニング)		長畑芳仁	2前	火曜4限	トレーニングセンター		
専門実技(体力トレーニング)		長畑芳仁	2後	火曜4限	トレーニングセンター		
専門実技(陸上競技)	邑木隆二	2後	火曜1限	陸上競技場			
専門実技(陸上競技)	邑木隆二	2後	火曜2限	陸上競技場			
専門実技(陸上競技)	邑木隆二	2後	火曜3限	陸上競技場			

科目群		科目	担当者	配当年次	曜時	教室	
専攻科目群	専攻基幹科目	実技科目	専門実技(器械運動)	仲宗根森敦	2前	火曜1限	小体育館
			専門実技(器械運動)	仲宗根森敦	2前	火曜2限	小体育館
			専門実技(器械運動)	仲宗根森敦	2前	火曜3限	小体育館
			専門実技(フィットネスA)	蛭間純子	3前	水曜4限	小体育館
			専門実技(フィットネスB)	蛭間純子	3後	水曜4限	小体育館
			専門実技(柔道)	朴周鳳	3前	金曜3限	小体育館
			専門実技(柔道)	朴周鳳	3後	金曜3限	小体育館
			専門実技(ダンス)	大貫秀明	3前	月曜4限	小体育館
			専門実技(ダンス)	大貫秀明	3後	月曜4限	小体育館
			専門実技(サッカー)	大森一伸	2・3前	金曜3限	陸上競技場
			専門実技(サッカー)	大森一伸	2・3後	金曜4限	陸上競技場
			専門実技(サッカー)	大森一伸	2・3後	金曜3限	陸上競技場
			専門実技(バレーボール)	石山育朗	2・3前	月曜2限	体育館アリーナ
			専門実技(バレーボール)	石山育朗	2・3前	月曜1限	体育館アリーナ
			専門実技(バレーボール)	石山育朗	2・3前	月曜4限	体育館アリーナ
			専門実技(バスケットボール)	石山育朗	2・3後	月曜1限	体育館アリーナ
			専門実技(バスケットボール)	石山育朗	2・3後	月曜2限	体育館アリーナ
			専門実技(バスケットボール)	石山育朗	2・3後	月曜4限	体育館アリーナ
			専門実技(テニス)	中川直樹	2・3前	木曜1限	テニスコート
			専門実技(テニス)	中川直樹	2・3後	木曜1限	テニスコート
	専門実技(ホッケー)	久我晃広	2・3前	金曜2限	ホッケー場		
	専門実技(ラグビー)	狐塚賢一郎	2・3後	水曜2限	多目的グラウンド		
	専門実技(自然活動A)	時本識資	2・3前	集中講義	学外施設		
	専門実技(自然活動B)	時本識資	2・3前	集中講義	学外施設		
	専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)	時本識資	2・3前	集中講義	学外施設		
	専門実技(アクア・マリンスポーツ)	富樫泰一	2・3前	集中講義	学外施設		
	専門実技(パドルスポーツ)	武正憲	2・3前	集中講義	学外施設		
	専門実技(自然活動C)	櫻澤、神野	2・3後	集中講義	学外施設		
	専門実技(スキー・スノーボード)	狐塚賢一郎	2・3後	集中講義	学外施設		
		専攻基幹科目	スポーツ測定法	吉野、久我	2後	火曜1限	7002・7004
			スポーツ測定法	吉野、久我	2後	火曜2限	7002・7004
			スポーツ測定法	吉野、久我	2後	火曜3限	7002・7004
			スポーツ心理学	田中輝海	2後	月曜1限	7001
			スポーツ心理学	田中輝海	2後	月曜2限	7001
	健康とスポーツの医学A		坂本静男	2後	火曜4限	7202	
	運動学		仲宗根森敦	2後	火曜4限	3307	
	スポーツ生理学		大森一伸	2・3前	月曜3限	5101	
	健康と文化		井上直子	2・3前	火曜4限	7204	
	スポーツ政策論		時本識資	2・3前	水曜2限	7314	
	生涯スポーツ論		時本識資	2・3後	水曜2限	3306	
	スポーツ人類学		朴周鳳	2・3後	水曜1限	7201	
	スポーツ栄養学		武田哲子	3前	水曜3限	7313	
	解剖生理学		中村千秋	3前	金曜2限	7314	

科目群		科目	担当者	配当年次	曜時	教室
専攻科目群	専攻発展科目	スポーツ測定法実習	吉野、久我	3前	火曜4限	7002・7004
		健康とスポーツの医学B	坂本静男	3後	火曜3限	7201
		運動処方論	丸藤祐子	3前	水曜1限	5101
		衛生学・公衆衛生学	信太直己	3前	火曜3限	7001
		生涯学習論	狐塚賢一郎 他	3前	水曜2限	7405
		教育と文化	鵜海未祐子	3前	月曜1限	7209
		スポーツ心理学実習	田中輝海	3・4前	火曜1限	7001
		スポーツ心理学実習	田中輝海	3・4前	火曜2限	7001
		アスレティックトレーナー論	鹿倉二郎	3・4前	火曜1限	7313
		身体文化論	大貫秀明	3・4前	水曜3限	2206
		異文化とスポーツ	小林将輝	3・4前	火曜1限	2101
		スポーツと法	上河内千香子	3・4前	水曜4限	2206
		文化資源とスポーツ	天野宏司	3・4前	月曜3限	7204
		レクリエーション論	平井純子	3・4前	水曜2限	3404
		アダプテッドスポーツ論	吉松梓	3・4前	金曜1限	7201
		加齢とスポーツ	丸藤祐子	3・4後	水曜1限	5101
		健康運動プログラムの作成	丸藤祐子	3・4後	水曜3限	7203
		スポーツインストラクター指導論	蛭間栄介	3・4後	金曜2限	5101
		メンタルトレーニング論	宍戸渉	3・4後	火曜3限	7001
		メンタルトレーニング論	宍戸渉	3・4後	火曜4限	7001
		コンディショニング論	鹿倉二郎	3・4後	火曜1限	7313
		スポーツコーチング論	吉野貴順 他	3・4後	木曜1限	5101
		スポーツ指導者論	笛木寛	3・4後	水曜1限	3101
		健康・体力づくり指導法	蛭間純子	3・4後	水曜3限	5101
		発育・発達とスポーツ	飯田悠佳子	3・4後	金曜1限	7001
		学校保健	飯田悠佳子	3・4後	金曜3限	7203
		教育と法	秋池宏美	3・4後	火曜2限	3301
		エコツーリズム論	平井純子	3・4後	水曜2限	3404
		スポーツ・ツーリズム論	天野宏司	3・4後	水曜3限	3307
		スポーツと政治	時本識資	3・4後	金曜3限	7204
		国際交流とスポーツ	橋口道代	3・4後	金曜2限	3102
		海外スポーツ文化研修	大貫秀明	2・3後	金曜5限	7202
		スポーツ健康実習	狐塚賢一郎 他	3後	月曜5限	7201
スポーツ教育実習	平野和弘 他	3後	月曜5限	7202		
地域スポーツ実習	時本識資 他	3後	月曜5限	7203		
専攻科目群	専攻発展科目	ゼミナールⅠ・Ⅱ	吉野貴順	3	水曜5限	7003・7004
		ゼミナールⅠ・Ⅱ	大貫秀明	3	水曜4限	2203
		ゼミナールⅠ・Ⅱ	坂本静男	3	火曜5限	2102
		ゼミナールⅠ・Ⅱ	鹿倉二郎	3	火曜4限	2205
		ゼミナールⅠ・Ⅱ	秋池宏美	3	火曜4限	2102
		ゼミナールⅠ・Ⅱ	時本識資	3	火曜5限	2107
		ゼミナールⅠ・Ⅱ	狐塚賢一郎	3	水曜4限	2205
		ゼミナールⅠ・Ⅱ	大森一伸	3	水曜4限	7003・7004

科目群	科目	担当者	配当年次	曜時	教室
演習科目群	ゼミナールⅠ・Ⅱ	平井純子	3	月曜4限	2106
	ゼミナールⅠ・Ⅱ	天野宏司	3	月曜4限	2103
	ゼミナールⅠ・Ⅱ	平野和弘	3	金曜4限	2110
	ゼミナールⅠ・Ⅱ	久我晃広	3	火曜4限	7002
	ゼミナールⅠ・Ⅱ	小林将輝	3	火曜4限	2107
	ゼミナールⅠ・Ⅱ	朴周鳳	3	金曜4限	2101
	ゼミナールⅠ・Ⅱ	信太直己	3	金曜4限	7001
	ゼミナールⅠ・Ⅱ	鵜海未祐子	3	火曜4限	2310
	ゼミナールⅠ・Ⅱ	小丸超	3	火曜4限	2106
	ゼミナールⅠ・Ⅱ	丸藤祐子	3	火曜4限	7209
	ゼミナールⅠ・Ⅱ	飯田悠佳子	3	水曜4限	7001
	ゼミナールⅠ・Ⅱ	邑木隆二	3	水曜4限	2306
	ゼミナールⅠ・Ⅱ	田中輝海	3	火曜4限	2301
	ゼミナールⅠ・Ⅱ	鈴木慶子	3	水曜5限	3305
	ゼミナールⅢ・Ⅳ	吉野貴順	4	火曜5限	7003・7004
	ゼミナールⅢ・Ⅳ	大貫秀明	4	水曜5限	2203
	ゼミナールⅢ・Ⅳ	坂本静男	4	月曜5限	2102
	ゼミナールⅢ・Ⅳ	鹿倉二郎	4	火曜5限	2205
	ゼミナールⅢ・Ⅳ	秋池宏美	4	火曜5限	2102
	ゼミナールⅢ・Ⅳ	時本識資	4	水曜5限	2107
	ゼミナールⅢ・Ⅳ	狐塚賢一郎	4	火曜5限	2205
	ゼミナールⅢ・Ⅳ	大森一伸	4	水曜5限	7003・7004
	ゼミナールⅢ・Ⅳ	平井純子	4	月曜5限	2106
	ゼミナールⅢ・Ⅳ	天野宏司	4	月曜5限	2103
	ゼミナールⅢ・Ⅳ	平野和弘	4	金曜5限	2110
	ゼミナールⅢ・Ⅳ	久我晃広	4	火曜5限	7002
	ゼミナールⅢ・Ⅳ	小林将輝	4	火曜5限	2107
	ゼミナールⅢ・Ⅳ	朴周鳳	4	金曜5限	2101
	ゼミナールⅢ・Ⅳ	信太直己	4	金曜5限	7001
	ゼミナールⅢ・Ⅳ	鵜海未祐子	4	月曜5限	2310
ゼミナールⅢ・Ⅳ	小丸超	4	火曜5限	2106	
ゼミナールⅢ・Ⅳ	丸藤祐子	4	火曜5限	7209	
ゼミナールⅢ・Ⅳ	飯田悠佳子	4	水曜5限	7001	
ゼミナールⅢ・Ⅳ	邑木隆二	4	水曜5限	2306	
ゼミナールⅢ・Ⅳ	田中輝海	4	火曜5限	7001	
ゼミナールⅢ・Ⅳ	鈴木慶子	4	金曜5限	3305	
演習科目群	教育学概論	秋池宏美	1前	金曜4限	3306
	教育学概論	鵜海未祐子	1前	水曜4限	7313
	教職論	角替弘規	1・2・3前	水曜1限	7301
	教職論	角替弘規	1・2・3前	水曜2限	7203
	教育制度論	秋池宏美	1後	金曜4限	3307
	教育制度論	鵜海未祐子	1後	水曜4限	3102
	教育心理学	杉本英晴	1後	月曜3限	3303

科目群	科目	担当者	配当年次	曜時	教室	
教職課程科目	教育の基礎的理解に関する科目等	教育心理学	永作稔	1後	月曜3限	3404
		特別支援教育Ⅰ	佐藤、永作	2後	月曜4限	7209
		特別支援教育Ⅱ	山下浩 他	2後	月曜5限	2101
		特別支援教育Ⅱ	永作稔 他	2後	月曜5限	7209
		道德教育の理論と方法	秋池宏美	2前	火曜1限	7203
		道德教育の理論と方法	内田文夫	2後	水曜2限	7202
		総合的な学習の時間の指導	中條克俊	2前	水曜3限	3403
		総合的な学習の時間の指導	金沢はるえ	2前	火曜4限	3403
		特別活動の指導	平野和弘	2後	月曜2限	7401
		教育の方法と技術	三尾忠男	3後	水曜2限	3504
		教育の方法と技術	三尾忠男	3後	水曜1限	7301
		生徒指導	平野和弘	2前	月曜2限	7313
		生徒指導	花屋哲郎	2前	火曜2限	3102
		教育相談	近藤育代	2前	金曜2限	7402
		教育相談	永作稔	2前	月曜3限	7209
		進路指導	永作稔	2前	月曜4限	7209
		教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。)	秋池宏美 他	3後～4前	集中講義	3305
		教育実習Ⅱ	秋池宏美 他	3後～4前	集中講義	2203
		学校体験活動	秋池宏美 他	3前・後	集中講義	7204
		教職実践演習	鵜海未祐子 他	4後	月曜2限	7209
教職課程科目	用及び各 を(教情科 含)材報の む。の機指 の器導 の設大 履定学 修する独 科目に	保健体育科教育法Ⅰ	狐塚、森	2後	水曜1限	7203
		保健体育科教育法Ⅱ	平野和弘	3前	月曜1限	5101
		保健体育科教育法Ⅲ	平野和弘	3後	金曜5限	5101
		保健体育科教育法Ⅳ	平野	3後	金曜4限	5101
		教育学演習Ⅰ	秋池宏美	2・3前	金曜5限	2102
		教育学演習Ⅰ	鵜海未祐子	2・3前	火曜5限	7311
		教育学演習Ⅱ	秋池宏美	2・3後	金曜5限	2102
		教育学演習Ⅱ	鵜海未祐子	2・3後	火曜5限	7311

スポーツ科学部新規購入設備器機一覧（スポーツサイエンス lab. 関連より抜粋）

2018 年度購入 No.1~19、2019 年度購入 No.20~34、2020 年度購入 No.35~37

No	品名	数量	製品画像	備考	既存有無
1	エアロモニタ AE-310SRC	1		ミナト医科学株式会社 ノート型 PC タイプ 心拍入力ユニット 専用台	有
2	ベットサイドモニタ BSM-3400-Q11	3		日本光電株式会社 12.1 インチ TFT カラー LCD 専用架台 バッテリーパック 送信機 電極リード線 エアロモニター同期用ケーブル	有
3	乳酸分析器 Biosen S line (1 測定チャンネル)	1		アブラン株式会社 本体・付属品 プリンター、スターターキット	有
4	レーザー組織血液酸素 モニター BOM-L1TR-W	1		オメガウェーブ株式会社 代: (株)アプライドオフィス データ処理装置+ノート型パソコン込	無
5	ポータブル心拍変動測定器 心拍変動解析ソフト	5		株式会社トライテック 電極 50 個×2	無
6	Polar Team Pro (30 人用のセット)	1		ポラール・エレクトロ・ジャパン株式会社 Team Pro Shirt 30 枚付 ライセンス料(2年目以降) データ表示用 iPad、通信料、PC プリンター別	無
7	動作解析システム 機能拡張ユニット	1		株式会社ディケイエイチ 2次元/3次元解析プログラム スライドショット 高速 GigE カメラ(4 台) フォースプレート アンプ、データ解析装置込 プリンターなし	有

No	品名	数量	製品画像	備考	既存有無
8	動作解析システム	2		株式会社ディケイエイチ 2次元/3次元解析セット データ処理装置含む	有
9	8ch ワイヤレス EMG システム	1		株式会社ディケイエイチ 8chEMG 3軸加速度センサ 内臓 8chアナログ出力箱 2chゴニオカプラ 2軸ゴニオメータ データ解析装置込 プリンターなし	有
10	全身骨格模型 ・分離模型(頭頸部、気道・心臓肺模型)	1		日本ライトサービス株式会社 “スタン”標準骨格モデルA10 関節機能モデルシリーズ E肩関節 A80 F股関節 A81 G膝関節 A82 H肘関節 A83 B腰椎 A74 頭蓋, 脳付, 8分解モデルA20 心臓, 実物大5分解モデル G01	有
11	筋肉模型(上肢・下肢)	1		日本ライトサービス株式会社 下肢の筋肉, 実物大・7分解 M21 上肢の筋肉, 3/4倍大・6分解 M10	無
12	骨密度測定装置 超音波踵骨測定装置 A-1000-EXP II	1		GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 代:フクダコーリン株式会社	無
13	IBM SPSS Statistics 25 Base IBM SPSS Amos 25	3		IBM IBM SPSS Statistics 25 Base IBM SPSS Amos 25 PC プリンター込	無
14	リアクション MR	1		竹井機器工業株式会社 PC プリンター込	無
15	マットスイッチ	2		竹井機器工業株式会社 ※リアクション MR のオプション オプション例	無

No	品名	数量	製品画像	備考	既存有無
16	PC タキストスコープ (120Hz)	1		竹井機器工業株式会社 タワー型 PC プリンター込み	無
17	映像記録システム屋内 4 カメラ仕様 (体育館に設置)	1		株式会社ディケイエイチ 屋内用ドームカメラ スモークドーム 同軸多重ユニット コントロールユニット DVD レコーダ、カラーモニタ、ビデオタイマ	無
18	トレッドミル T.K.K.3088 ウェルロード 200E 時速 26 キロ改造	3		竹井機器工業株式会社 一般製品の最高速度、時速 20 キロから、26 キロに改造 傾斜装置付き	実習室には無
19	自転車エルゴメータ アクティブテンⅢ	3		竹井機器工業株式会社 電磁ブレーキ、フィードバック機構により、高精度。負荷試験にも使用可能。	有 (別タイプ)
20	レッグパワー A/D コンバータ1ch	1		竹井機器工業株式会社 等速性脚伸展力パワー 荷重を出力 A/D コンバータ(ソフト込)でグラフ化 PC プリンター込	無
21	オートスパイロ AS-407	1		ミナト医科学株式会社	無
22	ワイヤレススピード 計測システム WITTY	1		エスアンドシー株式会社 WITTY 追加ゲート×8 小型電光掲示板 備品セット スタートセンサー	無
23	TAS9VIEW 自律神経バランス分析 加速度脈波測定器	1		株式会社 YKC PC、プリンター込	無

No	品名	数量	製品画像	備考	既存有無
24	信号収録装置 Polymate Pro	1		株式会社ミュキ技研 ※MP6000 多用途型 脈波、呼吸、体位、SpO2 等のセンサーのオプション追加 PC プリンター込	無
25	動体視力計 AS-4F α (集中管理システム対応)	1		竹井機器工業株式会社 PC、プリンター込	無
26	TalkEye Lite (両眼タイプ)	1		竹井機器工業株式会社 PC 含むプリンターなし	無
27	動画解析プログラムライ センスキー無	1		竹井機器工業株式会社 ※TalkEye Lite (両眼タイプ) の オプション	無
28	映像記録システム 屋外 4 カメラ仕様 (陸上競技場、 ホッケー場に設置)	2		株式会社ディケイエイチ 屋外用ドームカメラ 同軸多重ユニット コントロールユニット DVDレコ ーダ、カラーモニタ、ビデオタイ マ	無
29	身体組成計 Inbody570	1		株式会社インボディ・ジャパン 専用データ管理ソフト 専用ノートパソコン込	無
30	重心軌跡測定器	1		竹井機器工業株式会社 アンプ内蔵型 ソフト込み PC プリンター込	無
31	液晶シャッターゴー グル 5 人用 調整器	1		竹井機器工業株式会社 PC プリンター込	無

No	品名	数量	製品画像	備考	既存有無
32	液晶シャッターゴーグル	5		竹井機器工業株式会社 ※液晶シャッターゴーグル 5人用調整器特注オプション	無
33	モバイルエアロモニタ [AE-100i]	1		ミナト医科学株式会社 予備のセンサー・チューブ・マスク・バンド、リュック、ポラール心拍アダプタ、AT 解析ソフト等含む	無
34	デジタルフリッカー [T.K.K-502]	2		竹井機器工業株式会社	無
35	超音波診断装置 ARIETTA850	1		日立 白黒・カラープリンター 探触子 6本(大腿部など深部、 近距離 1~4 cm、近距離 3~6 cm、遠距離 3~7 cm、血管、心 臓)、筋硬度などのソフト、スロー モーションソフト等フルスペック	無
36	オートスパイロメータ [SYSTEM 7] S7WNRD	1		ミナト医科学株式会社 デスクトップ型 PC 架台付き	無
37	全自動血圧計 [TK-11402]	1		キャンライフケアソリューションズ(株) オプション一式 専用架台 椅子エアース 腕帯布(2枚組) 専用記録用紙 1箱 6巻	無

メディアセンター所蔵雑誌リスト(スポーツ科学部関連)

2018年12月1日

No.	書名	所蔵巻号	所蔵年次	資料区分	ISSN
1	Adult education : a journal of research and theory in adult education	31-32,33(1-2)	1980-1983	雑誌	00018481
2	Adult education quarterly	33(3-4),34-35,36(2-4),37,38(2-4),39-49,50(2-4),51-55,56(1)	1983-2005	雑誌	07417136
3	Ballett international. Tanz aktuell	1995-2001	1995-2001	雑誌	09470484
4	Ballettanz : Europe's leading dance magazine	2002-2009,2010(1)	2002-2010	雑誌	16126890
5	British journal of physical education / Physical Education Association of Great Britain and Northern Ireland	18-29,30(1-2)	1987-1999	雑誌	09546693
6	The British journal of teaching physical education : the official journal of the Physical Education Association of the United Kingdom	30(4),31-36,37(1)	1999-2006	雑誌	14724375
7	Comparative education review	1-46	1957-2002	雑誌	00104086
8	Dance magazine	62-89,90(1,3-6,8-12),91(1-7)	1988-2017	雑誌	00116009
9	Dancing times. N.S. / the Dancing Times, Ltd	86-107	1995-2017	雑誌	0011605X
10	European journal of education : review of new trends in European higher education	21-37	1986-2002	雑誌	01418211
11	European journal of physical education	7-8	2002-2003	雑誌	13627120
12	Harvard educational review	64-72	1994-2002	雑誌	00178055
13	Health affairs	14-17	1995-1998	雑誌	02782715
14	Higher education management	5-11,12(2-3),13(1-2)	1993-2001	雑誌	1013851X
15	Higher education management and policy : journal of the Programme on Institutional Management in Higher Education	14-17	2002-2005	雑誌	16823451
16	International journal of physical education = Internationale Zeitschrift für Sportpädagogik / International Council on Health, Physical Education and Recreation	23-51,52(1-4)	1986-2015	雑誌	03418685
17	International journal of sports medicine	10-26	1989-2005	雑誌	01724622
18	JOPERD : the journal of physical education, recreation & dance	62-67	1991-1996	雑誌	07303084
19	Journal of health economics	1-18	1982-1999	雑誌	01676296
20	Journal of physical education, recreation & dance	57-61	1986-1990	雑誌	07303084
21	Journal of teacher education	32-37,38(1-4,6),39-53	1981-2002	雑誌	00224871
22	PEB exchange : newsletter of the Programme on Educational Building	18-29	1993-1996	雑誌	10189327
23	Physical education and sport pedagogy : journal of the Physical Education Association of the United Kingdom	9-13,14(1-2,4),15-21,22(1-4)	2004-2017	雑誌	17408989
24	Physical education matters : official journal of the Association for Physical Education	1-5,6(1)	2006-2011	雑誌	17510988
25	The Physical educator	53-64,65(1-2,4),66(1-4),67(1-2,4),68-73,74(1)	1996-2017	雑誌	00318981
26	The physical educator	*	*	電子ジャーナル	00318981
27	Quest / National Association for Physical Education in Higher Education	42-58,59(1-4),60(1-4),61-66,67(1-4)	1990-2015	雑誌	00336297
28	Quest / National Association for Physical Education in Higher Education	*	*	電子ジャーナル	00336297
29	Review of educational research / American Educational Research Association	51-72	1981-2002	雑誌	00346543
30	Sportsmedicine : media of communication for sportsmedicine people	21-23,24(1-4,6-10),25-28,29(1-6)	2009-2017	雑誌	0916359X
31	Tanz : Zeitschrift für Ballett, Tanz und Performance	2010(2-12),2011-2013,2014(1-9),2015(2-12)	2010-2015	雑誌	18697720
32	アカデミア. 人文・自然科学編, 保健体育編 / 南山大学	30-35	1979-1982	紀要	02895099
33	WIBA : 医療・福祉・保健の総合年鑑 / 日本医療企画	1996	1996-1996	雑誌	
34	衛生局年報 / 内務省衛生局編	3-9;17-45;1-14	1880-1926	雑誌	
35	衛生局報告 / 内務省衛生局編	1-2	1875-1880	雑誌	
36	大阪体育大学紀要 / 大阪体育大学 [編集]	20-48	1989-2017	紀要	02891190
37	海外労働白書 / 労働省大臣官房国際労働課 [編]	5	1993-1993	雑誌	
38	外国人労働者の労災白書 / 全国労働安全衛生センター連絡会議	1992	1992-1992	雑誌	
39	舵	60-62,76-80,81(1-4)	1994-2015	雑誌	03891771

メディアセンター所蔵雑誌リスト(スポーツ科学部関連)

2018年12月1日

No.	書名	所蔵巻号	所蔵年次	資料区分	ISSN
40	学校基本調査報告書. 学校調査・卒業後の状況調査, 大学・短期大学・高等専門学校・国立養護教諭養成所・国立工業教員養成所 / 文部省	55-63;1-28	1980- 1988;1989- 2016	政府刊行物	
41	学校基本調査報告書. 初等中等教育 / 文部省大臣官房調査統計課	56	1981-1981	政府刊行物	
42	学校基本調査報告書. 初等中等教育機関・専修学校・各種学校編 / 文部省大臣官房調査統計課 [編]	59-62;2-7,10-28	1984- 1987;1990- 2016	政府刊行物	
43	活用労働統計: 生産性・賃金・物価関連統計 / 日本生産性本部労働部	1995	1995-1995	雑誌	
44	からだの科学: popular medicine / 日本評論社 [編]	168-278	1993-2013	雑誌	04533038
45	関学教職教育 / 関西学院大学教職課程室 [編]	1	1996-1996	紀要	13420488
46	教育アンケート調査年鑑	1994,1996	1994-1996	雑誌	
47	教育學研究 / 日本教育學會	60-83,84(1-2)	1993-2017	雑誌	03873161
48	教育と医学 / 教育と医学の会	40(12),41-64,65(1-7)	1992-2017	雑誌	04529677
49	教育と情報 / 文部省大臣官房情報処理課編集	339-340,342-516	1986-2001	雑誌	09145702
50	季刊教育法 / 総合労働研究所	88-130,132-193	1986-2017	雑誌	09131094
51	教員養成セミナー	13(5-12),14-38,39(1-18)	1991-2017	雑誌	02854155
52	教授学研究年報 / 宮城教育大学教授学研究会	1	1975-1975	雑誌	
53	教職課程	40(6-17),41-42,43(1-11)	2014-2017	雑誌	
54	月刊切抜き体育・スポーツ	176-454	1989-2012	雑誌	
55	現代教育科学	24-54,55(1-3)	1981-2012	雑誌	
56	厚生労働白書 / 厚生労働省監修	13-23,25-26,28	2001-2016	政府刊行物	
57	コーチング・クリニック = Coaching clinic / ベースボール・マガジン社	23-30,31(1-5,7-8,10,12)	2009-2017	雑誌	
58	雇用管理の実態: 雇用管理調査 / 労働大臣官房統計情報部	63	1988-1988	雑誌	
59	埼玉教育 / ニュースクール研究会 [編]	48(4-12),49-62,63(2-12),64-65,67-68,69(1-6)	1994-2016	雑誌	
60	埼玉県立衛生短期大学紀要 / 埼玉県立衛生短期大学	12-23	1987-1998	紀要	02896745
61	サッカークリニック / ベースボール・マガジン社	16-23,24(1,3-9)	2009-2017	雑誌	
62	時事通信. 内外教育版	1-6	1946-1952	雑誌	
63	視聴覚教育 = The audio-visual education / 日本映画教育協会	47-70,71(1-7)	1993-2017	雑誌	00373664
64	社会科教育. 別冊 / 明治図書 [編]	1-5,7-9;1995-1999;19-21	1993- 1995;1995- 1999;2001- 2001	雑誌	
65	月刊社会教育 / 国土社	38(12-13),39-60,61(1-8)	1994-2017	雑誌	02872331
66	社会教育 / 社会教育研究会; 乗杉嘉壽[監修]	1-6;1-60,5(8),6-15	1921-1944	雑誌	
67	社会教育 = Social education	50-71,72(1-7)	1995-2017	雑誌	13425323
68	社会教育調査報告書 / 文部省調査局統計課	2	1990-1990	政府刊行物	
69	社会と教化 / 社会教育研究会	1-3	1921-1923	雑誌	
70	Japanese journal of sports sciences / 日本バイオメカニクス学会 [編集]	13-15	1994-1996	雑誌	02869322
71	女子体育 / 日本女子体育連盟	28-58,59(1-7)	1986-2017	雑誌	02889935
72	女性労働の分析 / 厚生労働省雇用均等・児童家庭局	2005-2015	2005-2015	政府刊行物	
73	女性労働白書: 働く女性の実情 / 労働省女性局編	10-16	1998-2004	政府刊行物	
74	鈴鹿医療科学技術大学紀要 = Research reports of Suzuka University of Medical Science and Technology / 鈴鹿医療科学技術大学	1-9	1994-2002	紀要	13416472
75	スポーツ埼玉	264-276	2014-2017	雑誌	
76	スポーツと健康 = Sports & health / 文部省体育局監	25-32	1993-2000	雑誌	09184171
77	スポーツ方法学研究 / 日本体育学会体育方法専門分科会, 日本スポーツ方法学会 [編集]	20,21(1-2),22(2),23(1-2)	2007-2010	雑誌	09183086
78	駿河台大学教職論集	1	2015-2015	紀要	
79	世界の厚生労働: 海外情勢報告 / 厚生労働省編	2006-2007,2009,2011-2017	2006-2017	政府刊行物	
80	体育科教育 / 日本体育指導者連盟編集	34-64,65(1-9)	1986-2017	雑誌	09133933
81	体育科教育学研究 / 日本体育学会体育科教育学専門分科会編	25-32,33(1)	2009-2017	雑誌	13428039
82	体育學研究 = Research of physical education / 日本体育學會	38-61,62(1)	1993-2017	雑誌	04846710
83	体育研究所紀要 / 慶応義塾大学体育研究所	28(),36(),37-39,45()	1988-2006	紀要	02866951
84	体育の科学: 保健と体育の平易な総合雑誌 / 日本体育学会 [編集]	36-66,67(1-7)	1986-2017	雑誌	00398985
85	体力科学 / 日本体力医学会監修	58-65,66(1-3)	2009-2017	雑誌	0039906X

メディアセンター所蔵雑誌リスト(スポーツ科学部関連)

2018年12月1日

No.	書名	所蔵巻号	所蔵年次	資料区分	ISSN
86	たのしい体育・スポーツ / 学校体育研究同志会 [編]	29-35,36(1-3)	2010-2017	雑誌	
87	ダンスマガジン = Dance magazine	6-8,9(1-9,11-13),10-21,22(1-9,11-12),23-26,27(1-8)	1996-2017	雑誌	
88	テニスマガジン	40-41,42(1-7,9-10,12-13,15),43(1,3-4,6-7,9-10,12-16),44,45(1-10,12-13),46,47(1,3-	2009-2017	雑誌	
89	道徳教育	21-27,28(1-5,7-14),29(1-3,5-16),30-56,57(1-8)	1981-2017	雑誌	
90	東洋大学紀要. 教養課程篇. 保健体育 / 東洋大学	1-10	1991-2000	紀要	09171010
91	特別支援教育研究 = Japanese journal of study on special support education / 全日本特別支援教育研究連盟編集	680-719	2014-2017	雑誌	18807275
92	Training journal = 月刊トレーニング・ジャーナル	31-38,39(1-8)	2009-2017	雑誌	0388192X
93	Number : sports graphic = ナンバー : スポーツグラフィック / 文藝春秋	30-37,38(1-16)	2009-2017	雑誌	0287900X
94	日本教育行政学会年報 / 日本教育行政学会	4,6,8-40	1978-2014	雑誌	
95	日本教育法学会年報 / 日本教育法学会	4-14,16-46	1975-2017	雑誌	03873226
96	日本体育協会スポーツ科学研究報告集 / 日本体育協会スポーツ科学委員会	2008-2015	2008-2015	雑誌	
97	バイオメカニクス研究 / 「バイオメカニクス研究」編集事務局 [編集] = Japanese journal of biomechanics in sports & exercise : JJBSE / Japanese Society of biomechanics	13-19,20(1-4)	2009-2016	雑誌	13431706
98	働く女性の実情 / 労働省婦人局 [編集]	5-9	1993-1997	政府刊行物	
99	Ballet = バレエ / 音楽之友社 [編]	1-28	1998-2002	雑誌	
100	季刊バレエの本 = Quarterly ballet magazine	1-6,7(1)	1992-1998	雑誌	
101	Business labor trend = ビジネス・レーパー・トレンド / 労働政策研究・研修機構 [編]	481-508	2015-2017	雑誌	1348785X
102	FASID年報 / 国際開発高等教育機構 = / Foundation for Advanced Studies on International Development	1994-1996	1994-1996	雑誌	
103	婦人労働の実情 / 労働省婦人局 [編集]	62-63;1-4	1987-1988;1989-1992	政府刊行物	
104	保健の科学	28-58,59(1-7)	1986-2017	雑誌	00183342
105	毎月勤労統計要覧 / 労働省労働統計調査部編	63	1988-1988	雑誌	
106	野外教育研究 = Japan outdoor education journal / 日本野外教育学会 [編]	14-19,20(1-2)	2011-2016	雑誌	13439634
107	山と渓谷	702-736,738-827,829-919,921-988	1994-2017	雑誌	
108	ラグビーマガジン	38(1-3,6-12),39-45,46(1-8)	2009-2017	雑誌	
109	別冊ラグビーマガジン	23(2-5),24-30,31(1)	2009-2016	雑誌	
110	月刊陸上競技 / 講談社 [編]	43(1,3-13),44(1,3-13),45(1,3-5,8,10-13),46(1,3-13),47(3-12),48(1,3-13),49,50(1,3-13),51(1,3-8)	2009-2017	雑誌	
111	臨床栄養 / 日本臨床栄養研究会編集	114-130,131(1)	2009-2017	雑誌	04851412
112	臨床スポーツ医学 = The journal of clinical sports medicine	26-33,34(1-7)	2009-2017	雑誌	02893339
113	労働運動白書 / 日本労働協会編	62	1987-1987	雑誌	
114	労働経済白書 / 厚生労働省編	13-26,28	2001-2016	政府刊行物	
115	労働時間、休日・休暇調査 : 中央労働委員会事務局調査	61	1986-1986	雑誌	
116	労働時報 / 労働省	52(6-7,12),53-55,56(1-6)	1999-2003	雑誌	13425277
117	労働白書 / 労働省労働統計調査局 [編]	62-63;1-12	1987-1988;1989-2000	雑誌	
118	ワールド空手 = World karate	1,2(1-8,10-12),3-4,5(1-10,12),6(1-9,11-12),7-8,9(1-10,12),10-11;1-4,5(1-2,5-6),6-12,13(1-5,7)	1995-2005;2005-2017	雑誌	

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
1	9784862209696	“円”の合気修得のキーワード！：稽古日誌に記された短く深いことば	成田新十郎	B A B ジャパン	789.2
2	9784393713976	“動き”のフィジカルトレーニング：カラダが柔らかくなる「筋トレ」！	中村考宏	春秋社	780.7
3	9784865561302	“平和学”としてのスポーツ法入門：平和を愛する人が2020年までに必読の一冊	辻口信良	民法法研究会	780
4	9784469268096	〈小学校体育〉写真でわかる運動と指導のポイントマット	松本格之祐：齋藤直人	大修館書店	375.492
5	9784469268102	〈小学校体育〉写真でわかる運動と指導のポイント体づくり	眞榮里耕太	大修館書店	375.492
6	9784760821716	「いじめ」と「体罰」その現状と対応：道徳教育・心の健康教育・スポーツ指導のあり方への提	富永良喜：森田啓之	金子書房	371.45
7	9784809413988	「フラットスイム」なら4泳法とも速く泳げる！：ニッポン発 世界基準！	高橋雄介	東邦出版	785.2
8	9784759921465	「みんなの健康学」序説：公衆衛生を動かした先達からのメッセージ	神馬征峰	風間書房	498.02
9	9784062201124	「関節力」トレーニング：運動パフォーマンス劇的アップ&故障予防	牧野講平：ウイダートレーニングラボ	講談社	780.7
10	9784062186803	「奇跡」は準備されている：何が日本のフェンシングを変えたのか！	オレグ・マツエィチュク	講談社	789.3
11	9784794809834	「健康」語りと日本社会：リスクと責任のポリティクス	高尾将幸	新評論	498.021
12	9784861104848	「幻の東京オリンピック」の夢にかけた男：日本近代スポーツの父・岸清一物語	古城庸夫	春風社	289.1
13	9784469268331	「座りすぎ」が寿命を縮める	岡浩一郎	大修館書店	498.3
14	9784761922979	「資質・能力」を育成する体育科授業モデル	平川謙：白石範孝	学事出版	375.492
15	9784023314153	「寝たきり」が嫌ならこのウォーキングに変えなさい	能勢博	朝日新聞出版	498.3
16	9784839964641	「心」「技」「体」を整える方法：サッカーでゴールを量産するために	長谷川太郎	マイナビ出版	783.47
17	9784794969293	「深部感覚」から身体がよみがえる！：重力を正しく受けるリハビリ・トレーニング	中村考宏	晶文社	780.19
18	9784794219893	「世界最速の男」をとらえろ！：進化する「スポーツ計時」の驚くべき世界	織田一朗	草思社	780
19	9784788911871	「走る」ための食べ方：マラソン快走のための実践栄養学	村野あずさ	実務教育出版	782.3
20	9784469268072	「知・徳・体」を育む学校体育・スポーツの力	本村清人	大修館書店	375.49
21	9784860674748	「登山体」をつくる秘密のメソッド：M I U R A 流登山塾「i p p o」	安藤真由子	地球丸	786.1
22	9784862553089	「野球力」を上げるトレーニングメソッド：ケガ予防・パフォーマンスアップに	小宮山悟：木場克己	カンゼン	783.7
23	9784864130844	「遊び」から考える体育の学習指導	松田恵示	創文企画	375.49
24	9784182160226	〇×マンガでわかる！体育授業が必ずうまくいくマネジメント術	小林治雄	明治図書出版	375.492
25	9784263246702	〇×問題でマスター 生理学	佐藤昭夫	医歯薬出版	491.3
26	9784844381143	101年目の高校野球「いまだき世代」の力を引き出す監督たち	大利実	インプレス	783.7
27	9784278049213	10代スポーツ選手のケガ予防と回復食：強いカラダをつくる！	川端理香	大泉書店	780.19
28	9784779121630	16歳から知るオリンピックの軌跡	清水ひろし	彩流社	780.69
29	9784309022536	1964年の東京オリンピック：「世紀の祭典」はいかに書かれ、語られたか	石井正己（日本文学）	河出書房新社	780.69
30	9784905168423	1から学ぶスポーツ生理学	中里浩一：岡本孝信	ナッブ	780.193
31	9784182018275	1時間に2教材を扱う組み合わせ単元でつくる筑波の体育授業	筑波大学附属小学校体育研究部：平川謙	明治図書出版	375.492
32	9784839958794	1週間で右も左も自由自在両足キッカーを目指せ！！：フットサル&サッカー	米山隆一	マイナビ出版	783.47
33	9784766420920	20世紀ダンス史	ナンシー・レイノルズ：マルコム・マコーミック	慶応義塾大学出版会	769.02
34	9784309276588	2時間で走る：フルマラソンの歴史と「サブ2」への挑戦	エド・シーサー：菅しおり	河出書房新社	782.3
35	9784839959050	2軸4泳法完全マスターBOOK：泳ぎはもっと進化する！！	藤森善弘	マイナビ出版	785.2
36	9784434225192	42.195KM. トレーニング編	齊藤太郎	フリースペース(発売：星雲社)	782.3
37	9784405086845	4スタンス理論自重トレーニング：筋トレ革命！	広戸聡一	新星出版社	780.7
38	9784908425011	55歳からのフルマラソン挑戦	西田隆維：大角重人	日本生涯スポーツ健康協会(発売：丸善出版)	782.3
39	9784862209320	7つの意識だけで身につく強い体幹	吉田始史	B A B ジャパン	780.7
40	9784780416138	A L S O K パワーで勝つ！レスリング最強バイブル	大橋正教	メイツ出版	788.2
41	9784621088425	Big Picture 解剖学	デーヴィド・A. モートン：K. ボー・フォアマン	丸善出版	491.1

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
42	9784798046518	Dr. Fの格闘技医学	二重作拓也	秀和システム	788
43	9784883936007	FCバルセロナの戦術分析。ディフェンス編	アタナシオス・テルジス：村松尚登	スタジオタッククリエイティブ	783.47
44	9784905154594	FCバルセロナ流世界最強マネジメント：ゴールは偶然の産物ではない	フェラン・ソリアーノ：ヒロミ・グリーン	アチーブメント出版	783.47
45	9784163903637	FIFA腐敗の全内幕	アンドルー・ジェニングズ：木村博江	文藝春秋	783.47
46	9784809414961	J2&J3フットボール漫遊記	宇都宮徹吉	東邦出版	783.47
47	9784809414589	LIFE：アンドレス・イニエスタ自伝	アンドレス・イニエスタ：ヨウコ・グレイヴストック	東邦出版	783.47
48	9784779170058	MLB人類学：「名言・迷言・妄言」集	宇根夏樹	彩流社	783.7
49	9784779170942	NPB以外の選択肢：逆境に生きる野球人たち	宮寺匡広	彩流社	783.7
50	9784862553157	PK：最も簡単なはずのゴールはなぜ決まらないのか？	ベン・リトルトン：実川元子	カンゼン	783.47
51	9784583108247	SAQトレーニング：子どもからトップアスリートまであらゆるスポーツ競技	ベースボール・マガジン社：日本SAQ協会	ベースボール・マガジン社	780.7
52	9784062185509	アイスタム：鈴木貴人と日光アイスバックスの1500日	伊東武彦	講談社	784.7
53	9784895906098	アスリートケア：理学療法士によるスポーツ選手への健康支援	越智隆弘	三輪書店	780.19
54	9784414416251	アスリートのこころの悩みと支援：スポーツカウンセリングの実際	中込四郎：鈴木壯	誠信書房	780.14
55	9784528016835	アスリートめし：鹿屋体育大学スポーツ栄養学講師が教える	長島未央子	日東書院本社	780.19
56	9784260021951	アスリートを救えスポーツ外傷・障害の画像診断完全攻略	帖佐悦男	医学書院	780.19
57	9784905168430	アスレティックケア：リハビリテーションとコンディショニング	小山貴之	ナッブ	780.19
58	9784759817072	アスレティックトレーニング	鹿倉二郎：鶴池征毅	化学同人	780.19
59	9784491032658	アーセン・ヴェンゲル：アーセナルの真実	ジョン・クロス：岩崎晋也	東洋館出版社	783.47
60	9784784966509	あなたも名医！知っておこうよ、スポーツ医学：亀田スポーツ方式を日常診療に取り入れてみよう！	大内洋：服部惣一	日本医事新報社	780.19
61	9784780413830	アメリカンフットボール最強の戦術論：試合運びから観戦のコツまで徹底図解	藤田智	メイツ出版	783.46
62	9784862832160	アメリカ大リーグにおけるイノベーションの系譜	福井幸男	関西学院大学出版会	783.7
63	9784635160186	アルパインクライミング考	横山勝丘	山と溪谷社	786.1
64	9784537260830	アレックス・ファーガソン自伝	アレックス・ファーガソン：小林玲子	日本文芸社	783.47
65	9784635340311	アローンオンザウォール：単独登攀者、アレックス・オルドの軌跡	アレックス・オルド：デイヴィッド・ロバーツ	山と溪谷社	786.1
66	9784809414251	イチロー主義：幼少期～マリンス時代まで成功を積み重ねた200の	児玉光雄（心理評論家）	東邦出版	783.7
67	9784875864349	いっしょに走ろう	道下美里	芸術新聞社	782.3
68	9784469268126	イップス：スポーツ選手を悩ます謎の症状に挑む	石原心：内田直	大修館書店	780.19
69	9784635242370	いまから始める山スキー入門：雪山に登って滑るABC	山と溪谷社	山と溪谷社	784.3
70	9784896326079	イメカラ：イメジするカラダのしくみ。肝・胆・脾	医療情報科学研究所：荒瀬康司	メディックメディア	491.147
71	9784896325089	イメカラ：イメジするカラダのしくみ。消化管	医療情報科学研究所：荒瀬康司	メディックメディア	491.14
72	9784808260507	イラストアダブテッド・スポーツ概論	植木省三	東京教学社	
73	9784895312639	イラストでわかる障害馬術の基本：障害飛越のテクニックと問題行動への対処	ジェーン・ウォレス：ペリー・ウッド	緑書房（中央区）	789.6
74	9784583109800	イラストと写真でわかる武道のスポーツ医学剣道：中学校体育の剣道指導と外傷・障害、事故予防のポイント	山下敏彦：田中康仁	ベースボール・マガジン社	789.3
75	9784583109794	イラストと写真でわかる武道のスポーツ医学柔道：中学校体育の柔道指導と外傷・障害、事故予防のポイント	山下敏彦：田中康仁	ベースボール・マガジン社	789.2
76	9784583109817	イラストと写真でわかる武道のスポーツ医学少林寺拳法：中学校体育の少林寺拳法指導と外傷・障害、事故予防のポイント	武藤芳照：山下敏彦	ベースボール・マガジン社	789.2
77	9784621088005	イラストレイテッド生理学	リチャード・A. ハーヴェイ：ロビン・R. プレストン	丸善出版	491.3
78	9784498000438	イラスト解剖学	松村謙児	中外医学社	491.1
79	9784263214299	インスタントアナトミー	ロバート・H. ホイッター：ニール・R. ポーリー	医歯薬出版	491.1
80	9784779510007	インド・ヒマラヤ	日本山岳会	日本山岳会(発売：ナカニシヤ出版)	292.58
81	9784797672770	ウサイン・ボルト自伝	ウサイン・ボルト：生島淳	集英社インターナショナル(発売：集英社)	782.3

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
82	9784583111094	ウルトラ&トレイルランニングコンプリートガイド：迷わない、たゆまない。前に進むための道先案内	ブライアン・パウエル：篠原美穂	ベースボール・マガジン社	782
83	9784901933292	エアロビクス指導教本	鈴木智子	明和出版	781
84	9784163942087	エキストラ・インギス：僕の野球論	松井秀喜	文藝春秋	783.7
85	9784777815074	エスケープ：2014年全日本選手権ロードレース	佐藤喬	辰巳出版	788.6
86	9784524261765	エッセンシャル・キネシオロジー：機能的運動学の基礎と臨床	ポール・ジャクソン・マンスフィールド：ドナルド・A. ニューマン	エルゼビア・ジャパン(発売：南江堂)	491.367
87	9784163904313	エディー・ウォーズ	生島淳	文藝春秋	783.48
88	9784583109466	エディー・ジョーンズ4年間の軌跡－：9・19の奇跡は必然だった－ J A P A N W A Y の正	斉藤健仁	ベースボール・マガジン社	783.48
89	9784905168379	エンデュランストレーニングの科学：持久力向上のための理論と実践	イニゴ・ムジカ：長谷川博	ナッブ	780.7
90	9784480837189	オシム：ゲームという名の人生	マルコ・トマシユ：千田善	筑摩書房	783.47
91	9784469267617	オープンウォータースイミング教本	日本水泳連盟	大修館書店	785.2
92	9784271310280	ガソリアレイの向こうで：リン・セント・ジェイムズ、我がレス人生	リン・セント・ジェイムズ：石田依子	大阪教育図書	788.6
93	9784860675271	カヌー & カヤックを楽しむ：川、海、湖で漕ぐための必修技術 & 知識集	内田正洋：モンベル	地球丸	785.5
94	9784263212288	カバンジー-生体力学の世界：地球上の生物に共通する動きの仕組み	I. A. カバンディ：塩田悦仁	医歯薬出版	491.3
95	9784779123856	カーブのスカウト宮本洋二郎：マエケンにカーブに導いた男	柳本元晴	彩流社	783.7
96	9784260016469	カラーアトラス人体：解剖と機能	横地千仞：ヨハネス・W. ローエン	医学書院	491.1
97	9784807918010	からだの仕組みと動きを知る	高野海哉：川岸久太郎	東京化学同人	491.1
98	9784062610261	からだの地図帳。解剖学用語	佐藤達夫	講談社	491.1
99	9784871685696	カラダ再生動ける体のつくり方：なぜ階段は後ろ向きに下ると楽なのか？	矢野史也	エイデル研究所	498.3
100	9784890134779	カラー運動生理学大事典：健康・スポーツ現場で役立つ理論と応用	ビクター・カッチ：ウィリアム・マッカーデル	西村書店（新潟）	780.193
101	9784895928939	カラー図解よくわかる生理学の基礎	ステファン・シルバーナグル：アガメムノン・デスポブロス	メディカル・サイエンス・インターナショナル	491.3
102	9784784932184	カラー図解人体の正常構造と機能。1	牛木辰男：小林弘祐	日本医事新報社	491.1
103	9784784932276	カラー図解人体の正常構造と機能。10	坂井建雄：宮本賢一	日本医事新報社	491.1
104	9784784932191	カラー図解人体の正常構造と機能。2	大谷修：堀尾嘉幸	日本医事新報社	491.1
105	9784784932207	カラー図解人体の正常構造と機能。3	河原克雅：佐々木克典	日本医事新報社	491.1
106	9784784932214	カラー図解人体の正常構造と機能。4	泉井亮：妹尾春樹	日本医事新報社	491.1
107	9784784932221	カラー図解人体の正常構造と機能。5	坂井建雄：河原克雅	日本医事新報社	491.1
108	9784784932238	カラー図解人体の正常構造と機能。6	年森清隆：川内博人	日本医事新報社	491.1
109	9784784932245	カラー図解人体の正常構造と機能。7	山本一彦：松村讓兒	日本医事新報社	491.1
110	9784784932252	カラー図解人体の正常構造と機能：中枢神経系の構造・高次神経機能・運動系。8	河田光博：稲瀬正彦	日本医事新報社	491.1
111	9784784932269	カラー図解人体の正常構造と機能：末梢神経系の構造・自律神経機能・感覚系。9	久野みゆき：安藤啓司	日本医事新報社	491.1
112	9784758120821	カラー図解脳神経ペディア：「解剖」と「機能」が見える・つながる事典	渡辺雅彦	羊土社	491.17
113	9784884582791	カリスマ講師が指導剣道特訓これで進化。下巻	「剣道時代」編集部	体育とスポーツ出版社	789.3
114	9784884582784	カリスマ講師が指導剣道特訓これで進化。上巻	「剣道時代」編集部	体育とスポーツ出版社	789.3
115	9784780912418	カンタン！救急蘇生：動画でわかる胸骨圧迫 & A E D	小林正直：石見拓	学研メディカル秀潤社(発売：学研プラス)	492.29
116	9784583109657	キャッチャー完全マスター：投手の力を引き出せ！	野口寿浩	ベースボール・マガジン社	783.7
117	9784621087176	ギャング生理学 原書25版	ウィリアム・F. ギャング：キム・E. バレット	丸善出版	491.3
118	9784469267785	ギャロウェイのランニングブック	ジェフ・ギャロウェイ：有吉正博	大修館書店	782.3
119	9784809413865	グアルディオラのポジショナルプレー 特別講座：世界最前線のペップ式実践メソッド	オスカル・ベドロ・カノ・モレノ：羽中田昌	東邦出版	783.47
120	9784829305089	クラブ再創造への道：スイミング・フィットネス	佐野豪：小森敏史	不昧堂出版	780.67
121	9784260020862	グラント解剖学図譜	ジョン・チャールズ・ボワロー・グラント：アン・M. R. アガー	医学書院	491.1
122	9784408454269	クリスティアーノ・ロナウド：ゴールへの渴望	ルーカ・カイオーリ：タカ丸	実業之日本社	783.47
123	9784903699431	クリニカルストレッチ：トレーナー、治療家のための臨床的ストレッチ入門	山下貴士	ヒューマンワールド	781
124	9784860343064	グレイ解剖学	リチャード・L. ドレイク：ウェイン・フォーグル	エルゼビア・ジャパン	491.1
125	9784860343071	グレイ解剖学アトラス	リチャード・L. ドレイク：ウェイン・フォーグル	エルゼビア・ジャパン	491.1
126	9784864130462	グローバル・スポーツの課題と展望	早稲田大学スポーツナレッジ研究会	創文企画	780

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
127	9784895928977	グローバルヘルス：世界の健康と対処戦略の最新動向	リチャード・スコルニク；木原正博	メディカル・サイエンス・インターナショナル	498
128	9784087807080	グロリアス・デイズ：終わりなきサッカー人生	小宮良之	集英社	783.47
129	97844469267761	ケガをさせないエクササイズ科学：トレーニングから運動療法まで	西園秀嗣；加賀谷善教	大修館書店	780.19
130	9784861825644	コア・フォー：ニューヨーク・ヤンキース黄金時代、伝説の四人	フィル・ペペ；内藤文子	作品社	783.7
131	9784532169664	コースが語る世界のゴルフ史	大塚和徳	日本経済新聞出版社	783.8
132	9784884583545	コーチングこんなときどうする？	高畑好秀	体育とスポーツ出版社	780.7
133	9784938335762	コーチングのジレンマ	東海林祐子	ブックハウス・エイチディ	
134	9784469268119	コーチングバレーボール. 基礎編	日本バレーボール協会	大修館書店	783.2
135	9784469268195	コーチング学への招待	日本コーチング学会	大修館書店	780.7
136	9784865192117	こどものスポーツ外来：親もナットク！このケア・この説明	田中康仁；笠次良爾	全日本病院出版会	780.19
137	9784498073128	こどものスポーツ障害診療ハンドブック	山下敏彦	中外医学社	780.19
138	9784809414091	ゴールキーパー専門講座：PROFESSIONAL METHOD	松永成立	東邦出版	783.47
139	9784058006429	ゴールへのルート：サッカーラスト30メートルの崩し方	西部謙司	学研プラス	783.47
140	9784808310097	ゴールへ駆け上がったガキ大将：女子マラソンに賭けた夢	小出義雄	東京新聞出版部	782.3
141	9784324103838	これからのインクルーシブ体育・スポーツ：障害のある子供たちと一緒に楽しむための指導	藤田紀昭；斎藤まゆみ	ぎょうせい	
142	9784780418392	これで差がつく！小学生のミニラグビー 上達のポイント50	三宅敬	メイツ出版	K783
143	9784938335977	コンディショニングtips：スポーツ選手の可能性を引き出すヒント集. 後編	大塚潔	ブックハウス・エイチディ	
144	9784938335960	コンディショニングtips：スポーツ選手の可能性を引き出すヒント集. 前編	大塚潔	ブックハウス・エイチディ	
145	9784864130721	こんなことを書いてきた：スポーツメディアの現場から	落合博	創文企画	780.4
146	9784767950556	コンパス幼児の体育：動きを通して心を育む	前橋明	建帛社	376.157
147	9784309273921	サイクル・サイエンス：自転車科学を科学する	マックス・グラスキン；黒輪篤嗣	河出書房新社	536.86
148	9784862553164	サッカーFW陣形戦術クニニクル：最前線のユニット進化論	西部謙司	カンゼン	783.47
149	9784862553751	サッカーおくのほそ道：Jリーグを目指すクラブ目指さないクラブ	宇都宮徹吉	カンゼン	783.47
150	9784594076887	サッカーが劇的にうまくなるタニラダー・メソッド	谷真一郎	扶桑社	783.47
151	9784408456256	サッカーゲームメイクの教科書	柏木陽介	実業之日本社	783.47
152	9784583107011	サッカーゴールキーパートレーニングメニュー集：スペースを守る、ゴールを守る、配球する！	北埜洋一	ベースボール・マガジン社	783.47
153	9784777813223	サッカーデータ革命：ロングボールは時代遅れか	クリス・アンダーセン【著】；児島修【訳】	辰巳出版ebooks	783.47
154	9784262166360	サッカードイツ流タテの突破力：カウンター サイドアタック 中央突破	清水英斗；中野吉之伴	池田書店（新宿区）	783.47
155	9784839956370	サッカーとフットサルのルール：間違いやすいジャッジがひと目でわかる！	松崎康弘	マイナビ出版	783.47
156	9784408026169	サッカーの教え方、教えます！	戸田智史	実業之日本社	783.47
157	9784583108322	サッカーポジションスタイル：差がつく練習法	徳永尊信	ベースボール・マガジン社	783.47
158	9784583110769	サッカーボールの運び方を鍛えるトレーニング	浅野智久	ベースボール・マガジン社	783.47
159	9784583110868	サッカーボールを使ったフィジカルトレーニング	広瀬統一；菅澤大我	ベースボール・マガジン社	783.47
160	9784334979331	サッカーマティクス：数学が解明する強豪チーム「勝利の方程式」	デイヴィッド・サンプター；千葉敏生	光文社	783.47
161	9784780417555	サッカーミッドフィルダー最強バイブル	澤登正朗	メイツ出版	783.47
162	9784904419687	サッカーレフェリーズ. 2016-2017	浅見俊雄；日本サッカー協会	アドスリー（発売：丸善出版）	783.47
163	9784861825088	サッカー界の巨大な闇：八百長試合と違法賭博市場	ブレット・フォレスト；堤理華	作品社	783.47
164	9784331520659	サッカー監督図鑑：オールカラー！世界と日本の現役サッカー監督176人	杉山茂樹	廣済堂出版	783.47
165	9784809413056	サッカー観戦力：プロでも見落とすワランク上の視点	清水英斗	東邦出版	783.47
166	9784416517161	サッカー逆境の監督学：パターン練習を捨てる！1日2時間の練習で狙う全国制	李濟華	誠文堂新光社	783.47
167	9784583108384	サッカー決定力を高めるシュートドリル：差がつく練習法	南雲伸幸	ベースボール・マガジン社	783.47
168	9784583108360	サッカー個を強くするドリブル練習：差がつく練習法	川島和彦	ベースボール・マガジン社	783.47
169	9784491030234	サッカー指導の教科書：小学校体育全学年対応	日本サッカー協会	東洋館出版社	375.492
170	9784862553324	サッカー守備戦術の教科書：超ゾーンディフェンス論	松田浩；鈴木康浩	カンゼン	783.47
171	9784862553621	サッカー新しい守備の教科書：優れた戦術は攻撃を無力化させる	坪井健太郎；小澤一郎	カンゼン	783.47

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
172	9784862551924	サッカー 戦術サミット：一流フットボラーがリアルに語る「個」の戦術論	西部謙司	カンゼン	783.47
173	9784058004791	サッカー 足ワザ大事典：毎日フェイント！200テクニック	菊原志郎；鈴木正治	学研パブリッシング(発売：学研プラス)	783.47
174	9784262161402	サッカー 南米流球際が強くなるスキル	ボカ・ジュニアーズ・フィリアル・ジャパン	池田書店（新宿区）	783.47
175	9784262166407	サッカー 南米流球際と攻めの仕掛けが強くなる	ボカ・ジュニアーズ・フィリアル・ジャパン	池田書店（新宿区）	783.47
176	9784309276038	サッカー 日本代表が「世界一」になるための5つの条件：ワールドカップ勝利の極意	西部謙司	河出書房新社	783.47
177	9784781613475	サッカー 日本代表を鍛えた監督力	児玉光雄（心理評論家）	イースト・プレス	783.47
178	9784862553607	サッカー 年代別トレーニングの教科書：世界王者ドイツの育成メソッドに学ぶ	中野吉之伴	カンゼン	783.47
179	9784469267334	サーフライゼーピング教本	日本ライフェーピング協会	大修館書店	369.34
180	9784863209008	サーマル・フライング：パラグライダー & ハングライダーパイロットのための	ブルクハルト・マルテンス；北野正浩	イカロス出版	782.9
181	9784753227709	サルコペニアとフレイル：医療職間連携による多角的アプローチ	荒井秀典	医業ジャーナル社	493.6
182	9784537261660	ジェイミー・ヴァーディ自伝：人生はジャイアントキリング！	ジェイミー・ヴァーディ；小林玲子	日本文芸社	783.47
183	9784862209191	システム・ボディワーク：自然で快適に動き、〈本来の力〉を最大に発揮する！	北川貴英	B A B ジャパン	789
184	9784794969668	しゃがむ力：スクワットで足腰がよみがえる	中村考宏	晶文社	780.7
185	9784758316910	ジュニアアスリートをサポートするスポーツ医学ガイドブック	金岡恒治；赤坂清和	メジカルビュー社	780.19
186	9784583108780	ジュニアサッカー 11人制指導への心得：8人制からのステップアップ術	サッカー・クリニック編集部	ベースボール・マガジン社	783.47
187	9784583109985	ジュニアサッカー ルーティン・トレーニング 100	サッカー・クリニック編集部	ベースボール・マガジン社	783.47
188	9784583109039	ジュニアサッカー 賢者の知恵私のコーチ哲学	サッカー・クリニック編集部	ベースボール・マガジン社	783.47
189	9784583109213	ジュニアサッカー 考えるトレーニング：判断力を養うためのヒント集	サッカー・クリニック編集部	ベースボール・マガジン社	783.47
190	9784583109831	ジュニアサッカー 魔法の声掛け：子供たちの心を育む指導術	サッカー・クリニック編集部	ベースボール・マガジン社	783.47
191	9784780418583	ジュニアのためのスケートボード完全上達バイブルムービー付き	全日本スケートボード協会	メイツ出版	784.68
192	9784262161396	ジュニア野球考えて上手くなる練習メニュー	仁志敏久	池田書店（新宿区）	783.7
193	9784491032641	ジョゼ・モウリーニョ：勝者を生み出すメソッド	パトリック・パークレー；関麻衣子	東洋館出版社	783.47
194	9784524266647	シンプル生理学	貴邑富久子；根来英雄	南江堂	491.3
195	9784808310028	すぐそこにある遭難事故：奥多摩山岳救助隊員からの警鐘	金邦夫	東京新聞出版部	786.1
196	9784408455662	すぐに試合で役に立つ！テニスのルール・審判の基本：ルールに強くなればテニスに強くなる	岡川恵美子	実業之日本社	783.5
197	9784058006320	すぐわかる！野球のルール&スコアのつけ方早見事典：実例図解	アンパイア・デベロップメント・コーポレーション	学研プラス	783.7
198	9784262166384	すぐわかるバスケットボールルール：審判・スコアの付け方	東祐二	池田書店（新宿区）	783.1
199	9784262166377	すぐわかる少年野球ルール：審判・スコアの付け方	アンパイアデベロップメントコーポレーション	池田書店（新宿区）	783.7
200	9784093885188	スタジアムの宙にしあわせの歌が響く街：スポーツでこの国を変えるために	天野春果	小学館	783.47
201	9784830602276	スタンダード生理学	二宮石雄；安藤啓司	文光堂	491.3
202	9784416616895	ストライカー養成講座：世界を席巻するアルゼンチンサッカー	ボカ・ジュニアーズ・フィリアル・ジャパン	誠文堂新光社	783.47
203	9784882829584	ストレッチングアナトミ：ドラヴィエの図解と実践	フレデリック・ドラヴィエ；ジャン・ピエール・クレマンソー	ガイアブックス	781
204	9784524266814	ストレッチングと筋の解剖	ブラッド・ウォーカー；栗山節郎	南江堂	781
205	9784895904391	ストレッチングの科学	鈴木重行	三輪書店	781
206	9784181360108	スペシャリスト直伝！小学校体育科授業成功の極意	木下光正	明治図書出版	375.492
207	9784890134328	スポーツ・コーチング学：指導理念からフィジカルトレーニングまで	ライナー・マートンズ；大森俊夫	西村書店（新潟）	780.7
208	9784864130486	スポーツ・コモンズ：総合型地域スポーツクラブの近未来像	黒須充；水上博司	創文企画	780.6
209	9784864130837	スポーツ・ファン・マネジメント	早稲田大学スポーツナレッジ研究会	創文企画	780
210	9784759817126	スポーツ・運動・パフォーマンスの心理学	高見和至；葦原摩耶子	化学同人	780.14
211	9784061553835	スポーツ・運動栄養学	加藤秀夫；中坊幸弘	講談社	780.19
212	9784816926754	スポーツ・運動科学レファレンスブック	日外アソシエーツ	日外アソシエーツ(発売：紀伊國屋書店日外アソ)	780.31
213	9784864630276	スポーツ・健康と現代社会	武蔵野美術大学；青沼裕之	武蔵野美術大学出版局	780.13

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
214	9784595140495	スポーツ・健康医科学	河合祥雄	放送大学教育振興会(発売：NHK出版)	780.19
215	9784621087459	スポーツアナトミー：人体解剖生理学	塩田清二：竹ノ谷文子	丸善出版	780.19
216	9784525323011	スポーツエコ診療Golden Standard	松本秀男：大谷俊郎	南山堂	780.19
217	9784810521313	スポーツカウンセリングの現場から：アスリートがカウンセリングを受けるとき	中込四郎：鈴木壯	道和書院	780.14
218	9784896289480	スポーツガバナンス実践ガイドブック：基礎知識から構築のノウハウまで	スポーツにおけるグッドガバナンス研究会	民法法研究会	780.6
219	9784635160209	スポーツライミング教本：クライマー必須のクライミング技術を分析 完全図解	東秀磯：江崎善晴	山と溪谷社	786.1
220	9784761526023	スポーツツリズム・ハンドブック	日本スポーツツリズム推進機構	学芸出版社（京都）	689
221	9784130530200	スポーツで地域を拓く	木田悟：高橋義雄（スポーツ社会学）	東京大学出版会	780.13
222	9784864130868	スポーツで挑む社会貢献	小林勉	創文企画	780
223	9784839964177	スポーツトレーニングの基本と新理論：運動・からだ図解	佐久間和彦	マイナビ出版	780.7
224	9784829304907	スポーツと教養の臨界：身体価値の復権	ハンス・レンク：畑孝幸	不昧堂出版	780
225	9784780603255	スポーツと健康：その理論と実際	愛知大学	学術図書出版社	780
226	9784469267730	スポーツと国際協力：スポーツに秘められた豊かな可能性	齊藤一彦：岡田千あき	大修館書店	780
227	9784792333416	スポーツと震災復興	中村祐司	成文堂	780.13
228	9784864130592	スポーツと人権・福祉：「スポーツ基本法」の処方箋	内海和雄	創文企画	780
229	9784780603606	スポーツと生きる：生涯のスポーツライフ・デザイン	久保山直己：宇部一	学術図書出版社	780
230	9784779120268	スポーツと薬物の社会学：現状とその歴史的背景	アイヴァン・ウォディングトン：アンディ・スミス	彩流社	780.19
231	9784871685498	スポーツにおける真の指導力：部活動にスポーツ基本法を活かす	菅原哲朗：望月浩一郎	エイデル研究所	375.18
232	9784871685313	スポーツにおける真の勝利：暴力に頼らない指導	菅原哲朗：望月浩一郎	エイデル研究所	780.7
233	9784274216893	スポーツにおける薬物治療：処方と服薬指導	日本臨床スポーツ医学会	オーム社	780.19
234	9784766423723	スポーツのちから：地域をかえるソーシャルイノベーションの実践	松橋崇史：金子郁容	慶応義塾大学出版会	780.21
235	9784569827902	スポーツの経済学：2020年に向けてのビジネス戦略を考える	小林至	PHP研究所	780
236	9784947553591	スポーツの世界を学ぶ：スポーツ健康科学入門	流通経済大学	流通経済大学出版会	780.19
237	9784947553744	スポーツの世界を学ぶ：スポーツ健康科学入門	「スポーツの世界を学ぶ」編集委員会	流通経済大学出版会	780.19
238	9784417017080	スポーツの法律相談	森川貞夫	青林書院	780.34
239	9784759817065	スポーツバイオメカニクス	宮西智久：岡田英孝	化学同人	780.11
240	9784906873845	スポーツボランティア読本：「支えるスポーツ」の魅力とは？	二宮雅也	悠光堂	780
241	9784882829270	スポーツマッサージ：39種類のテクニックをわかりやすい130枚の写真で	スーザン・フィンドレイ：藤田真樹子	ガイアブックス	780.19
242	9784469267839	スポーツマネジメント	原田宗彦：小笠原悦子	大修館書店	780
243	9784864130332	スポーツマネジメント教育の課題と展望	早稲田大学スポーツナレッジ研究会	創文企画	780.4
244	9784382057494	スポーツマネジメント入門：プロスポーツとスポーツイベントで学ぶ	西野努	産業能率大学出版部	780
245	9784419064754	スポーツマネジメント入門：プロ野球とプロサッカーの経営学	西崎信男	税務経理協会	780
246	9784812215159	スポーツマネジメント論：アメリカの大学スポーツビジネスに学ぶ	吉田良治	昭和堂（京都）	780
247	9784469268065	スポーツメンタルトレーニング教本	日本スポーツ心理学学会	大修館書店	780.14
248	9784915944628	スポーツライフ・データ：スポーツライフに関する調査報告書。2016		笹川スポーツ財団	780.59
249	9784864130608	スポーツリテラシー	早稲田大学スポーツナレッジ研究会	創文企画	780
250	9784759816655	スポーツを10倍楽しむ統計学：データで一変するスポーツ観戦	鳥越規央	化学同人	780.1
251	9784822258771	スポーツをテクノロジーする：トップアスリートの記録を引き出した技術の力	北岡哲子	日経BP社(発売：日経Bマーケティング)	589.7
252	9784332020998	スポーツを楽しむための栄養・食事計画：理論と実践	川野因：田中茂穂	光生館	780.19
253	9784905168485	スポーツ医学の立場からみた小学校の体育：100年耐用性のある運動器を育てるために	中嶋寛之	ナッブ	375.492
254	9784901933285	スポーツ運動学入門	金子一秀	明和出版	780.1
255	9784130527064	スポーツ栄養学：科学の基礎から「なぜ？」にこたえる	寺田新	東京大学出版会	780.19
256	9784794480682	スポーツ科学概論：スポーツ・健康運動指導の基礎知識	田中菊子：光川真壽	創成社	780.1
257	9784830651823	スポーツ外傷・障害の理学診断・理学療法ガイド	臨床スポーツ医学編集委員会	文光堂	780.19

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
258	9784260024167	スポーツ外傷・障害ハンドブック：発生要因と予防戦略	ロアルド・パール：ラース・エンゲブレットセン	医学書院	780.19
259	9784908083198	スポーツ外傷のプライマリケア	岩崎弘志：深井厚	シービーアール	780.19
260	9784882828518	スポーツ筋損傷診断と治療法	ハンス・ヴィルヘルム・ミュラー・ヴォール：ペーター・ユーベルアッカー	ガイアブックス	780.19
261	9784864874137	スポーツ経営学入門：理論とケース	大野貴司	三恵社(発売：JRC)	780
262	9784938335922	スポーツ現場の傷害調査：ケガの予防につなげるための取り組み	砂川憲彦	ブックハウス・エイチディ	
263	9784816926402	スポーツ史事典：トピックス。2006-2016	日外アソシエーツ	日外アソシエーツ(発売：紀伊國屋書店日外アソ)	780.32
264	9784810521221	スポーツ指導・実務ハンドブック：法、政策、行政、文化	スポーツ指導・実務ハンドブック編集委員会	道知書院	780.36
265	9784902109306	スポーツ指導者に必要な生理学と運動生理学の知識	村岡功	市村出版	780.193
266	9784924833708	スポーツ事故対策マニュアル	弁護士によるスポーツ安全対策検討委員会：大橋卓生	体育施設出版	
267	9784779170584	スポーツ実況の舞台裏	四家秀治	彩流社	699.65
268	9784884582623	スポーツ傷害とリハビリテーション：“重症度”と“時間経過”に応じたリハビリ・プログラ	小山郁	体育とスポーツ出版社	780.19
269	9784307750509	スポーツ傷害のリハビリテーション：Science and practice	山下敏彦：武藤芳照	金原出版	780.19
270	9784774080024	スポーツ心理学を生かした『誰でもできる陸上競技』練習法・指導法：中学校・高校編	渋谷聡	星槎大学出版会(発売：かまくら春秋社)	375.49
271	9784895928373	スポーツ診療のための画像診断：早期診断で差がつく！	小橋由紋子	メディカル・サイエンス・インターナショナル	780.19
272	9784895928564	スポーツ診療ビジュアルブック	マーク・D. ミラー：A. ポビー・チャブラ	メディカル・サイエンス・インターナショナル	780.19
273	9784498073142	スポーツ整形外科マニュアル	篠塚昌述：福林徹	中外医学社	780.19
274	9784469268256	スポーツ戦略論：スポーツにおける戦略の多面的な理解の試み	上田滋夢：堀野博幸	大修館書店	780.7
275	9784469267709	スポーツ選手なら知っておきたい「眼」のこと：眼を鍛えればうまくなる	石垣尚男	大修館書店	780.19
276	9784495201814	スポーツ団体のマネジメント入門：透明性のあるスポーツ団体を目指して	新日本有限責任監査法人	同文館出版	780.6
277	9784761526184	スポーツ都市戦略：2020年後を見すえたまちづくり	原田宗彦	学芸出版社（京都）	780
278	9784502097201	スポーツ脳はこう鍛える！：授業時間100%活用	小倉勉	中央経済社(発売：中央経済グループパブ)	783.47
279	9784915944635	スポーツ白書：スポーツによるソーシャルイノベーション。2017		笹川スポーツ財団(発売：東京官書普及)	
280	9784307251587	スポーツ膝の臨床	史野根生	金原出版	780.19
281	9784758313902	スポーツ復帰のための手術肩・肘	岩崎倫政	メジカルビュー社	494.77
282	9784915944529	スポーツ歴史の検証：スポーツ史の偉人の言葉を通し、未来像を探る。vol. 1		笹川スポーツ財団	780.21
283	9784263209967	スマート栄養管理術123：栄養とスポーツの管理が重要であるこれだけの理由	富野康己	医歯薬出版	498.55
284	9784839959043	スロー&クイックトレーニング：体脂肪を減らす、筋肉をつける	石井直方：谷本道哉	マイナビ出版	780.7
285	9784880652863	セイバーメトリクス・レポート：プロ野球を統計学と客観分析で考える。1		DELTA(発売：水曜社)	783.7
286	9784880653198	セイバーメトリクス・レポート：プロ野球を統計学と客観分析で考える。2	岡田友輔：道作	水曜社	783.7
287	9784880653402	セイバーメトリクス・レポート：プロ野球を統計学と客観分析で考える。3	岡田友輔：三宅博人	水曜社	783.7
288	9784880653570	セイバーメトリクス・レポート：プロ野球を統計学と客観分析で考える。4	岡田友輔：道作	水曜社	783.7
289	9784880653846	セイバーメトリクス・レポート：プロ野球を統計学と客観分析で考える。5	岡田友輔：道作	水曜社	783.7
290	9784408456157	ゼロベースランニング：走りの常識を変える！フォームをリセットする！	高岡尚司	実業之日本社	782.3
291	9784787820693	そごが知りたい！成人の予防接種パーフェクトガイド	渡辺彰（医学）：尾内一信	診断と治療社	493.82
292	9784583108421	ソフトテニス：高田商業の勝負強さを磨く練習法、後編	紙森隆弘	ベースボール・マガジン社	783.5
293	9784583108339	ソフトテニス：高田商業の勝負強さを磨く練習法、前編	紙森隆弘	ベースボール・マガジン社	783.5
294	9784583110639	ソフトテニスオールラウンド力を高める：身になる練習法	中本裕二	ベースボール・マガジン社	783.5
295	9784583109015	ソフトテニスボディ革命：より速く、力強く、正確なプレーを手に入れる	川上晃司	ベースボール・マガジン社	783.5
296	9784816358814	ソフトテニス基本と勝てる戦術：強豪校が実践する必勝法を伝授	野口英一	ナツメ社	783.5
297	9784262163932	ソフトボール監督・コーチ入門	宗方貞徳	池田書店（新宿区）	783.78

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
298	9784408455983	ソフトボール基本と戦術	佐藤理恵	実業之日本社	783.78
299	9784947697523	それでもボク柔道好きだから：柔道事故と黒帯の品格	テレビ信州	龍鳳書房	789.2
300	9784062205498	それでも俺にパスを出せ	釜本邦茂	講談社ビーズ（発売：講談社）	783.47
301	9784022512512	ダウン・ザ・ライン錦織圭	錦織圭；稲垣康介	朝日新聞出版	783.5
302	9784469267983	たくましい心とかしいい体：身心統合のスポーツサイエンス	征矢英昭；坂入洋右	大修館書店	780.1
303	9784583108650	タッシュ博士のスプリント教室：スプリンター必読！自己ベスト更新のヒントが満載	ベースボール・マガジン社；朝原宣治	ベースボール・マガジン社	782.3
304	9784583110028	ダニエルズのランニング・フォーミュラ	ジャック・T. ダニエルズ；篠原美穂	ベースボール・マガジン社	782.3
305	9784583108681	タロウメソッドみんなのマラソン練習365：サブ3.0&3:15、3.5、4.0、4.5のター	齊藤太郎	ベースボール・マガジン社	782.3
306	9784309277059	ダンス・バイブル：コンテンポラリー・ダンス誕生の秘密を探る	乗越たかお	河出書房新社	769.02
307	9784469267846	ダンステクニクとケガ：その予防と治療	ジャスティン・ハウス；モイラ・マコーマック	大修館書店	769
308	9784048954709	ダンスのための準備運動：ケガをしない身体づくり／ケガをさせない指導法	夏まゆみ	キッズネット（発売：KADOKAWA）	799.07
309	9784469267723	ダンスの言語：動きを読む・書く・表現する	アン・ハッチンソン・ゲスト；ティナ・カン	大修館書店	769
310	9784780416121	チアリーディング完全上達BOOK	岩野華奈	メイツ出版	781
311	9784062201186	チーム・プライアン300点伝説	プライアン・オーサー；野口美恵	講談社	784.6
312	9784884582630	チーム力を高める36の練習法：本番で全員が実力を出しきるための組織づくり	高畑好秀	体育とスポーツ出版社	375.18
313	9784087860269	つながる心：ロンドン五輪競泳日本代表	松田丈志【著】；北島康介【著】	集英社	785.2
314	9784583109688	ティーボールのすべて：野球・ソフトボールを初心者でも楽しめるようにしたゲ	吉村正	ベースボール・マガジン社	783.7
315	9784583109732	できない理由を探すな！：スワローズ真中流「つばめ革命」	真中満	ベースボール・マガジン社	783.7
316	9784842916859	データでみるスポーツとジェンダー	日本スポーツとジェンダー学会	八千代出版	780.13
317	9784415319797	テニス・ダブルス：ポジショニングの基本と実践	佐藤哲哉	成美堂出版	783.5
318	9784569834009	テニスが見るみるうまくなる超入門：ゼロから始めて大逆転！	GODA I テニスカレッジ	PHP研究所	783.5
319	9784408456409	テニスの教え方、教えます！	綿貫弘次	実業之日本社	783.5
320	9784809412875	テニスは「構え」で変わる！	町田真悟	東邦出版	783.5
321	9784809415319	テニスはインパクトが9割	児玉光雄（心理評論家）	東邦出版	783.5
322	9784809414084	テニスは頭脳が9割：あなたのテニスが進化する120の哲学	田中信弥	東邦出版	783.5
323	9784408455556	テニスメンタル強化メソッド：コート上でベストのパフォーマンスを発揮する	岩淵聡；浮世満理子	実業之日本社	783.5
324	9784583108346	テニス緩急自在マルチ練習ドリル：差がつく練習法	森井大治	ベースボール・マガジン社	783.5
325	9784583105079	テニス丸ごと一冊戦略と戦術：テニスなるほどレッスン. 1	堀内昌一；テニスマガジン編集部	ベースボール・マガジン社	783.5
326	9784583105543	テニス丸ごと一冊戦略と戦術：テニスなるほどレッスン. 2	堀内昌一；テニスマガジン編集部	ベースボール・マガジン社	783.5
327	9784583110547	テニス丸ごと一冊戦略と戦術：テニスなるほどレッスン. 3	堀内昌一；テニスマガジン編集部	ベースボール・マガジン社	783.5
328	9784469267853	テニス指導教本. 1	日本テニス協会	大修館書店	783.5
329	9784839961435	テニス体幹ストレッチ	井上正之	マイナビ出版	783.5
330	9784809414770	テニス泥臭くても勝つ攻め方	橋爪宏幸	東邦出版	783.5
331	9784635043489	テーピングで快適登山	高橋仁	山と溪谷社	786.1
332	9784537213171	テーピングの新しい教科書：正しく効果的に巻ける！	石山修盟	日本文芸社	780.19
333	9784779170751	デーブ・ジョンソンをおぼえていますか？	田窪潔	彩流社	783.7
334	9784880654317	デルタ・ベースボール・レポート：プロ野球を統計学と客観分析で考える. 1	岡田友輔；蛭川皓平	水曜社	783.7
335	9784163764801	デルピエロ真のサッカー選手になるための10の心得	アレックス・デル・ピエロ；豊福晋	文藝春秋	783.47
336	9784635043366	テント泊登山の基本	高橋庄太郎	山と溪谷社	786.1
337	9784583107677	ドイツ流サッカーライセンス講座：『世界王者』が明かす実戦的トレーニング理論	土屋慶太	ベースボール・マガジン社	783.47
338	9784526076923	トコトンやさしいアミノ酸の本	味の素株式会社	日刊工業新聞社	498.55
339	9784422753010	トップアスリートに伝授した怪我をしない体と心の使いかた	小田伸午；小山田良治	創元社（大阪）	780.19
340	9784788515468	ドーピングの哲学：タブー視からの脱却	ジャン・ノエル・ミサ；パスカル・ヌーヴェル	新曜社	780.19
341	9784780415872	トライアスロン完全BOOK：レベルアップのコツ55	中島靖弘	メイツ出版	782.6
342	9784938335892	トレーニングを学ぶ：体育授業における理論と実践	関口脩；下獄進一郎	ブックハウス・エイチディ	
343	9784528020894	どんな子も運動神経が必ずよくなるトレーニング	山本晃永；川島浩史	日東書院本社	780.7

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
344	9784524269167	ナショナルチームドクター・トレーナーが書いた種別別スポーツ障害の診療	林光俊；岩崎由純	南江堂	780.19
345	9784809413537	なぜテニスは練習しても上手くならないのか；ジョコビッチや錦織圭は知っている	児玉光雄（心理評論家）	東邦出版	783.5
346	9784830600371	なっとく解剖生理学. 1	五十嵐雅	文光堂	491.1
347	9784830600388	なっとく解剖生理学. 2	五十嵐雅	文光堂	491.1
348	9784830600395	なっとく解剖生理学. 3	五十嵐雅	文光堂	491.1
349	9784525121617	なるほどなっとく！解剖生理学	多久和典子；多久和陽	南山堂	491.31
350	9784491031682	なんのために勝つかの。：ラグビー日本代表を結束させたりーダーシップ論	廣瀬俊朗	東洋館出版社	783.48
351	9784890134700	ニューロメカニクス：身体運動の科学的基盤	ロジャー・M. エノカ；鈴木秀次	西村書店（新潟）	780.193
352	9784880038865	ニュー運動生理学. 1	宮村実晴	真興交易医書出版部	780.193
353	9784880038902	ニュー運動生理学. 2	宮村実晴	真興交易医書出版部	780.193
354	9784524259670	ネットー解剖学アトラス	フランク・H. ネットー；相磯貞和	エルゼビア・ジャパン(発売：南江堂)	491.1
355	9784263457788	ネットー頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス	ニール・S. ノートン；前田健康	エルゼビア・ジャパン(発売：医歯薬出版)	491.192
356	9784408455952	ノバク・ジョコビッチ伝	クリス・パウワース；渡辺玲子	実業之日本社	783.5
357	9784788513389	ハイキング・ハンドブック	村上宣寛	新曜社	786.4
358	9784905168454	ハイパフォーマンスの科学：トップアスリートをめざすトレーニングガイド	デーヴィド・ジョイス；ダニエル・ルウィンドン	ナッブ	780.7
359	9784895927505	ハインズ神経解剖学アトラス	デュアン・E. ヘインズ；佐藤二美	メディカル・サイエンス・インターナショナル	491.17
360	9784408026091	はじめてスノーボード：これからスノーボードを始めようと思っている人やもっ	Snowboarder編集部	実業之日本社	784.3
361	9784416516522	はじめての弓道：美しい所作が身につく。心と体を鍛えて健やかにする。	松尾牧則	誠文堂新光社	789.5
362	9784416315323	はじめての空手道：危険に立ち向かう力が身につく。心技体を鍛えて強くな	全日本空手道連盟	誠文堂新光社	789.2
363	9784416315316	はじめての合気道：自分を守る力が身につく。心と体を鍛えて健康になる	千野進	誠文堂新光社	789.2
364	9784415319599	バスケットボール：チーム戦術の基本と実践	富樫英樹	成美堂出版	783.1
365	9784839963644	バスケットボール：戦術の基本と実践での生かし方	日高哲朗	マイナビ出版	783.1
366	9784839963484	バスケットボール I Q：ジュニアのための練習法	鈴木良和	マイナビ出版	783.1
367	9784839959982	バスケットボールシュートは理論でうまくなる！！	鈴木良和	マイナビ出版	783.1
368	9784583110585	バスケットボールの教科書. 1	鈴木良和	ベースボール・マガジン社	783.1
369	9784583110592	バスケットボールの教科書. 2	鈴木良和	ベースボール・マガジン社	783.1
370	9784583110608	バスケットボールの教科書. 3	鈴木良和	ベースボール・マガジン社	783.1
371	9784583110615	バスケットボールの教科書. 4	鈴木良和	ベースボール・マガジン社	783.1
372	9784583110509	バスケットボールワンハンドシュート	池内泰明	ベースボール・マガジン社	783.1
373	9784583110677	バスケットボールワンランクアップドリル	金子寛治	ベースボール・マガジン社	783.1
374	9784947553768	バスケットボール学入門	内山治樹；小谷究	流通経済大学出版会	783.1
375	9784583109954	バスケットボール桜花学園高のファンダメンタル	井上真一	ベースボール・マガジン社	783.1
376	9784469268027	バスケットボール指導教本. 下巻	日本バスケットボール協会	大修館書店	783.1
377	9784408455723	バスケットボール試合で勝つチームオフense	目由紀宏	実業之日本社	783.1
378	9784408455822	バスケットボール試合で勝つチームディフェンス	目由紀宏	実業之日本社	783.1
379	9784839959999	バスケットボール勝つためのマンツーマンディフェンス	小野秀二	マイナビ出版	783.1
380	9784583110790	バスケットボール超効率ドリル：実践学園はこの練習で全中連覇を果たした！	森圭司	ベースボール・マガジン社	783.1
381	9784583108438	バスケットボール目標設定ドリル：差がつく練習法	鈴木良和；中田和秀	ベースボール・マガジン社	783.1
382	9784331521052	バスケットボール用語事典	小野秀二；小谷究	廣済堂出版	783.1
383	9784870356122	バドミントン シニアからのチャレンジ：シニア全日本で上位を目指す人・シニアから始める人へ	池田明男；廣瀬勇夫	梓書院	
384	9784583107868	バドミントンのためのストレッチ&体幹トレーニング	青木達；渡辺哲義	ベースボール・マガジン社	783.59
385	9784537214062	バドミントンの新しい教科書：いちばんうまくなる！	竹俣明	日本文芸社	783.59
386	9784408456225	バドミントン基本と戦術	大屋貴司	実業之日本社	783.59
387	9784583110431	バドミントン教本. ジュニア編	日本バドミントン協会	ベースボール・マガジン社	783.59
388	9784583108452	バドミントン最新式・基礎ドリル：差がつく練習法	藤本ホセマリ	ベースボール・マガジン社	783.59
389	9784583110400	バドミントン上達システム：身になる練習法	高瀬秀雄	ベースボール・マガジン社	783.59
390	9784583107851	バドミントン日本代表コーチ舛田圭太のパーフェクトレッスン	舛田圭太；バドミントン・マガジン編集部	ベースボール・マガジン社	783.59
391	9784583108377	バドミントン米倉加奈子式攻め勝つドリル：差がつく練習法	米倉加奈子	ベースボール・マガジン社	783.59
392	9784408454245	バドミントン練習法&上達テクニック	大屋貴司；山田秀樹	実業之日本社	783.59
393	9784765317290	パーフェクト疲労骨折	石橋恭之	金芳堂	
394	9784469267693	パフォーマンス向上に役立つサッカー選手の体力測定と評価	ヤン・バングスポ；マグニ・モア	大修館書店	783.47

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
395	9784408455563	ハメス・ロドリゲス信じる	ネルソン・フレディ・パディーリャ・カスト ト：金関あさ	実業之日本社	783.47
396	9784389500528	バラスポーツルールブック：パラリンピックを楽しもう	コンデックス情報研究所：陶山哲夫	清水書院	780
397	9784093884914	パラリンピックの楽しみ方：ルールから知られざる歴史まで	藤田紀昭	小学館	780.69
398	9784657160140	パラリンピックを学ぶ	平田竹男：河合純一	早稲田大学出版部	780.69
399	9784469267501	バランシン・テクニク	スキ・ショラー：上野房子	大修館書店	769
400	9784537261226	ハルルホジッチ勝利のスパイラル	ローラ・ジャウイ：リオネル・ロッソ	日本文芸社	783.47
401	9784862552693	バルセロナトレーニングメソッド：世界最高のサッカー指導書	ラウレア・ノルイス：高司裕也	カンゼン	783.47
402	9784862552044	バルセロナの哲学はフットボールの真理である：勝利を引き寄せる“ポジショニングサッカー”	オスカル・ペドロ・カノ・モレノ：采野正光	カンゼン	783.47
403	9784583108476	バレーボール基本を極めるドリル：差がつく練習法	松井泰二	ベースボール・マガジン社	783.2
404	9784583110196	バレーボール実戦力を高めるドリル：身になる練習法	坂本将康	ベースボール・マガジン社	783.2
405	9784408454252	バレーボール練習法&上達テクニク	大山加奈	実業之日本社	783.2
406	9784890134588	バンスキー ジェスト解剖学：基礎と臨床に役立つ。 2	ベン・バンスキー：トーマス・R. ゲスト	西村書店（新潟）	491.1
407	9784890134595	バンスキー ジェスト解剖学：基礎と臨床に役立つ。 3	ベン・バンスキー：トーマス・R. ゲスト	西村書店（新潟）	491.1
408	9784408456041	ハンドボール基本と戦術	酒巻清治	実業之日本社	783.3
409	9784583108810	バント完全マスター：究めれば大きな武器に！	平野謙	ベースボール・マガジン社	783.7
410	9784887218208	ヒマラヤ探検史：地勢・文化から現代登山まで	フリック・パーカー：藤原多伽夫	東洋書林	292.58
411	9784905168416	ファンクショナルローラーピラティス：フォームローラーでできる104のエクササイズ	中村尚人	ナッブ	781
412	9784829305003	フィットネスクラブ革命：生きがい・健康・活力と倶楽部ライフを結ぶ	佐野豪	不昧堂出版	780.67
413	9784416617724	フットサル戦術トレーニングデザイン～Fリーグ優勝チームが実践する勝利のメソッド～：限られた戦力・時間・場所で最大限のパフォーマンスを	木暮賢一郎	誠文堂新光社	783.4
414	9784864130455	フットボールの原点：サッカー、ラグビーのおもしろさの根源を探る	吉田文久	創文企画	783.4
415	9784583109381	ブライアン・ボスのヘアボーンボウリング	ブライアン・ボス：タナカミエ	ベースボール・マガジン社	783.9
416	9784905168409	ブライオメトリック・トレーニング：動的筋力と爆発的パワー	ドナルド・A. チュー：グレゴリー・D. マイヤー	ナッブ	780.7
417	9784635043939	フリークライミング&ボルダリング	佐川史佳：江崎善晴	山と溪谷社	786.1
418	9784469268270	ブル・ライフガードング教本	日本ライフセービング協会	大修館書店	369.34
419	9784809414633	ブルース・リーズジークンドー	フル・コム：中村頼永	東邦出版	789.2
420	9784905158431	ブルベのすべて	鈴木裕和	スモール出版	786.5
421	9784862553317	フルマラソンを最後まで歩かずに「完走」できる本：一番やさしい42.195kmの教科書	鈴木莉紗	カンゼン	782.3
422	9784847095139	プロスポーツ選手の引退：非自発的役割離脱への社会心理学的アプローチ	篠田潤子	オデッセー出版(発売：ワニブックス)	361.4
423	9784862551580	プロトレーナー木場克己のサッカー専用トレーニング111：サッカー選手のパフォーマンスアップとケガ予防に必要	木場克己	カンゼン	783.47
424	9784260025348	プロメテウス解剖学アトラス。解剖学総論／運動器系	ミハエル・シュンケ：エリック・シュルテ	医学書院	491.1
425	9784260014113	プロメテウス解剖学アトラス。胸部／腹部・骨盤部	ミハエル・シュンケ：エリック・シュルテ	医学書院	491.1
426	9784260014410	プロメテウス解剖学アトラス。頭頸部／神経解剖	ミハエル・シュンケ：エリック・シュルテ	医学書院	491.1
427	9784260019323	プロメテウス解剖学コアアトラス	アン・M. ギルロイ：ブライアン・R. マクファーソン	医学書院	491.1
428	9784130402774	プロ野球「熱狂」の経営科学：ファン心理とスポーツビジネス	水野誠：三浦麻子	東京大学出版会	783.7
429	9784774187273	プロ野球でわかる！はじめての統計学	佐藤文彦：岡田友輔	技術評論社	417
430	9784492314784	プロ野球の経済学：労働経済学の視点で捉えた選手、球団経営、リーグ運営	橋本俊詔	東洋経済新報社	783.7
431	9784416517178	プロ野球語辞典：プロ野球にまつわる言葉をイラストと豆知識でカッキー	長谷川晶一：佐野文二郎	誠文堂新光社	783.7
432	9784865650785	プロ野球常勝球団の方程式：9チームの黄金時代を徹底研究する	出野哲也	言視舎	783.7
433	9784583109787	プロ野球選手になりたい人のためのメンタルトレーニング・ワークブック：プロ野球選手になりたい人必読のメンタルの本	高妻容一	ベースボール・マガジン社	783.7
434	9784583109480	プロ野球打者の共通フォーム&習得法	ヒットエンドラン編集部：立花竜司	ベースボール・マガジン社	783.7
435	9784181862183	ヘア・グループの力でみんな泳げる！水泳指導アイデア事典	永瀬功二	明治図書出版	375.492

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
436	9784583105697	ベストパフォーマンスを引き出す方法	室伏広治：咲花正弥	ベースボール・マガジン社	780.14
437	9784491033501	ベドロ・マルティネス自伝	ベドロ・マルティネス：マイケル・シルバマン	東洋館出版社	783.7
438	9784469267952	ヘルスリテラシー：健康教育の新しいキーワード	福田洋：江口泰正	大修館書店	498
439	9784808310066	ベルリンの奇跡：日本サッカー煌きの一瞬	竹之内響介：賀川浩	中日新聞東京本社	783.47
440	9784469267754	ポアントのすべて：トウシューズ、トレーニング、テクニック	ジャンス・パリンジャー：サラ・シュレジンガー	大修館書店	769
441	9784767821054	ボクシング世界図鑑：史上最強のボクサーがわかる！	ハリー・ムラン：ポブ・ミー	エクスナレッジ	788.3
442	9784798047201	ボディメカニクス：リハビリ、スポーツのための生理解剖学	山口典孝	秀和システム	491.3
443	9784809414114	ボランチ専門講座：PROFESSIONAL METHOD	福西崇史	東邦出版	783.47
444	9784635043502	ボルダリング入門	佐川史佳	山と溪谷社	786.1
445	9784469267877	ボール運動の教材を創る：ゲームの魅力をクローズアップする授業づくりの探究	岩田靖	大修館書店	375.49
446	9784469267990	ほんとうに危ないスポーツ脳振盪	谷諭	大修館書店	780.19
447	9784809414329	マイケル・ジョーダン：父さん。僕の人生をどう思う？	ロランド・レイゼンペー：佐良士茂樹	東邦出版	783.1
448	9784408455730	マヌエル・ノイアー伝記	ディートリッヒ・シュルツェ・マルメルク：吉田奈保子	実業之日本社	783.47
449	9784062192545	マラソンで絶対にしてはいけない35のこと：誰も言わなかった	中野ジェームズ・修一	講談社	782.3
450	9784583109206	マラソン完全攻略サブ3・サブ3.15達成トレーニング	伊藤嗣朗	ベースボール・マガジン社	782.3
451	9784583109145	マラソン能力別上達法：サブ3.5 サブ4 サブ4.5	伊藤嗣朗	ベースボール・マガジン社	782.3
452	9784870513914	まるごと日本の踊り&組立表現小学校運動会BOOK 演技編 part 2	黒井信隆	いかだ社	374.48
453	9784870512559	まるごと日本の踊り小学校運動会book 演技編：感動を呼ぶ民舞・団体演技セレクション	黒井信隆：前田雅章	いかだ社	374.48
454	9784408456003	ミニバスケットボール基本と能力アップドリル	大熊徳久	実業之日本社	K783
455	9784408456102	ミニバスケットボール個人技とチーム力向上ドリル	大熊徳久	実業之日本社	K783
456	9784058004326	みるみる上達！バレーボール基礎からマスター	髙宗浩二	学研パブリッシング(発売：学研プラス)	783.2
457	9784469267686	みんなでトライ！表現運動の授業	全国ダンス・表現運動授業研究会：宮本乙女	大修館書店	375.492
458	9784860182991	みんなで創るオリンピック・パラリンピック：ロンドンに学ぶ「ごみゼロ」への挑戦	崎田裕子：鬼沢良子	環境新聞社	780.69
459	9784895928410	ムア臨床解剖学	キース・L. ムア：アン・M. R. アーガー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	491.1
460	9784839602772	ムエタイの世界：ギャンブル化変容の体験的考察	菱田慶文	めこん	788.3
461	9784905168287	ムーブメント：ファンクショナルムーブメントシステム	グレイ・クック：中丸宏二	ナッブ	780.19
462	9784938335953	ムーブメントスキルを高める：これなら伝わる、動きづくりのトレーニング	朝倉全紀：勝原竜太	ブックハウス・エイチディ	
463	9784331520024	メジャーリーグ・完全データ選手名鑑. 2016	友成那智：村上雅則	廣済堂出版	783.7
464	9784767821382	メジャーリーグスタジアム巡礼	A K I 猪瀬	エクスナレッジ	783.7
465	9784771028821	メジャーリーグの現場に学ぶビジネス戦略：マーケティング、スポンサーシップ、ツーリズムへの展	川上祐司	晃洋書房	780.34
466	9784307251570	メディカルストレッチング：筋学からみた関節疾患の運動療法	丹羽滋郎：高柳富士丸	金原出版	494.77
467	9784861866562	メンタルトレーニングの基礎：不測の事態に備える	石村宇佐一	ふくろう出版	780.14
468	9784560084717	もうひとつのプロ野球：若者を誘引する「プロスポーツ」という装置	石原豊一	白水社	783.7
469	9784635510233	もう道に迷わない：道迷い遭難を防ぐ登山技術	野村仁	山と溪谷社	786.1
470	9784062806640	もっとなっとく使えるスポーツサイエンス	征矢英昭：本山貢	講談社	780.19
471	9784583111001	もっとも新しいラグビーの教科書. 2	土井崇司	ベースボール・マガジン社	783.48
472	9784583108643	もっとも新しいラグビーの教科書：今、鮮やかに最新理論として蘇る大西鐵之祐のDNA	土井崇司	ベースボール・マガジン社	783.48
473	9784864901048	もっと強くなる剣道・練習法：試合で「一本」がとれる！基本と技を正しく学ぶ	古川和男	電波社	789.3
474	9784864901055	もっと速くなる水泳・練習法	黒瀬幹夫：東島新次	電波社	785.2
475	9784782305485	やさしいスポーツ医学の基礎知識	藤本繁夫：大久保衛	嵯峨野書院	780.19
476	9784524259694	やさしい運動生理学	杉晴夫	南江堂	780.193
477	9784753227617	やさしい生活習慣病の自己管理	北村諭	医薬ジャーナル社	493.18
478	9784884582661	やってはいけない！コーチング：ダメなコーチにならないための33の教え	高畑好秀	体育とスポーツ出版社	780.7
479	9784781613482	ユルゲン・クロップ：選手、クラブ、サポーターすべてに愛される名将の哲学	エルマー・ネーヴェリング：大山雅也	イースト・プレス	783.47

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
480	9784794967978	ヨガを科学する：その効用と危険に迫る科学的アプローチ	ウィリアム・J. ブロード：坂本律	晶文社	498.3
481	9784623081189	よくわかるスポーツマーケティング	仲澤真：吉田政幸	ミネルヴァ書房	780
482	9784623080144	よくわかるスポーツマネジメント	柳沢和雄：清水紀宏	ミネルヴァ書房	780.34
483	9784623080151	よくわかるスポーツ人類学	寒川恒夫	ミネルヴァ書房	780.13
484	9784623080137	よくわかるスポーツ倫理学	友添秀則	ミネルヴァ書房	780.1
485	9784583109671	よくわかる剣道審判法のすべて	香田郡秀	ベースボール・マガジン社	789.3
486	9784583109992	よくわかる柔道受け身のすべて	木村昌彦	ベースボール・マガジン社	789.2
487	9784865192179	よくわかる野球肘肘の内側部障害：病態と対応	山崎哲也：柏口新二	全日本病院出版会	783.7
488	9784498071162	よくわかる予防接種のキホン：小児，高齢者用から渡航用ワクチンまで 第2版	庵原俊昭：寺田喜平	中外医学社	493.82
489	9784583110813	ラグビーチーム力アップドリル：月単位、週単位での練習計画の立て方がわかる！	吉岡肇	ベースボール・マガジン社	783.48
490	9784839959562	ラグビーのルールと楽しみ方：間違いやすいジャッジがひと目でわかる！	日本ラグビーフットボール協会	マイナビ出版	783.48
491	9784809413186	ラグビーは頭脳が9割	斉藤健仁	東邦出版	783.48
492	9784583108469	ラグビーヒガン式決断力が身につくドリル：差がつく練習法	藤田雄一郎	ベースボール・マガジン社	783.48
493	9784837672586	ラグビー最強・最速になるヤマハ式肉体改造法：ヤマハララグビー部の秘トレニング	大塚潔	マキノ出版	783.48
494	9784862553539	ラグビー日本代表1301日間の回顧録	斉藤健仁	カンゼン	783.48
495	9784583109008	ラグビー日本代表はタブになったのか？：Japan way	ラグビーリパブリック	ベースボール・マガジン社	783.48
496	9784560095140	ラブ・ゲーム：テニスの歴史	エリザベス・ウィルソン：野中邦子	白水社	783.5
497	9784309278513	ランニング・サイエンス：「走る」を科学する	ジョン・ブルーワー：菅しおり	河出書房新社	782.3
498	9784405093300	ランニングと栄養の科学：自己記録の壁を打ち破る！最先端の科学に基づく新理論	齊藤太郎	新星出版社	782.3
499	9784890134366	ランニング医学大事典：評価・診断・治療・予防・リハビリテーション	フランス・G. オコナー：ロバート・P. ワイルダー	西村書店（新潟）	782.3
500	9784062806589	リアライン・トレーニング：関節のゆがみ・骨の配列を整える最新理論。体幹・股関節編	蒲田和芳	講談社	780.7
501	9784905168324	リハビリの科学：スポーツパフォーマンス向上のための最新情報	クリストフ・ハウスヴィルト：イニゴ・ムジカ	ナッブ	780.19
502	9784309023953	レジェンド：不屈の現役たちの言葉	児玉光雄（心理評論家）	河出書房新社	780.28
503	9784790716624	レジャー・スタディーズ	渡辺潤（社会学）	世界思想社	365.7
504	9784528020382	レースに勝つための最強トライアスロントレーニング	青山剛	日東書院本社	782.6
505	9784491032368	ロジャー・フェデラー	マーク・ホジキンソン：鈴木佑依子	東洋館出版社	783.5
506	9784408456027	ロジャー・フェデラー伝	クリス・パウワース：渡辺玲子	実業之日本社	783.5
507	9784780416800	ロードバイク最速トレーニングBOOK：プロも実践！レースで勝つコツ60	別府匠	メイツ出版	788.6
508	9784416314005	ロングトレイルはじめました。：山や街道を何日も歩いて旅をする	根津貴央：シェルバ斉藤	誠文堂新光社	786.1
509	9784307170659	ワクチンと予防接種の全て：見直されるその威力	大谷明：三瀬勝利	金原出版	493.82
510	9784772290111	ワンダーフォーゲル活動のあゆみ：学生登山の主役たち	城島紀夫	古今書院	786
511	9784779123801	医師による野球技術論叙説	佐藤卓彌	彩流社	783.7
512	9784753227631	医療・介護スタッフのための高齢者の転倒・骨折予防：転ばぬ先の生活指導	萩野浩	医薬ジャーナル社	493.18
513	9784787821416	医療系学生のための図解生理学TEXT&NOTE	丹羽利充	診断と治療社	491.3
514	9784764405356	医療通訳と保健医療福祉：すべての人への安全と安心のために	李節子	杏林書院	490.7
515	9784309024783	井村雅代不屈の魂：波乱のシンクロ人生	川名紀美	河出書房新社	785.2
516	9784791623501	一流選手が教える女子バスケットボール	内海知秀	西東社	783.1
517	9784163903972	羽生結弦王者のメソッド：2008-2016	野口美恵	文藝春秋	784.6
518	9784061563070	運動と栄養：健康づくりのための実践指導	上田伸男：岸恭一	講談社	780.19
519	9784595314162	運動と健康	白井永男	放送大学教育振興会（発売：NHK出版）	780.193
520	9784901933360	運動感覚の深層	金子明友	明和出版	780.14
521	9784830643927	運動器の徒手検査法：機能解剖から導く手技の実際	福林徹：菅谷啓之	文光堂	780.19
522	9784571250446	運動継続の心理学：快適自己ペースとポジティブ感情	橋本公雄：斉藤篤司	福村出版	780.14
523	9784895904438	運動支援の心理学：知覚・認知を活かす	樋口貴広	三輪書店	780.14
524	9784767905471	運動生理・栄養学	高松薫：山田哲雄（運動生理学）	建帛社	780.193
525	9784759812459	運動生理学	山本順一郎	化学同人	780.193
526	9784905168393	運動生理学の基礎と応用：健康科学へのアプローチ	長澤純一：杉浦雄策	ナッブ	780.193

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
527	9784469267822	運動部活動の教育学入門：歴史とのダイアログ	神谷拓	大修館書店	375.18
528	9784469268034	運動部活動の理論と実践	友添秀則	大修館書店	375.18
529	9784881170731	運動連鎖から考える投球障害：パフォーマンスUP！	森原徹：松井知之	全日本病院出版会	783.7
530	9784881252970	英国における拠点大学のスポーツ戦略：ラフバラ大学と国際スポーツ組織の動向について	久木留毅	専修大学出版局	780.23
531	9784759817119	衛生学：健康な環境づくりを支援する	近藤雄二：奥野久美子	化学同人	498
532	9784152095800	駅伝マン：日本を走ったイギリス人	アダーナン・フィン：濱野大道	早川書房	782.3
533	9784794707451	遠泳を基軸とした海浜プログラム：安全かつ感動を	日本体育大学	叢文社	785.2
534	9784767821030	欧州サッカー名將の戦術事典	清水英斗	イクスナレッジ	783.47
535	9784583110394	岡崎慎司はなぜプレミアで成功したのか？：レスター優勝の原動力となった日本人FWの価値と成功	ベースボール・マガジン社	ベースボール・マガジン社	783.47
536	9784862209498	岡本正剛一瞬に決める合気：大東流合気柔術	『秘伝』編集部	B A B ジャパン	789.2
537	9784562049141	沖繩空手道の真髄：秘伝の奥義「平安の形」の検証	新垣清	原書房	789.2
538	9784583110561	科学する野球バッティング&ベースランニング	平野裕一	ベースボール・マガジン社	783.7
539	9784583110554	科学する野球ピッチング&フィールディング	平野裕一	ベースボール・マガジン社	783.7
540	9784780712964	過去の戦争とスポーツ：シリーズ2 過去の戦争とスポーツ - その痛恨の歴史、シリーズ2	廣畑成志	本の泉社	780.21
541	9784780712957	過去の戦争とスポーツ：その痛恨の歴史、シリーズ1	廣畑成志	本の泉社	780.21
542	9784260024433	解剖学カラーアトラス	ヨハネス・W. ローエン：横地千仍	医学書院	491.1
543	9784320061804	解剖学スケッチ練習帳	金光秀晃：葛西一隆	共立出版	491.1
544	9784784932153	解剖学はじめての一步：医療職をめざす人の	坂井建雄	日本医事新報社	491.1
545	9784263240632	解剖学ワークブック	西川彰：小林直行	医歯薬出版	491.1
546	9784840745888	解剖生理学：からだの構造と働きがひと目でわかる	林洋	じほう	491.1
547	9784263219355	外来整形外科のためのスポーツ外傷・障害の理学療法	小関博久：稲垣郁哉	医歯薬出版	780.19
548	9784262166322	確実に速くなるランニングの科学	鈴木清和	池田書店（新宿区）	782.3
549	9784181912154	学び合いでみんなが上達する！「水泳」絶対成功の指導BOOK	関西体育授業研究会	明治図書出版	375.492
550	9784864292436	学び手の視点から創る小学校の体育授業	鈴木直樹（身体教育学）：梅澤秋久	大学教育出版	375.492
551	9784864293969	学び手の視点から創る中学校・高等学校の保健体育授業、体育編	鈴木直樹（身体教育学）：梅澤秋久	大学教育出版	375.49
552	9784180985173	学級力が一気に高まる！絶対成功の体育授業マネジメント	垣内幸太	明治図書出版	375.492
553	9784764405363	学校保健の世界	大沢清二：内田匡輔	杏林書院	374.9
554	9784525620370	学生のための現代公衆衛生	野中浩一：苅田香苗	南山堂	498
555	9784860154110	楽しく学ぶ運動遊びのすすめ：ポートフォリオを活用した保育実践力の探求	柴田卓：石森真由子	みらい	
556	9784062205948	完全攻略ウルトラマラソン練習帳：潜在走力を引き出す！レベル別・書き込み式13週間練	岩本能史	講談社	782.3
557	9784491031699	監督たちの高校サッカー	青柳愛：笠井さやか	東洋館出版社	783.47
558	9784408456096	観戦&プレーで役に立つ！バドミントンのルール審判の基本：スコアシートのつけ方も完全収録！	日本バドミントン協会	実業之日本社	783.59
559	9784408455631	観戦&プレーで役に立つ！ラグビーのルール	日本ラグビーフットボール協会	実業之日本社	783.48
560	9784583109329	岩淵聡のテニスダブルス最強バイブル	岩淵聡	ベースボール・マガジン社	783.5
561	9784830112973	器械運動、1	尾西奈美：小畑秀之	文化書房博文社	
562	9784864130660	器械運動の授業	学校体育研究同志会	創文企画	375.49
563	9784583109121	基礎からわかる！中長距離走トレーニング：運動生理学に基づいた新たなトレーニングがレベルアップ	櫛部静二	ベースボール・マガジン社	782.3
564	9784537215359	基礎から学ぶスポーツトレーニング理論：心と身体のコンディショニングがゼロからわかる！	伊藤マモル	日本文芸社	780.7
565	9784469268140	基礎から学ぶスポーツリテラシー	二橋健夫：大築立志	大修館書店	
566	9784524254750	基礎から学ぶ健康管理概論	柳川洋：尾島俊之	南江堂	498
567	9784469268324	基本・スポーツマネジメント	畑攻：小野里真弓	大修館書店	780
568	9784583109343	奇跡の投手人生50の告白：悔いはあるが後悔はない	山本昌	ベースボール・マガジン社	783.7
569	9784830645594	機能評価診断とその技法	片寄正樹：小林寛和	文光堂	780.19
570	9784583109053	気がつけばレジェンド：旭天鵬自伝	大島勝	ベースボール・マガジン社	788.1
571	9784054062955	気になる子の体育つまずき解決BOOK：授業で生かせる事例52	清水由：川上康則	学研教育みらい（発売：学研プラス）	378
572	9784058008157	気になる子もいっしょに体育ではじめる学級づくり：ソーシャルスキルのつまずきを学級経営に生かす応援ブ	阿部利彦：清水由	学研教育みらい（発売：学研プラス）	374.1
573	9784780416152	記録が伸びる！陸上競技跳躍：走り幅跳び・三段跳び・走り高跳び・棒高跳び	森長正樹	メイツ出版	782.4
574	9784780416169	記録が伸びる！陸上競技投てき：砲丸投げ・やり投げ・円盤投げ・ハンマー投げ	小山裕三	メイツ出版	782.5

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
575	9784862554222	技術解体新書：サッカーの技術を言葉で再定義する	風間八宏：西部謙司	カンゼン	783.47
576	9784491033822	義足のアスリート山本篤	鈴木祐子	東洋館出版社	782
577	9784528021068	宮澤崇史の頭脳で勝利に近づく！プロのロードレーステクニック	宮澤崇史	日東書院本社	788.6
578	9784528020511	宮澤崇史の理論でカラダを速くするプロのロードバイクトレーニング	宮澤崇史	日東書院本社	788.6
579	9784408456065	弓道基本と上達法	福呂淳：加瀬洋光	実業之日本社	789.5
580	9784861632624	弓道教室講話	池沢幹彦	東北大学出版会	789.5
581	9784830645600	急性期治療とその技法	片寄正樹：小林寛和	文光堂	780.19
582	9784884582845	究極のトレーニングバイブル：肉体と精神	小川淳：日本ハイインテンシティトレーニング協会	体育とスポーツ出版社	780.7
583	9784093798808	牛を飼う球団	喜瀬雅則	小学館	783.7
584	9784810521238	競技者のキャリア形成史に関する社会学的研究：サッカーエリートの困難と再生のプロセス	吉田毅	道和書院	783.47
585	9784830651816	競技種目特性からみたリハビリテーションとリコンディショニング：リスクマネジメントに基づいたアプローチ	山本利春	文光堂	780.19
586	9784863101555	強い組織をつくる上田昭夫のプライド	大元よしき	ウエッジ	783.48
587	9784182050275	教師のためのスポーツコーチング入門：部活動指導が必ずうまくいく！	東根明人	明治図書出版	375.18
588	9784469267976	教養としての体育原理：現代の体育・スポーツを考えるために	友添秀則：岡出美則	大修館書店	780.1
589	9784583108797	曲げるボウリング：回転数を上げてスコアアップ！	渡邊航明	ベースボール・マガジン社	783.9
590	9784583109695	極真空手50年の全技術：技の進化を知ることで、強くなるための方法が見えてく	山田雅稔	ベースボール・マガジン社	789.2
591	9784775314623	錦織圭に学ぶテニス勝ちにくい教科書	児玉光雄（心理評論家）	新紀元社	783.5
592	9784583110202	筋トレマニア筋トレ用語事典	有賀誠司	ベースボール・マガジン社	780.7
593	9784839948078	筋と骨格の触診術の基本：オールカラー	藤縄理	マイナビ出版	491.169
594	9784816360695	筋肉と関節の機能解剖パーフェクト事典	左明：山口典孝	ナツメ社	491.169
595	9784583111117	筋肥大マッドハンド版：筋肉に手を加えることで理想のカラダは手に入る	岡田隆	ベースボール・マガジン社	780.7
596	9784902109436	筋力発揮の脳・神経科学：その基礎から臨床まで	大築立志：鈴木三央	市村出版	
597	9784877373641	近代女子高等教育機関における体育・スポーツの原風景：成瀬仁蔵の思想と日本女子大学校に原型をもとめて	馬場哲雄	翰林書房	780.21
598	9784827331226	近代日本・朝鮮とスポーツ：支配と抵抗、そして協力へ	金誠	塙書房	780.21
599	9784864050524	近代日本の身体表象：演じる身体・競う身体	瀬戸邦弘：杉山千鶴	森話社	386.8
600	9784469268133	近代日本を創った身体	寒川恒夫	大修館書店	780.21
601	9784657157089	近代武道・合気道の形成：「合気」の技術と思想	工藤龍太	早稲田大学出版部	789.2
602	9784267021176	金栗四三：消えたオリンピック走者	佐山和夫	潮出版社	782.3
603	9784583108995	金子千尋の変化球バイブル	週刊ベースボール編集部：金子千尋	ベースボール・マガジン社	783.7
604	9784788515147	空間紛争としての持続的スポーツリズム：持続的開発が語らない地域の生活誌	村田周祐	新曜社	689.21
605	9784809413872	君はひとりじゃない：スティーヴン・ジェラード自伝	スティーヴン・ジェラード：小林玲子	東邦出版	783.47
606	9784787220622	軍隊とスポーツの近代	高嶋航	青弓社	392.1
607	9784892597275	経済・環境・スポーツの正義を考える	尼寺義弘：牧野広義	文理閣	331
608	9784864293204	芸術・スポーツ文化学研究	北海道教育大学岩見沢校	大学教育出版	701
609	9784408455877	結果を出すための「合わせる」技術：Ogimi Method	大儀見優季	実業之日本社	783.47
610	9784764411753	健康・スポーツ科学における運動処方としての水泳・水中運動	佐藤進：池本幸雄	杏林書院	498.3
611	9784764411425	健康・スポーツ科学のためのRによる統計解析入門	山次俊介：高橋信二	杏林書院	417
612	9784595140839	健康・スポーツ科学研究	関根紀子	放送大学教育振興会(発売：NHK出版)	780.19
613	9784469267433	健康・フィットネスと生涯スポーツ	東海大学	大修館書店	780
614	9784764411456	健康スポーツ学概論：プロモーション、シニアトロジー、コーチング	山羽教文：長ヶ原誠	杏林書院	780.19
615	9784332010197	健康のためのスポーツ生理学	池川繁樹	光生館	780.193
616	9784571500107	健康レベルを上げる「身体学」入門：知れば変わる自分のカラダ	古畑公：木村康一	福村出版	491.3
617	9784260028813	健康格差社会への処方箋	近藤克則	医学書院	498
618	9784901933278	健康寿命を延ばす運動の科学：筋肉をきたえて健やかに生きる	宮下充正	明和出版	498.3
619	9784595315527	健康長寿のためのスポーツロジー	田城孝雄：内藤久士	放送大学教育振興会(発売：NHK出版)	780.19
620	9784784953974	健診・健康管理専門職のための新セミナー生活習慣病	田中逸	日本医事新報社	493.18

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
621	9784583109978	健大高崎式驚異の走塁術&トレーニング	青柳博文；葛原毅	ベースボール・マガジン社	783.7
622	9784791767502	剣の思想	甲野善紀；前田英樹	青土社	789.3
623	9784884584122	剣道「先師からの伝言」. 下巻	矢野博志	体育とスポーツ出版社	789.3
624	9784884584115	剣道「先師からの伝言」. 上巻	矢野博志	体育とスポーツ出版社	789.3
625	9784884583538	剣道・伝説の京都大会（昭和）：徳江正之写真集	徳江正之	体育とスポーツ出版社	789.3
626	9784884584108	剣道の極意と左足	小林三留	体育とスポーツ出版社	789.3
627	9784537214826	剣道の新しい教科書：必ず上達する！	二瀬英治	日本文芸社	789.3
628	9784884582968	剣道は寄せる・見る・打つ	遠藤正明	体育とスポーツ出版社	789.3
629	9784884582777	剣道は乗って勝つ	岩立三郎	体育とスポーツ出版社	789.3
630	9784263214343	肩診療マニュアル	乾浩明；信原克哉	医歯薬出版	494.7
631	9784880035987	見て読んで学ぶ人体解剖生理学	堀川宗之	真興交易医書出版部	491.1
632	9784905349303	元ACミラン専門コーチのセットプレー 最先端理論：得点力+30%	ジョバンニ・ピオ；片野道郎	ソル・メディア	783.47
633	9784771027541	現代スポーツのエッセンス	相原正道	晃洋書房	780.1
634	9784860815271	現役マラソン医師の走るとなせいか？	青木晃	新講社	491.358
635	9784882981893	限界を超える：サガン鳥栖躍進の秘密	佐賀新聞社	佐賀新聞社	783.47
636	9784583108957	呼吸泳本：呼吸を変えるだけで速くなる	原英晃	ベースボール・マガジン社	785.2
637	9784768457801	呼出秀男の相撲ばなし	山木秀男	現代書館	788.1
638	9784583110387	五輪サッカー「男子」その長い歴史と激闘の記録：ベルリンの奇跡からリオ五輪まで	国吉好弘	ベースボール・マガジン社	783.47
639	9784408455839	五郎丸日記	小松成美	実業之日本社	783.48
640	9784525187354	公衆衛生マニュアル. 2017	柳川洋；中村好一	南山堂	498
641	9784863273320	巧みさを発達させる幼小体育	乾信之	淡水社（広島）	376.157
642	9784822235932	広島カープがしぶとく愛される理由：続けることが負けないことだ！	片瀬京子；伊藤暢人	日経B P社(発売：日経B Pマーケティング)	783.7
643	9784415320236	攻撃サッカープレス&カウンター	村松尚登	成美堂出版	783.47
644	9784860674908	校歌の大甲子園史：深淵なる校歌の世界を聞く	渡辺敏樹	地球丸	783.7
645	9784469267884	考えて強くなるバレーボールのトレーニング：スカウティング理論に基づくスキル&ドリル	吉田清司；渡辺啓太	大修館書店	783.2
646	9784469268218	考えて強くなるラグビーのトレーニング：戦術アプローチに基づく練習プログラム	山本巧；藤森啓介	大修館書店	783.48
647	9784816354663	考える配球：ピッチングの極意へ、そして勝利へ近づくために！	永井浩二	ナツメ社	783.7
648	9784336057969	考証日本武芸達人伝	綿谷雪	国書刊行会	789
649	9784809415371	高校ラグビーは頭脳が9割	斉藤健仁	東邦出版	783.48
650	9784809413247	高校球児に伝えたい！プロでも間違わずバッテリーの基本	里崎智也	東邦出版	783.7
651	9784809415081	高校球児に伝えたい！プロでも間違わず守備・走塁の基本	高代延博	東邦出版	783.7
652	9784023314283	高校野球100年：蘇る名勝負永遠のヒーロー	週刊朝日編集部	朝日新聞出版	783.7
653	9784809414459	高校野球は頭脳が9割：野球の強化書	後原富	東邦出版	783.7
654	9784875253181	合気秘訣：物理学者による目から鱗の技法解明	保江邦夫	海鳴社	789.2
655	9784809414718	合気道と中国武術はなぜ強いのか？	山田英司；フルコム	東邦出版	789
656	9784882934868	合気道開祖植芝盛平伝	植芝吉祥丸；植芝守央	出版芸術社	789.2
657	9784822239893	国際スポーツ組織で働こう！：世界の最先端スポーツ大学院でマネジメントを学ぶ	つば国際スポーツアカデミー・アソシエー；塚本拓也	日経B P社(発売：日経B Pマーケティング)	780
658	9784525183011	国際保健医療のキャリアナビ	日本国際保健医療学会	南山堂	369.9
659	9784764405318	国際保健医療学	日本国際保健医療学会	杏林書院	498
660	9784830645310	腰痛の病態別運動療法：体幹筋機能向上プログラム	金岡恒治	文光堂	493.6
661	9784839954970	骨・関節・靭帯・神経・血管の触診術の基本：オールカラー	齋藤昭彦	マイナビ出版	492.11
662	9784062193276	骨格ランニング：「筋肉」よりも「骨」で走れば速くなる！	鈴木清和	講談社	782.3
663	9784905168331	骨格筋のバイオメカニクス：筋線維から運動協調性まで	ウラジミール・M. ザツシオルスキー；ボリス・I. プリルツキー	ナッブ	491.363
664	9784087807998	根本陸夫伝：プロ野球のすべてを知っていた男	高橋安幸	集英社	783.7
665	9784583108834	魂の言葉辰吉丈一郎	辰吉丈一郎	ベースボール・マガジン社	788.3
666	9784583110851	左バッターを科学する：左バッターは本当に有利なのか？NPBのトップを走る	ベースボール・マガジン社	ベースボール・マガジン社	783.7
667	9784767821542	最強の柔道家リネール	ティディ・リネール；神奈川夏子	エクスナレッジ	789.2
668	9784416616529	最強プロに学ぶフットサル個人技完全マスター：連続写真で動きがわかる！プレーのコツもしっかり伝授	森岡薫	誠文堂新光社	783.4
669	9784469268225	最強をめざすチームビルディング：潜在成長力を引き出すコーチの取り組み	ジェフ・ジャンセン；水谷豊	大修館書店	780.7
670	9784469268232	最新ソフトバレー・ハンドブック	日本ソフトバレーボール連盟	大修館書店	783.2
671	9784809414787	最先端泳法『フラットスイム』でクロールがきれいに速く泳げる！	高橋雄介	東邦出版	785.2
672	9784062195089	参謀の甲子園：横浜高校常勝の「虎ノ巻」	小倉清一郎	講談社	783.7

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
673	9784635470063	山スキー百山	スキーアルピニズム研究会	山と渓谷社	784.3
674	9784808310035	山のリスクと向き合うために：登山におけるリスクマネジメントの理論と実践	村越真；長岡健一	東京新聞出版部	786.1
675	9784635510011	山岳遭難の教訓：事例に学ぶ生還の条件	羽根田治	山と渓谷社	786.1
676	9784426119836	山本昌レジェンドの秘密	与田剛	自由国民社	783.7
677	9784062199629	残心：Jリーガー中村憲剛の挑戦と挫折の1700日	飯尾篤史	講談社	783.47
678	9784583110936	残像メンタルトレーニング：R/C/T野球	高岸弘	ベースボール・マガジン社	783.7
679	9784884582944	仕事で忙しい人のための剣道トレーニング	齋藤実	体育とスポーツ出版社	789.3
680	9784163907000	四継：2016リオ五輪、彼らの真実	宝田将志	文藝春秋	782.3
681	9784816359255	姿勢の教科書：正しく理想的な姿勢を取り戻す	竹井仁	ナツメ社	491.367
682	9784862552075	子どもが自ら考えて行動する力を引き出す魔法のサッカーコーチング：ボトムアップ理論で自立心を養う	畑喜美夫	カンゼン	783.47
683	9784915944604	子どものスポーツライフ・データ：4～9歳のスポーツライフに関する調査報告書。2015		笹川スポーツ財団	780.59
684	9784864130912	子どものボールゲーム指導プログラムバルシューレ：幼児から小学校低学年を対象に	奥田知靖；NPO法人バルシューレジャパン	創文企画	783
685	9784845115013	子どものやる気を引き出す7つのしつもん：スポーツメンタルコーチに学ぶ！	藤代圭一	旬報社	371.45
686	9784864294225	子どもの健康福祉指導ガイド	日本幼児体育学会；前橋明	大学教育出版	376.157
687	9784816359927	子どもの体力・運動能力がアップする体づくり運動&トレーニング集；小学校体育 オールカラー	松尾哲矢	ナツメ社	375.492
688	9784864130998	子どもの未来を創造する体育の「主体的・対話的で深い学び」	鈴木直樹（身体教育学）；成毛篤史	創文企画	375.492
689	9784180958108	子どもも観客も感動する！「組体操」絶対成功の指導BOOK	関西体育授業研究会	明治図書出版	375.492
690	9784254201444	子ども計測ハンドブック	持丸正明；山中竜宏	朝倉書店	501.8
691	9784842916439	市民からアスリートまでのスポーツ栄養学	岡村浩嗣；藤井久雄	八千代出版	780.19
692	9784873546483	市民マラソンがスポーツ文化を変えた	亀井克之；杉本厚夫	関西大学出版部	782.3
693	9784046533364	指揮官の流儀：直球リーダー論	曹貴哉	KADOKAWA	783.47
694	9784491029467	指導者の「指導者」が教える先生の力を最大限に引き出すメソッド	中竹竜二	東洋館出版社	374.3
695	9784583110295	私の失敗。激情篇	サンケイスポーツ編集部	ベースボール・マガジン社	780.28
696	9784583110288	私の失敗。純情篇	サンケイスポーツ編集部	ベースボール・マガジン社	780.28
697	9784780413304	試合で勝てる！フットサル最強の戦術50	川越晋介	メイツ出版	783.47
698	9784817203403	試合に勝つための（秘）偵察術；プロアマ共用	大利実；神原謙悟	日刊スポーツ出版社	783.7
699	9784408455778	試合に勝つテニス鈴木貴男のダブルス講座	鈴木貴男	実業之日本社	783.5
700	9784924833562	事故防止のためのスポーツ器具の正しい使い方と安全点検の手引き	日本体育施設協会	日本体育施設協会施設用器具部会(発売：体育施設出版)	780.67
701	9784263236864	事例問題から学ぶ看護疫学・保健統計学：重要事項をねこそぎcheck!	安武繁	医歯薬出版	498.6
702	9784801912687	侍ジャパンを世界一にする！戦略思考	野村克也	竹書房	783.7
703	9784882829164	治療効果をあげるための自動的・他動的ストレッチ：理学療法、マッサージ、フィットネス・トレーニングに	ジェーン・ジョンソン；藤田真樹子	ガイアブックス	781
704	9784760826599	自己の可能性を拓く心理学：パラアスリートのライフストーリー	内田若希	金子書房	780.14
705	9784254640441	自然セラピーの科学：予防医学的効果の検証と解明	宮崎良文	朝倉書店	492.5
706	9784839954857	自宅できる自重筋力トレーニング	荒川裕志；石井直方	マイナビ出版	780.7
707	9784093883733	自転車の教科書：やまめの学校公式ガイドブック。身体の使い方編	堂城賢	小学館	536.86
708	9784408454528	自転車ロングツーリング入門：2泊3日から大陸走破の長期自転車旅まで	山下晃和	実業之日本社	290.9
709	9784860112813	自分を開く技術	伊藤壇	本の雑誌社	783.47
710	9784469267891	実習で学ぶ健康・運動・スポーツの科学	九州大学健康・スポーツ科学研究会	大修館書店	780.19
711	9784469267907	実習で学ぶ健康・運動・スポーツの科学。別冊	九州大学健康スポーツ科学研究会	大修館書店	
712	9784765317078	実習にも役立つ人体の構造と体表解剖	三木明德	金芳堂	491.1
713	9784062186780	実践・体幹ランニング：確実に速くなる！	金哲彦	講談社	782.3
714	9784882828679	実践ストレッチ：痛みを緩和し損傷を予防する	クリスチャン・バーグ；藤田真樹子	ガイアブックス	781
715	9784181969189	実務が必ずうまくいく体育主任の仕事術55の心得	大前暁政	明治図書出版	375.49
716	9784862553881	守り方を知らない日本人	フランチェスコ・マクリ；宮崎隆司	カンゼン	783.47
717	9784263218723	種目別にみるスポーツ外傷・障害とリハビリテーション	渡會公治；猪飼哲夫	医歯薬出版	780.19
718	9784788715271	授業が変わる！新学習指導要領ハンドブック中学校保健体育編：平成29年3月告示中学校学習指導要領完全対応	時事通信出版局	時事通信出版局(発売：時事通信社)	375.493
719	9784758300957	集中講義生理学：カラーイラストで学ぶ	岡田隆夫	メジカルビュー社	491.3

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
720	9784881428115	柔術の勝負：明治期の柔道基本技術	三宅タロー：谷幸雄	創英社（三省堂書店）	789.2
721	9784990699444	柔道と人間形成：武士道に学ぶ「知徳体」の心	吉田秀彦	第三企画出版(発売：創英社（三省堂書店）)	789.2
722	9784583110523	柔道基礎から心技体を鍛える稽古：身になる練習法	石田輝也	ベースボール・マガジン社	789.2
723	9784408456201	柔道基本と戦術	上水研一郎	実業之日本社	789.2
724	9784583107943	柔道技の大本：現代の技未来に残したい技。 1	「近代柔道」編集部：井上康生	ベースボール・マガジン社	789.2
725	9784583108216	柔道技の大本：現代の技未来に残したい技。 2	「近代柔道」編集部：井上康生	ベースボール・マガジン社	789.2
726	9784537214055	柔道寝技を極める！：世界を制した稀代の寝技師が実戦に即した一流のテクニ	柏崎克彦	日本文芸社	789.2
727	9784583108414	柔道世界で勝つための実戦的稽古：差がつく練習法	林田和孝	ベースボール・マガジン社	789.2
728	9784845423651	重心移動だけでサッカーは10倍上手くなる	鬼木祐輔：ナイス	ロングセラーズ	783.47
729	9784048955911	準備する力：ラグビー日本代表GMのメソッド	岩淵健輔	KADOKAWA	783.48
730	9784000611756	女子プロレスラー小畑千代：闘女の戦後史	秋山訓子	岩波書店	788.2
731	9784884582678	女子選手のコーチング：“特性”を知り、力を引き出すための40のヒント	八ツ橋賀子	体育とスポーツ出版社	780.7
732	9784780418088	女子選手のコーチングメソッド：正しい声かけ・伝え方で実力を伸ばす！	佐藤雅幸	メイツ出版	780.7
733	9784263240588	女性アスリートのための傷害予防トレーニング	小林直行：泉重樹	医歯薬出版	780.19
734	9784882828853	女性のためのランニング学：女性特有の生理学と解剖学に基づきわかりやすく、整理	ジェイソン・R. カーブ：キャロリン・S. スミス	ガイアブックス	782.3
735	9784780416046	勝つ！ハンドボール上達のコツ50	萩原正芳	メイツ出版	783.3
736	9784780418606	勝つ！卓球ダブルス上達60のコツ	高山幸信	メイツ出版	783.6
737	9784780417067	勝つ！弓道百射百中のポイント50	福呂淳	メイツ出版	789.5
738	9784140816684	小さな村のウルトラランナー：重見高好の挑戦	大川卓弥	NHK出版	782.3
739	9784762026393	小学校の体育授業づくり入門	鈴木秀人：山本理人	学文社	375.492
740	9784864130929	小学校ボールゲームの授業づくり：実践理論の生成と展開	梅野圭史：身体教育研究会	創文企画	375.492
741	9784864294164	小学校体育器械運動：達人教師への道	藤田雅文：湯口雅史	大学教育出版	375.492
742	9784862553799	小学生・中学生のためのジュニアサッカー 食事バイブル	森裕子	カンゼン	783.47
743	9784405086890	小学生のサッカー上達BOOK	三菱養和サッカースクール	新星出版社	K783
744	9784405086906	小学生の野球上達BOOK	小笠原春夫	新星出版社	K783
745	9784408456089	小学生バレーボール基本と上達ドリル	小野由美子	実業之日本社	783.2
746	9784583109442	少年野球上達のツボ：名将たちの王道メソッド、バッテリー	ヒットエンドラン編集部	ベースボール・マガジン社	783.7
747	9784583108674	少年野球上達のツボ：名将たちの王道メソッド、内野守備	ヒットエンドラン編集部	ベースボール・マガジン社	783.7
748	9784120048937	昭和十八年の冬最後の箱根駅伝：戦時下でつなげられたタスキ	早坂隆	中央公論新社	782.3
749	9784309277547	昭和十八年幻の箱根駅伝：ゴールは靖国、そして戦地へ	沢宮優	河出書房新社	782.3
750	9784864272018	昭和平成大相撲名力士100列伝	塩沢実信	北辰堂出版	788.1
751	9784818824263	松井秀喜	篠崎尚夫	日本経済評論社	783.7
752	9784905168508	症状別ファンクショナルローラーピラティス：アセスメントからフォームローラーを用いたエクササイズ	中村尚人	ナッブ	498.3
753	9784000222976	笑顔が未来をつくる：私のスケート人生	鈴木明子	岩波書店	784.6
754	9784324101070	障がい者スポーツ指導教本：初級・中級	日本障がい者スポーツ協会	ぎょうせい	780.7
755	9784864130431	障害者スポーツの環境と可能性	藤田紀昭	創文企画	780
756	9784254106954	情動と運動：スポーツとこころ	西野仁雄：中込四郎	朝倉書店	780.14
757	9784521739137	情動と記憶：しくみとはたらき	小野武年	中山書店	491.371
758	9784839957391	伸びるテープと伸びないテープを使った最新スポーツテーピング：競技・目的別プロアスリートの実践テクニック！	ニチバン株式会社：野田哲由	マイナビ出版	780.19
759	9784583105819	心をつかむ高校野球監督の名言	田尻賢誉	ベースボール・マガジン社	783.7
760	9784884582722	心を耕す剣道：小林英雄対談集	小林英雄	体育とスポーツ出版社	789.3
761	9784487807963	振付稼業 a i r : m a n の踊る教科書	振付稼業 a i r	東京書籍	799
762	9784809413643	新・スクラム：進化する「1cm」をめぐる攻防	松瀬学	東邦出版	783.48
763	9784843341087	新・苦手な運動が好きになるスポーツのコツ。 1		ゆまに書房	K780
764	9784843341094	新・苦手な運動が好きになるスポーツのコツ。 2		ゆまに書房	K780
765	9784843341100	新・苦手な運動が好きになるスポーツのコツ。 3		ゆまに書房	K780
766	9784842065892	新・生き方としての健康科学	山崎喜比古：朝倉隆司	有信堂高文社	498
767	9784864130646	新しい「体づくり運動」の学習評価の実践：小・中学校の学びの架け橋となる学習評価を目指して	鈴木直樹（身体教育学）：成家篤史	創文企画	375.49
768	9784782305331	新スポーツ医学	藤本繁夫：大久保衛	嵯峨野書院	780.19
769	9784782305553	新スポーツ栄養学	井奥加奈	嵯峨野書院	780.19
770	9784905168270	新スポーツ外傷・障害とリハビリテーション：イラストでわかるリハビリテーション	魚住広信	ナッブ	780.19
771	9784782305492	新スポーツ心理学	伊達萬里子	嵯峨野書院	780.14

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
772	9784764415911	新たなスポーツビジネスモデルを考える：同志社大学スポーツマネジメントプロジェクト講演録	同志社大学スポーツマネジメントプロジェクト	杏林書院	
773	9784784911707	新生理学	竹内昭博	日本医事新報社	491.3
774	9784635160193	新全図解クライミングテクニク	堤信夫	山と溪谷社	786.1
775	9784524262588	新訂生理学実習書	日本生理学会教育委員会	南江堂	491.3
776	9784622079491	森のなかのスタジアム：新国立競技場暴走を考える	森まゆみ	みすず書房	780.67
777	9784842916156	親子で学ぶスポーツ栄養	柳沢香絵：岡村浩嗣	八千代出版	K780
778	9784840445689	身体が見える・疾患を学ぶ解剖アトラス：ソボットの解剖図に秘められた人体の世界	ヨハネス・ソボタ：井上泰	メディカ出版	491.1
779	9784829305096	身体教育研究序説：近代日本の教育学における「体育」の扱い方の変遷とそ	中野浩一	不昧堂出版	375.49
780	9784866160078	身体系個性化の深層心理学：あるアスリートのプロセスと対座する	老松克博	遠見書房	146.1
781	9784583109664	進化系！筋肉男子の栄養学：脱「タンパク質偏重」主義。炭水化物も脂肪も摂りな	竹並恵里	ベースボール・マガジン社	780.19
782	9784490208467	人と結びて有情を体す：社会の絆、家族の絆は武道にあり	東孝	東京堂出版	789
783	9784791769124	人はなぜ格闘に魅せられるのか：大学教師がリングに上がって考える	ジョナサン・ゴットシャル：松田和也	青土社	788
784	9784763900395	人間の運動学：ヒューマン・キネシオロジー	宮本省三：八坂一彦	協同医書出版社	491.367
785	9784254330083	人体のしくみとはたらき	沢口彰子：栗原久	朝倉書店	491.3
786	9784765317092	人体の解剖生理学	木山博資：遠山正弥	金芳堂	491.1
787	9784263235959	人体の構造と機能	内田さえ：佐伯由香	医歯薬出版	491.1
788	9784524261178	人体解剖カラーアトラス	ピーター・ハーバート・エーブラム：ジョナサン・D. スプラット	エルゼビア・ジャパン(発売：南江堂)	491.1
789	9784870551350	人体生理学の基礎	池原敏孝：勢井宏義	医学出版社	491.3
790	9784469268041	図とイラストで学ぶ新しいスポーツマネジメント	山下秋二：中西純司	大修館書店	780
791	9784895312721	図解スポーツ傷害とリハビリ治療のためのテーピング技術	アン・ケイル：伊藤和憲	緑書房（中央区）	492.5
792	978426000062	図解解剖学事典	ハインツ・フェネイス：山田英智	医学書院	491.1
793	9784809414213	図解最先端テーピング術：「巻く」ではなく「貼って」効く！	岩崎由純	東邦出版	780.19
794	9784336061881	図解平成大相撲決まり手大事典	新山善一：琴剣淳弥	国書刊行会	788.1
795	9784890134380	図説ダンスの解剖・運動学大事典：テクニクの上達と損傷予防のための基礎とエクササイズ	カレン・クリッピンジャー：森下はるみ	西村書店（新潟）	769.036
796	9784469267655	水泳コーチ教本：公認水泳コーチ用	日本水泳連盟	大修館書店	785.2
797	9784774182551	水泳のきれいなカラダをつくる：スリムな逆三角形になる！ドライランドトレーニング	高橋雄介	技術評論社	780.7
798	9784816360145	水泳指導のコツと授業アイデア：子どもたちがみるみる上達する	平川譲：清水由	ナツメ社	375.492
799	9784583108490	水泳実践的練習ドリル：差がつく練習法	原英晃	ベースボール・マガジン社	785.2
800	9784882655282	嵩山少林寺秘伝：禅・気・武の源流	秦西平	秀作社出版	789.2
801	9784829305072	世界のダンス。2		不昧堂出版	769
802	9784829304976	世界のダンス：世界舞踊祭 TOKYOから発信	世界舞踊祭出版委員会：星海舟	不昧堂出版	769
803	9784764415898	世界を歩こう：草の根の国際交流	宮下充正：川内基裕	杏林書院	
804	9784583110943	世界一受けたいサッカーの授業	ミケル・エチャリ：岡崎篤	ベースボール・マガジン社	783.47
805	9784416715093	世界最強ドイツサッカーに学ぶサッカートレーニング術：ゲームに勝つための想像力、素早い状況判断、攻守の切	マヌエル・ラウルセン	誠文堂新光社	783.47
806	9784583108872	世界初の相撲の技術の教科書：相撲観戦が10倍楽しくなる！！	桑森真介	ベースボール・マガジン社	788.1
807	9784405086876	正しく歩けばテニスは劇的にうまくなる！	井上正之	新星出版社	783.5
808	9784864130745	正岡子規と明治のベースボール	岡野進	創文企画	911.36
809	9784902109405	生涯スポーツと運動の科学	佗美靖：花井篤子	市村出版	780
810	9784787821171	生活習慣病と健康管理：100歳を元気に生きるために	斎藤征夫：柏原征子	診断と治療社	493.18
811	9784416616420	生死を分ける、山の遭難回避術：実例に学ぶリスク対策の基礎知識	羽根田治	誠文堂新光社	786.1
812	9784759817027	生理学	須田和裕：石渡貴之	化学同人	491.3
813	9784830602283	生理学問題集：CBT準拠	日本生理学会	文光堂	491.3
814	9784915944598	青少年のスポーツライフ・データ：10代のスポーツライフに関する調査報告書。2015		笹川スポーツ財団	780.59
815	9784759921106	青年期の運動行動を規定する要因とメンタルヘルスとの関係	清水安夫	風間書房	780.14
816	9784862553218	静学スタイル：独創力を引き出す情熱的指導術	井田勝通	カンゼン	783.47
817	9784583111339	石井直方の筋肉の科学：ハンディ版	石井直方	ベースボール・マガジン社	491.363
818	9784583110226	石川雅規のピッチングバイブル	石川雅規	ベースボール・マガジン社	783.7

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
819	9784623081424	脊柱管狭窄症をトレーニングで治す：未来のための「腰再生」	稲葉晃子	ミネルヴァ書房	494.66
820	9784905168492	脊柱疾患のリハビリテーションの科学的基礎	福林徹；金岡恒治	ナッブ	494.66
821	9784807305902	雪に耐えて梅花潔し：フランス柔道の父・粟津正蔵と天理教二代真柱・中山正	永尾教昭	天理教道友社	789.2
822	9784877338961	戦後体育学習指導資料集、第1巻	岡出美則	クレス出版	375.49
823	9784877338978	戦後体育学習指導資料集、第2巻	岡出美則	クレス出版	375.49
824	9784877338985	戦後体育学習指導資料集、第3巻	岡出美則	クレス出版	375.49
825	9784877338992	戦後体育学習指導資料集、第4巻	岡出美則	クレス出版	375.49
826	9784877339005	戦後体育学習指導資料集、第5巻	岡出美則	クレス出版	375.49
827	9784877339012	戦後体育学習指導資料集、第6巻	岡出美則	クレス出版	375.49
828	9784877339029	戦後体育学習指導資料集、第7巻	岡出美則	クレス出版	375.49
829	9784877339616	戦後体育実践資料集（全4巻セット）	岡出美則	クレス出版	
830	9784862554093	戦術の教科書：サッカーの進化を読み解く思想史	ジョンソン・ウィルソン；田邊雅之	カンゼン	783.47
831	9784779120206	戦前外地の高校野球：台湾・朝鮮・満洲に花開いた球児たちの夢	川西玲子	彩流社	783.7
832	9784583109862	戦闘帽の野球：背番号なし	山室寛之	ベースボール・マガジン社	783.7
833	9784469267945	戦略脳を育てる：テニス・グランドスラムへの翼	柏井正樹	大修館書店	783.5
834	9784809414756	選ばれし者への挑戦状	ヘス・スアレス；小宮良之	東邦出版	783.47
835	9784884583521	選手に寄り添うコーチング	八ツ橋賢子	体育とスポーツ出版社	780.7
836	9784768458006	全国野球場巡り：877カ所訪問観戦記	斉藤振一郎	現代書館	783.7
837	9784884582951	全日本剣道選手権者の稽古	「剣道時代」編集部	体育とスポーツ出版社	789.3
838	9784583110363	禅テニス：ゾーンに入ってプレーする法	ジョセフ・ペアレント；ビル・スキャンロン	ベースボール・マガジン社	783.5
839	9784062184885	早稲田ラグビー誇りをかけて	日比野弘	講談社	783.48
840	9784861526329	相撲見物：バイリンガルで楽しむ日本文化	伊藤勝治；デビッド・シャピロ	青幻舎	788.1
841	9784839961657	走らないランニング・トレーニング	青山剛	マイナビ出版	782.3
842	9784771026926	走ることは、生きること：五輪金メダリスト ジェシー・オーエンスの物語	ジェフ・バーリンゲーム；古川哲史	晃洋書房	782.3
843	9784830651809	走動作のファンクショナルトレーニング：機能改善と障害予防のためのパフォーマンストレーニング	中村千秋；角勝義	文光堂	782.3
844	9784583109459	即心館「弓道講義」：弓射に現れやすい欠陥とその矯正	張替謙一	ベースボール・マガジン社	789.5
845	9784526070938	足と靴の科学：おもしろサイエンス	アシックススポーツ工学研究所；西脇剛史	日刊工業新聞社	589.25
846	9784800313034	速くなる！栗村修のロードバイク「輪」生相談	栗村修	洋泉社	786.5
847	9784413112055	速さと持久力が一気に手に入る走り方：やってはいけないランニング	鈴木清和	青春出版社	782.3
848	9784771028807	多角化視点で学ぶオリンピック・パラリンピック	相原正道	晃洋書房	780.69
849	9784434221675	太極拳の奥義・真諦	顧正瑞	ブイツーソリューション(発売：星雲社)	789.2
850	9784393713945	太極拳養生法	帯津良一；趙耀輝	春秋社	498.3
851	9784434235054	太極拳理論の要諦：王宗岳と武禹襄の理論文章を学ぶ	銭育才	武道ユニオンフルコンタクトKARATEマ(発売：星雲社)	789.2
852	9784408454818	打者を追い込む投球術がよくわかる野球配球の極意：ピッチングの幅を広げて、試合に強くなる！	全国野球技術研究会	実業之日本社	783.7
853	9784810521306	体育・スポーツ・武術の歴史にみる「中央」と「周縁」：国家・地方・国際交流	藤井雅人；ビットマン・ハイク	道知書院	
854	9784874923184	体育・スポーツ教本 改訂新版	日本大学	アイ・ケイコーポレーション	780
855	9784810521245	体育・スポーツ史にみる戦前と戦後	真田久；新井博（スポーツ史）	道知書院	780.2
856	9784902109399	体育・スポーツ史概論	木村吉次	市村出版	
857	9784902109320	体育・スポーツ指導者と学生のためのスポーツ栄養学	田口素子；樋口満	市村出版	780.19
858	9784877339838	体育・スポーツ書集成第1回戦後保健体育指導書（全7巻セット）	民和文庫研究会	クレス出版	
859	9784877339890	体育・スポーツ書集成第2回戦後学校武道指導書（全5巻セット）	民和文庫研究会	クレス出版	
860	9784829305027	体育・スポーツ活の探求	岡田猛	不昧堂出版	780.4
861	9784797286120	体育・部活のリスクマネジメント	小笠原正；諏訪伸夫	信山社出版	374.9
862	9784871685559	体育・部活動指導の基本原則：スポーツ基本法の理念を活かす	入澤充；櫻田淳也	エイデル研究所	375.49
863	9784864130783	体育で学校を変えたい：中学校保健体育授業の創造	小山吉明	創文企画	375.493
864	9784469267778	体育における「学びの共同体」の実践と探究	岡野昇；佐藤学	大修館書店	375.49
865	9784469268003	体育における「学び合い」の理論と実践	梅澤秋久	大修館書店	375.49
866	9784864130615	体育のカリキュラム開発方法論	丸山真司	創文企画	375.49

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
867	9784863590847	体育科教育	松田恵示：鈴木秀人	一藝社	375.49
868	9784901933391	体育科教育における教材論	岩田靖	明和出版	375.49
869	9784762026713	体育教師の学びと成長：信念と経験の相互影響関係に関する実証研究	朝倉雅史	学文社	375.49
870	9784805838570	体育指導アラカルト：気になる子どものできた！が増える	笹田哲	中央法規出版	375.492
871	9784864130653	体育授業を学び続ける：教師の成長物語	木原成一郎：徳永隆治	創文企画	375.49
872	9784023331075	体幹×呼吸トレーニング：呼吸から体のコアを変える！	朝日新聞出版：村上貴弘	朝日新聞出版	780.7
873	9784773087994	体幹トレーニングだけではタイムは削れない！：すべてのランナーへ	白取秀司	笠倉出版社	782.3
874	9784635510400	体験的登山技術論：脱初心者のための実践アドバイス	澤田実	山と溪谷社	786.1
875	9784829305058	体操の近代日本史	木下秀明	不昧堂出版	781.021
876	9784524266838	体表からわかる人体解剖学	リチャード・タンストール：ネハル・シャ	南江堂	491.1
877	9784469267815	体カトレーニングの理論と実際	大阪体育大学	大修館書店	780.7
878	9784908655043	対岸へ。：オーシャンスイム史上最大の挑戦	ダイアナ・ナイアド：菅しおり	三賢社	785.2
879	9784761923716	対話でつくる教科外の体育：学校の体育・スポーツ活動を学び直す	神谷拓	学事出版	375.18
880	9784309275512	代打の神様：ただひと振りに生きる	沢宮優	河出書房新社	783.7
881	9784816925450	大学駅伝記録事典：箱根・出雲・伊勢路	三浦健	日外アソシエーツ(発売：紀伊國屋書店日外アソ)	782.3
882	9784469268171	大学生のスポーツと健康生活	福岡大学スポーツ科学部	大修館書店	
883	9784810521320	大学生のための「健康」論：健康・運動・スポーツの基礎知識	電気通信大学健康・スポーツ科学部会	道知書院	
884	9784810521269	大学生の健康・スポーツ科学	大学生の健康・スポーツ科学研究会	道知書院	780.1
885	9784768457917	大相撲の道具ばなし	坂本俊夫	現代書館	788.1
886	9784881253076	大相撲行司の房色と賞罰	根間弘海	専修大学出版局	788.1
887	9784487809387	大相撲手帳	杉山邦博	東京書籍	788.1
888	9784864130530	大相撲裏面史：明治・大正期の八百長	西村秀樹	創文企画	788.1
889	9784881253168	大相撲立行事の軍配と空位	根間弘海	専修大学出版局	788.1
890	9784486037811	大島鎌吉の東京オリンピック	岡邦行	東海教育研究所(発売：東海大学出版部)	780.69
891	9784817060181	武術の極み、合気を求めて大東流合気柔術を解く：武術の極み、合気を求めて	浅原勝	日貿出版社	789.2
892	9784537214925	卓球の新しい教科書：試合に勝てる！基本テクニックから戦術まで実践に役	近藤欽司	日本文芸社	783.6
893	9784901638500	卓球ビギナーズバイブル：ゼロから始める卓球入門	卓球王国	卓球王国	783.6
894	9784583110479	卓球回転を極める	村瀬勇吉	ベースボール・マガジン社	783.6
895	9784469268157	卓球基礎コーチング教本	日本卓球協会	大修館書店	783.6
896	9784583110417	卓球宮崎義仁式最新ドリル：身になる練習法	宮崎義仁	ベースボール・マガジン社	783.6
897	9784583108315	卓球渡辺勝男式多球練習：差がつく練習法	渡辺勝男	ベースボール・マガジン社	783.6
898	9784262163796	卓球練習メニュー 200：打ち方と戦術の基本	宮崎義仁	池田書店(新宿区)	783.6
899	9784062197793	誰でもいつでも速くなる！ランナーのための体幹スイッチ100	金哲彦	講談社	782.3
900	9784180932108	団体演技でみんなが輝く！「フラッグ運動」絶対成功の指導BOOK	関西体育授業研究会	明治図書出版	375.49
901	9784583109619	知ってる？テニス：基本技術、戦術からマナーまで！子どもたちが楽しく学	竹内映二	ベースボール・マガジン社	K783
902	9784583109510	知ってる？バレーボール：クイズでスポーツがうまくなる	熊田康則	ベースボール・マガジン社	K783
903	9784583109503	知ってる？ミニバスケットボール：クイズでスポーツがうまくなる	鈴木良和：加賀屋圭子	ベースボール・マガジン社	K783
904	9784583109589	知ってる？水泳：泳ぎ方のコツもレースの知識もクイズに答えてよわか	村上二美也	ベースボール・マガジン社	K785
905	9784871685948	知の饗宴としてのオリンピック	石堂典秀：大友昌子	エイデル研究所	780.69
906	9784491032696	知的障害児・者のスポーツ	全国特別支援学校知的障害教育校長会：丹野哲也	東洋館出版社	378.6
907	9784862551603	地域スポーツクラブの“法人格”を取得しよう！：理想のクラブ運営ガイド	谷塚哲	カンゼン	780.6
908	9784810521290	地域生活からみたスポーツの可能性：暮らしとスポーツの社会学	後藤貴浩	道知書院	780.13
909	9784810521337	中学・高校陸上競技の学習指導：「わかって・できる」指導の工夫	小木曾一之：清水茂幸	道知書院	375.493
910	9784583108063	中高生のためのサッカー・ボディ革命	中嶋慧	ベースボール・マガジン社	783.47
911	9784583106137	中国太極拳事典	余功保：橋逸郎	ベースボール・マガジン社	789.2
912	9784908055096	中国武術秘訣：太極拳・君子の武道	清水豊	ピング・ネット・プレス	789
913	9784750515021	中南米野球はなぜ強いのか	中島大輔	亜紀書房	783.7

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
914	9784152095725	超人の秘密：エクストリームスポーツとフロー体験	ステイヴン・コトラー：熊谷玲美	早川書房	780.14
915	9784415321868	超入門ラグビーのみかた	李淳いる：林雅人	成美堂出版	783.48
916	97844487807536	頂きへ、そしてその先へ	竹内洋岳【著】	東京書籍	786.1
917	9784779124341	追憶の日米野球：日本プロ野球誕生前夜	中西満真典	彩流社	783.7
918	9784839963163	痛み・鎮痛のしくみ：オールカラー	橋口さおり	マイナビ出版	493.1
919	9784528011489	鍋木毅トレイルランニングトレーニングBOOK	鍋木毅	日東書院本社	782.3
920	9784041039823	鉄骨クラブの偉人：オリンピック人を育てた街の体操指導者・城間晃	浅沢英	KADOKAWA	781.5
921	9784524267729	転倒予防のための運動機能向上トレーニングマニュアル	植松光俊：下野俊哉	南江堂	493.18
922	9784434221668	電気技術者が解く最速走法コアスプリントメソッド、実践編	流田康一：徳浪慶恵	ブイツーソリューション(発売：星雲社)	782.3
923	9784808310134	登山の運動生理学とトレーニング学	山本正嘉	東京新聞出版部	786.1
924	9784635176125	登山白書：山で死んではいけない。2017	ヤマケイ登山総合研究所	山と溪谷社	786.1
925	9784788514690	都市に刻む軌跡：スケートボーダーのエスノグラフィー	田中研之輔	新曜社	367.6
926	9784487809172	土井雪広の世界で戦うためのロードバイク・トレーニング	土井雪広	東京書籍	788.6
927	9784817060136	土佐英信流居合	福留麒六：宮本知次	日貿出版社	789.3
928	9784812495964	土壇場力：悔しさと憧れが無限の力を生み出す	井端弘和	竹書房	783.7
929	9784560095423	土俵の群像	岩崎友太郎	白水社	788.1
930	9784758313681	投球障害肩こう診てこう治せ：ここが我々の切り口！	筒井広明：山口光国	メジカルビュー社	494.77
931	9784864876926	東京パラリンピック六ヶ国語用語辞典：日英独仏露西。6	本多英男	三恵社(発売：JRC)	780.69
932	9784396615437	東大と野球部と私：勝つために大切なことは何か	桑田真澄	祥伝社	783.7
933	9784416315286	頭脳で走るロングライドの実践術：センリヤクの長距離サイクリングの極意50か条	田村浩	誠文堂新光社	786.5
934	9784758315784	頭頸部・体幹のスポーツ外傷	永廣信治：西良浩一	メジカルビュー社	780.19
935	9784469267914	動きを直せば心は変わる：メンタルトレーニングの新しいアプローチ	徳永幹雄	大修館書店	780.14
936	9784583108636	動く骨。手眼足編	栢野忠夫	ベースボール・マガジン社	780.19
937	9784180981113	導入5分が授業を決める！「準備運動」絶対成功の指導BOOK	関西体育授業研究会	明治図書出版	375.49
938	9784087807936	徳は孤ならず：日本サッカーの育将今西和男	木村元彦	集英社	783.47
939	9784469267860	特別支援教育時代の体育・スポーツ：動きを引き出す教材80	後藤邦夫	大修館書店	378
940	9784809413650	突破！リッチー・マコウ自伝	リッチー・マコウ：グレッグ・マクギー	東邦出版	783.48
941	9784583110721	軟式野球ビルドアップ式強化ドリル	丸山王明	ベースボール・マガジン社	783.7
942	9784635043519	難所の歩き方	谷山宏典	山と溪谷社	786.1
943	9784829304983	二階堂を築立った娘たち：戦前オリンピック選手編	勝場勝子：村山茂代	不昧堂出版	780.28
944	9784163764405	日の丸女子バレー：ニッポンはなぜ強いのか	吉井妙子	文藝春秋	783.2
945	9784787234186	日韓「剣道」：KENDOとKUMDOの相克と未来	小田佳子	青弓社	789.3
946	9784780419009	日大式で差がつく！陸上競技投てき種目トレーニング：砲丸投げ・やり投げ・円盤投げ・ハンマー投げ	小山裕三	メイツ出版	782.5
947	9784762025570	日米体育交流に関する実証的研究：アマースト方式の導入と日本近代体育の成立	大櫃敬史	学文社	780.21
948	9784829506042	日米野球の架け橋：鈴木惣太郎の人生と正力松太郎	波多野勝	芙蓉書房出版	783.7
949	9784780306569	日本のスポーツ界は暴力を克服できるか	森川貞夫	かもがわ出版	780.21
950	9784753226542	日本のワクチン：開発と品質管理の歴史的検証	倉根一郎：山崎修道	医薬ジャーナル社	499.1
951	9784895226677	日本の自動車レース史 多摩川スピードウェイを中心として	杉浦孝彦	三樹書房	788.6
952	9784863273023	日本の都市YMCAにおけるスポーツの普及と展開：大正期から昭和期（戦前）を中心としたYMCAの「体	服部宏治	溪水社（広島）	780.21
953	9784120049408	日本フィギュアスケートの軌跡：伊藤みどりから羽生結弦まで	宇都宮直子	中央公論新社	784.6
954	9784583110011	日本ラグビーヒーロー列伝：歴史に残る日本ラグビー名選手	ベースボール・マガジン社	ベースボール・マガジン社	783.48
955	9784583110004	日本ラグビー心に残る名勝負：歴史に残る日本ラグビー激闘史	ベースボール・マガジン社	ベースボール・マガジン社	783.48
956	9784583109961	日本ラグビー論	岩淵健輔	ベースボール・マガジン社	783.48
957	9784434195167	日本柔道界の実態とその再興試案：近現代史から検証する	西村光史	エスアイビー・アクセス(発売：星雲社)	789.2
958	9784809414220	日本人に教えたい戦術的ピリオダイゼーション入門	ティモ・ヤンコフスキ：フットボールウィークリー編集部	東邦出版	783.47
959	9784582610048	日本武道と東洋思想	寒川恒夫	平凡社	789
960	9784583109749	日本野球を売り込め！：元世界一投手のニュージランドからの挑戦	清水直行	ベースボール・マガジン社	783.7

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
961	9784062806619	乳酸を活かしたスポーツトレーニング	八田秀雄	講談社	780.193
962	9784492223406	入門スポーツガバナンス：基本的な知識と考え方	公益財団法人笹川スポーツ財団【編】	東洋経済新報社	780.6
963	9784764405332	熱中症の現状と予防：さまざまな分野から予防対策を見つけ出す	澤田晋一；三宅康史	杏林書院	493.19
964	9784884584023	年齢とともに伸びていく剣道：心身融合への剣の巧みさを求めて	林邦夫	体育とスポーツ出版社	789.3
965	9784839958534	脳・神経のしくみ：オールカラー	石浦章一	マイナビ出版	491.371
966	9784884584030	脳を活性化させる剣道：免疫力学力向上・老化予防	湯村正仁	体育とスポーツ出版社	789.3
967	9784777815050	敗者たちのツール・ド・フランス：ランタン・ルージュ	マックス・レオナルド；安達真弓	辰巳出版	788.6
968	9784062195645	白紙からの選択	遠藤保仁	講談社	783.47
969	9784583106526	箱根駅伝コトバ学	生島淳	ベースボール・マガジン社	782.3
970	9784862553263	箱根駅伝監督：人とチームを育てる、勝利のマネジメント術	酒井政人	カンゼン	782.3
971	9784877584672	批判的スポーツ社会学の論理：その神話と犯罪性をつく	影山健；自由すば一つ研究所	ゆいぼと(発売：KTC中央出版)	780.13
972	9784882829379	美しく強いからだ：ドライエのANATOMY	フレデリック・ドライエ；ジャン・ピエール・クレマンソー	ガイアブックス	595
973	9784062205863	必ず、愛は勝つ！：車イスサッカー監督羽中田昌の挑戦	戸塚啓	講談社	783.47
974	9784758111768	必ず診療に役立つスポーツ傷害の画像診断：スポーツ傷害ならではの診断・撮影の基本と読影のポイ	帖佐悦男	羊土社	780.19
975	9784307470445	必携・衛生試験法	日本薬学会	金原出版	498.15
976	9784048120050	百獣繚乱－フィギュアスケート日本男子－：ソチからピョンチャンへ	青嶋ひろの	ブックウォーカー(発売：KADOKAWA)	784.6
977	9784260024730	標準解剖学	坂井建雄	医学書院	
978	9784260017817	標準生理学	本間研一；小澤瀨司	医学書院	491.3
979	9784583109398	表現スポーツのコンディショニング：強くなるコアトレ。新体操・フィギュアスケート・バ	有吉与志恵；秋山エリカ	ベースボール・マガジン社	781
980	9784635510325	富士山1周レースができるまで：ウルトラトレイル・マウントフジの舞台裏	鍋木毅；福田六花	山と溪谷社	782.3
981	9784901638494	負ける人は無駄な練習をする：卓球王者のメンタリティー	水谷隼	卓球王国	783.6
982	9784862209856	武術の“根理”：何をやってもうまくいく、とっておきの秘訣	中野由哲	BABジャパン	789
983	9784866160375	武術家、身・心・霊を行ず：ユング心理学からみた極限体験・殺傷のなかの救済	老松克博	遠見書房	789
984	9784780419177	部活で差がつく！勝つバドミントン最強のコツ50	名倉康弘	メイツ出版	783.59
985	9784780418491	部活で差がつく！勝つバレーボール上達のポイント60	小川良樹	メイツ出版	783.2
986	9784406061759	部活動って何だろう？：ここから変えよう	しんぶん赤旗「部活って何」取材班	新日本出版社	375.18
987	9784894768826	部活動の不思議を語り合おう	長沼豊	ひつじ書房	375.18
988	9784792333614	文化条例政策とスポーツ条例政策	吉田勝光；吉田隆之	成文堂	
989	9784408337197	壁を越えろ：走り続ける才能たち	安藤隆人	実業之日本社	783.47
990	9784163901336	変えていく勇気：日本代表であり続けられる理由	遠藤保仁	文藝春秋	783.47
991	9784583109046	変幻ダブル完全マスター：ダブルの極意	松井大輔	ベースボール・マガジン社	783.47
992	9784469268201	保健科教育法入門	日本保健科教育学会	大修館書店	375.49
993	9784827815450	保健体育を教える人のために	奈良教育大学	東山書房	
994	9784120048180	補欠選手はなぜ金メダルを取れたのか：いつでも「いい仕事」をするための思考法	五十嵐久人	中央公論新社	781.5
995	9784396615666	放送席から見たサッカー日本代表の進化論	山本浩	祥伝社	783.47
996	9784798913841	暴走するアメリカ大学スポーツの経済学	宮田由紀夫	東信堂	780.253
997	9784583110967	北島康介トレーニング・クロニクル	北島康介；小泉圭介	ベースボール・マガジン社	785.2
998	9784487810673	僕のシロ・デ・イタリア	山本元喜	東京書籍	788.6
999	9784809413049	本格ドリブラー養成講座：プロでも間違え「ドリブル」の基本	前園真聖	東邦出版	783.47
1000	9784583108933	本当の基本が身につく軟式野球入門。守備編	塩田充夫	ベースボール・マガジン社	783.7
1001	9784583108940	本当の基本が身につく軟式野球入門。走塁・戦術編	塩田充夫	ベースボール・マガジン社	783.7
1002	9784583108209	本当の基本が身につく軟式野球入門。打撃編	塩田充夫	ベースボール・マガジン社	783.7
1003	9784583108926	本当の基本が身につく軟式野球入門。投手編	塩田充夫	ベースボール・マガジン社	783.7
1004	9784583109497	本当は、死ぬまで野球選手でいたかった：えのきどいちろうの球界達人対談	えのきどいちろう	ベースボール・マガジン社	783.7
1005	9784884582494	本番で差がつく剣道のメンタル強化法	矢野宏光	体育とスポーツ出版社	789.3
1006	9784406059251	民舞に恋して：民俗舞踊を子どもたちに	園田洋一；東京民族舞踊教育研究会	新日本出版社	375.49
1007	9784794809797	夢をかなえる障害者アスリート：25%の機能を100%活かす	T E - D E マラソン実行委員会；永野明	新評論	782.3

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
1008	9784907239251	無冠、されど至強：東京朝鮮高校サッカー部と金明植の時代	木村元彦	ころから(発売：トランスビュー)	
1009	9784884582746	名手直伝剣道上達講座. 1	「剣道時代」編集部	体育とスポーツ出版社	789.3
1010	9784884582753	名手直伝剣道上達講座. 2	「剣道時代」編集部	体育とスポーツ出版社	789.3
1011	9784635510257	明解日本登山史：エピソードで読む日本人の登山	布川欣一	山と溪谷社	786.1
1012	9784583110646	明日に向かって：病気に負けず、自分の道を究めた星奈津美のバタフライ	田坂友暁	ベースボール・マガジン社	785.2
1013	9784087807486	明日へのタックル！	吉田沙保里	集英社	788.2
1014	9784865120561	目からウロコの個人技術：ハンドボール	スポーツイベント	グローバル教育出版	
1015	9784262166346	野球 21世紀根性論：「もう一伸び」を作る心の強化法	高畑好秀	池田書店（新宿区）	783.7
1016	9784839957896	野球あるあるメンタル練習法：心を強くすれば必ず野球がうまくなる！	高畑好秀	マイナビ出版	783.7
1017	9784583110455	野球アンダー・スロー	渡辺俊介	ベースボール・マガジン社	783.7
1018	9784583109404	野球がうまくなるヨガトレ！：野球×ヨガ	小林佳子	ベースボール・マガジン社	783.7
1019	9784884582685	野球こんなときどうする？：自分でできるメンタル調整法	高畑好秀	体育とスポーツ出版社	783.7
1020	9784779170843	野球と実況中継	楠淳生：中村健二	彩流社	783.7
1021	9784771027053	野球における暴力の倫理学	大峰光博	晃洋書房	783.7
1022	9784774514178	野球に革命を起こすバッティング理論：筑波大学で誕生したスイング理論の進化	安藤秀	現代書林	783.7
1023	9784583110981	野球のきほん：子どものやる気と技術をのばすコーチング	清水隆一	ベースボール・マガジン社	783.7
1024	9784583111087	野球のコンディショニング：強くなるコアトレ	有吉与志恵：牧野講平	ベースボール・マガジン社	783.7
1025	9784830651847	野球の医学	菅谷啓之：能勢康史	文光堂	783.7
1026	9784415322704	野球バッティング塾	蓬萊昭彦：山本葉介	成美堂出版	K783
1027	9784583111049	野球規則を正しく理解するための野球審判員マニュアル：規則適用上の解釈について	全日本野球協会・アマチュア野球規則委員会	ベースボール・マガジン社	783.7
1028	9784583108483	野球強打者になるバッティングドリル：差がつく練習法	齋藤正直	ベースボール・マガジン社	783.7
1029	9784791623488	野球肩・ひじ・腰を治す：野球障害で泣かない！	石橋秀幸：橋本健史	西東社	783.7
1030	9784903707723	野球指導者バイブル	遠藤友彦	エイチエス	783.7
1031	9784583108391	野球試合で生きる守備・走塁ドリル：差がつく練習法	西正文	ベースボール・マガジン社	783.7
1032	9784583109756	野球守備の教科書：守備率10割をめざせ！	久慈照嘉	ベースボール・マガジン社	783.7
1033	9784415321615	野球守備フォーメーション：守備位置のセオリーとスキのない動き方を徹底図解	菊池壮光	成美堂出版	783.7
1034	9784583108445	野球想像力を育てる捕手ドリル：差がつく練習法	中島彰一	ベースボール・マガジン社	783.7
1035	9784393312858	野口体操からだに貞く	野口三千三	春秋社	781
1036	9784478024782	野生の教育論：闘争心と教養をどう磨くか	野村克也	ダイヤモンド社	783.7
1037	9784523265573	柳田美幸の楽しい女子サッカー	柳田美幸	南雲堂	783.47
1038	9784864294270	幼児体育。理論編	日本幼児体育学会：前橋明	大学教育出版	376.157
1039	9784864293907	幼児体育：理論と実践。初級	日本幼児体育学会：前橋明	大学教育出版	376.157
1040	9784864294348	幼児体育実技編	前橋明	大学教育出版	
1041	9784864293785	幼児体育用語辞典	前橋明：日本幼児体育学会	大学教育出版	376.157
1042	9784903553535	要説スポーツ歯科医学	石上恵一：上野俊明	医学情報社	780.19
1043	9784319002931	裸足で学ぶピッチサッカーの教育力：ピッチサッカーの魅力とその学校教育の可能性	笹澤吉明	協同出版	783.47
1044	9784478103081	落合博満アドバイス：指導者に明かす野球の本質	落合博満	ダイヤモンド社	783.7
1045	9784478061916	落合博満バッティングの理屈：三冠王が考え抜いた「野球の基本」	落合博満	ダイヤモンド社	783.7
1046	9784583111025	陸上競技審判ハンドブック. 2017-2018年度版		日本陸上競技連盟(発売：ベースボール・マガジン)	782
1047	9784817060082	琉球王家秘伝本部流御殿武術入門：本部御殿手・本部拳法	池田守利	日貿出版社	789
1048	9784882829645	療法士のための体表解剖学：800枚以上の人体写真に、骨、筋、血管等、内部が見	ベルンハルト・ライヒャルト：池田美紀	ガイアブックス	491.1
1049	9784810521252	臨床スポーツ心理学：アスリートのメンタルサポート	中込四郎	道和本書院	780.14
1050	9784895928380	臨床のための解剖学	キース・L. ムア：アーサー・F. タリー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	491.1
1051	9784263731512	臨床神経解剖学	M. J. T. フィッツジェラルド：グレゴリー・グルー・エナー	エルゼビア・ジャパン(発売：医歯薬出版)	491.17
1052	9784414401004	臨床動作法：心理療法、動作訓練、教育、健康、スポーツ、高齢者	成瀬悟策	誠信書房	146.8
1053	9784583111247	鈴木尚広の走塁バイブル	鈴木尚広	ベースボール・マガジン社	783.7
1054	9784777819799	鈴木尚広式体軸トレーニング：運動センスが劇的にUPする	鈴木尚広：岩館正了	辰巳出版	780.7
1055	9784816927065	健康寿命を延ばす1000冊：リハビリのプロがすすめる	結城俊也：坂本宗樹	日外アソシエーツ(発売：紀伊國屋書店日外アソ)	

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
1056	9784890134830	カラースポーツ・運動栄養学大事典：健康生活・医療に役立つ	ウィリアム・マッカードル：フランク・カツチ	西村書店（新潟）	
1057	9784524277735	スポーツ傷害の予防・診断・治療	「整形外科」編集委員会：安達伸生	南江堂	
1058	9784866700199	体育・スポーツ書集成第3回国民体力向上関係書、第8巻	民和文庫研究会	クレス出版	
1059	9784866700182	体育・スポーツ書集成第3回国民体力向上関係書、第7巻	民和文庫研究会	クレス出版	
1060	9784866700175	体育・スポーツ書集成第3回国民体力向上関係書、第6巻	民和文庫研究会	クレス出版	
1061	9784866700168	体育・スポーツ書集成第3回国民体力向上関係書、第5巻	民和文庫研究会	クレス出版	
1062	9784866700151	体育・スポーツ書集成第3回国民体力向上関係書、第4巻	民和文庫研究会	クレス出版	
1063	9784866700144	体育・スポーツ書集成第3回国民体力向上関係書、第3巻	民和文庫研究会	クレス出版	
1064	9784866700137	体育・スポーツ書集成第3回国民体力向上関係書、第2巻	民和文庫研究会	クレス出版	
1065	9784866700120	体育・スポーツ書集成第3回国民体力向上関係書、第1巻	民和文庫研究会	クレス出版	

駿河台大学 教育実習施設一覧

令和元（2019）年7月4日

No.	学校名	学校種	〒	住所	学級数	生徒数	教員数	教育実習（保健体育） 受入可能人数
1	埼玉県飯能市飯能第一中学校	中学校	357-0021	飯能市双柳1-1	17	533	32	2
2	埼玉県飯能市南高麗中学校	中学校	357-0054	飯能市下直竹1061	3	27	9	1
3	埼玉県飯能市吾野中学校	中学校	357-0203	飯能市長沢73-1	3	53	10	1
4	埼玉県飯能市原市場中学校	中学校	357-0124	飯能市原市場646	7	133	15	1
5	埼玉県飯能市飯能西中学校	中学校	357-0063	飯能市飯能287	11	354	21	2
6	埼玉県飯能市加治中学校	中学校	357-0046	飯能市阿須164-1	14	396	25	2
7	埼玉県飯能市美杉台中学校	中学校	357-0041	飯能市美杉台5-3	9	233	17	2
8	埼玉県飯能市名栗中学校	中学校	357-0111	飯能市上名栗2833	3	21	9	1
9	東野高等学校	高等学校	358-8558	埼玉県入間市二本木112-1	33	1106	55	4
10	埼玉平成高等学校	高等学校	350-0434	埼玉県入間郡毛呂山町市場333-1	30	857	90	4
11	聖望学園高等学校	高等学校	357-0006	埼玉県飯能市中山292	33	1020	48	4
12	大川学園高等学校	高等学校	357-0038	埼玉県飯能市下加治345	6	269	13	4

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
575	9784862554222	技術解体新書：サッカーの技術を言葉で再定義する	風間八宏：西部謙司	カンゼン	783.47
576	9784491033822	義足のアスリート山本篤	鈴木祐子	東洋館出版社	782
577	9784528021068	宮澤崇史の頭脳で勝利に近づく！プロのロードレーステクニック	宮澤崇史	日東書院本社	788.6
578	9784528020511	宮澤崇史の理論でカラダを速くするプロのロードバイクトレーニング	宮澤崇史	日東書院本社	788.6
579	9784408456065	弓道基本と上達法	福呂淳：加瀬洋光	実業之日本社	789.5
580	9784861632624	弓道教室講話	池沢幹彦	東北大学出版会	789.5
581	9784830645600	急性期治療とその技法	片寄正樹：小林寛和	文光堂	780.19
582	9784884582845	究極のトレーニングバイブル：肉体と精神	小川淳：日本ハイインテンシティトレーニング協会	体育とスポーツ出版社	780.7
583	9784093798808	牛を飼う球団	喜瀬雅則	小学館	783.7
584	9784810521238	競技者のキャリア形成史に関する社会学的研究：サッカーエリートの困難と再生のプロセス	吉田毅	道和書院	783.47
585	9784830651816	競技種目特性からみたリハビリテーションとリコンディショニング：リスクマネジメントに基づいたアプローチ	山本利春	文光堂	780.19
586	9784863101555	強い組織をつくる上田昭夫のプライド	大元よしき	ウエッジ	783.48
587	9784182050275	教師のためのスポーツコーチング入門：部活動指導が必ずうまくいく！	東根明人	明治図書出版	375.18
588	9784469267976	教養としての体育原理：現代の体育・スポーツを考えるために	友添秀則：岡出美則	大修館書店	780.1
589	9784583108797	曲げるボウリング：回転数を上げてスコアアップ！	渡邊航明	ベースボール・マガジン社	783.9
590	9784583109695	極真空手50年の全技術：技の進化を知ることで、強くなるための方法が見えてく	山田雅稔	ベースボール・マガジン社	789.2
591	9784775314623	錦織圭に学ぶテニス勝ちにくい教科書	児玉光雄（心理評論家）	新紀元社	783.5
592	9784583110202	筋トレマニア筋トレ用語事典	有賀誠司	ベースボール・マガジン社	780.7
593	9784839948078	筋と骨格の触診術の基本：オールカラー	藤縄理	マイナビ出版	491.169
594	9784816360695	筋肉と関節の機能解剖パーフェクト事典	左明：山口典孝	ナツメ社	491.169
595	9784583111117	筋肥大マッドハンド版：筋肉に手を加えることで理想のカラダは手に入る	岡田隆	ベースボール・マガジン社	780.7
596	9784902109436	筋力発揮の脳・神経科学：その基礎から臨床まで	大築立志：鈴木三央	市村出版	
597	9784877373641	近代女子高等教育機関における体育・スポーツの原風景：成瀬仁蔵の思想と日本女子大学校に原型をもとめて	馬場哲雄	翰林書房	780.21
598	9784827331226	近代日本・朝鮮とスポーツ：支配と抵抗、そして協力へ	金誠	塙書房	780.21
599	9784864050524	近代日本の身体表象：演じる身体・競う身体	瀬戸邦弘：杉山千鶴	森話社	386.8
600	9784469268133	近代日本を創った身体	寒川恒夫	大修館書店	780.21
601	9784657157089	近代武道・合気道の形成：「合気」の技術と思想	工藤龍太	早稲田大学出版部	789.2
602	9784267021176	金栗四三：消えたオリンピック走者	佐山和夫	潮出版社	782.3
603	9784583108995	金子千尋の変化球バイブル	週刊ベースボール編集部：金子千尋	ベースボール・マガジン社	783.7
604	9784788515147	空間紛争としての持続的スポーツリズム：持続的開発が語らない地域の生活誌	村田周祐	新曜社	689.21
605	9784809413872	君はひとりじゃない：スティーヴン・ジェラード自伝	スティーヴン・ジェラード：小林玲子	東邦出版	783.47
606	9784787220622	軍隊とスポーツの近代	高嶋航	青弓社	392.1
607	9784892597275	経済・環境・スポーツの正義を考える	尼寺義弘：牧野広義	文理閣	331
608	9784864293204	芸術・スポーツ文化学研究	北海道教育大学岩見沢校	大学教育出版	701
609	9784408455877	結果を出すための「合わせる」技術：Ogimi Method	大儀見優季	実業之日本社	783.47
610	9784764411753	健康・スポーツ科学における運動処方としての水泳・水中運動	佐藤進：池本幸雄	杏林書院	498.3
611	9784764411425	健康・スポーツ科学のためのRによる統計解析入門	山次俊介：高橋信二	杏林書院	417
612	9784595140839	健康・スポーツ科学研究	関根紀子	放送大学教育振興会(発売：NHK出版)	780.19
613	9784469267433	健康・フィットネスと生涯スポーツ	東海大学	大修館書店	780
614	9784764411456	健康スポーツ学概論：プロモーション、シニアロジック、コーチング	山羽教文：長ヶ原誠	杏林書院	780.19
615	9784332010197	健康のためのスポーツ生理学	池川繁樹	光生館	780.193
616	9784571500107	健康レベルを上げる「身体学」入門：知れば変わる自分のカラダ	古畑公：木村康一	福村出版	491.3
617	9784260028813	健康格差社会への処方箋	近藤克則	医学書院	498
618	9784901933278	健康寿命を延ばす運動の科学：筋肉をきたえて健やかに生きる	宮下充正	明和出版	498.3
619	9784595315527	健康長寿のためのスポーツロジック	田城孝雄：内藤久士	放送大学教育振興会(発売：NHK出版)	780.19
620	9784784953974	健診・健康管理専門職のための新セミナー生活習慣病	田中逸	日本医事新報社	493.18

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
621	9784583109978	健大高崎式驚異の走塁術&トレーニング	青柳博文；葛原毅	ベースボール・マガジン社	783.7
622	9784791767502	剣の思想	甲野善紀；前田英樹	青土社	789.3
623	9784884584122	剣道「先師からの伝言」. 下巻	矢野博志	体育とスポーツ出版社	789.3
624	9784884584115	剣道「先師からの伝言」. 上巻	矢野博志	体育とスポーツ出版社	789.3
625	9784884583538	剣道・伝説の京都大会（昭和）：徳江正之写真集	徳江正之	体育とスポーツ出版社	789.3
626	9784884584108	剣道の極意と左足	小林三留	体育とスポーツ出版社	789.3
627	9784537214826	剣道の新しい教科書：必ず上達する！	二瀬英治	日本文芸社	789.3
628	9784884582968	剣道は寄せる・見る・打つ	遠藤正明	体育とスポーツ出版社	789.3
629	9784884582777	剣道は乗って勝つ	岩立三郎	体育とスポーツ出版社	789.3
630	9784263214343	肩診療マニュアル	乾浩明；信原克哉	医歯薬出版	494.7
631	9784880035987	見て読んで学ぶ人体解剖生理学	堀川宗之	真興交易医書出版部	491.1
632	9784905349303	元ACミラン専門コーチのセットプレー 最先端理論：得点力+30%	ジョバンニ・ピオ；片野道郎	ソル・メディア	783.47
633	9784771027541	現代スポーツのエッセンス	相原正道	晃洋書房	780.1
634	9784860815271	現役マラソン医師の走るとなせいか？	青木晃	新講社	491.358
635	9784882981893	限界を超える：サガン鳥栖躍進の秘密	佐賀新聞社	佐賀新聞社	783.47
636	9784583108957	呼吸泳本：呼吸を変えるだけで速くなる	原英晃	ベースボール・マガジン社	785.2
637	9784768457801	呼出秀男の相撲ばなし	山木秀男	現代書館	788.1
638	9784583110387	五輪サッカー「男子」その長い歴史と激闘の記録：ベルリンの奇跡からリオ五輪まで	国吉好弘	ベースボール・マガジン社	783.47
639	9784408455839	五郎丸日記	小松成美	実業之日本社	783.48
640	9784525187354	公衆衛生マニュアル. 2017	柳川洋；中村好一	南山堂	498
641	9784863273320	巧みさを発達させる幼小体育	乾信之	淡水社（広島）	376.157
642	9784822235932	広島カープがしぶとく愛される理由：続けることが負けないことだ！	片瀬京子；伊藤暢人	日経BP社(発売：日経BPマーケティング)	783.7
643	9784415320236	攻撃サッカープレス&カウンター	村松尚登	成美堂出版	783.47
644	9784860674908	校歌の大甲子園史：深淵なる校歌の世界を聞く	渡辺敏樹	地球丸	783.7
645	9784469267884	考えて強くなるバレーボールのトレーニング：スカウティング理論に基づくスキル&ドリル	吉田清司；渡辺啓太	大修館書店	783.2
646	9784469268218	考えて強くなるラグビーのトレーニング：戦術アプローチに基づく練習プログラム	山本巧；藤森啓介	大修館書店	783.48
647	9784816354663	考える配球：ピッチングの極意へ、そして勝利へ近づくために！	永井浩二	ナツメ社	783.7
648	9784336057969	考証日本武芸達人伝	綿谷雪	国書刊行会	789
649	9784809415371	高校ラグビーは頭脳が9割	斉藤健仁	東邦出版	783.48
650	9784809413247	高校球児に伝えたい！プロでも間違わずバッテリーの基本	里崎智也	東邦出版	783.7
651	9784809415081	高校球児に伝えたい！プロでも間違わず守備・走塁の基本	高代延博	東邦出版	783.7
652	9784023314283	高校野球100年：蘇る名勝負永遠のヒーロー	週刊朝日編集部	朝日新聞出版	783.7
653	9784809414459	高校野球は頭脳が9割：野球の強化書	後原富	東邦出版	783.7
654	9784875253181	合気秘訣：物理学者による目から鱗の技法解明	保江邦夫	海鳴社	789.2
655	9784809414718	合気道と中国武術はなぜ強いのか？	山田英司；フルコム	東邦出版	789
656	9784882934868	合気道開祖植芝盛平伝	植芝吉祥丸；植芝守央	出版芸術社	789.2
657	9784822239893	国際スポーツ組織で働こう！：世界の最先端スポーツ大学院でマネジメントを学ぶ	つば国際スポーツアカデミー・アソシエー；塚本拓也	日経BP社(発売：日経BPマーケティング)	780
658	9784525183011	国際保健医療のキャリアナビ	日本国際保健医療学会	南山堂	369.9
659	9784764405318	国際保健医療学	日本国際保健医療学会	杏林書院	498
660	9784830645310	腰痛の病態別運動療法：体幹筋機能向上プログラム	金岡恒治	文光堂	493.6
661	9784839954970	骨・関節・靭帯・神経・血管の触診術の基本：オールカラー	齋藤昭彦	マイナビ出版	492.11
662	9784062193276	骨格ランニング：「筋肉」よりも「骨」で走れば速くなる！	鈴木清和	講談社	782.3
663	9784905168331	骨格筋のバイオメカニクス：筋線維から運動協調性まで	ウラジミール・M. ザツシオルスキー；ボリス・I. プリルツキー	ナッブ	491.363
664	9784087807998	根本陸夫伝：プロ野球のすべてを知っていた男	高橋安幸	集英社	783.7
665	9784583108834	魂の言葉辰吉丈一郎	辰吉丈一郎	ベースボール・マガジン社	788.3
666	9784583110851	左バッターを科学する：左バッターは本当に有利なのか？NPBのトップを走る	ベースボール・マガジン社	ベースボール・マガジン社	783.7
667	9784767821542	最強の柔道家リネール	ティディ・リネール；神奈川夏子	エクスナレッジ	789.2
668	9784416616529	最強プロに学ぶフットサル個人技完全マスター：連続写真で動きがわかる！プレーのコツもしっかり伝授	森岡薫	誠文堂新光社	783.4
669	9784469268225	最強をめざすチームビルディング：潜在成長力を引き出すコーチの取り組み	ジェフ・ジャンセン；水谷豊	大修館書店	780.7
670	9784469268232	最新ソフトバレー・ハンドブック	日本ソフトバレーボール連盟	大修館書店	783.2
671	9784809414787	最先端泳法『フラットスイム』でクロールがきれいに速く泳げる！	高橋雄介	東邦出版	785.2
672	9784062195089	参謀の甲子園：横浜高校常勝の「虎ノ巻」	小倉清一郎	講談社	783.7

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
673	9784635470063	山スキー百山	スキーアルピニズム研究会	山と渓谷社	784.3
674	9784808310035	山のリスクと向き合うために：登山におけるリスクマネジメントの理論と実践	村越真；長岡健一	東京新聞出版部	786.1
675	9784635510011	山岳遭難の教訓：事例に学ぶ生還の条件	羽根田治	山と渓谷社	786.1
676	9784426119836	山本昌レジェンドの秘密	与田剛	自由国民社	783.7
677	9784062199629	残心：Jリーガー中村憲剛の挑戦と挫折の1700日	飯尾篤史	講談社	783.47
678	9784583110936	残像メンタルトレーニング：R/C/T野球	高岸弘	ベースボール・マガジン社	783.7
679	9784884582944	仕事で忙しい人のための剣道トレーニング	齋藤実	体育とスポーツ出版社	789.3
680	9784163907000	四継：2016リオ五輪、彼らの真実	宝田将志	文藝春秋	782.3
681	9784816359255	姿勢の教科書：正しく理想的な姿勢を取り戻す	竹井仁	ナツメ社	491.367
682	9784862552075	子どもが自ら考えて行動する力を引き出す魔法のサッカーコーチング：ボトムアップ理論で自立心を養う	畑喜美夫	カンゼン	783.47
683	9784915944604	子どものスポーツライフ・データ：4～9歳のスポーツライフに関する調査報告書。2015		笹川スポーツ財団	780.59
684	9784864130912	子どものボールゲーム指導プログラムバルシューレ：幼児から小学校低学年を対象に	奥田知靖；NPO法人バルシューレジャパン	創文企画	783
685	9784845115013	子どものやる気を引き出す7つのしつもん：スポーツメンタルコーチに学ぶ！	藤代圭一	旬報社	371.45
686	9784864294225	子どもの健康福祉指導ガイド	日本幼児体育学会；前橋明	大学教育出版	376.157
687	9784816359927	子どもの体力・運動能力がアップする体づくり運動&トレーニング集；小学校体育 オールカラー	松尾哲矢	ナツメ社	375.492
688	9784864130998	子どもの未来を創造する体育の「主体的・対話的で深い学び」	鈴木直樹（身体教育学）；成毛篤史	創文企画	375.492
689	9784180958108	子どもも観客も感動する！「組体操」絶対成功の指導BOOK	関西体育授業研究会	明治図書出版	375.492
690	9784254201444	子ども計測ハンドブック	持丸正明；山中竜宏	朝倉書店	501.8
691	9784842916439	市民からアスリートまでのスポーツ栄養学	岡村浩嗣；藤井久雄	八千代出版	780.19
692	9784873546483	市民マラソンがスポーツ文化を変えた	亀井克之；杉本厚夫	関西大学出版部	782.3
693	9784046533364	指揮官の流儀：直球リーダー論	曹貴哉	KADOKAWA	783.47
694	9784491029467	指導者の「指導者」が教える先生の力を最大限に引き出すメソッド	中竹竜二	東洋館出版社	374.3
695	9784583110295	私の失敗。激情篇	サンケイスポーツ編集部	ベースボール・マガジン社	780.28
696	9784583110288	私の失敗。純情篇	サンケイスポーツ編集部	ベースボール・マガジン社	780.28
697	9784780413304	試合で勝てる！フットサル最強の戦術50	川越晋介	メイツ出版	783.47
698	9784817203403	試合に勝つための（秘）偵察術；プロアマ共用	大利実；神原謙悟	日刊スポーツ出版社	783.7
699	9784408455778	試合に勝つテニス鈴木貴男のダブルス講座	鈴木貴男	実業之日本社	783.5
700	9784924833562	事故防止のためのスポーツ器具の正しい使い方と安全点検の手引き	日本体育施設協会	日本体育施設協会施設用器具部会(発売：体育施設出版)	780.67
701	9784263236864	事例問題から学ぶ看護疫学・保健統計学：重要事項をねこそぎcheck!	安武繁	医歯薬出版	498.6
702	9784801912687	侍ジャパンを世界一にする！戦略思考	野村克也	竹書房	783.7
703	9784882829164	治療効果をあげるための自動的・他動的ストレッチ：理学療法、マッサージ、フィットネス・トレーニングに	ジェーン・ジョンソン；藤田真樹子	ガイアブックス	781
704	9784760826599	自己の可能性を拓く心理学：パラアスリートのライフストーリー	内田若希	金子書房	780.14
705	9784254640441	自然セラピーの科学：予防医学的効果の検証と解明	宮崎良文	朝倉書店	492.5
706	9784839954857	自宅できる自重筋力トレーニング	荒川裕志；石井直方	マイナビ出版	780.7
707	9784093883733	自転車の教科書：やまめの学校公式ガイドブック。身体の使い方編	堂城賢	小学館	536.86
708	9784408454528	自転車ロングツーリング入門：2泊3日から大陸走破の長期自転車旅まで	山下晃和	実業之日本社	290.9
709	9784860112813	自分を開く技術	伊藤壇	本の雑誌社	783.47
710	9784469267891	実習で学ぶ健康・運動・スポーツの科学	九州大学健康・スポーツ科学研究会	大修館書店	780.19
711	9784469267907	実習で学ぶ健康・運動・スポーツの科学。別冊	九州大学健康スポーツ科学研究会	大修館書店	
712	9784765317078	実習にも役立つ人体の構造と体表解剖	三木明德	金芳堂	491.1
713	9784062186780	実践・体幹ランニング：確実に速くなる！	金哲彦	講談社	782.3
714	9784882828679	実践ストレッチ：痛みを緩和し損傷を予防する	クリスチャン・バーグ；藤田真樹子	ガイアブックス	781
715	9784181969189	実務が必ずうまくいく体育主任の仕事術55の心得	大前暁政	明治図書出版	375.49
716	9784862553881	守り方を知らない日本人	フランチェスコ・マクリ；宮崎隆司	カンゼン	783.47
717	9784263218723	種目別にみるスポーツ外傷・障害とリハビリテーション	渡會公治；猪飼哲夫	医歯薬出版	780.19
718	9784788715271	授業が変わる！新学習指導要領ハンドブック中学校保健体育編：平成29年3月告示中学校学習指導要領完全対応	時事通信出版局	時事通信出版局(発売：時事通信社)	375.493
719	9784758300957	集中講義生理学：カラーイラストで学ぶ	岡田隆夫	メジカルビュー社	491.3

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
720	9784881428115	柔術の勝負：明治期の柔道基本技術	三宅タロー：谷幸雄	創英社（三省堂書店）	789.2
721	9784990699444	柔道と人間形成：武士道に学ぶ「知徳体」の心	吉田秀彦	第三企画出版（発売：創英社（三省堂書店））	789.2
722	9784583110523	柔道基礎から心技体を鍛える稽古：身になる練習法	石田輝也	ベースボール・マガジン社	789.2
723	9784408456201	柔道基本と戦術	上水研一郎	実業之日本社	789.2
724	9784583107943	柔道技の大本：現代の技未来に残したい技。 1	「近代柔道」編集部：井上康生	ベースボール・マガジン社	789.2
725	9784583108216	柔道技の大本：現代の技未来に残したい技。 2	「近代柔道」編集部：井上康生	ベースボール・マガジン社	789.2
726	9784537214055	柔道寝技を極める！：世界を制した稀代の寝技師が実戦に即した一流のテクニ	柏崎克彦	日本文芸社	789.2
727	9784583108414	柔道世界で勝つための実戦的稽古：差がつく練習法	林田和孝	ベースボール・マガジン社	789.2
728	9784845423651	重心移動だけでサッカーは10倍上手くなる	鬼木祐輔：ナイス	ロングセラーズ	783.47
729	9784048955911	準備する力：ラグビー日本代表GMのメソッド	岩淵健輔	KADOKAWA	783.48
730	9784000611756	女子プロレスラー小畑千代：闘女の戦後史	秋山訓子	岩波書店	788.2
731	9784884582678	女子選手のコーチング：“特性”を知り、力を引き出すための40のヒント	八ツ橋賀子	体育とスポーツ出版社	780.7
732	9784780418088	女子選手のコーチングメソッド：正しい声かけ・伝え方で実力を伸ばす！	佐藤雅幸	メイツ出版	780.7
733	9784263240588	女性アスリートのための傷害予防トレーニング	小林直行：泉重樹	医歯薬出版	780.19
734	9784882828853	女性のためのランニング学：女性特有の生理学と解剖学に基づきわかりやすく、整理	ジェイソン・R. カーブ：キャロリン・S. スミス	ガイアブックス	782.3
735	9784780416046	勝つ！ハンドボール上達のコツ50	萩原正芳	メイツ出版	783.3
736	9784780418606	勝つ！卓球ダブルス上達60のコツ	高山幸信	メイツ出版	783.6
737	9784780417067	勝つ！弓道百射百中のポイント50	福呂淳	メイツ出版	789.5
738	9784140816684	小さな村のウルトラランナー：重見高好の挑戦	大川卓弥	NHK出版	782.3
739	9784762026393	小学校の体育授業づくり入門	鈴木秀人：山本理人	学文社	375.492
740	9784864130929	小学校ボールゲームの授業づくり：実践理論の生成と展開	梅野圭史：身体教育研究会	創文企画	375.492
741	9784864294164	小学校体育器械運動：達人教師への道	藤田雅文：湯口雅史	大学教育出版	375.492
742	9784862553799	小学生・中学生のためのジュニアサッカー 食事バイブル	森裕子	カンゼン	783.47
743	9784405086890	小学生のサッカー上達BOOK	三菱養和サッカースクール	新星出版社	K783
744	9784405086906	小学生の野球上達BOOK	小笠原春夫	新星出版社	K783
745	9784408456089	小学生バレーボール基本と上達ドリル	小野由美子	実業之日本社	783.2
746	9784583109442	少年野球上達のツボ：名将たちの王道メソッド、バッテリー	ヒットエンドラン編集部	ベースボール・マガジン社	783.7
747	9784583108674	少年野球上達のツボ：名将たちの王道メソッド、内野守備	ヒットエンドラン編集部	ベースボール・マガジン社	783.7
748	9784120048937	昭和十八年の冬最後の箱根駅伝：戦時下でつなげられたタスキ	早坂隆	中央公論新社	782.3
749	9784309277547	昭和十八年幻の箱根駅伝：ゴールは靖国、そして戦地へ	沢宮優	河出書房新社	782.3
750	9784864272018	昭和平成大相撲名力士100列伝	塩沢実信	北辰堂出版	788.1
751	9784818824263	松井秀喜	篠崎尚夫	日本経済評論社	783.7
752	9784905168508	症状別ファンクショナルローラーピラティス：アセスメントからフォームローラーを用いたエクササイズ	中村尚人	ナッブ	498.3
753	9784000222976	笑顔が未来をつくる：私のスケート人生	鈴木明子	岩波書店	784.6
754	9784324101070	障がい者スポーツ指導教本：初級・中級	日本障がい者スポーツ協会	ぎょうせい	780.7
755	9784864130431	障害者スポーツの環境と可能性	藤田紀昭	創文企画	780
756	9784254106954	情動と運動：スポーツとこころ	西野仁雄：中込四郎	朝倉書店	780.14
757	9784521739137	情動と記憶：しくみとはたらき	小野武年	中山書店	491.371
758	9784839957391	伸びるテープと伸びないテープを使った最新スポーツテーピング：競技・目的別プロアスリートの実践テクニック！	ニチバン株式会社：野田哲由	マイナビ出版	780.19
759	9784583105819	心をつかむ高校野球監督の名言	田尻賢誉	ベースボール・マガジン社	783.7
760	9784884582722	心を耕す剣道：小林英雄対談集	小林英雄	体育とスポーツ出版社	789.3
761	9784487807963	振付稼業 a i r : m a n の踊る教科書	振付稼業 a i r	東京書籍	799
762	9784809413643	新・スクラム：進化する「1cm」をめぐる攻防	松瀬学	東邦出版	783.48
763	9784843341087	新・苦手な運動が好きになるスポーツのコツ。 1		ゆまに書房	K780
764	9784843341094	新・苦手な運動が好きになるスポーツのコツ。 2		ゆまに書房	K780
765	9784843341100	新・苦手な運動が好きになるスポーツのコツ。 3		ゆまに書房	K780
766	9784842065892	新・生き方としての健康科学	山崎喜比古：朝倉隆司	有信堂高文社	498
767	9784864130646	新しい「体づくり運動」の学習評価の実践：小・中学校の学びの架け橋となる学習評価を目指して	鈴木直樹（身体教育学）：成家篤史	創文企画	375.49
768	9784782305331	新スポーツ医学	藤本繁夫：大久保衛	嵯峨野書院	780.19
769	9784782305553	新スポーツ栄養学	井奥加奈	嵯峨野書院	780.19
770	9784905168270	新スポーツ外傷・障害とリハビリテーション：イラストでわかるリハビリテーション	魚住広信	ナッブ	780.19
771	9784782305492	新スポーツ心理学	伊達萬里子	嵯峨野書院	780.14

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
772	9784764415911	新たなスポーツビジネスモデルを考える：同志社大学スポーツマネジメントプロジェクト講演録	同志社大学スポーツマネジメントプロジェクト	杏林書院	
773	9784784911707	新生理学	竹内昭博	日本医事新報社	491.3
774	9784635160193	新全図解クライミングテクニク	堤信夫	山と溪谷社	786.1
775	9784524262588	新訂生理学実習書	日本生理学会教育委員会	南江堂	491.3
776	9784622079491	森のなかのスタジアム：新国立競技場暴走を考える	森まゆみ	みすず書房	780.67
777	9784842916156	親子で学ぶスポーツ栄養	柳沢香絵：岡村浩嗣	八千代出版	K780
778	9784840445689	身体が見える・疾患を学ぶ解剖アトラス：ソボットの解剖図に秘められた人体の世界	ヨハネス・ソボタ：井上泰	メディカ出版	491.1
779	9784829305096	身体教育研究序説：近代日本の教育学における「体育」の扱い方の変遷とそ	中野浩一	不昧堂出版	375.49
780	9784866160078	身体系個性化の深層心理学：あるアスリートのプロセスと対座する	老松克博	遠見書房	146.1
781	9784583109664	進化系！筋肉男子の栄養学：脱「タンパク質偏重」主義。炭水化物も脂肪も摂りな	竹並恵里	ベースボール・マガジン社	780.19
782	9784490208467	人と結びて有情を体す：社会の絆、家族の絆は武道にあり	東孝	東京堂出版	789
783	9784791769124	人はなぜ格闘に魅せられるのか：大学教師がリングに上がって考える	ジョナサン・ゴットシャル：松田和也	青土社	788
784	9784763900395	人間の運動学：ヒューマン・キネシオロジー	宮本省三：八坂一彦	協同医書出版社	491.367
785	9784254330083	人体のしくみとはたらき	沢口彰子：栗原久	朝倉書店	491.3
786	9784765317092	人体の解剖生理学	木山博資：遠山正弥	金芳堂	491.1
787	9784263235959	人体の構造と機能	内田さえ：佐伯由香	医歯薬出版	491.1
788	9784524261178	人体解剖カラーアトラス	ピーター・ハーバート・エーブラム：ジョナサン・D. スプラット	エルゼビア・ジャパン(発売：南江堂)	491.1
789	9784870551350	人体生理学の基礎	池原敏孝：勢井宏義	医学出版社	491.3
790	9784469268041	図とイラストで学ぶ新しいスポーツマネジメント	山下秋二：中西純司	大修館書店	780
791	9784895312721	図解スポーツ傷害とリハビリ治療のためのテーピング技術	アン・ケイル：伊藤和憲	緑書房（中央区）	492.5
792	978426000062	図解解剖学事典	ハインツ・フェネイス：山田英智	医学書院	491.1
793	9784809414213	図解最先端テーピング術：「巻く」ではなく「貼って」効く！	岩崎由純	東邦出版	780.19
794	9784336061881	図解平成大相撲決まり手大事典	新山善一：琴剣淳弥	国書刊行会	788.1
795	9784890134380	図説ダンスの解剖・運動学大事典：テクニクの上達と損傷予防のための基礎とエクササイズ	カレン・クリッピンジャー：森下はるみ	西村書店（新潟）	769.036
796	9784469267655	水泳コーチ教本：公認水泳コーチ用	日本水泳連盟	大修館書店	785.2
797	9784774182551	水泳のきれいなカラダをつくる：スリムな逆三角形になる！ドライランドトレーニング	高橋雄介	技術評論社	780.7
798	9784816360145	水泳指導のコツと授業アイデア：子どもたちがみるみる上達する	平川譲：清水由	ナツメ社	375.492
799	9784583108490	水泳実践的練習ドリル：差がつく練習法	原英晃	ベースボール・マガジン社	785.2
800	9784882655282	嵩山少林寺秘伝：禅・気・武の源流	秦西平	秀作社出版	789.2
801	9784829305072	世界のダンス。2		不昧堂出版	769
802	9784829304976	世界のダンス：世界舞踊祭 TOKYOから発信	世界舞踊祭出版委員会：星海舟	不昧堂出版	769
803	9784764415898	世界を歩こう：草の根の国際交流	宮下充正：川内基裕	杏林書院	
804	9784583110943	世界一受けたいサッカーの授業	ミケル・エチャリ：岡崎篤	ベースボール・マガジン社	783.47
805	9784416715093	世界最強ドイツサッカーに学ぶサッカートレーニング術：ゲームに勝つための想像力、素早い状況判断、攻守の切	マヌエル・ラウルセン	誠文堂新光社	783.47
806	9784583108872	世界初の相撲の技術の教科書：相撲観戦が1.0倍楽しくなる！！	桑森真介	ベースボール・マガジン社	788.1
807	9784405086876	正しく歩けばテニスは劇的にうまくなる！	井上正之	新星出版社	783.5
808	9784864130745	正岡子規と明治のベースボール	岡野進	創文企画	911.36
809	9784902109405	生涯スポーツと運動の科学	佗美靖：花井篤子	市村出版	780
810	9784787821171	生活習慣病と健康管理：100歳を元気に生きるために	斎藤征夫：柏原征子	診断と治療社	493.18
811	9784416616420	生死を分ける、山の遭難回避術：事例に学ぶリスク対策の基礎知識	羽根田治	誠文堂新光社	786.1
812	9784759817027	生理学	須田和裕：石渡貴之	化学同人	491.3
813	9784830602283	生理学問題集：CBT準拠	日本生理学会	文光堂	491.3
814	9784915944598	青少年のスポーツライフ・データ：10代のスポーツライフに関する調査報告書。2015		笹川スポーツ財団	780.59
815	9784759921106	青年期の運動行動を規定する要因とメンタルヘルスとの関係	清水安夫	風間書房	780.14
816	9784862553218	静学スタイル：独創力を引き出す情熱的指導術	井田勝通	カンゼン	783.47
817	9784583111339	石井直方の筋肉の科学：ハンディ版	石井直方	ベースボール・マガジン社	491.363
818	9784583110226	石川雅規のピッチングバイブル	石川雅規	ベースボール・マガジン社	783.7

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
819	9784623081424	脊柱管狭窄症をトレーニングで治す：未来のための「腰再生」	稲葉晃子	ミネルヴァ書房	494.66
820	9784905168492	脊柱疾患のリハビリテーションの科学的基礎	福林徹；金岡恒治	ナッブ	494.66
821	9784807305902	雪に耐えて梅花潔し：フランス柔道の父・粟津正蔵と天理教二代真柱・中山正	永尾教昭	天理教道友社	789.2
822	9784877338961	戦後体育学習指導資料集、第1巻	岡出美則	クレス出版	375.49
823	9784877338978	戦後体育学習指導資料集、第2巻	岡出美則	クレス出版	375.49
824	9784877338985	戦後体育学習指導資料集、第3巻	岡出美則	クレス出版	375.49
825	9784877338992	戦後体育学習指導資料集、第4巻	岡出美則	クレス出版	375.49
826	9784877339005	戦後体育学習指導資料集、第5巻	岡出美則	クレス出版	375.49
827	9784877339012	戦後体育学習指導資料集、第6巻	岡出美則	クレス出版	375.49
828	9784877339029	戦後体育学習指導資料集、第7巻	岡出美則	クレス出版	375.49
829	9784877339616	戦後体育実践資料集（全4巻セット）	岡出美則	クレス出版	
830	9784862554093	戦術の教科書：サッカーの進化を読み解く思想史	ジョナサン・ウィルソン；田邊雅之	カンゼン	783.47
831	9784779120206	戦前外地の高校野球：台湾・朝鮮・満洲に花開いた球児たちの夢	川西玲子	彩流社	783.7
832	9784583109862	戦闘帽の野球：背番号なし	山室寛之	ベースボール・マガジン社	783.7
833	9784469267945	戦略脳を育てる：テニス・グランドスラムへの翼	柏井正樹	大修館書店	783.5
834	9784809414756	選ばれし者への挑戦状	ヘス・スアレス；小宮良之	東邦出版	783.47
835	9784884583521	選手に寄り添うコーチング	八ツ橋賀子	体育とスポーツ出版社	780.7
836	9784768458006	全国野球場巡り：877カ所訪問観戦記	斉藤振一郎	現代書館	783.7
837	9784884582951	全日本剣道選手権者の稽古	「剣道時代」編集部	体育とスポーツ出版社	789.3
838	9784583110363	禅テニス：ゾーンに入ってプレーする法	ジョセフ・ペアレント；ビル・スキャンロン	ベースボール・マガジン社	783.5
839	9784062184885	早稲田ラグビー誇りをかけて	日比野弘	講談社	783.48
840	9784861526329	相撲見物：バイリンガルで楽しむ日本文化	伊藤勝治；デビッド・シャピロ	青幻舎	788.1
841	9784839961657	走らないランニング・トレーニング	青山剛	マイナビ出版	782.3
842	9784771026926	走ることは、生きること：五輪金メダリスト ジェシー・オーエンスの物語	ジェフ・バーリングーム；古川哲史	晃洋書房	782.3
843	9784830651809	走動作のファンクショナルトレーニング：機能改善と障害予防のためのパフォーマンストレーニング	中村千秋；角勝義	文光堂	782.3
844	9784583109459	即心館「弓道講義」：弓射に現れやすい欠陥とその矯正	張替謙一	ベースボール・マガジン社	789.5
845	9784526070938	足と靴の科学：おもしろサイエンス	アシックススポーツ工学研究所；西脇剛史	日刊工業新聞社	589.25
846	9784800313034	速くなる！栗村修のロードバイク「輪」生相談	栗村修	洋泉社	786.5
847	9784413112055	速さと持久力が一気に手に入る走り方：やってはいけないランニング	鈴木清和	青春出版社	782.3
848	9784771028807	多角化視点で学ぶオリンピック・パラリンピック	相原正道	晃洋書房	780.69
849	9784434221675	太極拳の奥義・真諦	顧正瑞	ブイツーソリューション(発売：星雲社)	789.2
850	9784393713945	太極拳養生法	帯津良一；趙耀輝	春秋社	498.3
851	9784434235054	太極拳理論の要諦：王宗岳と武禹襄の理論文章を学ぶ	銭育才	武道ユニオンフルコンタクトKARATEマ(発売：星雲社)	789.2
852	9784408454818	打者を追い込む投球術がよくわかる野球配球の極意：ピッチングの幅を広げて、試合に強くなる！	全国野球技術研究会	実業之日本社	783.7
853	9784810521306	体育・スポーツ・武術の歴史にみる「中央」と「周縁」：国家・地方・国際交流	藤井雅人；ビットマン・ハイク	道和書院	
854	9784874923184	体育・スポーツ教本 改訂新版	日本大学	アイ・ケイコーポレーション	780
855	9784810521245	体育・スポーツ史にみる戦前と戦後	真田久；新井博（スポーツ史）	道和書院	780.2
856	9784902109399	体育・スポーツ史概論	木村吉次	市村出版	
857	9784902109320	体育・スポーツ指導者と学生のためのスポーツ栄養学	田口素子；樋口満	市村出版	780.19
858	9784877339838	体育・スポーツ書集成第1回戦後保健体育指導書（全7巻セット）	民和文庫研究会	クレス出版	
859	9784877339890	体育・スポーツ書集成第2回戦後学校武道指導書（全5巻セット）	民和文庫研究会	クレス出版	
860	9784829305027	体育・スポーツ活の探求	岡田猛	不昧堂出版	780.4
861	9784797286120	体育・部活のリスクマネジメント	小笠原正；諏訪伸夫	信山社出版	374.9
862	9784871685559	体育・部活動指導の基本原則：スポーツ基本法の理念を活かす	入澤充；櫻田淳也	エイデル研究所	375.49
863	9784864130783	体育で学校を変えたい：中学校保健体育授業の創造	小山吉明	創文企画	375.493
864	9784469267778	体育における「学びの共同体」の実践と探究	岡野昇；佐藤学	大修館書店	375.49
865	9784469268003	体育における「学び合い」の理論と実践	梅澤秋久	大修館書店	375.49
866	9784864130615	体育のカリキュラム開発方法論	丸山真司	創文企画	375.49

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
867	9784863590847	体育科教育	松田恵示：鈴木秀人	一藝社	375.49
868	9784901933391	体育科教育における教材論	岩田靖	明和出版	375.49
869	9784762026713	体育教師の学びと成長：信念と経験の相互影響関係に関する実証研究	朝倉雅史	学文社	375.49
870	9784805838570	体育指導アラカルト：気になる子どものできた！が増える	笹田哲	中央法規出版	375.492
871	9784864130653	体育授業を学び続ける：教師の成長物語	木原成一郎：徳永隆治	創文企画	375.49
872	9784023331075	体幹×呼吸トレーニング：呼吸から体のコアを変える！	朝日新聞出版：村上貴弘	朝日新聞出版	780.7
873	9784773087994	体幹トレーニングだけではタイムは削れない！：すべてのランナーへ	白取秀司	笠倉出版社	782.3
874	9784635510400	体験的登山技術論：脱初心者のための実践アドバイス	澤田実	山と溪谷社	786.1
875	9784829305058	体操の近代日本史	木下秀明	不昧堂出版	781.021
876	9784524266838	体表からわかる人体解剖学	リチャード・タンストール：ネハル・シャ	南江堂	491.1
877	9784469267815	体カトレーニングの理論と実際	大阪体育大学	大修館書店	780.7
878	9784908655043	対岸へ。：オーシャンスイム史上最大の挑戦	ダイアナ・ナイアド：菅しおり	三賢社	785.2
879	9784761923716	対話でつくる教科外の体育：学校の体育・スポーツ活動を学び直す	神谷拓	学事出版	375.18
880	9784309275512	代打の神様：ただひと振りに生きる	沢宮優	河出書房新社	783.7
881	9784816925450	大学駅伝記録事典：箱根・出雲・伊勢路	三浦健	日外アソシエーツ(発売：紀伊國屋書店日外アソ)	782.3
882	9784469268171	大学生のスポーツと健康生活	福岡大学スポーツ科学部	大修館書店	
883	9784810521320	大学生のための「健康」論：健康・運動・スポーツの基礎知識	電気通信大学健康・スポーツ科学部会	道知書院	
884	9784810521269	大学生の健康・スポーツ科学	大学生の健康・スポーツ科学研究会	道知書院	780.1
885	9784768457917	大相撲の道具ばなし	坂本俊夫	現代書館	788.1
886	9784881253076	大相撲行司の房色と賞罰	根間弘海	専修大学出版局	788.1
887	9784487809387	大相撲手帳	杉山邦博	東京書籍	788.1
888	9784864130530	大相撲裏面史：明治・大正期の八百長	西村秀樹	創文企画	788.1
889	9784881253168	大相撲立行事の軍配と空位	根間弘海	専修大学出版局	788.1
890	9784486037811	大島鎌吉の東京オリンピック	岡邦行	東海教育研究所(発売：東海大学出版部)	780.69
891	9784817060181	武術の極み、合気を求めて大東流合気柔術を解く：武術の極み、合気を求めて	浅原勝	日貿出版社	789.2
892	9784537214925	卓球の新しい教科書：試合に勝てる！基本テクニックから戦術まで実践に役	近藤欽司	日本文芸社	783.6
893	9784901638500	卓球ビギナーズバイブル：ゼロから始める卓球入門	卓球王国	卓球王国	783.6
894	9784583110479	卓球回転を極める	村瀬勇吉	ベースボール・マガジン社	783.6
895	9784469268157	卓球基礎コーチング教本	日本卓球協会	大修館書店	783.6
896	9784583110417	卓球宮崎義仁式最新ドリル：身になる練習法	宮崎義仁	ベースボール・マガジン社	783.6
897	9784583108315	卓球渡辺勝男式多球練習：差がつく練習法	渡辺勝男	ベースボール・マガジン社	783.6
898	9784262163796	卓球練習メニュー 200：打ち方と戦術の基本	宮崎義仁	池田書店(新宿区)	783.6
899	9784062197793	誰でもいつでも速くなる！ランナーのための体幹スイッチ100	金哲彦	講談社	782.3
900	9784180932108	団体演技でみんなが輝く！「フラッグ運動」絶対成功の指導BOOK	関西体育授業研究会	明治図書出版	375.49
901	9784583109619	知ってる？テニス：基本技術、戦術からマナーまで！子どもたちが楽しく学	竹内映二	ベースボール・マガジン社	K783
902	9784583109510	知ってる？バレーボール：クイズでスポーツがうまくなる	熊田康則	ベースボール・マガジン社	K783
903	9784583109503	知ってる？ミニバスケットボール：クイズでスポーツがうまくなる	鈴木良和：加賀屋圭子	ベースボール・マガジン社	K783
904	9784583109589	知ってる？水泳：泳ぎ方のコツもレースの知識もクイズに答えてよわか	村上二美也	ベースボール・マガジン社	K785
905	9784871685948	知の饗宴としてのオリンピック	石堂典秀：大友昌子	エイデル研究所	780.69
906	9784491032696	知的障害児・者のスポーツ	全国特別支援学校知的障害教育校長会：丹野哲也	東洋館出版社	378.6
907	9784862551603	地域スポーツクラブの“法人格”を取得しよう！：理想のクラブ運営ガイド	谷塚哲	カンゼン	780.6
908	9784810521290	地域生活からみたスポーツの可能性：暮らしとスポーツの社会学	後藤貴浩	道知書院	780.13
909	9784810521337	中学・高校陸上競技の学習指導：「わかって・できる」指導の工夫	小木曾一之：清水茂幸	道知書院	375.493
910	9784583108063	中高生のためのサッカー・ボディ革命	中嶋慧	ベースボール・マガジン社	783.47
911	9784583106137	中国太極拳事典	余功保：橋逸郎	ベースボール・マガジン社	789.2
912	9784908055096	中国武術秘訣：太極拳・君子の武道	清水豊	ピング・ネット・プレス	789
913	9784750515021	中南米野球はなぜ強いのか	中島大輔	亜紀書房	783.7

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
914	9784152095725	超人の秘密：エクストリームスポーツとフロー体験	ステイヴン・コトラー：熊谷玲美	早川書房	780.14
915	9784415321868	超入門ラグビーのみかた	李淳いる：林雅人	成美堂出版	783.48
916	9784487807536	頂きへ、そしてその先へ	竹内洋岳【著】	東京書籍	786.1
917	9784779124341	追憶の日米野球：日本プロ野球誕生前夜	中西満真典	彩流社	783.7
918	9784839963163	痛み・鎮痛のしくみ：オールカラー	橋口さおり	マイナビ出版	493.1
919	9784528011489	鍋木毅トレイルランニングトレーニングBOOK	鍋木毅	日東書院本社	782.3
920	9784041039823	鉄骨クラブの偉人：オリンピック人を育てた街の体操指導者・城間晃	浅沢英	KADOKAWA	781.5
921	9784524267729	転倒予防のための運動機能向上トレーニングマニュアル	植松光俊：下野俊哉	南江堂	493.18
922	9784434221668	電気技術者が解く最速走法コアスプリントメソッド、実践編	流田康一：徳浪慶恵	ブイツーソリューション(発売：星雲社)	782.3
923	9784808310134	登山の運動生理学とトレーニング学	山本正嘉	東京新聞出版部	786.1
924	9784635176125	登山白書：山で死んではいけない。2017	ヤマケイ登山総合研究所	山と溪谷社	786.1
925	9784788514690	都市に刻む軌跡：スケートボーダーのエスノグラフィー	田中研之輔	新曜社	367.6
926	9784487809172	土井雪広の世界で戦うためのロードバイク・トレーニング	土井雪広	東京書籍	788.6
927	9784817060136	土佐英信流居合	福留麒六：宮本知次	日貿出版社	789.3
928	9784812495964	土壇場力：悔しさと憧れが無限の力を生み出す	井端弘和	竹書房	783.7
929	9784560095423	土俵の群像	岩崎友太郎	白水社	788.1
930	9784758313681	投球障害肩こう診てこう治せ：ここが我々の切り口！	筒井広明：山口光国	メジカルビュー社	494.77
931	9784864876926	東京パラリンピック六ヶ国語用語辞典：日英独仏露西。6	本多英男	三恵社(発売：JRC)	780.69
932	9784396615437	東大と野球部と私：勝つために大切なことは何か	桑田真澄	祥伝社	783.7
933	9784416315286	頭脳で走るロングライドの実践術：センリヤクの長距離サイクリングの極意50か条	田村浩	誠文堂新光社	786.5
934	9784758315784	頭頸部・体幹のスポーツ外傷	永廣信治：西良浩一	メジカルビュー社	780.19
935	9784469267914	動きを直せば心は変わる：メンタルトレーニングの新しいアプローチ	徳永幹雄	大修館書店	780.14
936	9784583108636	動く骨。手眼足編	栢野忠夫	ベースボール・マガジン社	780.19
937	9784180981113	導入5分が授業を決める！「準備運動」絶対成功の指導BOOK	関西体育授業研究会	明治図書出版	375.49
938	9784087807936	徳は孤ならず：日本サッカーの育将今西和男	木村元彦	集英社	783.47
939	9784469267860	特別支援教育時代の体育・スポーツ：動きを引き出す教材80	後藤邦夫	大修館書店	378
940	9784809413650	突破！リッチー・マコウ自伝	リッチー・マコウ：グレッグ・マクギー	東邦出版	783.48
941	9784583110721	軟式野球ビルドアップ式強化ドリル	丸山王明	ベースボール・マガジン社	783.7
942	9784635043519	難所の歩き方	谷山宏典	山と溪谷社	786.1
943	9784829304983	二階堂を築立った娘たち：戦前オリンピック選手編	勝場勝子：村山茂代	不味堂出版	780.28
944	9784163764405	日の丸女子バレー：ニッポンはなぜ強いのか	吉井妙子	文藝春秋	783.2
945	9784787234186	日韓「剣道」：KENDOとKUMDOの相克と未来	小田佳子	青弓社	789.3
946	9784780419009	日大式で差がつく！陸上競技投てき種目トレーニング：砲丸投げ・やり投げ・円盤投げ・ハンマー投げ	小山裕三	メイツ出版	782.5
947	9784762025570	日米体育交流に関する実証的研究：アマースト方式の導入と日本近代体育の成立	大櫃敬史	学文社	780.21
948	9784829506042	日米野球の架け橋：鈴木惣太郎の人生と正力松太郎	波多野勝	芙蓉書房出版	783.7
949	9784780306569	日本のスポーツ界は暴力を克服できるか	森川貞夫	かもがわ出版	780.21
950	9784753226542	日本のワクチン：開発と品質管理の歴史的検証	倉根一郎：山崎修道	医薬ジャーナル社	499.1
951	9784895226677	日本の自動車レース史 多摩川スピードウェイを中心として	杉浦孝彦	三樹書房	788.6
952	9784863273023	日本の都市YMCAにおけるスポーツの普及と展開：大正期から昭和期（戦前）を中心としたYMCAの「体	服部宏治	溪水社（広島）	780.21
953	9784120049408	日本フィギュアスケートの軌跡：伊藤みどりから羽生結弦まで	宇都宮直子	中央公論新社	784.6
954	9784583110011	日本ラグビーヒーロー列伝：歴史に残る日本ラグビー名選手	ベースボール・マガジン社	ベースボール・マガジン社	783.48
955	9784583110004	日本ラグビー心に残る名勝負：歴史に残る日本ラグビー激闘史	ベースボール・マガジン社	ベースボール・マガジン社	783.48
956	9784583109961	日本ラグビー論	岩淵健輔	ベースボール・マガジン社	783.48
957	9784434195167	日本柔道界の実態とその再興試案：近現代史から検証する	西村光史	エスアイビー・アクセス(発売：星雲社)	789.2
958	9784809414220	日本人に教えたい戦術的ピリオダイゼーション入門	ティモ・ヤンコフスキ：フットボールウィークリー編集部	東邦出版	783.47
959	9784582610048	日本武道と東洋思想	寒川恒夫	平凡社	789
960	9784583109749	日本野球を売り込め！：元世界一投手のニュージランドからの挑戦	清水直行	ベースボール・マガジン社	783.7

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
961	9784062806619	乳酸を活かしたスポーツトレーニング	八田秀雄	講談社	780.193
962	9784492223406	入門スポーツガバナンス：基本的な知識と考え方	公益財団法人笹川スポーツ財団 【編】	東洋経済新報社	780.6
963	9784764405332	熱中症の現状と予防：さまざまな分野から予防対策を見つけ出す	澤田晋一；三宅康史	杏林書院	493.19
964	9784884584023	年齢とともに伸びていく剣道：心身融合への剣の巧みさを求めて	林邦夫	体育とスポーツ出版社	789.3
965	9784839958534	脳・神経のしくみ：オールカラー	石浦章一	マイナビ出版	491.371
966	9784884584030	脳を活性化させる剣道：免疫力学力向上・老化予防	湯村正仁	体育とスポーツ出版社	789.3
967	9784777815050	敗者たちのツール・ド・フランス：ランタン・ルージュ	マックス・レオナルド；安達眞弓	辰巳出版	788.6
968	9784062195645	白紙からの選択	遠藤保仁	講談社	783.47
969	9784583106526	箱根駅伝コトバ学	生島淳	ベースボール・マガジン社	782.3
970	9784862553263	箱根駅伝監督：人とチームを育てる、勝利のマネジメント術	酒井政人	カンゼン	782.3
971	9784877584672	批判的スポーツ社会学の論理：その神話と犯罪性をつく	影山健；自由すば一つ研究所	ゆいぼと(発売：KTC中央出版)	780.13
972	9784882829379	美しく強いからだ：ドライエのANATOMY	フレデリック・ドライエ；ジャン・ピエール・クレマンソー	ガイアブックス	595
973	9784062205863	必ず、愛は勝つ！：車イスサッカー監督羽中田昌の挑戦	戸塚啓	講談社	783.47
974	9784758111768	必ず診療に役立つスポーツ傷害の画像診断：スポーツ傷害ならではの診断・撮影の基本と読影のポイ	帖佐悦男	羊土社	780.19
975	9784307470445	必携・衛生試験法	日本薬学会	金原出版	498.15
976	9784048120050	百獣繚乱－フィギュアスケート日本男子－：ソチからピョンチャンへ	青嶋ひろの	ブックウォーカー(発売：KADOKAWA)	784.6
977	9784260024730	標準解剖学	坂井建雄	医学書院	
978	9784260017817	標準生理学	本間研一；小澤瀨司	医学書院	491.3
979	9784583109398	表現スポーツのコンディショニング：強くなるコアトレ。新体操・フィギュアスケート・バ	有吉与志恵；秋山エリカ	ベースボール・マガジン社	781
980	9784635510325	富士山1周レースができるまで：ウルトラトレイル・マウントフジの舞台裏	鍋木毅；福田六花	山と溪谷社	782.3
981	9784901638494	負ける人は無駄な練習をする：卓球王者のメンタリティー	水谷隼	卓球王国	783.6
982	9784862209856	武術の“根理”：何をやってもうまくいく、とっておきの秘訣	中野由哲	BABジャパン	789
983	9784866160375	武術家、身・心・霊を行ず：ユング心理学からみた極限体験・殺傷のなかの救済	老松克博	遠見書房	789
984	9784780419177	部活で差がつく！勝つバドミントン最強のコツ50	名倉康弘	メイツ出版	783.59
985	9784780418491	部活で差がつく！勝つバレーボール上達のポイント60	小川良樹	メイツ出版	783.2
986	9784406061759	部活動って何だろう？：ここから変えよう	しんぶん赤旗「部活って何」取材班	新日本出版社	375.18
987	9784894768826	部活動の不思議を語り合おう	長沼豊	ひつじ書房	375.18
988	9784792333614	文化条例政策とスポーツ条例政策	吉田勝光；吉田隆之	成文堂	
989	9784408337197	壁を越えろ：走り続ける才能たち	安藤隆人	実業之日本社	783.47
990	9784163901336	変えていく勇気：日本代表であり続けられる理由	遠藤保仁	文藝春秋	783.47
991	9784583109046	変幻ダブル完全マスター：ダブルの極意	松井大輔	ベースボール・マガジン社	783.47
992	9784469268201	保健科教育法入門	日本保健科教育学会	大修館書店	375.49
993	9784827815450	保健体育を教える人のために	奈良教育大学	東山書房	
994	9784120048180	補欠選手はなぜ金メダルを取れたのか：いつでも「いい仕事」をするための思考法	五十嵐久人	中央公論新社	781.5
995	9784396615666	放送席から見たサッカー日本代表の進化論	山本浩	祥伝社	783.47
996	9784798913841	暴走するアメリカ大学スポーツの経済学	宮田由紀夫	東信堂	780.253
997	9784583110967	北島康介トレーニング・クロニクル	北島康介；小泉圭介	ベースボール・マガジン社	785.2
998	9784487810673	僕のシロ・デ・イタリア	山本元喜	東京書籍	788.6
999	9784809413049	本格ドリブラー養成講座：プロでも間違え「ドリブル」の基本	前園真聖	東邦出版	783.47
1000	9784583108933	本当の基本が身につく軟式野球入門。守備編	塩田充夫	ベースボール・マガジン社	783.7
1001	9784583108940	本当の基本が身につく軟式野球入門。走塁・戦術編	塩田充夫	ベースボール・マガジン社	783.7
1002	9784583108209	本当の基本が身につく軟式野球入門。打撃編	塩田充夫	ベースボール・マガジン社	783.7
1003	9784583108926	本当の基本が身につく軟式野球入門。投手編	塩田充夫	ベースボール・マガジン社	783.7
1004	9784583109497	本当は、死ぬまで野球選手でいたかった：えのきどいちろうの球界達人対談	えのきどいちろう	ベースボール・マガジン社	783.7
1005	9784884582494	本番で差がつく剣道のメンタル強化法	矢野宏光	体育とスポーツ出版社	789.3
1006	9784406059251	民舞に恋して：民俗舞踊を子どもたちに	園田洋一；東京民族舞踊教育研究会	新日本出版社	375.49
1007	9784794809797	夢をかなえる障害者アスリート：25%の機能を100%活かす	T E - D E マラソン実行委員会；永野明	新評論	782.3

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
1008	9784907239251	無冠、されど至強：東京朝鮮高校サッカー部と金明植の時代	木村元彦	ころから(発売：トランスビュー)	
1009	9784884582746	名手直伝剣道上達講座. 1	「剣道時代」編集部	体育とスポーツ出版社	789.3
1010	9784884582753	名手直伝剣道上達講座. 2	「剣道時代」編集部	体育とスポーツ出版社	789.3
1011	9784635510257	明解日本登山史：エピソードで読む日本人の登山	布川欣一	山と溪谷社	786.1
1012	9784583110646	明日に向かって：病気に負けず、自分の道を究めた星奈津美のバタフライ	田坂友暁	ベースボール・マガジン社	785.2
1013	9784087807486	明日へのタックル！	吉田沙保里	集英社	788.2
1014	9784865120561	目からウロコの個人技術：ハンドボール	スポーツイベント	グローバル教育出版	
1015	9784262166346	野球21世紀根性論：「もう一伸び」を作る心の強化法	高畑好秀	池田書店（新宿区）	783.7
1016	9784839957896	野球あるあるメンタル練習法：心を強くすれば必ず野球がうまくなる！	高畑好秀	マイナビ出版	783.7
1017	9784583110455	野球アンダー・スロー	渡辺俊介	ベースボール・マガジン社	783.7
1018	9784583109404	野球がうまくなるヨガトレ！：野球×ヨガ	小林佳子	ベースボール・マガジン社	783.7
1019	9784884582685	野球こんなときどうする？：自分でできるメンタル調整法	高畑好秀	体育とスポーツ出版社	783.7
1020	9784779170843	野球と実況中継	楠淳生：中村健二	彩流社	783.7
1021	9784771027053	野球における暴力の倫理学	大峰光博	晃洋書房	783.7
1022	9784774514178	野球に革命を起こすバッティング理論：筑波大学で誕生したスイング理論の進化	安藤秀	現代書林	783.7
1023	9784583110981	野球のきほん：子どものやる気と技術をのばすコーチング	清水隆一	ベースボール・マガジン社	783.7
1024	9784583111087	野球のコンディショニング：強くなるコアトレ	有吉与志恵：牧野講平	ベースボール・マガジン社	783.7
1025	9784830651847	野球の医学	菅谷啓之：能勢康史	文光堂	783.7
1026	9784415322704	野球バッティング塾	蓬萊昭彦：山本葉介	成美堂出版	K783
1027	9784583111049	野球規則を正しく理解するための野球審判員マニュアル：規則適用上の解釈について	全日本野球協会・アマチュア野球規則委員会	ベースボール・マガジン社	783.7
1028	9784583108483	野球強打者になるバッティングドリル：差がつく練習法	齋藤正直	ベースボール・マガジン社	783.7
1029	9784791623488	野球肩・ひじ・腰を治す：野球障害で泣かない！	石橋秀幸：橋本健史	西東社	783.7
1030	9784903707723	野球指導者バイブル	遠藤友彦	エイチエス	783.7
1031	9784583108391	野球試合で生きる守備・走塁ドリル：差がつく練習法	西正文	ベースボール・マガジン社	783.7
1032	9784583109756	野球守備の教科書：守備率10割をめざせ！	久慈照嘉	ベースボール・マガジン社	783.7
1033	9784415321615	野球守備フォーメーション：守備位置のセオリーとスキのない動き方を徹底図解	菊池壮光	成美堂出版	783.7
1034	9784583108445	野球想像力を育てる捕手ドリル：差がつく練習法	中島彰一	ベースボール・マガジン社	783.7
1035	9784393312858	野口体操からだに貞く	野口三千三	春秋社	781
1036	9784478024782	野生の教育論：闘争心と教養をどう磨くか	野村克也	ダイヤモンド社	783.7
1037	9784523265573	柳田美幸の楽しい女子サッカー	柳田美幸	南雲堂	783.47
1038	9784864294270	幼児体育。理論編	日本幼児体育学会：前橋明	大学教育出版	376.157
1039	9784864293907	幼児体育：理論と実践。初級	日本幼児体育学会：前橋明	大学教育出版	376.157
1040	9784864294348	幼児体育実技編	前橋明	大学教育出版	
1041	9784864293785	幼児体育用語辞典	前橋明：日本幼児体育学会	大学教育出版	376.157
1042	9784903553535	要説スポーツ歯科医学	石上恵一：上野俊明	医学情報社	780.19
1043	9784319002931	裸足で学び－サッカーの教育力：ピッチサッカーの魅力とその学校教育の可能性	笹澤吉明	協同出版	783.47
1044	9784478103081	落合博満アドバイス：指導者に明かす野球の本質	落合博満	ダイヤモンド社	783.7
1045	9784478061916	落合博満バッティングの理屈：三冠王が考え抜いた「野球の基本」	落合博満	ダイヤモンド社	783.7
1046	9784583111025	陸上競技審判ハンドブック. 2017-2018年度版		日本陸上競技連盟(発売：ベースボール・マガジン)	782
1047	9784817060082	琉球王家秘伝本部流御殿武術入門：本部御殿手・本部拳法	池田守利	日貿出版社	789
1048	9784882829645	療法士のための体表解剖学：800枚以上の人体写真に、骨、筋、血管等、内部が見	ベルンハルト・ライヒャルト：池田美紀	ガイアブックス	491.1
1049	9784810521252	臨床スポーツ心理学：アスリートのメンタルサポート	中込四郎	道和本書院	780.14
1050	9784895928380	臨床のための解剖学	キース・L. ムア：アーサー・F. タリー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	491.1
1051	9784263731512	臨床神経解剖学	M. J. T. フィッツジェラルド：グレゴリー・グルーナー	エルゼビア・ジャパン(発売：医歯薬出版)	491.17
1052	9784414401004	臨床動作法：心理療法、動作訓練、教育、健康、スポーツ、高齢者	成瀬悟策	誠信書房	146.8
1053	9784583111247	鈴木尚広の走塁バイブル	鈴木尚広	ベースボール・マガジン社	783.7
1054	9784777819799	鈴木尚広式体軸トレーニング：運動センスが劇的にUPする	鈴木尚広：岩館正了	辰巳出版	780.7
1055	9784816927065	健康寿命を延ばす1000冊：リハビリのプロがすすめる	結城俊也：坂本宗樹	日外アソシエーツ(発売：紀伊國屋書店日外アソ)	

スポーツ科学部 新規購入図書一覧（平成30（2018）年度購入分）

NO.	ISBN (13桁)	書名	著者名	出版社	NDC
1056	9784890134830	カラースポーツ・運動栄養学大事典：健康生活・医療に役立つ	ウィリアム・マッカードル：フランク・カツチ	西村書店（新潟）	
1057	9784524277735	スポーツ傷害の予防・診断・治療	「整形外科」編集委員会：安達伸生	南江堂	
1058	9784866700199	体育・スポーツ書集成第3回国民体力向上関係書、第8巻	民和文庫研究会	クレス出版	
1059	9784866700182	体育・スポーツ書集成第3回国民体力向上関係書、第7巻	民和文庫研究会	クレス出版	
1060	9784866700175	体育・スポーツ書集成第3回国民体力向上関係書、第6巻	民和文庫研究会	クレス出版	
1061	9784866700168	体育・スポーツ書集成第3回国民体力向上関係書、第5巻	民和文庫研究会	クレス出版	
1062	9784866700151	体育・スポーツ書集成第3回国民体力向上関係書、第4巻	民和文庫研究会	クレス出版	
1063	9784866700144	体育・スポーツ書集成第3回国民体力向上関係書、第3巻	民和文庫研究会	クレス出版	
1064	9784866700137	体育・スポーツ書集成第3回国民体力向上関係書、第2巻	民和文庫研究会	クレス出版	
1065	9784866700120	体育・スポーツ書集成第3回国民体力向上関係書、第1巻	民和文庫研究会	クレス出版	

駿河台大学 教育実習施設一覧

令和元（2019）年7月4日

No.	学校名	学校種	〒	住所	学級数	生徒数	教員数	教育実習（保健体育） 受入可能人数
1	埼玉県飯能市飯能第一中学校	中学校	357-0021	飯能市双柳1-1	17	533	32	2
2	埼玉県飯能市南高麗中学校	中学校	357-0054	飯能市下直竹1061	3	27	9	1
3	埼玉県飯能市吾野中学校	中学校	357-0203	飯能市長沢73-1	3	53	10	1
4	埼玉県飯能市原市場中学校	中学校	357-0124	飯能市原市場646	7	133	15	1
5	埼玉県飯能市飯能西中学校	中学校	357-0063	飯能市飯能287	11	354	21	2
6	埼玉県飯能市加治中学校	中学校	357-0046	飯能市阿須164-1	14	396	25	2
7	埼玉県飯能市美杉台中学校	中学校	357-0041	飯能市美杉台5-3	9	233	17	2
8	埼玉県飯能市名栗中学校	中学校	357-0111	飯能市上名栗2833	3	21	9	1
9	東野高等学校	高等学校	358-8558	埼玉県入間市二本木112-1	33	1106	55	4
10	埼玉平成高等学校	高等学校	350-0434	埼玉県入間郡毛呂山町市場333-1	30	857	90	4
11	聖望学園高等学校	高等学校	357-0006	埼玉県飯能市中山292	33	1020	48	4
12	大川学園高等学校	高等学校	357-0038	埼玉県飯能市下加治345	6	269	13	4

資料として実習先の承諾書を添付

No.	企業名	対象学年	受入可能人数
1	株式会社プロジェクトアドベンチャージャパン	1年次	200

学外実習(スポーツ健康実習、スポーツ教育実習、地域スポーツ実習)受入先リスト

No.	実習科目名	企業・団体名	所在地	受入可能人数
1	スポーツ健康実習	飯能市生涯学習スポーツ部スポーツ課	埼玉県飯能市双柳1-1	30
2	スポーツ健康実習	飯能市健康福祉部健康づくり支援課	埼玉県飯能市双柳371-13	10
3	スポーツ健康実習	社会福祉法人飯能市社会福祉協議会	埼玉県飯能市双柳371-13	10
4	スポーツ健康実習	NPO法人ぬくもり福祉会たんぽぽ田園倶楽部	埼玉県飯能市落合290-4	10
5	スポーツ健康実習	NPO法人日本コーディネーションントレーニング協会	東京都江戸川区東葛西6-4-10-201 埼玉県飯能市阿須812-3(飯能市市民体育館)	10
6	スポーツ健康実習	社会福祉法人名栗園	埼玉県飯能市稲荷町283-9	10
7	スポーツ健康実習	日本ベアフット・ランニング協会	東京都目黒区下目黒3-5-16-303	10
8	スポーツ健康実習	飯能市原市場地区行政センター	埼玉県飯能市原市場1048-1	4
9	スポーツ健康実習	飯能市名栗地区行政センター	埼玉県飯能市上名栗3125-1	4
10	スポーツ健康実習	飯能市加治東地区行政センター	埼玉県飯能市岩沢1283-1	4
11	スポーツ健康実習	飯能市加治地区行政センター	埼玉県飯能市笠縫59-1	4
12	スポーツ健康実習	飯能市美杉台地区行政センター	埼玉県飯能市美杉台1-2-1	4
13	スポーツ教育実習	飯能市生涯学習スポーツ部スポーツ課	埼玉県飯能市双柳1-1	20
14	スポーツ教育実習	美杉台児童クラブ室	埼玉県飯能市美杉台1-2-1	20
15	スポーツ教育実習	飯能第一小学校	埼玉県飯能市山手町13-8	2
16	スポーツ教育実習	飯能第二小学校	埼玉県飯能市小瀬戸548-1	1
17	スポーツ教育実習	南高麗小学校	埼玉県飯能市下直竹38	1
18	スポーツ教育実習	加治小学校	埼玉県飯能市川寺500	2
19	スポーツ教育実習	精明小学校	埼玉県飯能市小久保54-2	1
20	スポーツ教育実習	奥武蔵小学校	埼玉県飯能市長沢26-2	1
21	スポーツ教育実習	原市場小学校	埼玉県飯能市下赤工442-2	1
22	スポーツ教育実習	富士見小学校	埼玉県飯能市双柳1-1	2
23	スポーツ教育実習	加治東小学校	埼玉県飯能市岩沢1243	1
24	スポーツ教育実習	双柳小学校	埼玉県飯能市双柳1194	2
25	スポーツ教育実習	美杉台小学校	埼玉県飯能市美杉台1-29	2
26	スポーツ教育実習	名栗小学校	埼玉県飯能市上名栗2944	1
27	スポーツ教育実習	飯能第一中学校	埼玉県飯能市双柳1-1	2
28	スポーツ教育実習	南高麗中学校	埼玉県飯能市下直竹1061	1
29	スポーツ教育実習	奥武蔵中学校	埼玉県飯能市長沢73-1	1
30	スポーツ教育実習	原市場中学校	埼玉県飯能市原市場646	1
31	スポーツ教育実習	飯能西中学校	埼玉県飯能市飯能287	2
32	スポーツ教育実習	加治中学校	埼玉県飯能市阿須164-1	2
33	スポーツ教育実習	美杉台中学校	埼玉県飯能市美杉台5-3	2
34	スポーツ教育実習	名栗中学校	埼玉県飯能市上名栗2833	1
35	スポーツ教育実習	株式会社プロジェクトアドベンチャージャパン(PANZA宮沢湖)	東京都品川区西五反田7-8-11 埼玉県飯能市宮沢431-3-58(メッツァビレッジ)	20
36	スポーツ教育実習	株式会社マルワ(アレックス飯能 フィットネスクラブ、スイミングスクール)	埼玉県坂戸市日の出町3-21 埼玉県飯能市川寺625(アレックス飯能)	10
37	スポーツ教育実習	株式会社マルワ(エデナ坂戸 フィットネスクラブ)	埼玉県坂戸市日の出町3-21 埼玉県坂戸市日の出町3-5(エデナ坂戸)	10
38	地域スポーツ実習	NPO法人飯能市体育協会	埼玉県飯能市阿須812-3	15
39	地域スポーツ実習	飯能市生涯学習スポーツ部スポーツ課	埼玉県飯能市双柳1-1	10
40	地域スポーツ実習	一般社団法人里山こらぼ	埼玉県飯能市上名栗412-1	8
41	地域スポーツ実習	休暇村奥武蔵	埼玉県飯能市吾野72	10
42	地域スポーツ実習	NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会	埼玉県飯能市柳町18-17	5
43	地域スポーツ実習	NPO法人名栗カヌー工房	埼玉県飯能市下名栗1817-9	6
44	地域スポーツ実習	人間漁業協同組合	埼玉県飯能市阿須343-1	10
45	地域スポーツ実習	お散歩マーケット実行委員会	埼玉県飯能市上直竹上分250	10
46	地域スポーツ実習	飯能市エコツーリズム市民ガイドの会	埼玉県飯能市前ヶ貫262-27	8
47	地域スポーツ実習	Fun Trails 合同会社	埼玉県入間郡三芳町藤久保826-19-101	10
48	地域スポーツ実習	虎秀やまめクラブ	埼玉県飯能市虎秀108	5
49	地域スポーツ実習	有間溪谷観光釣り場	埼玉県飯能市下名栗1811-1	10
50	地域スポーツ実習	株式会社マーキュリーズ	東京都青梅市柚木町2-465-11	10
合 計				336

平成30(2018)年度 インターンシップ I 実習受入企業・団体リスト

No.	企業・団体名	所在地	平成30 (2018)年度 実習人数	平成30 (2018)年度 受入可能人数	2年次生 受入可否
1	有限会社アニバーサリー	埼玉県飯能市岩沢137-6	2	2	可
2	社会福祉法人杏樹会	埼玉県入間市上藤沢851-1	1	1~3	可
3	入間市商工会	埼玉県入間市向陽台1-1-7産業文化センター内	1	1	可
4	入間市役所	埼玉県入間市豊岡1-16-1	6	7~8	可
5	株式会社いわさき	埼玉県入間市扇台3-1-9	1	2	可
6	岩堀建設工業株式会社	埼玉県川越市六軒町1-3-10	1	2	可
7	株式会社ヴェルペンファルマ	埼玉県飯能市南町3-3	4	2~4	可
8	大宮アルディージャ	埼玉県さいたま市西区大字高木849	1	1	記載なし
9	有限会社カイゴ	埼玉県所沢市小手指町2-13-8	1	1~3	可
10	カネパッケージ株式会社	埼玉県入間市南峯1095-15	2	2	可
11	社会福祉法人桑の実会	埼玉県所沢市東狭山ヶ丘2823-12	1	1~2	可
12	京王観光株式会社 さいたま支店	埼玉県さいたま市大宮区宮町2-55-2第一大宮ビル8階	1	1	可
13	小林税理士事務所	埼玉県川越市下広谷1165	2	2	可
14	税理士法人サム・ライズ	埼玉県川越市脇田本町11-1川越シティビル7F	3	8	可
15	狭山市役所	埼玉県狭山市入間川1-23-5	1	1~2	不可
16	株式会社サンエー印刷	東京都豊島区東池袋5-44-15	2	2~3	可
17	三光産業株式会社	埼玉県入間郡越生町越生東3-11-2	1	1~2	可
18	篠崎運輸株式会社	埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-109-6	2	2	可
19	税理士法人シン中央会計	埼玉県所沢市久米551-3東亜ビル1F	1	1	可
20	株式会社スズキトラスト	埼玉県狭山市水野434-30	1	2	可
21	有限会社立ち華葬祭	埼玉県川越市大仙波970-1	4	4	可
22	所沢市役所	埼玉県所沢市並木1-1-1	2	1~2	不可
23	鳥居観光株式会社	埼玉県飯能市上名栗3196	1	1	可
24	有限会社名栗温泉	埼玉県飯能市下名栗917	2	2	可
25	飯能ケーブルテレビ株式会社	埼玉県飯能市小久保19-1	1	3~4	不可
26	株式会社飯能自動車学校	飯能市大字岩沢958	1	1	可
27	飯能市役所	埼玉県飯能市大字双柳1-1	10	11~14	可
28	飯能信用金庫	埼玉県飯能市栄町24-9	2	2	不可
29	医療法人靖和会 飯能靖和病院	埼玉県飯能市下加治137-2	1	1	可
30	Fun Space株式会社(さわらびの湯)	埼玉県飯能市下名栗685	2	2	可
31	株式会社フォレスフィール(フォレストアドベンチャー・おおひら)	栃木県栃木市大平町西山田857	5	5	可
32	株式会社ホンダカーズ埼玉西	埼玉県狭山市上奥富106-1	3	7~14	可
33	株式会社松本商会	埼玉県富士見市鶴間3468	1	1~3	可
34	株式会社マミーマーケット	埼玉県さいたま市北区宮原町2-44-1	3	5	可
35	株式会社マルワ(アレックス飯能)	埼玉県坂戸市日の出町3-21丸加ビル7階	2	1~2	可
36	株式会社ヤオコー	埼玉県川越市脇田本町1-5	2	3	可
37	幼児活動研究会株式会社	東京都品川区西五反田2-11-17HI五反田ビル5F	3	3	可
38	社会福祉法人陽明福祉会陽明保育園	埼玉県所沢市中富1652-1	3	1~4	可
39	株式会社リパティ狭丘	埼玉県入間市東藤沢2-1-26	2	2	可

資料として海外語学演習の協定書を添付

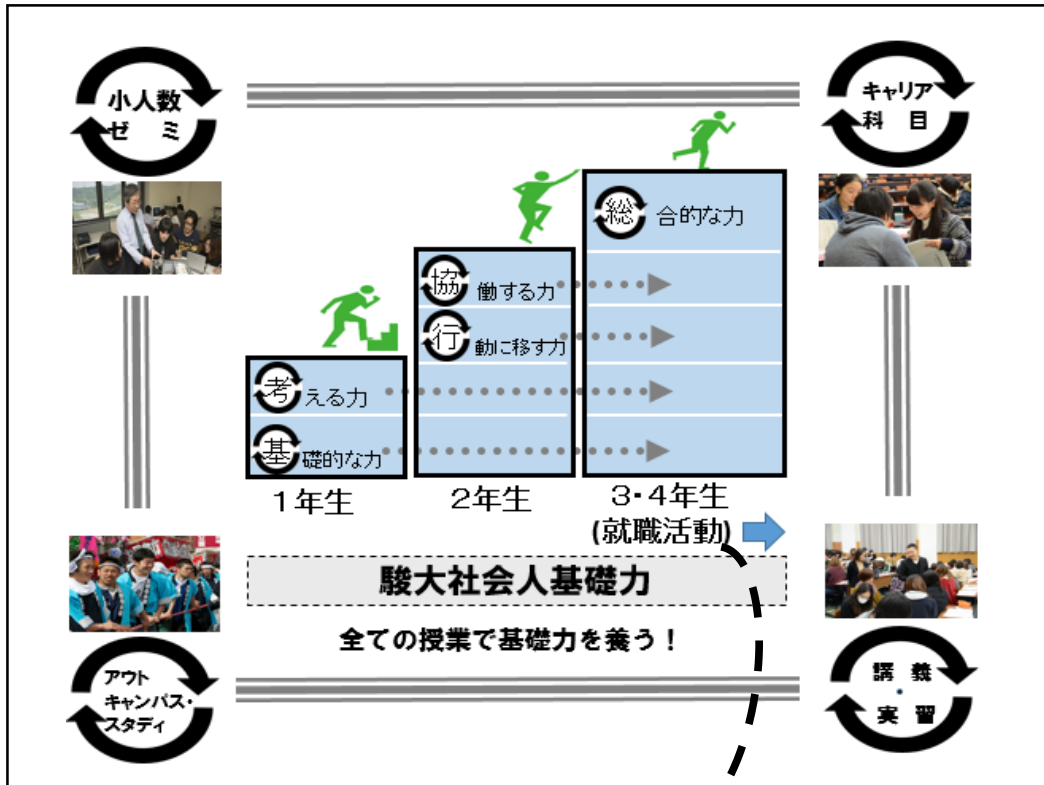
No.	海外語学演習提携校	所在地
1	モナシュ大学	オーストラリア
2	ソルボンヌ大学	フランス
3	フィリピン中央大学	フィリピン



『キャリア教育プログラム』でなりたい自分を見つけ、『就活支援プログラム』で夢を実現させる。
それが駿大の総合キャリア支援システム『D!S C』です

- 社会で働く上で必要な能力を「駿大社会人基礎力」として独自にまとめ、これらの力をすべての授業で養っています。
- 基礎力の伸びを1年ごとにチェックし、自己の成長を可視化・実感できます。
- さらに3年次以降は就活サポートとして、専属のキャリアアドバイザーが内定獲得10段階プログラムに従い、無理なく納得の内定まで導きます。公務員志望の方には公務員コースもあります。

◆キャリア教育 ～成長保証型キャリア教育プログラム～

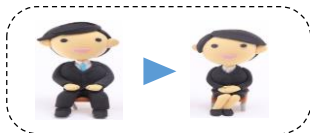


◆キャリアセンターの就職活動支援

1

「就活力」を把握する

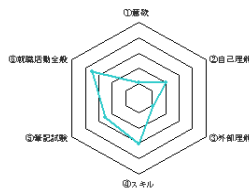
専属キャリアアドバイザー
制度（マンツーマン制）



2

「就活プラン」を立てる

就活電子カルテの活用
（コンピュータによる課題把握）



内定獲得に必要な
10段階プログラム



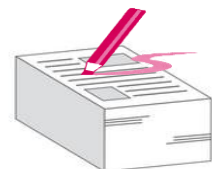
3

「納得の内定」を獲得する

さらに+2名のアドバイザー
がサポート
ゼミ担当教員



豊富で独自の求人情報



◆駿大社会人基礎力とは？

① 16のチカラ

『駿大社会人基礎力』はひとりひとりが社会で自立するために必要な16のチカラです。

②キャリア教育対応率100%

キャリア育成科目はもちろん、地域で学ぶアウトキャンパス・スタディや、各学年必修の少人数ゼミ各種講義や実習など大学のすべての科目で駿大社会人基礎力を磨くことができます。

③段階的・反復的学習

まずは慣れることからスタートです。16のチカラを段階的にくりかえし高めていきます。

④成長実感

各学年、学期ごとにチカラを数値で確かめることができるので、成長を実感できます。



◆キャリアセンターの就職活動支援

専属のキャリアアドバイザー(①)が、就活カルテに基づいて学生の課題を把握(②)し、ひとりひとりの状態にあわせて内定獲得10段階プログラム(③)を実施、誰でも無理なく納得の内定(④・⑤)まで導きます。

①専属キャリアアドバイザー制度（マンツーマン制）

学生ひとりひとりに専属のアドバイザーがつき、内定獲得まで責任をもって担当します。就活への不安や進め方についてじっくりと話し、個別の状態や力を的確に把握します。

②就活電子カルテの活用（コンピュータによる課題把握）

駿大が独自に開発した就活支援システムにより個人ごとに就活カルテを作成。内定獲得に足りない力を可視化します。

③内定獲得に必要な10段階プログラム

カルテに応じて担当アドバイザーが内定獲得までにやるべきことをプランニング。10段階プログラムで内定獲得に必要なスキルや能力を段階をおって習得します。

④さらに+2名のアドバイザーがサポート

専属キャリアアドバイザーの他にも、就活を終えたばかりの学生アドバイザーやゼミ担当教員が内定獲得まで完全サポートをします。

⑤豊富で独自の求人情報

中小から大企業まで、地域密着の駿大ならではの豊富な求人情報にひとつひとつコメントをつけ、学生の特性に応じた紹介をしています。学内企業説明会も頻繁に開催しています。

駿河台大学キャリアセンター規程

(目 的)

第1条 この規程は、駿河台大学学則第49条の2第2項の規定に基づき、キャリアセンター（以下「センター」という。）の管理運営に関する基本的事項について定めることを目的とする。

(業 務)

第2条 センターは、本学におけるキャリア教育と就職支援を一元的な組織の下で効果的に実施し、学生の就業力を向上させ、就業率の向上を図るために、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

- (1) キャリア教育の授業計画の策定・実施に関すること。
- (2) キャリア教育の改善向上のための計画案の策定に関すること。
- (3) 学生の就業力向上のための指導・支援に関すること。
- (4) センター専任教員の任用に関すること。
- (5) キャリア教育担当非常勤講師の任用に関すること。
- (6) キャリア教育担当非常勤講師との連絡及び調整に関すること。
- (7) 学生の就職支援及び斡旋に関すること。
- (8) 求人の受理及び求職登録に関すること。
- (9) その他、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(組 織)

第3条 センターに、次の教員を置く。

- (1) センター長
- (2) センター専任教員

(センター長)

第4条 センターに、センター長1名を置く。

- 2 センター長は、センター担当の副学長をもって充てる。
- 3 センター長は、学長が委任したセンターの業務を統括する。
- 4 センター長はセンターを代表する。
- 5 センター長は、学長がセンターに関して決定を行う場合には、求めに応じて意見を述べることができる。

(専任教員)

第5条 専任教員は、センターに所属し、キャリア教育を担当する他、センターに関連する業務を行う。

- 2 専任教員の任用等に関する事項は、別に定める。

(委員会等)

第6条 センターの運営に関する重要事項を審議するため、キャリアセンター委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- 2 委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務部)

第7条 センターに事務部を置く。

- 2 事務部にキャリア教育・就職支援課を置く。
- 3 キャリア教育・就職支援課にキャリア教育推進室を置く。
- 4 キャリア教育・就職支援課は、就職支援並びに斡旋にかかわる業務に関する事務を行う。
- 5 キャリア教育・就職支援課キャリア教育推進室は、キャリア教育にかかわる業務に関する事務を行う。

(施 設)

第8条 センターの施設に関する事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成24年4月1日より施行する。

平成27年4月1日一部改正。

平成29年4月1日一部改正。

駿河台大学キャリアセンター委員会規程

(目 的)

第1条 この規程は、駿河台大学キャリアセンター規程第6条第2項に基づき、キャリアセンター（以下「センター」という。）の運営に関する重要事項を審議するため、キャリアセンター委員会（以下「委員会」という。）の審議事項、組織等について定めることを目的とする。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の項目を審議する。

- (1) センターの業務に関する事項。
- (2) センターの管理運営に関する事項。
- (3) センターの予算及び決算に関する事項。
- (4) その他、必要と認められる事項。

(組 織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) センター長
- (2) センター専任教員
- (3) 各学部教授会から選出された専任教員
- (4) キャリアセンター事務部長
- (5) その他学長が指名した者

(委員長)

第4条 委員会の長は、前条第1号のセンター長をもって充てる。

(任 期)

第5条 第3条第3号の委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員会の開催)

第6条 委員会は、センター長がこれを招集し、その議長になる。

2 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(事 務)

第7条 委員会に関する事務は、キャリアセンター事務部キャリア教育・就職支援課及びキャリア教育・就職支援課キャリア教育推進室が担当する。

(その他)

第8条 委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は、平成24年4月1日より施行する。

平成27年4月1日一部改正。

平成29年4月1日一部改正。

駿河台大学公務員・資格試験学習室規程

(総 則)

第1条 駿河台大学学則第55条第1項の規定に基づき、本学に駿河台大学公務員・資格試験学習室（以下「学習室」という。）を置く。

(目 的)

第2条 学習室は、法科大学院又は公務員を志望する学生及び税理士、公認会計士、司法書士、行政書士、宅地建物取引士等の資格（以下「資格」という。）取得を希望する学生に対し、自主学習支援及び受験指導を通じて、本学正規教育における教育効果を相乗的に高め、もって本学の教育に貢献することを目的とする。

(事 業)

第3条 学習室は、前条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 各種試験に係る自主学習の支援に関すること。
- (2) 各種試験に係る学習プログラムの企画・実施に関すること。
- (3) 学習室指導補助員の任用に関すること。
- (4) その他、学習室の目的を達成するために必要な業務に関すること。

(委員会等)

第4条 学習室に、公務員・資格試験学習室運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- 2 委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(室 長)

第5条 学習室に学習室長1名を置く。

- 2 学習室長は、公務員試験又は資格試験に精通した本学専任教員の中から、学長の推薦に基づき理事長が任命する。
- 3 学習室長は、学長が委任した学習室の業務を統括する。
- 4 学習室長は学習室を代表する。
- 5 学習室長は、学長が学習室に関して決定を行う場合には、求めに応じて意見を述べることができる。
- 6 学習室長の任期は、1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じたときは、前任者の残任期間とする。

(学習室指導員)

第6条 学生の自主学習の支援等、学習室が実施する業務の円滑な推進に資するため、学習室に学習室指導員を置く。

- 2 学習室指導員は、公務員試験又は資格試験に精通した本学専任教員とする。
- 3 学習室指導員は、委員会の議を経て学長が委嘱する。
- 4 学習室指導員の任期は、1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じたときは、前任者の残任期間とする。

(学習室指導補助員)

第7条 学生の自主学習の支援等、学習室が実施する業務の円滑な推進に資するため、学習室に学習室指導補助員を置くことができる。

- 2 学習室指導補助員は、本学名誉教授、学外の有識者で第6条の学習室指導員と同等若しくはそれ以上の指導能力をもつ者を嘱任する。
- 3 学習室指導補助員は、委員会の議を経て学長が委嘱する。
- 4 学習室指導補助員の任期は、1年とし、再任を妨げない。

(報酬)

第8条 学習室指導補助員が本学専任教員以外の者である場合には、報酬を支給することができる。

- 2 報酬の額については別に定める。

(事 務)

第9条 学習室に関する事務は、キャリアセンター事務部キャリア教育・就職支援課が所掌する。

附 則

この規程は、平成27年6月11日から施行する。

駿河台大学飯能キャンパス司法研修室規程は平成27年6月10日をもって廃止。

平成29年4月1日一部改正。

平成29年6月15日一部改正。

平成30年4月1日一部改正。